お客様用

AV一体型 SSD ナビゲーション 取扱説明書

品番　C9Y7 V6 650　（三洋品番 NVA-MS5210）

このたびは、マツダ純正用品をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用の前に、この「取扱説明書」をお読みいただき、いつもお手元において、正しい取扱方法により、長くご愛用くださるようにお願い申し上げます。なお、取付けミスを避けるためにも、取付けは、マツダ代理店またはマツダ代理店が指定した販売店でお願いいたします。

MMNAVI



事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

本機の故障、誤動作または不具合によりフラッシュメモリードライブに記録できなかったデータ、消失したデータ、フラッシュメモリードライブ内の保存データについては補償できません。

SSDとはSolid State Device（ソリッド ステート デバイス）の略で、
地図データの記録媒体として（大容量）フラッシュメモリーを使用したものです。

三洋電機株式会社
10.06

本書の見かた

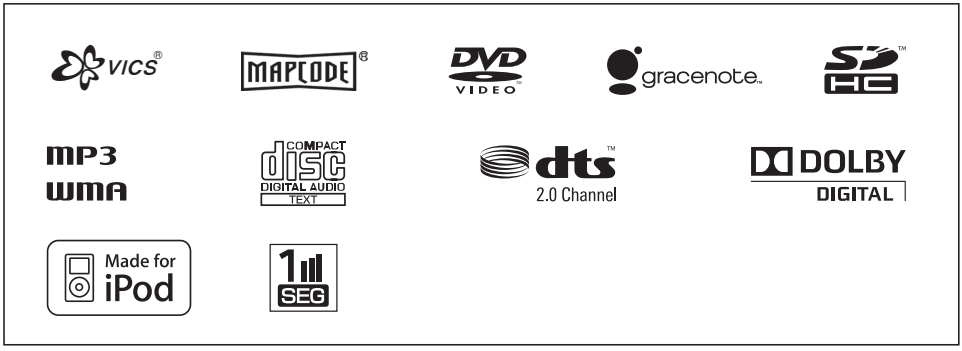
本書では、用途別に下記のマークを使用しています。
以下に各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。

アドバイス	●お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。 ●本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
☞	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表示しています。
メニュー	本体のパネル部のボタンを表します。
目的地	タッチパネル部のボタンを表します。
☝	画面上でタッチパネル操作を表します。
:	操作を行なった結果を説明します。
■／□	操作手順が次のステップで分かれるときの案内をします。

使用上の注意事項等

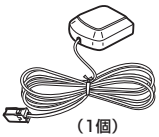
- **本機の操作**
  - ・運転中の操作は避け、停車して行なってください。
  - ・運転中に画面を注視しないでください。
- **本機の取り付け**
  取り付けには専門技術と経験が必要です。
  （配線の取り外し等不正な改造は絶対に行なわないでください。走行中は、テレビ／DVDの映像表示や煩雑（複雑）な操作ができなくなります。）
- **本機の故障、誤動作または不具合によりフラッシュメモリードライブに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、SDカード内の保存データについては補償できません。**
- **本書に記載されていない接続ユニット、およびオプション機器を接続された場合の動作につきましては保証できません。**

本機はあくまで走行の参考として地図や音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合があります。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制（一方通行など）にしたがって走行してください。


VICS
MAPCODE
DVD VIDEO
gracenote
SDHC
MP3
WMA
COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT
dts 2.0 Channel
DOLBY DIGITAL
Made for iPod
1SEG

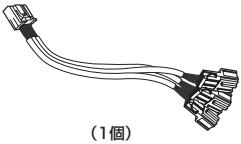
付属品

GPSアンテナ



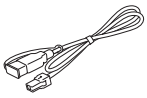
（1個）

カメラハーネス



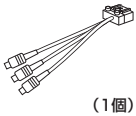
（1個）

USBケーブル



（1個）

RCAケーブル



（1個）

取扱説明書



（1部）

注意書



（1式）

証明書



（1部）

部品構成表
架装点検シート



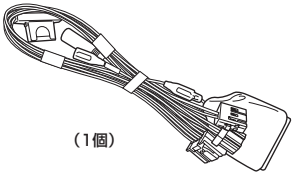
（1式）

いつもNAVI
愛用者カード



（1式）

車載用取付部品一式



（1個）



（5枚）



（1個）



（3本）



（1個）



（1個）



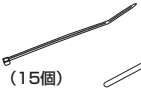
（3個）



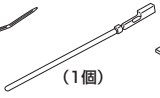
（1個）



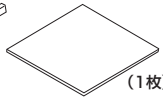
（1個）



（15個）

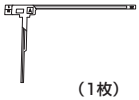


（1個）



（1枚）

ワンセグ地上デジタルTV用フィルムアンテナおよび取付部品一式



（1枚）



（1本）



（2枚）

ナビゲーションでできること

ナビゲーションには、快適なドライブをするための様々な機能が用意されています。それぞれの機能の特長を利用して、正しくご使用ください。

P57

ナビゲーション

表示が見やすくわかりやすいタッチパネルコントロールと見やすい画面と音声で、わかりやすいルート案内（道案内）を行います。

P166

VICS

渋滞情報などを地図上に表示させることができます。

P470

ワンセグ

停車中に、ワンセグの映像を見ることができます。

P313

オーディオ

簡単な操作でCD、ラジオ、iPodなどを聞いたり、停車中には外部入力の映像などを見ることができます。

こんなにかんたん！ 行き先を決めよう

複雑そうなナビゲーションの操作、基本はそれほど難しくありません。まずは行き先を設定してみましょう。
ここでは、ジャンルから選んで、行き先に決定します。

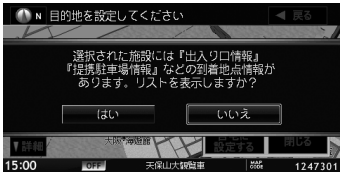
1



メニュー ボタンを押し、
目的地 ボタンをタッチして、
ジャンル ボタンをタッチします。



6



到着地点情報画面が表示された場合 はい ボタンをタッチします。

※ はい ボタンをタッチした場合は129ページのアドバイスをご覧ください。

7



全ルートが表示され 案内スタート ボタンをタッチするとルート案内が始まります。

画面上のボタンを選ぶには？

画面ボタンを直接タッチして選びます。



2



リストから“ジャンル”を選択し、タッチします。

さらに細かく“ジャンル”のリストが表示された場合は種類を選択しタッチします。

3



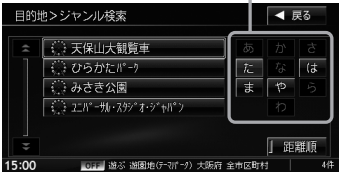
＊

リストから“都道府県名”を選択し、タッチします。

さらに“市区町村”のリストが表示された場合は、リストから選択し、タッチします。

＊印：頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。

4



＊

リストから“施設”を選択し、タッチします。

＊印：頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。

5



施設を中心とした地図が表示されますので、位置を確認して 目的地に設定する ボタンをタッチします。

ナビでドライブ！

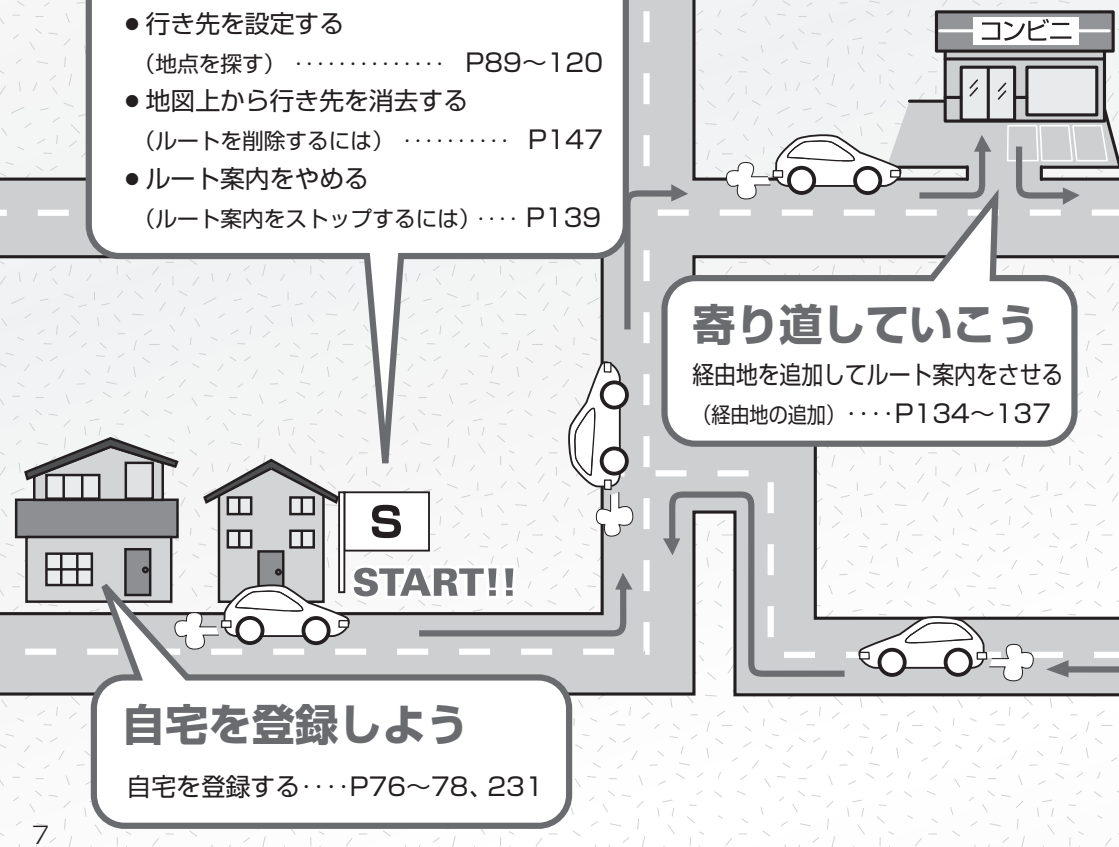
ナビゲーションには、ドライブ中に役立つ便利な機能が満載です。

見やすい地図にするには？

- 地図画面の見かた（画面の表示内容について）…… P59、60
- 地図表示（方位）を切り替える …… P64、65
- 地図を拡大／縮小する …… P61
- 右画面に地図を表示する …… P81
- 地図を動かす（地図スクロール）…… P66、67

いろいろな方法で目的地を探そう

- 行き先を設定する
  （地点を探す）…… P89～120
- 地図上から行き先を消去する
  （ルートを削除するには）…… P147
- ルート案内をやめる
  （ルート案内をストップするには）…… P139

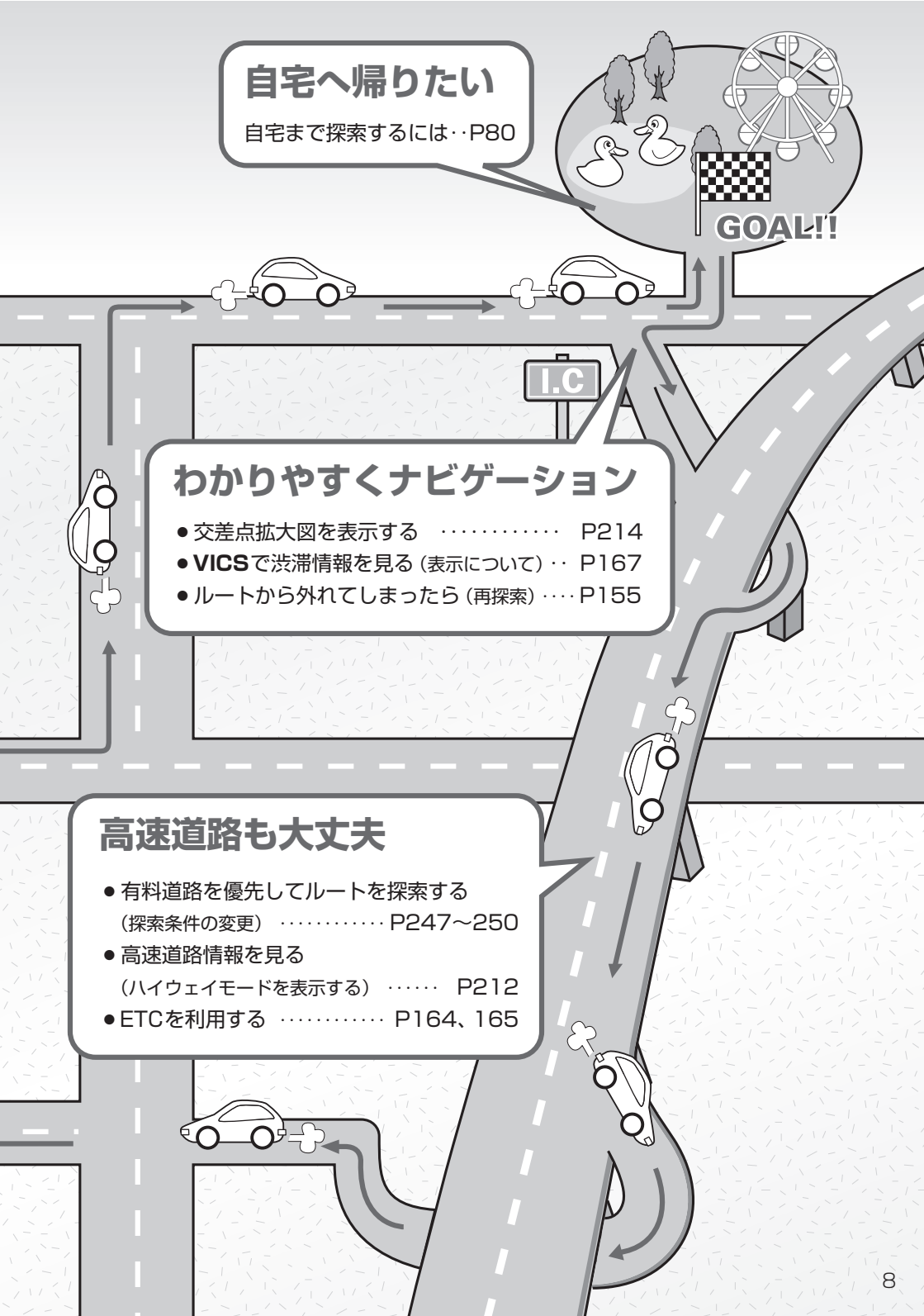


寄り道していこう

経由地を追加してルート案内をさせる
（経由地の追加）……P134～137

自宅を登録しよう

自宅を登録する……P76～78、231


自宅へ帰りたい
自宅まで探索するには‥P80
GOAL!!
I.C
わかりやすくナビゲーション
● 交差点拡大図を表示する ‥‥‥‥‥‥ P214
● VICSで渋滞情報を見る（表示について）‥ P167
● ルートから外れてしまったら（再探索）‥‥P155
高速道路も大丈夫
● 有料道路を優先してルートを探索する
（探索条件の変更）‥‥‥‥‥‥ P247〜250
● 高速道路情報を見る
（ハイウェイモードを表示する）‥‥‥ P212
● ETCを利用する ‥‥‥‥‥‥ P164、165

ナビゲーションを使いこなすヒント

ナビゲーションを便利に使いこなすためのヒントをご紹介します。

いろいろな条件で探索したい

1ルート探索・複数ルート探索をする‥‥P126～130

探索したルートをシミュレーションしてみたい

現在のルートを表示する‥‥‥P141～143

よく行く場所にマークをつけて登録しよう

地点を登録する‥‥‥‥‥‥‥‥P74、75

走行する道を記録したい

軌跡を使う‥‥‥‥‥‥‥‥P228～230

ルート案内の音量を調整したい

音声案内の音量を調整／案内設定をする
‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥P225～227

VICS情報を利用したい

交通情報（VICS情報）について‥P167～169
VICSの概要 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥P563、564

北方向を上／進行方向を上にして見やすい地図で表示したい

地図表示（方位）を切り替える‥‥P64、65

エコドライブ度を評価したい

エコドライブ情報の設定をする‥P157～161

ガソリンスタンドやコンビニなどのマークを表示させて目印にしたい

ランドマークを設定する‥‥‥P220、221

パソコンを使用し、保存したい情報を本機で確認／本機に保存したい

SDカードで地点を探す ‥‥‥P112~114
SDカードからルートを探索する‥P151~153
SDカードから地点を登録 ‥‥P244~246

音声はそのままで画面だけ消したい

音声はそのままで画面を消すには……P540

次のオイル交換は？

メンテナンス情報を設定する‥P259～262

ルート案内しながら音楽を聞きたい

音声はそのままでナビゲーション画面を
表示する……P542、543

ミュージックストッカーを聞きたい

MUSIC STOCKER ……P343～380

CDを聞きたい

CD……P313～322

ラジオを聞きたい

ラジオ〔Radioモード〕 ……P383～393

SDカードの音楽を聞きたい

SD再生 ……P395～411

休憩してDVDビデオを見たい

DVD ……P431～464

休憩してテレビを見たい

ワンセグ ……P471～501

目　次(1)

本書の見かた ……1、2
付属品 ……3
ナビゲーションでできること ……4
こんなにかんたん！行き先を決めよう …5、6
ナビでドライブ！ ……7、8
ナビゲーションを使いこなすヒント ……9～12

はじめに P20～
安全上のご注意 ……21～24
使用上のご注意 ……25～27
主な特長 ……28～34
データベースについて ……35、36
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について ……36
再生できるディスクについて ……37～39
DVDビデオについて ……40
ディスクの取り扱いかた ……41
SDカード／USBメモリデバイスについて ……42、43
SDカードの取り扱いかた ……44
GPSアンテナの取り付けかた ……45、46
GPS衛星の電波受信と測位 ……47
GPS(Global Positioning System)について ……47
受信しにくい場所について ……47
受信するまでの時間について ……47
自律航法とマップマッチング ……48
現在地の誤差について ……48
自律航法＆マップマッチング ……48
学習度と現在地 ……48
ディスクを入れる／取り出すには …49、50
ディスクを取り出すには ……50
SDカードを入れる／取り出すには ……51
SDカードを取り出すには ……51
ディスプレイ部の角度を調整する ……52
各部の名称とはたらき ……53、54
パソコン連携（いつもNAVI） ……55
パソコン連携(いつもNAVI)の流れについて ……55

ここだけ読んでも使えます P56～（ナビ操作）
地図を表示するには ……57、58
現在地表示について ……58
地図画面の見かた ……59、60
代表的な画面の表示内容について …59、60
地図を拡大／縮小する ……61
地図の縮尺レベル ……62
現在地を表示するには ……63
表示された現在地が実際の現在地とは違う場合は ……63
地図表示(方位)を切り替える ……64、65
見たい地域を探す ……66～68
地図を動かす(地図スクロール) ……66、67
スクロールの微調整をする ……68
メニュー項目一覧 ……69、70
Quick機能について ……71、72
現在地表示時に Quick ボタンをタッチした場合 ……71
地図スクロール時に 設定 ボタンをタッチした場合 ……72
メニューの基本操作 ……73
地点を登録する ……74、75
登録地点について ……75
自宅を登録する ……76～78
クイックルート探索をする ……79、80
現在地から目的地までのルートを探索する場合 ……79
現在地から自宅までのルートを探索する場合 ……80
右画面に地図／情報を表示する ……81～84
音声案内について ……85、86

目的地（ナビ操作）

P88〜

自宅周辺の地図を表示する ……89
電話番号で地点を探す ……90、91
　個人宅の電話番号を入力した場合 ……91
住所で地点を探す ……92〜94
登録地点で地点を探す ……95、96
施設の名前で地点を探す[50音] …97〜100
施設のジャンルから地点を探す …101〜103
表示できる施設 ……104〜106
目的地履歴の中から地点を探す・
削除する ……107、108
周辺にある施設から地点を探す 109〜111
SDカードで地点を探す ……112〜114
緯度・経度で地点を探す……115
郵便番号で地点を探す……116
地図から地点を探す……117
地名から地点を探す[50音] ……118、119
マップコードで地点を探す……120

ルート（ナビ操作）

P122〜

ルート設定について ……123〜125
　ルート探索について ……124
　細街路探索について ……125
1ルート・複数ルート探索をする…126〜130
　1ルート探索をする ……127〜129
　複数ルート探索をする ……130
ルートを変更する ……131〜138
　出発地の変更 ……131、132
　目的地の変更 ……133
　目的地の追加 ……134
　経由地の追加 ……134〜137
　経由地の変更／削除 ……137
　経由地／目的地など地点の入れ替え ……137
　探索条件の変更 ……138
ルート案内をストップ／スタートする…139
前方の道が通れない（迂回探索） ……140
現在のルートを表示する ……141、142
　ルート詳細情報を表示するには ……141
シミュレーション走行をする……143
渋滞予測ルート探索をする ……144〜146
現在のルートを削除する……147
現在のルートを保存する……148

ルート（ナビ操作）

登録ルート ……149、150
　保存したルートの呼び出し ……149
　保存したルートの削除 ……150
SDカードからルート探索をする …151〜153
渋滞地点を確認する……154
ルートから外れてしまったら（再探索）……155

情報（ナビ操作）

P156〜

エコドライブ情報の設定をする…157〜161
GPS情報を見る ……162
接続確認をする……163
ETC情報を見るには ……164、165

VICS

交通情報（***VICS***情報）／一般情報の
受信について……166
交通情報（***VICS***情報）について …167〜169
　交通情報（***VICS***情報）とは ……167
　表示について ……167、168
　マーク一覧表 ……169
　VICS放送局 ……169
一般情報について ……170、171
　一般情報とは ……170
　表示について ……170
　一般情報の内容（番組）について ……170
　一般情報放送局 ……171
操作の前に……172
　FM多重の項目一覧……172
　操作画面について ……172
交通情報／一般情報を表示するには……173
　操作の流れ ……173
　情報の消去について ……173
受信する情報（交通情報／一般情報）を
選ぶには ……174、175
交通情報（文字情報）／一般情報を
見るには ……176、177
交通情報（図形情報）を見るには ……178
緊急情報を見るには ……179、180
　緊急情報について ……180
選局するには ……181〜186
　自動選局 ……181、182
　自動選局を止めるには ……182
　手動選局 ……183、184
　エリア選局 ……185、186

目　次(2)

情報（ナビ操作）

放送局をプリセット(保存)するには…187～189
プリセットした放送局を呼び出すには …188
プリセットした放送局に上書きするには …189

VICS(ビーコン)

※本機で光／電波ビーコンからのVICS情報を受信するには、別売のVICSビーコンユニットが必要です。

ビーコン情報を見るには……190
ビーコンの項目一覧 ……190
ビーコン交通情報を見るには……191
地図画面について ……191
ビーコンの文字情報／図形情報(簡易図形)を見るには……192
ビーコンの緊急情報／旅行時間情報を見るには ……193、194
緊急情報について ……194
*VICS*設定をするには ……195

NAVI設定（ナビ操作） P196～

平均速度を設定する……197
メイン画面(地図)の設定を変える…198、199
右画面地図表示の内容を設定する …200、201
3Dの角度を調整する……202、203
地図の色を変える ……204、205
表示項目の設定を変える ……206～208
情報バーの表示設定をする場合 ……207
その他の設定をする場合 ……207
ルート案内画面の設定を変える …209～219
全ルートの表示をする／しないにする場合 …209
交差点情報の表示をする／しないにする場合…210
ルート色の表示を選ぶ場合 ……210
目的地までの方位を直線で表示／丸印で表示する場合…211
ルート情報の表示をする／しないにする場合…211
ハイウェイモードの表示をする／しないにする場合…212
JCTビューの表示をする／しないにする場合…213
交差点拡大図の表示をする／しないにする場合…214
リアル3D交差点を表示する／しないにする場合…215
方面看板の表示をする／しないにする場合…216
AV画面中の案内割り込みをする／しないにする場合…217
ETCレーンの表示をする／しないにする場合…218、219
ランドマークを設定する ……220、221
自車マークの種類／色を変える……222
自車マークの位置／角度を修正する ……223、224
音声案内の音量を調整／案内設定をする ……225～227

NAVI設定（ナビ操作）

音声案内の音量を調整する場合 ……225
音声案内を止める場合 ……225
合流案内／踏み切り案内設定を変える場合…226
専用レーン案内の案内設定を変える場合 …226
高速走行時の音声切替／VICS案内を止める場合 ……227
軌跡を使う ……228～230
軌跡の記録をするには ……228
軌跡の記録を止めるには ……229
軌跡を表示するには ……229
軌跡の表示を止めるには ……229
軌跡を削除するには ……230
自宅を登録する……231
登録地点の編集／見る ……232～237
登録地点の並び替えをする ……238、239
自宅／登録地点の地図を呼び出す …240、241
自宅／登録地点を削除する ……242、243
SDカードから地点を登録する …244～246
ルート探索条件の設定をする …247～250
VICS表示の設定をする……251、252
レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について ……252
ビーコン車種設定について……253
ビーコンの割込み表示を設定する …254、255

システム設定（ナビ操作） P256～

オプションボタンの設定をする 257、258
機能の内容について ……258
メンテナンス情報を設定する …259～262
バックカメラの接続を確認する……263
バックカメラ映像を表示するには264～267
バックカメラ映像の表示を止めるには …264
バックカメラ映像のバンパーラインを表示するには ……264
フロントカメラ／サイドカメラ映像を表示するには……266
カメラ映像を止めるには ……266
カメラボタンの動作について ……267
ETCの各機能を設定するには …268、269
ETCについて ……270
ETCの基本操作 ……271
ETCを起動する ……271
ETCカードを取り出す ……271
ETCを利用するには ……272
料金所通過表示について ……272

システム設定(ナビ操作)

セキュリティ設定をする ……273、274
盗難多発地点を設定する ……273
イルミネーションを変えるには……275
バージョン情報を見る……276
パワーアンテナの設定をするには ……277、278
初期設定を行なう ……277
パワーアンテナを上げるには ……278
パワーアンテナを下げるには ……278
データを初期化(消去)する ……279、280
キー操作音を止めるには……281
キー操作音を鳴らすには ……281

オーディオ／共通

P282~

はじめに ……283~285
操作したいモードに替えるには …283~285
AV SOURCE画面のモードボタンについて……286
AV MENU画面について ……287
音量を調整する……288
オーディオの調整をする ……289、290
フェード・バランスの調整をするには ……289、290

録音設定／データ管理

P292~

音楽CDの録音方法(手動／自動)を選択する ……293、294
音楽CDを録音する……295~299
本機のMUSIC STOCKER機能について …295
MUSIC STOCKERへの録音について …296
音楽CDの録音モードを選択し、録音方法／録音音質を選択する …297~299
データ管理 ……300~310
Gracenoteデータベースタイトル情報追加の流れについて ……300、301
Gracenoteデータベースの更新をするには ……302~306
Gracenoteデータベースのデータを初期化するには ……306、307
音楽データの修復をするには ……308
音楽データの初期化をするには ……309
本体の情報を知る ……310

CD

P312~

CDプレーヤーを使う……313~322
各部の名称とはたらき ……313
表示部(再生画面)について ……314
CDを聞く ……315、316
MUSIC STOCKERへ録音する ……316
CDモードを終了する……317
CDを取り出す……317
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める) ……318
早戻し／早送りをする ……319
再生モードを選択する(リピート／ランダム／スキャン再生) ……319~321
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる ……322

MP3／WMA

P324~

MP3／WMAについて ……325~330
MP3／WMAプレーヤーを使う 331~341
各部の名称とはたらき ……331
表示部(再生画面)について ……332
MP3／WMAを聞く ……333、334
MP3／WMAモードを終了する ……334
MP3／WMAディスクを取り出す ……334
好きなフォルダを選ぶ ……335
操作パネル上のボタンにて1ファイルずつ選曲する(トラックを戻す／進める)……336
早戻し／早送りをする ……337
再生モードを選択する(リピート／ランダム／スキャン再生) ……338~340
トラックリストより好きなファイル(曲)を選び再生させる ……341

目　次(3)

MUSIC STOCKER P342~

MUSIC STOCKERを使う ……343~380
各部の名称とはたらき ……343、344
表示部(再生画面)について ……345、346
MUSIC STOCKERを聞く ……347
MUSIC STOCKERモードを終了する …348
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める) ……348
早戻し／早送りをする ……349
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる ……350
選曲モードより選択し再生させる 351~358
再生モードを選択する(リピート／ランダム／スキャン) ……359、360
再生中の曲をお気に入り登録する 361、362
再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する ……363、364
好きなアルバムを選ぶ ……365
曲管理(アルバムリストの編集) …366~372
曲管理(トラックリストの編集) …373~378
お気に入りを管理する ……379、380

ラジオ P382~

ラジオを使う ……383~390
各部の名称とはたらき ……383、384
表示部について ……385
ラジオを聞く ……385、386
Radioモードを終了する ……386
AM／FM放送を切り替える ……387
プリセットを選ぶ ……387
選局する ……388、389
プリセットボタンにメモリーする ……390
交通情報を受信する ……391~393
道路交通情報を聞く ……391
道路交通情報の周波数をメモリーする …392
道路交通情報の受信を止める ……393

SD再生(SDカード) P394~

SDカードの音楽再生について …395、396
SDカードを使う ……397~411
各部の名称とはたらき ……397、398
表示部(再生画面)について ……399
SDカードを聞く ……400、401
SDモードを終了する ……402
SDカードを取り出す ……402
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める) ……403
早戻し／早送りをする ……404
リスト表示より好きなトラックまたはをフォルダ選び再生させる ……405、406
選曲モードより選択し再生させる 407、408
再生モードを選択する ……409~411

USB P412~

USBメモリデバイスの音楽再生について ……413、414
USBメモリデバイスを使う ……415~429
各部の名称とはたらき ……415、416
表示部(再生画面)について ……417
USBメモリデバイス／iPodコード(USB接続用)を本機に接続するには ……418
USBメモリデバイスを聞く ……419
USBモードを終了する ……420
USBメモリデバイス／iPodコード(USB接続用)の接続をやめるには ……420
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める) ……421
早戻し／早送りをする ……422
USBフラッシュメモリのリスト表示より好きなトラックを選び再生させる 423、424
選曲モードより選択し再生させる 425、426
再生モードを選択する (リピート／ランダム／スキャン再生) ……427~429
好きなフォルダを選ぶ ……429

DVD P430~

DVDプレーヤーについて ……431、432
DVDプレーヤーを使う ……433～456
各部の名称とはたらき ……433～435
再生を始める ……436～438
DVDモードを終了する ……438
DVDディスクを取り出す ……438
再生を停止する ……439
再生を一時停止する ……440
再生中にチャプターを戻す／進める ……441
早戻し／早送りをする ……442
コマ戻し／コマ送りをする ……443
スロー戻し／スロー送りをする ……444
DVDメニューを使う……445、446
タイトルメニューを使う ……447、448
好きな所から再生する（サーチ選択）……449、450
音声言語／字幕言語を切り替える ……451
時間の表示を替える ……452
リピート（繰り返し）再生する ……453
アングル（角度）を切り替える ……454
VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる ……455、456
DVDの初期設定について ……457～464
初期設定を変更する ……457～464

VTR P466~

VTR機能を使う ……467～469
各部の名称とはたらき……467
VTR機能を使う ……468

ワンセグ P470~

ワンセグについて……471
「ワンセグ」の番組受信について ……472
「ワンセグ」の画像について ……472
各部の名称とはたらき……473
バナー表示について ……473
タッチパネル部のボタンについて ……474
ワンセグメニューについて ……475
TV（ワンセグ）を見る ……476
ワンセグモードにすると ……476
番組表を見る ……477
視聴エリアの変更（地方／県域の設定）をする……479
中継局を探す ……481
スキャンする……482
初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンをする ……482
選局する ……484
手動選局で放送局を選ぶ ……484
自動選局で放送局を選ぶ ……484
プリセットで放送局を選ぶ ……485
リストで放送局を選ぶ ……486
プリセットボタンにメモリーする……488
エリア呼出／プリセット呼出について …489
チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する……490
設定をする……492
時計表示設定 ……492
中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする ……493
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する ……495
アンテナ電源の設定をする ……497
設定を初期化する ……498
音声と字幕の設定をする ……500

目　次(4)

Photo P502~

Photo機能を使う ……503~510
各部の名称とはたらき ……503
表示部について ……504
画像を表示させる ……505、506
Photoモードを終了する ……506
メディア(SD/USB)を選択する ……507
フォルダを選択し画像を表示させる ……508
操作パネル上のボタンにて画像を戻す／進める ……509
タッチパネル上のボタンにて画像を戻す／進める ……509
画像を回転させる ……510

iPod P512~

iPodについて ……513~515
iPodとは ……513
使用上のご注意 ……513
対応可能なiPod ……514
iPodを本機に接続するには ……515
iPodを本機に接続すると ……515
iPodを使う ……516~533
各部の名称とはたらき ……516
表示部(再生画面)について ……517
iPodを聞く ……518、519
iPodモードを終了する ……519
再生を止める(一時停止) ……519
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める) ……520
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる ……521
早戻し／早送りをする ……522
選曲モードより選択し再生させる 523~528
リピート(繰り返し)再生をする ……529
シャッフル再生をする ……530
iPodビデオモードで映像を再生させる ……531~533

※本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。

その他 P534~

映像の調整のしかた ……535~538
明るさ調整 ……536
コントラスト調整 ……537
色の濃さ調整 ……537
色合い調整 ……537
ディスプレイ選択 ……537
初期値に戻すには ……538
メニューの配色を変える……539
初期値に戻すには ……539
音声はそのままで画面を消すには……540
ボタンの照明について……541
音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する ……542、543
Quick MENU機能について……544
Quick MENUの設定を変えるには…545、546
リアシートモニターについて……547
個人情報の取り扱いについて……548
ルート案内時の注意点 ……549~552
出発地・経由地・目的地の設定について ……553、554
経由地、目的地の登録のポイント…553、554
経由地を使って上手にルートを作る ……554
地図ソフトについて ……555~558
市街地図(5m／12m／25mスケール)の収録エリア ……559~562
細街路(主要市区町村道路)探索エリア …562
*VICS*の概要 ……563、564
*VICS*情報有料放送サービス契約約款 ……565、566
故障かな？と思ったら ……567~581
こんなメッセージが出たときは…582~585
用語説明 ……586~590
放送局一覧 ……591、592
初期設定一覧 ……593、594
別売品(システムアップ)について…595、596
主な仕様……597
取り付け角度について……598
取り付け時の注意点 ……598
地図に表示される記号……599
ステアリングスイッチについて……600
保証／アフターサービスについて……601

索引 P602~

索引 ……603~607

はじめに

安全上のご注意 ……21～24
使用上のご注意 ……25～27
主な特長 ……28～34
データベースについて ……35、36
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について……36
再生できるディスクについて ……37～39
DVDビデオについて ……40
ディスクの取り扱いかた……41
SDカード／USBメモリデバイスについて …42、43
SDカードの取り扱いかた ……44
GPSアンテナの取り付けかた ……45、46
GPS衛星の電波受信と測位 ……47
GPS（Global Positioning System）について……47
受信しにくい場所について……47
受信するまでの時間について……47
自律航法とマップマッチング……48
現在地の誤差について……48
自律航法＆マップマッチング……48
学習度と現在地……48
ディスクを入れる／取り出すには ……49、50
ディスクを取り出すには……50
SDカードを入れる／取り出すには ……51
SDカードを取り出すには ……51
ディスプレイ部の角度を調整する……52
各部の名称とはたらき ……53、54
パソコン連携（いつもNAVI）……55
パソコン連携（いつもNAVI）の流れについて ……55

安全上のご注意(1)

- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保管してください。

取扱説明書および本機の表示では、ご本人や周囲の人々が危害や損害を負うことなく、本機を安全に正しく使用していただくために、いろいろな注意事項を表示しています。

注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、2つに区分しています。

⚠警告： 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠注意： 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容。

また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

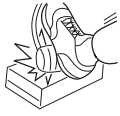
：△は注意を促す記号です。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描いてあります。

：⃠は行為を禁止する記号です。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描いてあるものもあります。

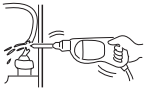
：●は行為を指示する記号です。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な指示）が描いてあります。

⚠警 告

本機を、前方の視界を妨げる場所やハンドル・シフトレバー・ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けないでください。
交通事故やけがの原因となります。



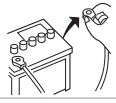
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。
火災や感電の原因となります。



本機を取り付けるときやアースを取るときに、車体のボルトやナットを使用する場合は、ハンドル・ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは絶対に使用しないでください。
これらを使用しますと制動不能や発火、交通事故の原因となります。



取り付け作業前には、必ずバッテリーの⊖端子を外してください。
プラス⊕とマイナス⊖経路のショート事故による感電やけがの原因となります。



コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめ固定してください。
ハンドルやセレクトレバー、シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと交通事故の原因となり危険です。



本機を船舶、航空機などの主航法装置として使用しないでください。
測定誤差が生じたりするため、事故の原因となります。
また、塩害などにより、火災・感電の原因となります。



⚠ 警告

本機は12V車専用です。24Vの車(トラック・バス・寒冷地仕様のディーゼル車など)では使用しないでください。
24V車で使用すると火災や故障などの原因となります。

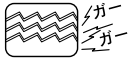


運転者は走行中に、本機の操作やディスクの交換はしないでください。
前方不注意となり交通事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させて行なってください。



運転者がテレビ等を見る場合は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)をかけて使用してください。
テレビ等は安全のため走行中は表示されません。また交通事故の原因となります。

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
思わぬ事故・火災・感電の原因となります。



万一、異物が入った・水や飲みものがかかった・煙が出る・変なにおいがするなど異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
そのままご使用になると思わぬ事故・火災・感電の原因となります。



本機の中に水や異物を入れないでください。
発煙や発火、感電、故障の原因となります。



電源コード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。
コード線の電流容量をオーバーし、火災や感電、故障の原因となります。



フィルムアンテナは取付説明書に指示された場所に貼り付けてください。
視界不良となり事故の原因となることがあります。取付説明書の指示どおりの取り付けをしないと、保安基準の適合として認められないことがあります。また、再貼り付けや汎用の両面テープ等で取り付けないでください。フィルムアンテナがはがれて思わぬ事故の原因となることがあります。

接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。
ショートにより火災や感電、故障の原因となります。

取り付けや配線が終わったら、ブレーキランプ、ライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、全ての電装品が正しく動くことをお確かめください。
正常に動かない状態で使用すると火災や感電、交通事故の原因となります。



本機を分解したり、改造しないでください。
交通事故・火災・感電の原因となります。

分解禁止



ナビゲーションの操作
・運転中の操作は避け、停車して行なってください。
・運転中に画面を注視しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。

コード類の配線は、高温部を避けて行なってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災・感電の原因となります。

安全上のご注意(2)

⚠ 注 意

本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
誤った取り付けや配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。



必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、本機内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



雨が吹き込むところや水のかかるところなど、湿気やほこり・油煙の多いところへの取り付けはさけてください。
本機に水や結露(エアコンホース周辺など)・ほこり・油煙が混入しますと発煙や発火、故障の原因となることがあります。



振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けはさけてください。
外れて事故やけがの原因となることがあります。



本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

取付説明書にしたがって、正しく配線してください。
正規の接続を行なわないと、火災や事故の原因となることがあります。

コードが金属部に触れないように配線してください。
金属部に接触しコードが破損して、火災や感電・故障の原因となることがあります。

コード類は決して途中で切断しないでください。
コード類にはヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

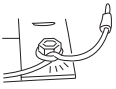
電源用のリード類は、バッテリーに直接接続しないでください。
車の振動や熱でコードの被膜が破れ、ショートして火災や感電の原因となることがあります。

電源コードの接続は、配線作業の最後に行なってください。
ショート事故による感電やけがの原因となることがあります。



左右のスピーカーの㊀側を共通線にしたり、車体にアースしないでください。
ショート事故による感電やけがの原因となることがあります。

車体やねじ部分・シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。



ディスク/SDカード挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電、故障の原因となることがあります。



ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指をはさまないように注意してください。
はさまれてケガの原因となることがあります。



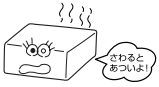
ディスク/SDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。



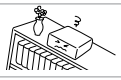
⚠注 意

接触禁止

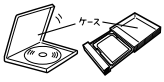
本機の電源が入っているとき、または、電源を切った直後などに、本機裏側の放熱板や、アンプに触れないでください。
高温のため、やけどの原因となることがあります。



本機を車載用として以外は使用しないでください。
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



長時間ご使用にならないときは、ディスク／SDカードを取り出しておいてください。
長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク／SDカードを傷める原因となることがあります。



エンジンを停止したままで長時間ご使用にならないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。



運転中の音量は車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



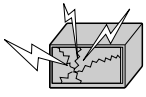
音声が割れる・ひずむなどの異常状態で使用しないでください。
火災の原因となることがあります。

ナビゲーションによるルート案内と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。
ナビゲーションによるルート案内のみにしたがって走行すると、実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

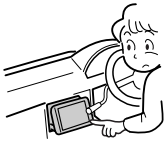


液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。
皮膚の炎症などの原因となることがあります。
- 万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で充分洗浄した後、医師に相談してください。



ディスク／SDカードを出し入れするときは、シフトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。



使用上のご注意(1)

温度について

極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に動作しないことがあります。
常温に戻ると正常に動作します。



結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。このままですとレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。

振動について

本機に振動が加わると、まれに音とびや映像が欠けるなどの症状がみられることがあります。振動が止むと通常の動作に戻ります。



ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 寒いところ(0℃以下)で使用する場合、内部照明装置(バックライト)は暗くなりますが、本体の温度が上がると元に戻ります。
- 液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良、または、ずれがありますと正常に動作しないことがあります。

地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域にくると、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動しつづけると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
- 走行中は、細街路を表示しません。
  ただし、下記の画面では、走行中も細街路を表示します。
  ・車のシフトレバーをリバースに入れているときの現在地表示画面
  ・細街路を走行しているときの現在地表示画面
  ※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。
  ※細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

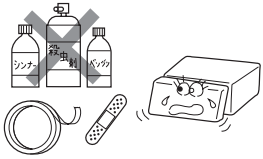
車のエンジン停止中でのご使用について

- 車のエンジン停止中に本機をご使用になりますと、車のバッテリーがあがる恐れがあります。
  エンジンを停止したままで長時間ご使用にならないでください。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、
  電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。



お手入れについて

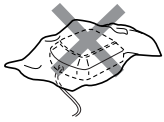
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。
  清掃するときは、電源を切り柔らかい布で乾拭きしてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。)
  ぬれたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- キャビネットやパネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、表面が侵されることがありますので使用しないでください。またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。



GPSアンテナについて



- GPSアンテナに色などを塗らないでください。
  受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。



- GPSアンテナの上に物を置いたり、布等をかぶせたりしないでください。
  GPS衛星の電波を受信できなくなります。
- GPSアンテナを本機の近くに配置しないでください。
  受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナをダッシュボード内に取り付けている場合は、取り付け位置上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。

電波式キーレスエントリーの動作について

電波式キーレスエントリーが装着されている車両では、電波式キーレスエントリーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 添付の保証書は、本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バス・商用車など)に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、または故障・修理の時などに、本機に登録されていた情報(登録地点など)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。

使用上のご注意(2)

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機に地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

以下の点にご注意ください。

■本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する、米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの認可が必要であり、ロヴィコーポレーション認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

■本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

■ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■メールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。

■各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■JBlendは株式会社アプリックスの登録商標です。

■本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

■本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行なったり、それに関与してはいけません。

■本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

主な特長(1)

ナビゲーション

タッチパネル

画面をタッチすることでナビゲーションを操作することができます。

メンテナンス機能

日付・距離を設定すると、車のオイルや消耗品の交換、あるいは記念日などがきたことをナビゲーションの画面と音でお知らせします。
「メンテナンス情報を設定する」259～262ページ

Quick MENU機能

よく使う機能をQuick MENUに追加することができます。表示する順番も選べ、使いやすいQuick MENUに設定できます。
「Quick MENUの設定を変えるには」545、546ページ

ナビゲーションとオーディオのモード同時使用

ナビゲーション使用時に音楽や、地上デジタルテレビ放送、DVDビデオをお楽しみ頂くことができます。
「音声はそのままでナビゲーション画面を表示する」542、543ページ

目的地を選ぶだけで行き方を表示

目的地を指定すると、探索されたルートを表示して案内します。目的地は地図上で直接指定したり、施設の名前や種類から絞り込んで探すこともできます。
「現在地から目的地までのルートを探索する場合」79ページ
また、あらかじめ自宅を登録しておくと、現在地から自宅までのルートを表示して案内します。
「自宅を登録する」76～78ページ、
「現在地から自宅までのルートを探索する場合」80ページ

住所や電話番号から目的地を検索

電話番号または住所を入力して、本ソフトに収録されているデータから目的地を探すことができます。電話番号は、NTTタウンページの情報の一部(約1,000万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報 約3,000万件)が収録されています。住所は、約3,500万件収録されています。

※タウンページは東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社の登録商標です。
※個人宅の場合は、電話番号登録者の名字の入力が必要です。
「電話番号で地点を探す」90、91ページ／「住所で地点を探す」92～94ページ

パソコン連携(いつもNAVI)

パソコンの指定Webサイトを使用して、SDカードに保存した地点を確認したり、パソコンから保存したルートを本機で再探索することができます。またSDカードに保存した地点を本機に登録することもできます。
「パソコン連携(いつもANVI)」55ページ
「SDカードで地点を探す」112～114ページ
「SDカードからルート探索をする」151～153ページ
「SDカードから地点を登録する」244～246ページ

主な特長(2)

ナビゲーション

ハイブリッド検索

施設50音で「50音順」「距離順」に並び替えたり、「地域」「ジャンル」のキーワードで施設を絞り込んで探すことができます。

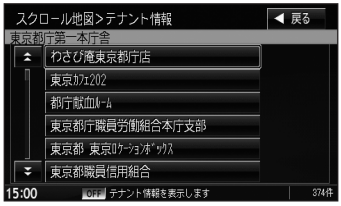
「施設の名前で地点を探す[50音]」97～100ページ



ビルの中の店舗を探す(テナント情報)

市街地図(🔍5m／🔍12m／🔍25m)から、ビルの中のテナント情報を確認することができます。
施設(物件)にカーソルを合わせると、地図画面下にビル名が表示されます。**設定**ボタンをタッチして、設定メニューを表示させ、**テナント情報**ボタンをタッチするとテナント情報を見ることができます。

「Quick機能について」71、72ページ



※ ● データが収録されていない施設(物件)はカーソルを合わせても名称は表示されません。
● ビル名のみ収録されている場合はテナント詳細情報を見ることはできません。

目的地到着までのルートを表示してくれる

目的地に着くまでルート表示(細街路探索)

細街路(主要市区町村道路)を含めたルートの探索を行ないます。探索されたルートは、細街路では黄色で表示されます。

的確でわかりやすく、音声で案内(音声案内)

交差点の名称、高速道路の出入口、路線名、JCT(ジャンクション)、渋滞／規制情報などを音声で案内します。

高速道路のジャンクションを拡大表示する(JCT)

高速道路の主要分岐ポイントや、JCT、ランプの出口に近づくと、立体的な拡大図を表示してルートを案内します。

「ルート案内画面の設定を変える」213ページ



ナビゲーション

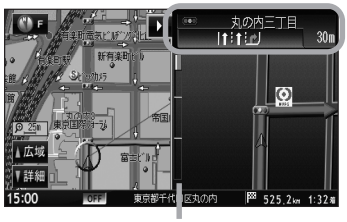
行き方の候補を5種類表示（複数ルート探索）

目的地までのルートを、違った条件で探索して表示します。
自動（推奨のルートを）探索する場合、有料道路を優先する場合、一般道路を優先する場合、距離を優先する場合、道幅を優先する場合の5種類の条件で一度に探索します。
「1ルート探索・複数ルート探索をする」126～130ページ



進行方向の車線区分を案内する（レーンガイド）

案内する交差点に近づいたとき、交差点の拡大図を表示し、曲がる方向のレーンを矢印で表示させることができます。
「ルート案内画面の設定を変える」214ページ



※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

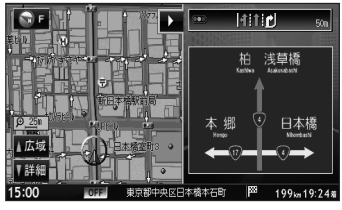
交差点の名称を表示（交差点情報）

走行中に次の交差点で曲がる方向のレーンを橙色で表示し、交差点情報を表示させることができます。
「ルート案内画面の設定を変える」210ページ



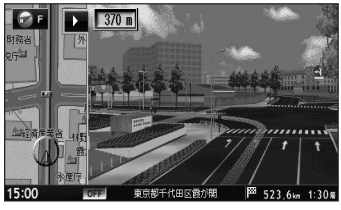
案内標識を表示（方面看板）

国道をはじめとした一般道の行き先や方向を示す案内標識（看板）を表示させることができます。
（全国の主要交差点）
「ルート案内画面の設定を変える」216ページ
※すべての交差点において収録されているわけではありません。



リアル3D交差点を表示（シティリアル交差点拡大）

ルート案内時、交差点を立体的（リアルデザイン）に案内します。（札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市の一部交差点）
「ルート案内画面の設定を変える」215ページ
※すべての交差点において収録されているわけではありません。



主な特長(3)

ナビゲーション

詳しい交通情報を教えてくれる

VICS対応

文字、図形、地図表示で渋滞情報サービスを受けることができます。

別売のVICSビーコンユニットを接続すれば、ビーコンのVICS情報を見ることができます。

「VICS」167～189ページ　「VICS(ビーコン)」190～194ページ

統計交通情報

過去のVICS渋滞統計データを考慮したルート探索が行なえます。

一方通行規制箇所がわかる

一方通行表示

縮尺スケールが5m／12m／25m(市街地図)のとき、一方通行の規制を道路上に表示します。

町並みをリアルに表示してくれる

遠くまで見渡せる視点で立体的に表示

上空より進行方向前方を見下ろす角度で、現在位置周辺を表示(3Dビュー)します。

「地図表示(方位)を切り替える」64、65ページ

住所エリアを色分けした地図表示

都道府県や市区町村などの境ごとに色分けして表示します。

自律航法*1＆マップマッチング*2

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

*1：本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

*2：測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

エコドライブ

GPSの信号や車速情報をもとに、運転中の加速、減速、速度、アイドリング時間を計算し、「急加速」、「急減速」、「長すぎるアイドリング」などを検知するとチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。また、計算データを5段階評価したり、グラフで表示することもできます。

「エコドライブ情報の設定をする」157～161ページ

ワンセグ／DVDビデオ

ワンセグ

携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。
※ワンセグは、データ放送および緊急警報放送の受信には対応しておりません。

MUSIC STOCKER機能

大容量のフラッシュメモリードライブを搭載し、音楽CDを再生と同時に録音できます。（自動録音設定時）Gracenoteデータベース収録によりタイトル情報を自動付加できます。編集機能によりタイトル名の変更も可能です。お気に入り登録によりあなただけのプライベートアルバムも作成できます。また、録音したCDは自動で（アルバム名／アーティスト名／ジャンル／ミュージックエスコート）選曲モードに振り分けられるため、絞り込んだ検索ができ便利です。

追っかけ録音&マッハリッピング機能

本機のMUSIC STOCKERへ音楽CDを録音するとき、再生させながら録音する追っかけ録音と無音にて最大12倍速で録音するマッハリッピングがあります。マッハリッピングにより録音時間の短縮ができ便利です。

CPRM対応

本機では、DVD-R／RW、DVD-R DLのビデオレコーディングモード（VRモード）で録画されたディスクを再生できます。さらに、デジタル放送など録画されたCPRM対応のディスクが再生できます。

マルチ音声機能

お好きな音声言語に切り替えて、お楽しみください。
※DVDビデオに収録されていない言語には切り替わりません。
「音声言語／字幕言語を切り替える」451ページ

マルチ字幕機能

お好きな字幕言語に切り替えて、お楽しみください。
※DVDビデオに収録されていない言語には切り替わりません。
「音声言語／字幕言語を切り替える」451ページ

マルチアングル機能

複数のアングルで収録されているDVDビデオの場合、好きなアングルに切り替えることができます。
「アングル（角度）を切り替える」454ページ

主な特長(4)

CD／SD／ラジオ／その他

録音

音楽CDを再生中に本機のMUSIC STOCKERへ録音することができます。
「音楽CDを録音する」295～299ページ

演奏時間表示

トラック経過時間を表示することができます。

トラックリスト表示

トラックリスト画面を表示し、簡単な操作で聞きたい曲を再生することができます。

リピート機能

お気に入りの曲を、繰り返し聞くことができます。

ランダム(順序不同演奏)機能

演奏中のディスクのすべての曲を順序不同で演奏します。

SD再生

パソコンからSDカードに入れた音楽データを再生し、聞くことができます。
「SD再生(SDカード)」397～411ページ

エリア選局

ナビゲーション画面の自車マークのあるエリアで放送されている放送局を呼び出すことができます。

手動選局

FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ選局します。

自動選局

放送局を自動的に選局します。

プリセット機能

FM12局、AM12局をプリセットできます。390ページ

オプションボタン選択機能

本機の[OPT]ボタン(オプション)によく使う機能を設定することができます。
「オプションボタンの設定をする」257、258ページ

バックカメラ／サイドカメラ／フロントカメラ用端子付

別売のバックカメラ／サイドカメラ／フロントカメラを接続すれば、それぞれのカメラ映像を表示することができます。
「バックカメラ映像を表示するには」264、265ページ
「フロントカメラ／サイドカメラ映像を表示するには」266、267ページ

その他

ETC端子付

- 別売のETCユニットを接続するとETCユニットの出力データをナビゲーション画面に表示することができます。
- 接続可能なETCユニットは外部機器接続用端子付のモデルです。
  詳しくは販売店にご相談ください。

リアシートモニター用映像出力端子付

コンポジット入力対応モニターに接続することができます。（映像のみ）☞547ページ
詳しくは販売店にご相談ください。

ビデオ入力端子付

付属のRCAケーブルと市販のAVコードを使用して市販のビデオデッキ／ビデオカメラを接続して本機で映像・音声をお楽しみいただけます。
市販の音声ケーブルを使用して市販の携帯用オーディオ機器の音声を聞くことができます。

iPod端子付

別売のiPod接続アダプターを使用して、本機で選曲や再生などのiPodの操作をすることができます。

ビーコン端子付

別売のVICSビーコンユニットを接続すると、より詳細な渋滞情報などビーコンの交通情報を取得することができます。
☞190～194ページ
※変更等ある場合がありますので、接続および操作可能なものについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

USB端子付

市販のiPodに付属しているiPodコード（USB接続用）を使用してUSBモードでiPodの音楽を聞くこともできます。

広視野角液晶ディスプレイ

広視野角液晶ディスプレイを使用しているので、どの角度から見ても美しい画面です。

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMUSIC STOCKERに録音した場合、フラッシュメモリーデバイスに収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

■Gracenoteデータベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信での業界標準です。
詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧下さい。

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：Copyright©2000-2010 Gracenote. Gracenote Software：Copyright©2000-2010 Gracenote.この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc.から提供されました。

GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください
:www.gracenote.com/corporate



アドバイス

「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

Gracenoteデータベースのご利用について

■この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」)のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenoteサーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーをご覧ください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

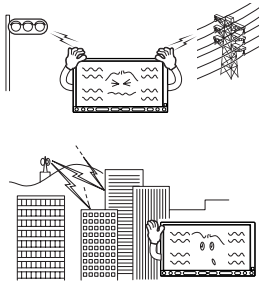
Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様による Gracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2010

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

■バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルやスピーカー仕様などの設定も全て消去されます。

■ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。



- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
- トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 一部の地域において、ラジオ、テレビ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
- 本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
- 固定受信（ハイビジョン放送等）や携帯受信（ワンセグ）などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

再生できるディスクについて(1)

DVD VIDEO	DVD+R DVD-R	DVD+RW DVD-RW	DVD+R DL DVD-R DL
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	CD-R	CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

※DVD VIDEO はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。

■下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

- CD-G
- CD-ROM
- CD-EXTRA
- DVD-ROM

■下記のディスクは再生できません。

- フォトCD
- VIDEO CD
- SACD
- SVCD
- Blu-ray
- HD DVD
- DVD-RAM
- DVDオーディオ

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

■CD-R／CD-RW／DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RW／DVD+R DL／DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
- ディスクと本機の相性が悪い場合
- 記録に使用したレコーダの種類
- CD-R／CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3／WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。
- 市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクはご使用にならないでください。
- CDレコーダー(CD-R／RWドライブ)で記録したCD-R／RWは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
- CD-R／RWは、通常の音楽CDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- ビデオCDは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3につきましては「MP3／WMAについて」325～330ページをご覧ください。

Videoモードのファイナライズについて

DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RW／DVD+R DL／DVD-R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー（本機など）で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください

■DVDレコーダで作成したディスクについて

- DVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード（VRモード）で記録されたディスクを再生できます。☞432、455、456ページ
- デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード（VRモード）で記録されたものに限り再生が可能です。
  ☞「●DVD再生ディスク対応一覧表」432ページ

※DVD-R、DVD-R DLに記録する場合ファイナライズが必要です。
DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。

※タイトル（映像）の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

■8cmディスクについて

8cmディスクは対応しておりません。

※アダプターを使用しての再生もできません。アダプターを使用しますとディスクを取り出せなくなる恐れがあり、故障の原因になります。

■dts-CD（dts 5.1chサラウンドトラックが収録されているCD）について

CDモードでは再生できます。MUSIC STOCKERモードでは正常に録音／再生できません。

■コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）について

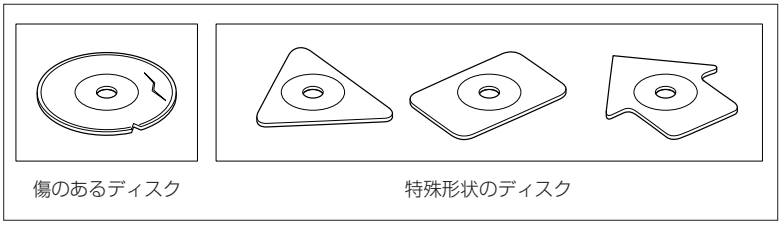
ディスクレーベル面（印刷面）に［CDロゴ］ COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の発売元にお問い合わせください。また、ご使用になる前にディスクに付属されている説明書などをお読みください。

再生できるディスクについて(2)

■特殊ディスクについて

特殊形状のディスクは使用にならないでください。
三角形や四角形、矢印形など特殊形状のディスクや傷のついてディスクは再生できません。
本機に使用しますと故障の原因になります。



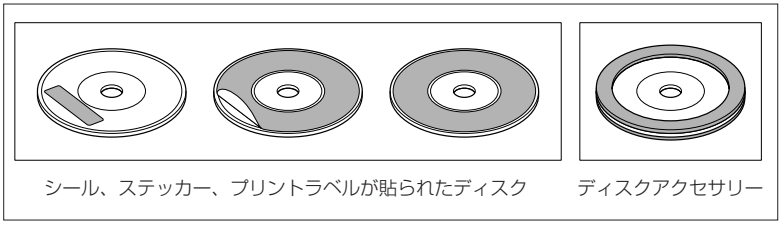
傷のあるディスク　　特殊形状のディスク

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

■ディスクのアクセサリーについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー(ディスクリング、保護シール)はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクがそり、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



シール、ステッカー、プリントラベルが貼られたディスク　　ディスクアクセサリー

DVDビデオについて



本機のリージョン番号（地域番号）は「2」です。

〔例〕





DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」（2を含むもの）または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。

アドバイス

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」（2を含むもの）または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の3つの技術を使用しています。

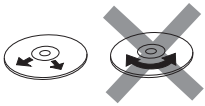
- **マクロビジョン**
  本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの許諾が必要であり、ロヴィコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- **ドルビーデジタル**
  本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- dts



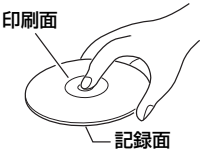
Manufactured under license under U.S. Patent #s: 5,451,942 ; 5,956,674 ; 5,974,380 ; 5,978,762 ; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS 2.0 Channel and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

ディスクの取り扱いかた

- 定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



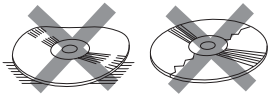
- ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。



- 印刷面や記録面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズを付けないようにしてください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障する原因となることがあります。



- ディスクは使用中高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きくそったディスクは使用しないでください。



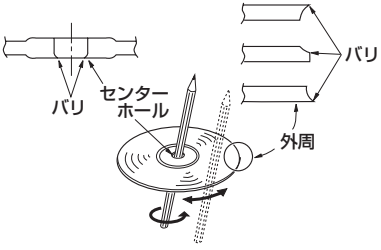
- そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。



- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



- 新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。
  これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。
  この場合には右図のように、あらかじめボールペン等でバリを取り除いてからお使いください。



- ディスクを取り出した直後は、ディスク自体が熱くなることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。
  ※本体の読み取り性能およびディスクへの影響はございません。



SDカード／USBメモリデバイスについて(1)

※本書では“SDメモリーカード・SDHCメモリーカード”のことを“SDカード”と記載しております。

■SDロゴは商標です。

■SDHCロゴは商標です。

■お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録された“SDカード／USBメモリデバイス”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■本機にはSDカード、USBメモリデバイスは付属しておりません。
※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

■32GBまでの容量の“SDカード／USBメモリデバイス”に対応しています。

■本機はSDXCカードに対応していません。

■USB接続のカードリーダーには対応していません。
※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。

■本機でお使いいただけるSDカードは以下のとおりです。
- SDカード
- SDHCカード
- miniSDカード*
- microSDカード*　　*印：専用アダプターが必要です。
- miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM(デジタル著作権管理)で保護されたデータの再生はできません。

■フォーマット(初期化)について
- SDカードのフォーマット(初期化)は、本機で行なってください。
  パソコンでのフォーマット(初期化)はSDカードの性能が十分に出せなくなる場合や正しく動作しない場合があります。また、SDHCメモリーカード以外のSDカードを本機以外の機器からFAT32でフォーマット(初期化)すると、本機では認識できず、フォーマット(初期化)もできなくなる場合があります。その場合は、パソコンで一度FAT16でフォーマット(初期化)した後、本機でフォーマット(初期化)をお願いします。
  ☞「データを初期化(消去)する」279、280ページ
  ※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。
- USBメモリデバイスのフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。

■“miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

■miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。

■microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。

SDカード／USBメモリデバイスについて(2)

■SDカード挿入口やUSB接続端子に異物を入れないでください。SDカードやUSBメモリデバイスを破損する原因になります。

■SDカード／USBメモリデバイスへのデータ書込中／読み込み中／MUSIC STOCKERにデータ転送中にSDカード／USBメモリデバイスを抜かないでください。また、車のキースイッチを変更しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できません。

■静電気や電気的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードやUSBメモリデバイスを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。

■本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。
画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

■本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。
- 地点編集 「SDカードで地点を探す」112～114ページ
「SDカードからルート探索をする」151～153ページ
「SDカードから地点を登録する」244～246ページ
- Gracenoteデータベースのアップデート 「データ管理」300～310ページ
- 音楽再生 395～411ページ
- 画像再生 「Photo機能を使う」503～510ページ

■本機はUSBメモリデバイスを使用して下記機能を使用することができます。
- 音楽再生 413～429ページ
- Gracenoteデータベースのアップデート 「データ管理」300～310ページ

■SDカード、USBメモリデバイス内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。

■長時間ご使用になったあと、SDカードやUSBメモリデバイスが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。

■SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。

■SDカード、USBメモリデバイスが不良の場合、正常に動作しない場合があります。

■SDカードの最適化は行なわないでください。

■読み込み中にSDカードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが破壊されるおそれがあります。

■SDカード内のデータは圧縮しないでください。

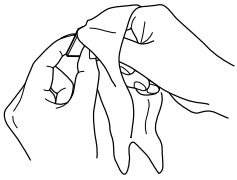
■操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。

■SDカードへアクセスしている状態では、操作パネルを開けないでください。

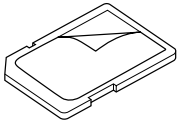
■SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

SDカードの取り扱いかた

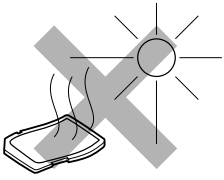
- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



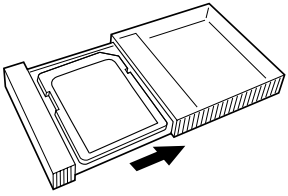
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってある“SDカード”は使用しないでください。



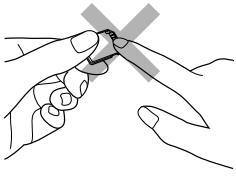
- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。“SDカード”が使用できなくなる場合があります。



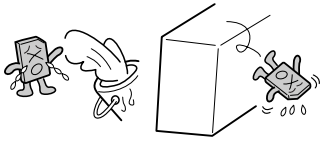
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどはしないでください。

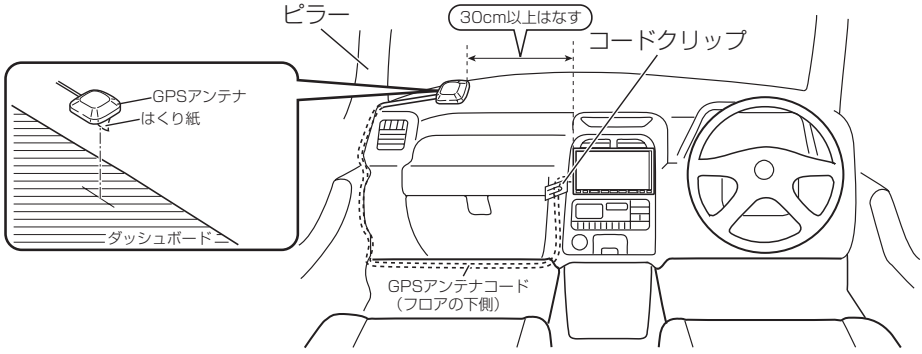


GPSアンテナの取り付けかた

車のボディによって電波をさえぎらない場所（車外またはダッシュボード最前部）に水平に取り付けてください。
※しっかりと取り付けるために、必ず車体の平らな面に取り付けてください。

取付け例

- **必要に応じてコードクリップで固定します。**
- **GPSアンテナをダッシュボードの平らな部分に水平に取り付けます。**
  ※ピラーやワイパーの影にかくれないようにしてください。



⚠警告 エアバッグ（SRS デュアルエアバッグ、SRS サイドエアバッグ、SRS カーテンエアバッグ等メーカーにより名称は異なる。）が装着されている車に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には取り付け、または配線しないでください。（取り付け位置の安全を考慮し、販売店にご相談の上、取り付け位置を決めてください。）

ご注意

■ GPSアンテナおよびコードは、テレビやラジオのアンテナおよびコードから離してください。（テレビやラジオの受信妨害の原因となります。）

■ 防水パッキン、コードクリップ、GPSアンテナを貼り付けるときは、貼り付ける場所をきれいにふいてください。（汚れ等が残っていると接着力が低下します。）

■ 車体等によりアンテナコードがはさみ込まれないようにご注意ください。

■ ナビゲーション本体と外部アンテナの干渉を防ぐため、30cm以上離してのご使用をおすすめします。

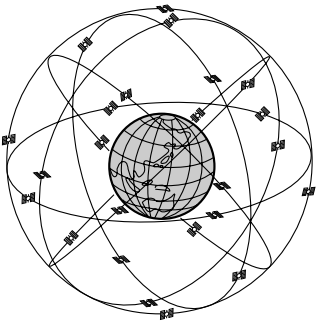
■ ダッシュボード最前部に取り付ける場合、一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。また、お車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。
また、車内でご使用の電子機器（アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステム等）の妨害により、受信感度が悪化したり受信しなくなることがあります。

■ ピラーやワイパーのすぐ近くにアンテナを取り付けると、電波がさえぎられ受信感度が落ちることがあります。

■ アンテナおよびコードの分解、改造などをしないでください。受信感度が低下したり、受信しなくなることがあります。

GPS衛星の電波受信と測位

GPS(Global Positioning System)について



地球の廻り高度約21,000kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。

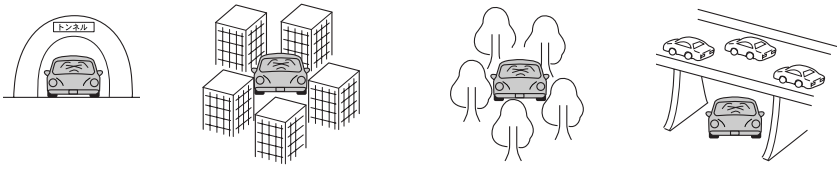
※ 本機では高度は表示しません。

受信しにくい場所について

GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。
GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。
受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところです。



- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など



※ 同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器（アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステム等）の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルム等により電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行なってください。
GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上の方位表示の背景色が黄色になり、測位した現在地を表示します。
本機を取付け後または車のバッテリー等交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。（これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。**現在地を表示するまでは移動しないでください。**）通常は電源を入れてから数分で表示します。

自律航法とマップマッチング

現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30m～200m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

自律航法*1＆マップマッチング*2

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

*1：本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

*2：測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの通路上に表示させる機能です。

学習度と現在地

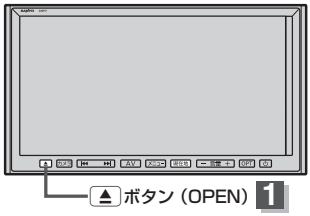
本機はGPS衛星電波による測位のほか、3次元のセンサーと車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。
ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。
これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

「距離」「方位（左右方向の回転）」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行に依りますから、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にずれが発生する場合があることをご承知おきください。

ディスクを入れる／取り出すには

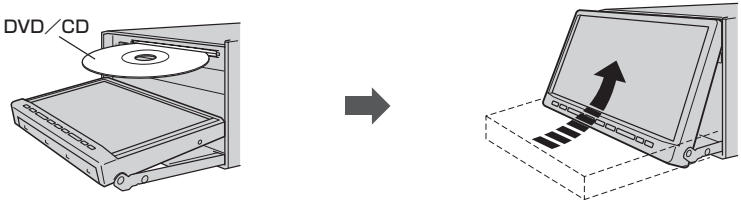
1 ▲ボタン（OPEN）を押す。

：ディスプレイ部が開き、
ディスク挿入口があらわれます。



2 ディスク挿入口にDVD／CDを挿入する。

：自動でディスプレイ部が閉じます。



※DVD／CDは印刷面を上にして挿入してください。

ディスクを取り出すには

1. 手順 1 (49ページ)にしたがって、ディスプレイ部を開き、▲ボタン(DVD／CDイジェクト)を押してDVD／CDを取り出す。
2. ▲ボタン(OPEN)を押して、ディスプレイ部を閉じる。

アドバイス

- ディスクを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- ディスクを挿入すると自動でディスクの再生がはじまります。



ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。

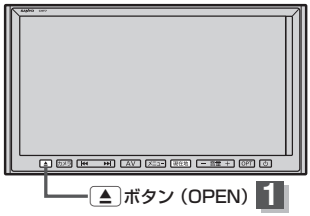
⚠注意

- ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当ったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスク挿入途中に▲ボタン(OPEN)を押さないでください。ディスクがディスプレイ部にはさまれ、ディスクの破損またはディスプレイの故障の原因になります。
- ディスクを出し入れするときには、安全のため、シフトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。
- ディスプレイ部が開いた状態では、パネル部のボタンや画面のタッチパネルのボタンは操作できません。

SDカードを入れる／取り出すには

1 ▲ボタン(OPEN)を押す。

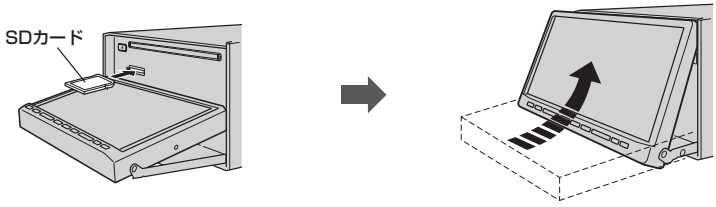
：ディスプレイ部が開きます。



2 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

※SDカードのラベル部分を上にして⬆の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

：自動でディスプレイ部分が閉じます。



SDカードを取り出すには

1. 上記手順 **1** にしたがって、ディスプレイ部を開き、SDカードを1回押してから取り出す。

2. ▲ボタン(OPEN)を押して、ディスプレイ部を閉じる。



ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。

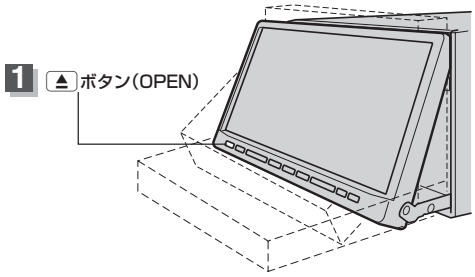
⚠注意

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当ったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- SDカード挿入途中に▲ボタン(OPEN)を押さないでください。SDカードがディスプレイ部にはさまれ、SDカードの破損またはディスプレイの故障の原因になります。
- SDカードを出し入れするときには、安全のため、シフトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。
- 長時間ご使用になった後、SDカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDカードには寿命があるため、長期間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターに装着してご使用ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなったり、機器の故障の原因となります。

ディスプレイ部の角度を調整する

1 **▲ ボタン（OPEN）を約0.7秒以上押す。**

：ディスプレイ部が斜め上に1段階傾きます。
ボタンを押し続けるごとに1段階ずつ傾きます。（全5段階）



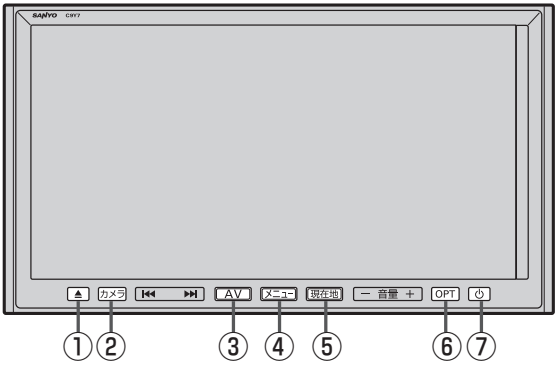
アドバイス

角度調整をしても車のキースイッチをOFFにすると、ディスプレイ部は自動で閉じ（収納される）ますが、次回、車のキースイッチを変更すると、前回角度調整した段階でディスプレイ部が開きます。

角度調整をするときは手や指などをはさまないよう注意してください。
けがの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。

各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタン(操作説明では“○○ボタンを押す”と説明しています。)と、画面に表示されるタッチボタン(“○○ボタンをタッチする”と説明しています。)を直接タッチして操作します。



① ▲ボタン(OPEN)(49～51ページ)
- ディスク／SDカードを出し入れするときに押します。
- 画面の角度を調整するときに押し続けます。(52ページ)

② カメラボタン
カメラ映像に切り替えます。(266、267ページ)

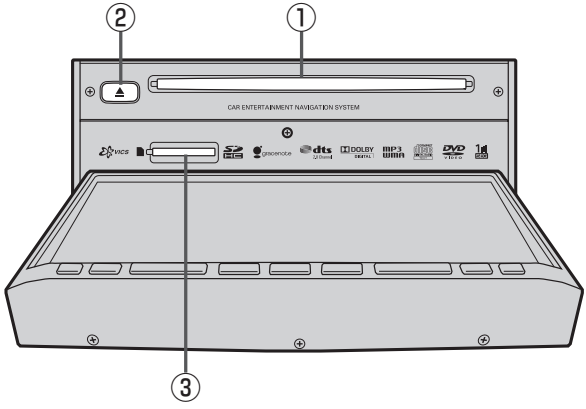
③ AVボタン
短押しするとAV SOURCE画面、または選択中のオーディオ画面を表示します。
※パワーアンテナを上げ下げするときに押し続けます。

④ メニューボタン
- メニュー画面を表示します。(69、70ページ)
- 押し続けると画面調整画面が表示されます。(535～538ページ)

⑤ 現在地ボタン
現在地の地図を表示します。(63ページ)

⑥ OPTボタン(オプション)(257、258ページ)
オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。

⑦ ⏻ボタン(AV電源)
- AV電源をON／OFFします。
- 2秒以上押して画面を消します。



① **ディスク挿入口**（49、50ページ）

② **▲ボタン（DVD／CDイジェクト）**
（49ページ）

③ **SDカード挿入口**（51ページ）

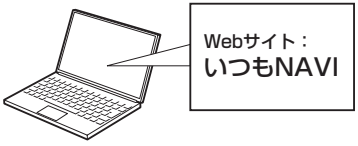
パソコン連携(いつもNAVI)

パソコンで指定のWebサイト(いつもNAVI)を利用して、地点情報やルート探索した結果をSDカードに保存すると、本機で確認またはルートを再探索したり、本機に地点を保存することができます。いつもNAVIを利用するにはユーザー登録を行なう必要があります。ユーザー登録の方法は、別紙の「いつもNAVI」をご覧ください。

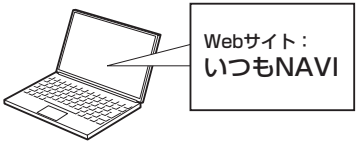
パソコン連携(いつもNAVI)の流れについて

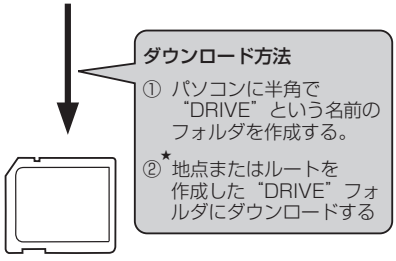
※番号にしたがって操作してください。

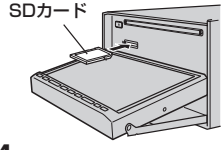
1. 指定のWebサイトにアクセスし、ユーザー登録する。



2★. Webサイト上で地点を選択したりルート探索をする。







3. パソコンのSDカードリーダーにSDカードを差し込み、“DRIVE”フォルダごとSDカードに移動（ドラッグ アンド ドロップ）する。

4. SDカードを本機に差し込み、情報を確認または保存する。

「SDカードを入れる／取り出すには」51ページ
「SDカードで地点を探す」112～114ページ
「SDカードからルート探索をする」151～153ページ
「SDカードから地点を登録する」244～246ページ

アドバイス

- SDカードを使用する前に「SDカード／USBメモリデバイスについて」42、43ページをご覧ください。
- SDカードに保存しているルートを本機で確認する場合、本機に設定している探索条件をもとにルート探索を行なうため、いつもNAVI上でのルート探索結果と異なります。
  「SDカードからルート探索をする」151～153ページ
  「ルート探索条件の設定をする」247～250ページ
- いつもNAVIで出発地を本機と異なる位置に変更し、ルートをSDカードに保存しても本機でルート探索する場合は、出発地が現在地となります。(いつもNAVIで指定した出発地にはなりません。)
- ★印：詳しい操作方法につきましては、WebサイトいつもNAVIの「ヘルプ」をご覧ください。

ここだけ読んでも使えます

地図を表示するには ……57、58
現在地表示について……58
地図画面の見かた ……59、60
代表的な画面の表示内容について ……59、60
地図を拡大／縮小する……61
地図の縮尺レベル……62
現在地を表示するには……63
表示された現在地が実際の現在地とは違う場合は……63
地図表示（方位）を切り替える ……64、65
見たい地域を探す ……66～68
地図を動かす（地図スクロール） ……66、67
スクロールの微調整をする……68
メニュー項目一覧 ……69、70
Quick機能について ……71、72
現在地表示時に Quick ボタンをタッチした場合……71
地図スクロール時に 設定 ボタンをタッチした場合…72
メニューの基本操作……73
地点を登録する ……74、75
登録地点について……75
自宅を登録する ……76～78
クイックルート探索をする ……79、80
現在地から目的地までのルートを探索する場合……79
現在地から自宅までのルートを探索する場合……80
右画面に地図／情報を表示する ……81～84
音声案内について ……85、86

地図を表示するには

本書では、本体のボタンと画面のタッチボタンを使って操作説明をしています。使用するボタンは、白色表示しています。

1 車のキースイッチを「ACC」または「ON」に入れる。

：メッセージ画面が表示され、しばらくすると現在地の地図画面が表示されます。

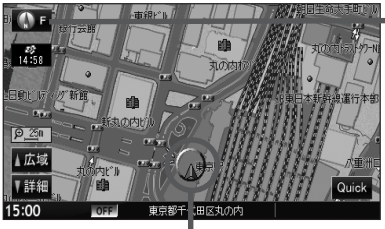
起動初期画面



測位計算中

「あれ？画面がちがう…」
起動初期画面を表示した後、前回車のキースイッチを切ったときに表示していたモードの画面になります。
ナビゲーション画面にするには、
現在地 ボタンを押してください。

現在地表示画面



GPS受信表示
黄色：GPS衛星電波の受信状態が良い。
（GPSを使った測位ができる。）
灰色：GPS衛星電波の受信状態が悪い。
（GPSを使った測位ができない。）
※測位計算中も、灰色のままです。

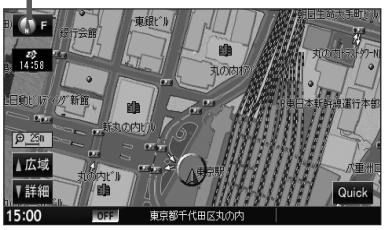
自車マーク

アドバイス

- 画面の明るさを調整することができます。「映像の調整のしかた」535～538ページをご覧ください。
- 現在地表示画面の見かたについては、「現在地を表示するには」63ページをご覧ください。
- GPS衛星電波が受信できない場合は、「GPS衛星の電波受信と測位」47ページをご覧ください。

現在地表示について

GPS受信表示



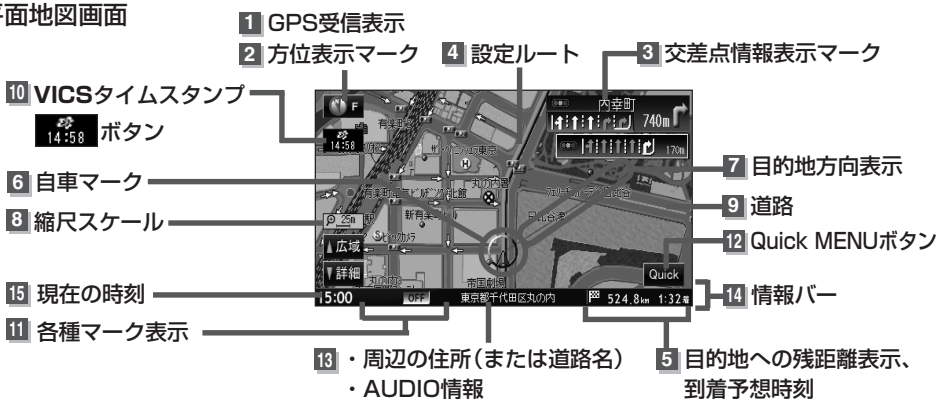
- 本機では、GPS衛星からの電波を付属のGPSアンテナで受信することによって、現在地を測位します。
  実際の現在地を表示してルート案内をするためには、必ずGPSアンテナを接続し、GPS衛星の電波を受信してください。
  「GPS衛星の電波受信と測位」47ページ
  「現在地を表示するには」63ページ
- 方位表示の背景の色で、現在の測位の状態がわかります。この表示が灰色の場合は、「GPS衛星の電波受信と測位」(47ページ)にしたがって、電波を受信してください。
- **お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、東京駅付近を表示します。**

地図画面の見かた

代表的な画面の表示内容について

ナビゲーションシステムでは、いろいろな情報を地図画面に表示しています。

平面地図画面



1 **GPS受信表示**

現在地の測位の状態を方位表示の背景の色で示します。

黄色：現在地の測位ができている。

灰色：現在地の測位ができていない、または測位計算中。

57ページ

アドバイス

測位に時間がかかる場合があり、電源を入れてから約3～4分間はGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

2 **方位表示マーク**

の先端の方向が北を示します。

64、65ページ

3 **交差点情報表示**

交差点の名称と曲がる方向を橙色で表示します。210ページ

4 **設定ルート**

ルート探索を行なうと、探索されたルート（おすすめルート）が太い緑色またはピンク色（設定による 「■ ルート色の表示を選ぶ場合 」210ページ）で表示されます。探索されたルート上の有料道路は青色で表示されます。

5 **524.8km 1:32着 目的地への到着予想時刻、残距離表示**

ルート案内時に、目的地への到着予想時刻と残距離を示します。

6 **自車マーク**

自分の車の位置（現在地）と進行方向を示します。

7 **目的地方向表示**

ルート設定時、赤い直線で目的地の方向を示します。

「■ 目的地までの方位を直線で表示／丸印で表示する場合 」211ページ

8 **25m 縮尺スケール**

地図のスケールを示します。61ページ

9 **道路**

道路の種類を色で区別しています。

青　色：高速道路、有料道路

赤　色：国道

緑　色：主要地方道、県道

灰色（太線）：一般道、細街路（経路案内対象）

灰色（細線）：細街路（経路案内対象外）

青色（破線）：フェリー航路

※灰色（破線）はルート探索できません。

※建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。

※市街地図の場合、高速道路、有料道路を以外は上記と異なる色で表示されます。

10 14:58 **VICSタイムスタンプ**

- VICS情報が提供された時刻を示します。
  ☞168ページ
- 渋滞／規制地点を表示します。
  ☞154ページ

11 各種マーク表示

(ECO ／ OFF ／ CD ／ DVD ／
Radio ／ SD ／ USB ／ VTR ／
MST ／ ワンセグ ／ Photo ／ iPod)

ECO ：エコドライブを開始したときに情報バーに表示されます。
☞157、158ページ

OFF ：AVモードがOFFのときに情報バーに表示されます。

CD ／ DVD ／ Radio ／ SD ／ USB
／ VTR ／ MST ／ ワンセグ ／ Photo
／ iPod

:NAVIモード中にAVモードがONのときに情報バーに表示されます。

ETC ：本機に別売のETC車載器（ナビ連動タイプ）を接続しているときに情報バーに表示されます。

12 Quick MENUボタン
☞545、546ページ

13 周辺の住所（または道路名）／AUDIO情報
☞206～208ページ

14 情報バー☞206～208ページ

15 現在の時刻

アドバイス

- **3**（59ページ）の交差点情報表示は、お客様の設定によっては表示されません。☞214ページ
- **6**（59ページ）の自車マークは設定により変更できます。☞222ページ

3D地図画面



1 立体アイコン
特定の建物を立体的に示します。

2 自車マーク
走行中自分の車の位置（現在地）と進行方向を示します。

アドバイス

上記 **2** の自車マークは設定により変更できます。☞222ページ

地図を拡大／縮小する

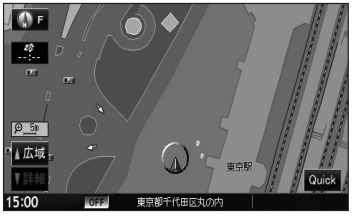
1 **地図画面で、▲広域／▼詳細ボタンをタッチする。**

：▲広域／▼詳細ボタンをタッチするたびに、スケールが変わります。

※右画面に地図を表示している場合、右画面の地図を拡大／縮小するには、右画面の縮尺スケールをタッチして、同じように操作してください。



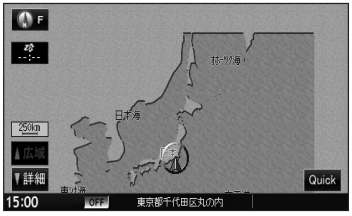
拡大（詳細地図）



▼詳細ボタンをタッチ

▲広域ボタンをタッチ

縮小（広域地図）



アドバイス

- 指定の縮尺の地図がないときは、“指定スケールの地図がありません。より広域の地図を表示します。”と表示し、選ばれた縮尺より広域な地図を表示します。
- 地図をフリーズームさせたいときは、▲広域／▼詳細ボタンをタッチし続けます。お好みの縮尺レベルになったら止めてください。止めたところの縮尺レベルで止まります。縮尺レベルについては「地図の縮尺レベル」(62ページ)をご覧ください。
- 市街地図データの収録エリアは、「市街地図の収録エリア」559～562ページをご覧ください。
- 市街地図(🔍5m／🔍12m／🔍25m)から、ビルの中のテナント情報を見ることができます。施設(物件)にカーソルを合わせると、地図画面下にビル名が表示されます。設定ボタンをタッチし設定メニューを表示させ、テナント情報ボタンをタッチすると、テナント情報を見ることができます。(ビルの名前だけでなく、ビルの中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報を確認することができます。)
  ※データが収録されていない場合もあります。また、ビル名称のみ収録されている場合はテナント詳細情報を見ることはできません。

地図の縮尺レベル

下記縮尺レベルは全画面（平面／3D）／2画面（左／右画面）共通です。
※各スケールで表示されるおおよその縮尺を表示しております。

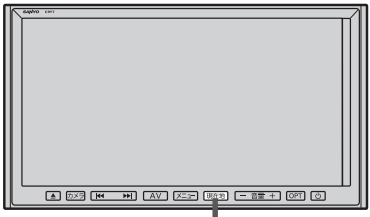
地図縮尺	スケール
1/781	⊕5m
1/1562	⊕12m
1/3125	⊕25m／25m
1/6250	50m
1/12500	100m
1/25000	200m
1/5万	500m
1/10万	1km
1/20万	2.5km
1/40万	5km
1/80万	10km
1/320万	25km
1/1280万	100km
1/2560万	250km

アドバイス

⊕マークは市街地図を表しています。

現在地を表示するには

本機は、付属のGPSアンテナでGPS衛星からの電波を受信することによって現在地を測位し、マップマッチング機能と、車速パルスおよびジャイロセンサーを使った自律航法で、誤差を補正します。



1 現在地 ボタンを押す。

：現在地の地図画面が表示されます。

現在地表示画面（例）



方位表示

の先端の方向が北を示します。

GPS受信表示

黄色：GPS衛星電波の受信状態が良い。（GPSを使った測位ができている。）

灰色：GPS衛星電波の受信状態が悪い。（GPSを使った測位ができていない。）
または測位計算中。

VICSタイムスタンプ

現在の時刻

縮尺（スケール）

周辺の住所または道路名

「表示項目の設定を変える」206～208ページ

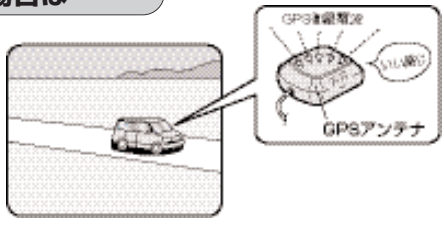
自車マーク

自車の現在地を示します。マークの種類／色を変えることができます。

「自車マークの種類／色を変える」222ページ

表示された現在地が実際の現在地と違う場合は・・・

GPS受信表示が黄色の状態（GPS衛星電波を受信した状態）で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。GPS衛星電波、自律航法、マップマッチング機能を使って、現在地の位置が補正されます。



アドバイス

自車マークの位置／角度をご自分で修正することもできます。
現在地から目的地までのルート探索をする前には、必ず、実際の現在地を表示していることを確認してください。自車マークの位置や角度がまちがっている場合は、修正した後、ルート探索をしてください。

「自車マークの位置／角度を修正する」223、224ページ

※GPSを受信すると、受信した位置を表示します。

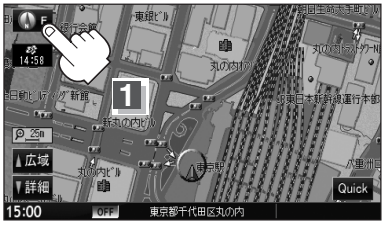
地図表示(方位)を切り替える(1)

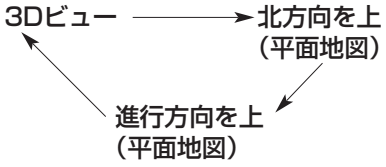
地図表示画面をワンタッチで切り替えることができます。
画面には、“北方向を上”、“進行方向を上”、“3Dビュー”の3種類があります。

「メイン画面(地図)の設定を変える」198、199ページ
「右画面地図表示の内容を設定する」200、201ページ

1 地図画面の N F ボタン(方位)をタッチする。

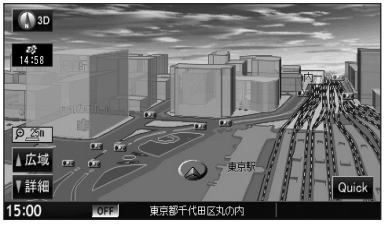
：タッチするたびに方位表示と画面が切り替わります。





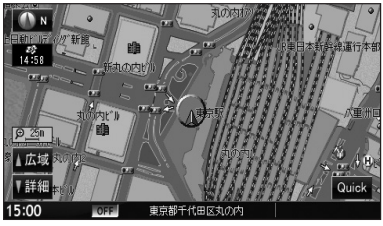
● **「3Dビュー」** N 3D

進行方向は常に画面の上方向になります。



● **「北方向を上」** N

地図の動きが気になるときは、北方向を上に固定できます。



● **「進行方向を上」** N F

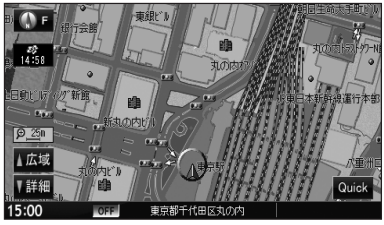
進行方向が常に上になるようにして、自車マークと画面の向きを一致させることができます。
走行に合わせて地図が回転します。



地図表示(方位)を切り替える(2)

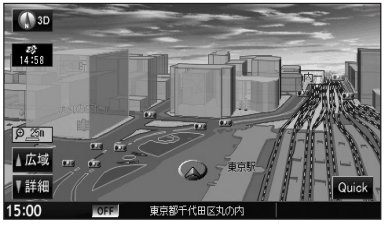
平面地図画面とは

真上から地上を見たときのように表した地図画面です。



3Dビューとは

上空から前方の地上を見たときのように表した地図画面です。



アドバイス

- 地図表示(方位)は[メニュー]ボタンを押し、 NAVI設定 → 表示 → 地図表示設定 → ▼ の 北向き ／ 進行方向 ／ 3D で設定することもできます。
  「メイン画面(地図)の設定を変える」198、199ページ
  「右画面地図表示の内容を設定する」200、201ページ

3Dビューについて

- 3Dビューのときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 進行方向は常に画面の上方向になります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が煩雑(複雑)にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行なわれなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 3Dビューの角度調整をすることができます。
  「3Dの角度を調整する」202、203ページ
- 文字と建物が見えにくくなる場合があります。

見たい地域を探す(1)

停車中、見たい地域の方向に地図をタッチしてスクロールすることができます。

地図を動かす(地図スクロール)

例 平面地図画面で現在地の右上側の地図を表示する場合

1

■ 地図画面を低速でスクロールする場合

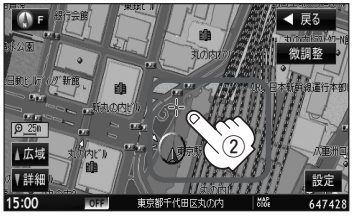
① 画面をタッチする。

：画面に-┼-マークが表示されます。



② 動かしたい方向の画面のカーソル(-┼-)近くをタッチし続ける。

：低速でスクロールします。



■ 地図画面を高速でスクロールする場合

① 画面をタッチする。

：画面に-┼-マークが表示されます。



② 動かしたい方向の画面のカーソル(-┼-)から離れた位置をタッチし続ける。

：タッチし続けると高速でスクロールします。



アドバイス

- 見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させ、それから詳細な地図に変えて目的地を探します。
- 停車中は、地図をタッチし続けている間だけ移動します。
- 市街地図表示で走行中の時は、スクロールはできません。

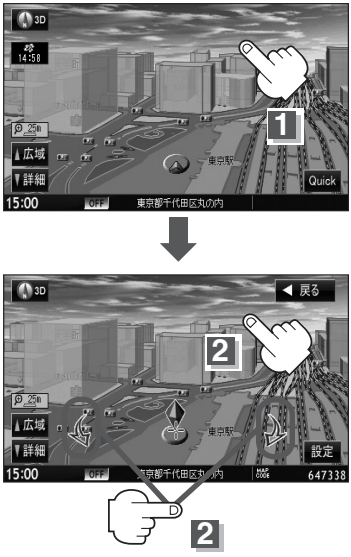
見たい地域を探す(2)

例 3Dビュー表示画面で地図を動かす場合

1 **画面をタッチする。**
：／ボタンが表示されます。

2 **動かしたい方向の地図画面、**
または／ボタンをタッチする。

：カーソル(-┼-)を中心に右回転(時計まわり)します。
：カーソル(-┼-)を中心に左回転(反時計まわり)します。



アドバイス

- 地図はタッチした方向に動かすことができます。
- カーソル(-┼-)に近い部分をタッチすると低速で動き、カーソル(-┼-)より遠くなると高速で動きます。
- 3Dビュー表示画面で画面をタッチした場合の自車マークはになります。
- 地図画面を平面地図画面、3Dビューと切り替えるには「地図表示(方位)を切り替える」64、65ページをご覧ください。

スクロールの微調整をする

微調整は、平面地図画面のみ行なうことができます。

※3Dビュー画面の場合は、平面地図画面にしてください。
「地図表示(方位)を切り替える」64、65ページ

※走行中 微調整 ボタンは選択できません。

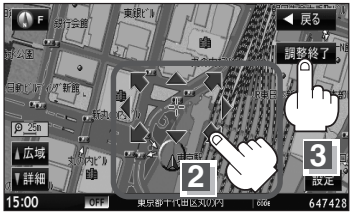
1 **画面をタッチし、 微調整 ボタンをタッチする。**

：画面に ボタンが表示されます。



2 **動かしたい方向の矢印をタッチする。**

：動かしたい方向に一定の速度でスクロールされます。



アドバイス

ボタン以外をタッチしてもスクロールはしません。
地図を微調整する場合は動かしたい方向の矢印をタッチしてください。

3 **設定を終わるには・・・**
調整終了 ボタンをタッチする。

：スクロール画面に戻ります。

アドバイス

- 地図はタッチした方向に動かすことができます。
- 現在地に戻るときは、 現在地 ボタンを押すか画面の 戻る ボタンをタッチします。

メニュー項目一覧

操作できない項目は暗くなり選択できません。

ナビゲーションでは、各項目を選択してさまざまな操作を行ないます。メニューボタンを押しNAVI MENUを表示させてお好みのメニューを選び、選択したメニューの中から実行したい項目をタッチして各操作に入ります。





メニュー(目的地)

目的地をいろいろな方法で設定します。

自宅89ページ
電話番号90、91ページ
住所92～94ページ
登録地点95、96ページ
施設50音97～100ページ
ジャンル101～103ページ
目的地履歴107、108ページ
周辺施設109～111ページ
SDから112～114ページ
緯度経度115ページ
郵便番号116ページ
地図から117ページ
地名50音118、119ページ
マップコード120ページ



メニュー(ルート)

ルートの設定や設定したルートの確認や修正などを行ないます。

ルート編集127～135、137、138、140ページ
案内ストップ／スタート139ページ
全ルート表示141～143ページ
渋滞予測回避144～146ページ
ルート削除147ページ
登録ルート149、150ページ
ルート保存148ページ
SDルート151～153ページ



メニュー（情報）

各種情報を見たりします。

エコドライブ情報157～161ページ
GPS情報162ページ
接続確認163ページ
ETC情報164、165ページ
FM多重174～189ページ
ビーコン192～195ページ

※別売のVICSビーコンユニットを接続した場合、ビーコンに関するメニューがご覧になれます。また、別売のETCユニットを接続した場合、ETCに関するメニューがご覧になれます。

「ビーコン」192～195ページ
「ETC情報を見るには」164、165ページ



メニュー（NAVI設定）

自宅登録や登録地点編集などを行ないます。

到着予想197ページ
表示198～224ページ
音声案内225～227ページ
走行軌跡228～230ページ
登録地点編集231～246ページ
探索条件247～250ページ
VICS表示設定251～255ページ



メニュー（システム設定）

ナビゲーションシステムの各機能を設定します。

オプションボタン257、258ページ
メンテナンス259～262ページ
カメラ263ページ
ETC268～272ページ
セキュリティ273、274ページ
イルミネーションカラー275ページ
その他276～281ページ

Quick機能について

操作できない項目は暗くなり選択できません。

本機では、主な操作を簡単にするため、Quick機能を設けています。
Quick MENUを表示させるには Quick ボタン(現在地表示時)、設定メニューを表示させるには 設定 ボタン(地図スクロール時)をタッチします。
(閉じる ボタンまたは 戻る ボタン=Quick機能閉じる)

現在地表示時に Quick ボタンをタッチした場合

自宅 ——自宅までのルートを探索します。(クイックルート探索 79、80ページ)
※この機能を使うにはあらかじめ自宅を登録しておく必要があります。
「自宅を登録する」76～78ページ

登録地点 ——あらかじめ登録しておいた場所の中から地点を探すことができます。
「登録地点で地点を探す」95、96ページ
※この機能を使うにはあらかじめ地点を登録しておく必要があります。
「地点を登録する」74、75ページ

周辺施設 ——現在地周辺にある施設の中から地点を探すことができます。
「周辺にある施設から地点を探す」109～111ページ

渋滞地点 ——設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。「渋滞地点を確認する」154ページ

渋滞予測回避 ——過去のVICS渋滞統計データをもとに日時を指定してルート上の渋滞を予測して回避するルート探索をします。「渋滞予測ルート探索をする」144～146ページ

図形情報 ——交通情報(図形情報)を表示します。(FM VICSのみ対応)
「交通情報(図形情報)を見るには」178ページ
※この項目は 受信番組設定 を“ 一般情報番組を受信します ”に設定している場合は暗くなります。(選択できません)「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」174、175ページ

案内ストップ ／ **案内スタート** ——タッチするたびに、ルート案内ストップ↔スタートが切り替わります。
「ルート案内をストップ／スタートする」139ページ
※ルートが設定されていない場合、このボタンは選択できません。(ボタンは暗くなります)

右画面表示 ——右画面表示をタッチすると 地図 ／ ルート情報 ／ エコドライブ ボタンがあり、それぞれの機能を右画面に表示することができます。
「右画面表示を設定する」81～84ページ

再探索 ——ルート案内走行時に設定ルートから外れると、自動的に再探索します。
「ルートから外れてしまったら…(再探索)」155ページ

電話番号 ——電話番号を入力し、その地域の地図を表示することができます。
「電話番号で地点を探す」90、91ページ

アドバイス

よくお使いになる機能を現在地表示時のQuick MENUに追加することができます。
「Quick MENUの設定を変えるには」545、546ページ

地図スクロール時に 設定 ボタンをタッチした場合

目的地に設定する
目的地を登録し、ルートを探索します。
「クイックルート探索をする」79、80ページ

出発地に設定する *
出発地を登録し、ルート探索します。「出発地の変更」131、132ページ
※ルート編集画面で出発地の変更を行なう場合に表示されます。

経由地に設定する *
経由地を登録し、ルート探索します。
「経由地の追加」／「経由地の変更／削除」134～137ページ

複数探索
複数ルート探索を行ないます。
「1ルート探索・複数ルート探索をする」126～130ページ

経由地を追加する *
経由地を登録し、ルートを探索します。「経由地の追加」134～137ページ
※ルート案内を停止している場合、このボタンは表示されません。

自宅に設定する *
自宅を登録します。「自宅を登録する」76～78、231ページ
※地点編集画面／基本設定画面で自宅の登録を行なう場合に表示されます。

テナント情報
テナント情報（建物の名前だけでなく、建物の中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報）が確認できます。
※ 5m／ 12m／ 25mの市街地図でテナント情報のある物件にカーソルを合わせます。

地点を登録する
地点の登録を行ないます。「地点を登録する」74、75ページ

地点を編集する
登録地の編集や並び替え、削除ができます。
「登録地点の編集／見る」232～237ページ
「登録地点の並び替えをする」238、239ページ
「自宅／登録地点を削除する」242、243ページ
※登録地点マークにカーソルをあわせます。

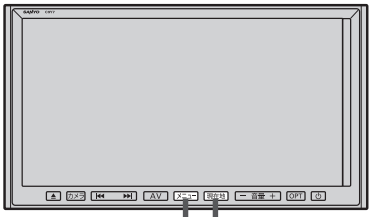
周辺の施設検索
スクロール先の周辺施設を検索することができます。
「周辺にある施設から地点を探す」109～111ページ

施設の詳細
スクロール先に施設の詳細がある場合に住所や電話番号などの詳細情報が確認できます。

＊印：地図をスクロールしなくても表示される場合もあります。

メニューの基本操作

ナビゲーションの操作のほとんどは、メニューを使って行ないます。本機をお使いいただく上で、大切な基本操作ですので、ぜひ、マスターしてください。
本書では、パネルに配置しているボタン(操作説明では“○○ボタンを押す”と説明。)と画面に表示されるタッチボタン(“○○ボタンをタッチする”と説明。)を使って操作説明をしています。



1-1、3 メニューボタン　現在地ボタン 3

例 音声案内の音量を調整する場合

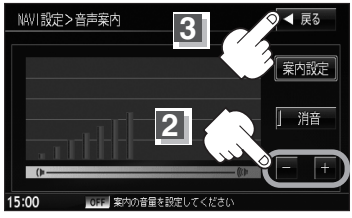
1 メニューボタンを押し、NAVI設定ボタンをタッチし、音声案内ボタンをタッチする。

：音声案内設定画面が表示されます。



2 −／＋ボタンをタッチして、お好みの音量に調整する。

：調整時に“この音量でご案内します。”と音声が鳴ります。



3 設定を終わるには・・・

戻るボタンをタッチ、または現在地／メニューボタンを押す。

：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

■ 戻るボタンをタッチした場合
：1つ前の画面に戻ります。

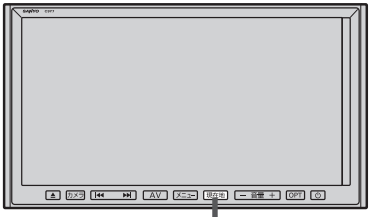
■ 現在地ボタンを押した場合
：現在地の地図画面に戻ります。

■ メニューボタンを押した場合
：メニュー画面に戻ります。

※画面に操作説明が表示された場合は、説明にしたがってください。

地点を登録する(1)

覚えておきたい場所に、マークをつけて登録することができます。(最大500か所・自宅含む)



1 地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(−┼−)を合わせ、**設定** ボタンをタッチする。

：設定メニューが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



2 **地点を登録する** ボタンをタッチする。

：“地点を登録しました。”とメッセージが表示され、地図上に地点マークが追加されます。





3 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ボタンを押す。

：現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス

- 地図画面をスクロールさせるには 「見たい地域を探す」66〜68ページをご覧ください。
- SDカードに保存している地点を本機に登録する場合は、「SDカードから地点を登録する」244〜246ページをご覧ください。
- 本機に登録できる件数は合計500件までです。(自宅含む)
- 地点登録してルート探索した結果と、ジャンル検索でルート探索した結果が異なる場合があります。

地点を登録する(2)

登録地点について

登録地点の名称、フォルダ、マーク、アラームは変更することができます。また、TEL(電話番号)、メモを登録することもできます。

「登録地点の編集／見る」232～237ページ



登録地点の地図は、メニューボタンを押し、目的地 → 登録地点をタッチで、呼び出すことができます。登録地点の表示は全表示とフォルダ表示の2種類の表示方法があります。

「登録地点で地点を探す」95、96ページ

また、「登録地点の地図を呼び出す」240、241ページでも呼び出せます。

登録地点の地図は、ルート編集で出発地／経由地／目的地を設定するときに、すばやく設定できます。

「1ルート探索・複数ルート探索をする」126～130ページ

経由地登録時



地図上の登録地点マークは、メニューボタンを押し、NAVI設定 → 表示 → 地図表示設定 → ▼▼ボタンを6回(または ▼ ボタンを1回)タッチ→登録地点を表示を しない にすると、表示されません。

「表示項目の設定を変える」206～208ページ

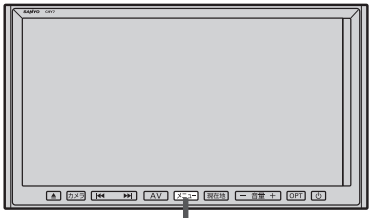
自宅を登録しておくと、自宅までのルート探索(現在地から自宅までのルートを探索する)ができます。

「Quick機能について」71、72ページ
「クイックルート探索をする」79、80ページ



自宅を登録する(1)

自宅を登録しておくと、自宅までのルートを探索することができます。



1-1 メニューボタン

1 メニューボタンを押し、
NAVI設定ボタンをタッチして、
登録地点編集ボタンをタッチする。

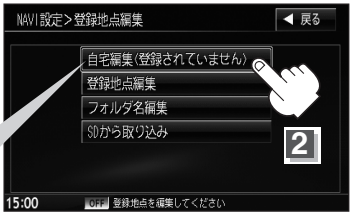
：登録地点編集画面が表示されます。



2 自宅編集<登録されていません>ボタンをタッチする。

：自宅登録方法画面が表示されます。

自宅を登録すると“<登録されていません>”の表示は消えます。



3 登録方法を選び、タッチする。



自宅を登録する(2)

- 電話番号 ☞90、91ページ
- 住所 ☞92～94ページ
- 登録地点 ☞95、96ページ
- 施設50音 ☞97～100ページ
- ジャンル ☞101～103ページ
- 目的地履歴 ☞107、108ページ
- 周辺施設 ☞109～111ページ
- SDから ☞112～114ページ
- 緯度経度 ☞115ページ
- 郵便番号 ☞116ページ
- 地図から：この画面に入る前の地図を表示
- 地名50音 ☞118、119ページ
- マップコード ☞120ページ
- 現在地付近：現在地の地図を表示
- 出発地付近：出発地の地図を表示
- 目的地付近：目的地の地図を表示

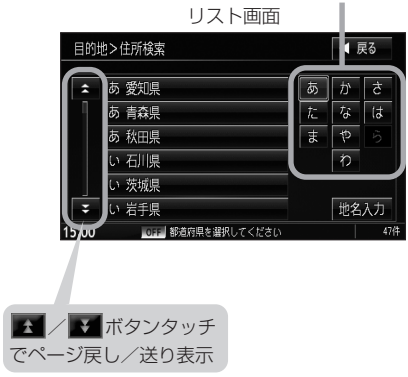
例 住所から自宅を探し登録する

① **住所ボタンをタッチする。**

② **リストから画面にしたがって“都道府県名”“市区町村名”“町名”“丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”を順次選びタッチしていく。**

：自宅周辺の地図と設定メニューが表示されます。
（地図から／現在地付近／出発地付近／目的地付近で探索した場合は、地図のみ表示されます。）

☞検索方法は「住所で地点を探す」の手順 2 (93、94ページ)をご覧ください。



アドバイス

- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。(入力できない文字は暗くなります。)
- ＊印：頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。
- 地名入力ボタンをタッチすると地名50音検索画面が表示され、地名を入力して効率よく場所を絞り込むことができます。☞「■ 地名を入力して探す場合 」93、94ページ
- リスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 選択したい番地が収録されていない場合は、その番地に近い番地を選択すると、その付近の地図が表示されます。
- 入力した住所を訂正したい場合は、戻るボタンをタッチして、訂正したいリストまで戻してください。

4 自宅を登録する。



■ 表示された位置で良い場合

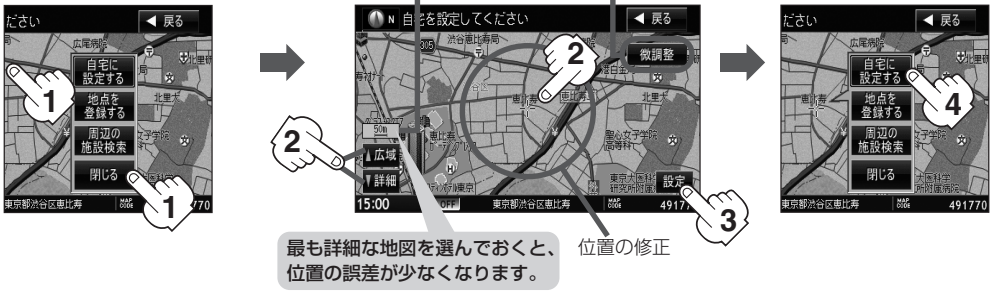
自宅に設定する ボタンをタッチする。

■ 地図のみ表示された場合

設定 ボタンをタッチして設定メニューを表示させ、**自宅に設定する** ボタンをタッチする。

■ 位置の修正やスケールの変更などをする場合

閉じる ボタンまたは地図画面をタッチし、設定メニューを閉じる。修正や変更が終わったら、**設定** ボタンをタッチして再び設定メニューを表示させ、**自宅に設定する** ボタンをタッチする。



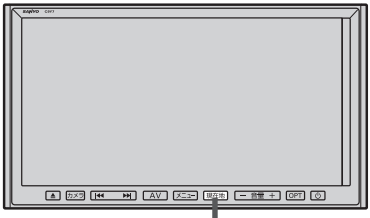
：登録地編集画面に戻ります。登録した位置を確認したい場合は **自宅編集** ボタンをタッチし、**地図表示** ボタンをタッチすると地図画面が表示されます。（地図上には マークが表示されます。）

アドバイス

- 自動的にマークは になります。マークを変更したい場合は「登録地点の編集／見る」232～237ページをご覧ください。
- メニュー ボタンを押し、**NAVI設定** → **表示** → **地図表示設定** → ボタンを6回（または ボタンを1回）タッチ → 登録地点を表示を **しない** にしている場合は、地点を登録しても地図上にマークはあらわれません。「表示項目の設定を変える」206～281ページ
- 自宅を変更したい場合は、登録した自宅を削除してから再登録してください。「自宅／登録地点を削除する」242、243ページ

クイック ルート探索をする

現在地から目的地までのルートを探索し、地図上に表示します。また、自宅が登録してある場合は、現在地から自宅までの帰り道を探索できます。



現在地から目的地までのルートを探索する場合

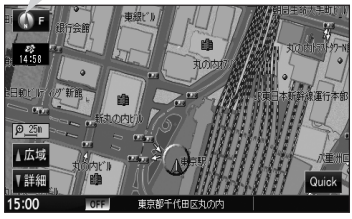
1 現在地 ボタンを押して、現在地が測位できていることを確かめる。

「現在地を表示するには」63ページ

アドバイス

自車マークの位置／角度がまちがっている場合は、修正してください。
「自車マークの位置／角度を修正する」223、224ページ

方位表示の背景が黄色ならOK!



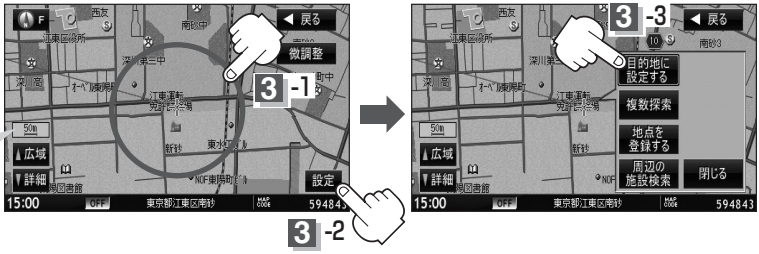
現在地表示画面(例)

2 画面をタッチして地図をスクロールさせ、目的地の地図を表示する。

「見たい地域を探す」66～68ページ 「地図を拡大／縮小する」61ページ

3 カーソルを目的地に合わせ、 設定 ボタンをタッチして設定メニューを表示させ、 目的地に設定する ボタンをタッチする。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



：ルートの探索を始めます。探索完了後全ルート表示画面になります。
案内スタート ボタンをタッチすると、ルート案内を開始します。
「1ルート探索・複数ルート探索をする」126～130ページ

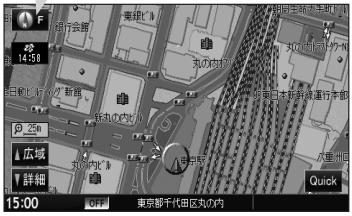
有料道路上に設定するかどうか確認メッセージがでたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)上に設定する場合は 有料道路 ボタンを、一般道路上に設定する場合は 一般道路 ボタンをタッチしてください。

現在地から自宅までのルートを探索する場合

1 現在地 ボタンを押して、現在地が測位できていることを確かめる。

「現在地を表示するには」63ページ

方位表示の背景が黄色ならOK!



現在地表示画面(例)

アドバイス

自車マークの位置／角度がまちがっている場合は、修正してください。
「自車マークの位置／角度を修正する」223、224ページ

2 現在地表示中に Quick ボタンをタッチしてQuick MENUを表示させ、自宅 ボタンをタッチする。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



2 -1



：ルートの探索を始めます。
探索完了後全ルート表示画面になります。 案内スタート ボタンをタッチすると、ルート案内を開始します。

※すでに探索されているルートがある場合、ルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択するとルート探索を開始します。

アドバイス

- 自宅までのルート探索をするには、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。
  上記手順 2 で自宅が登録されていない場合、自宅を登録するかどうかメッセージが表示され、 はい を選択すると自宅登録方法画面が表示されるので、自宅を登録してください。「自宅を登録する」76～78ページ
- 新たにルート探索すると、前回探索したルートは消えます。
- ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。
- 設定 ／ Quick ボタン(Quick MENU)の詳しい内容は「Quick機能について」71、72ページをご覧ください。

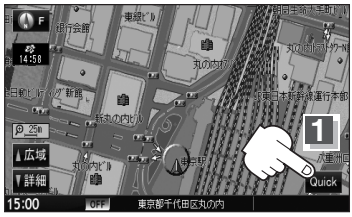
⚠注意 交通規制の変更などにより、実際にはルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

右画面に地図／情報を表示する(1)

現在地表示時、画面を2つに分けて、右画面に地図／ルート情報／ハイウェイモード／エコドライブを表示させることができます。

1 現在地表示時に、**Quick**ボタンをタッチする。

：QuickMENUが表示されます。



2 **右画面表示**ボタンをタッチする。

：右画面表示画面が表示されます。



3 表示項目(**地図**／**ルート情報**／**ハイウェイモード**／**エコドライブ**／**OFF**ボタン)を選択しタッチする。



■ 右画面に地図を表示する場合

地図ボタンをタッチする。

：メッセージが表示されます。
（☞84ページ、手順 **4** へ）



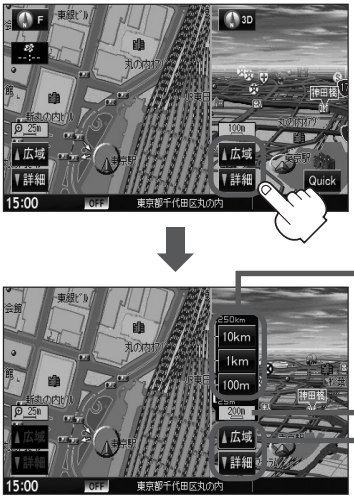
アドバイス

- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- 左画面は、全画面表示のときと同じ方法で、地図の表示内容の設定や縮尺の変更ができます。
- シミュレーション走行中は右画面地図表示↔全画面表示の切り替えはできません。
- 右画面地図表示は[メニュー]ボタンを押し、**NAVI設定**→**表示**→**地図表示設定**→▼2回タッチ(“右画面用地図設定”を表示)→“右画面に地図表示”を**する**に設定して右画面に地図を表示することもできます。☞「右画面地図表示の内容を設定する」200、201ページ

□ 右画面地図を拡大／縮小する場合

地図画面で、▲広域／▼詳細ボタンをタッチする。

：▲広域／▼詳細ボタンをタッチするたびに、スケールが変わります。



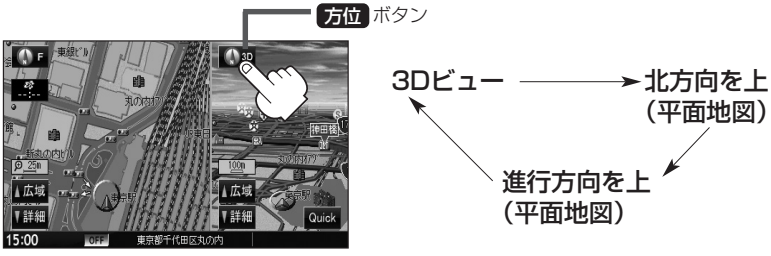
アドバイス

地図をフリーズームさせたいときは、▲広域／▼詳細ボタンをタッチし続けます。お好みの縮尺レベルになったらタッチするのを止めてください。止めたところの縮尺レベルで止まります。縮尺レベルについては「地図の縮尺レベル」（62ページ）をご覧ください。

□ 右画面地図の方位を切り替える場合

地図画面の方位ボタン（3D）をタッチする。

：タッチするたびに方位ボタン（3D）と画面が切り替わります。



※地図画面の表示については☞「地図表示（方位）を切り替える」64、65ページをご覧ください。

右画面に地図／情報を表示する(2)

■ 右画面にルート情報を表示する場合

ルート情報 ボタンをタッチする。

：メッセージが表示されます。



アドバイス

ルート情報表示は［メニュー］ボタンを押し、 NAVI設定 → 表示 → ルート案内設定 → ▼▼ 2回タッチ→“ルート情報の表示”を する に設定して表示することもできます。

「■ ルート情報を表示する／しないにする場合」 211ページ

（例）ルート情報画面



■ ハイウェイモードを解除したい場合

※ ルート情報 ボタン選択時は、ハイウェイモードを解除することはできません。

ハイウェイモード ボタンをタッチする。

：表示灯が、消灯しハイウェイモード（高速道路／一般有料道路の情報）を表示しない設定になります。



アドバイス

- ハイウェイモードの表示は［メニュー］ボタンを押し、 NAVI設定 → 表示 → ルート案内設定 → ▼▼ を2回タッチ→“ハイウェイモードの表示”を しない に設定して表示することもできます。
  「■ ハイウェイモードを表示する／しないにする場合」212ページ
- 「■ ルート情報を表示する／しないにする場合」211ページ“ルート情報の表示”を する を選択すると高速道路／一般有料道路の情報も表示する設定になるため、 ハイウェイモード ボタンは選択できなくなります。

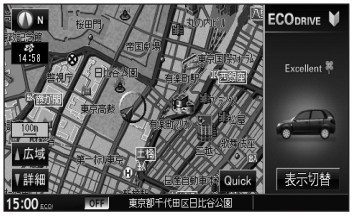
■ 右画面にエコドライブを表示する場合

エコドライブ ボタンをタッチする。

：メッセージが表示されます。



（例）エコドライブ



アドバイス

- エコドライブ情報を表示する前にエコドライブ評価を開始する必要があります。
  「エコドライブ情報の設定をする」157ページ
- エコドライブ表示は メニュー ボタンを押し、**情報** → **エコドライブ情報** → **設定** → “エコドライブ表示”を **する** に設定して表示することもできます。
  「エコドライブ情報の設定をする」158ページ

■ 右画面表示を止める場合

OFF ボタンをタッチする。

：メッセージが表示されます。



4 **OK** ボタンをタッチする。

：選択した画面が右画面に表示されます。



アドバイス

- ルート案内画面の設定で **ハイウェイモード** ボタンを選択している場合、他の項目を選択していてもハイウェイモードが優先して表示されます。「ルート案内画面の設定を変える」209～219ページ
- 上記手順 **3** でエコドライブを開始していない場合は、メッセージが表示されます。
  OK ボタンをタッチするとエコドライブを開始し、右画面に表示されます。

音声案内について

音声案内時の注意点

■本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制にしたがって走行してください。

■音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行なわない場合があります。

■音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。

■音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。

■音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行なわれますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。

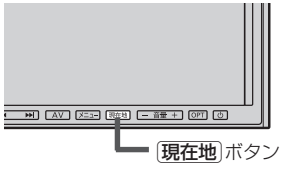
■経由地に近づくと“まもなく経由地付近です”と音声案内が行なわれ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行なわれるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。

■目的地に近づくと“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行なわれ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。

■シミュレーション走行時、細街路の音声案内をしますが、実際の走行では細街路の音声案内はしません。

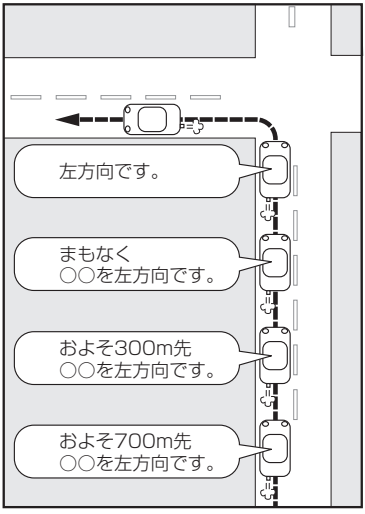
アドバイス

- 音声案内の音量を調整する場合は「音声案内の音量を調整／案内設定をする」227ページをご覧ください。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 音声案内の内容が現場の交通規則と違う場合は、現場の交通規制標識、表示などにしたがってください。
- 音声案内をもう一度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合[現在地]ボタンを押すと、もう一度音声案内を聞くことができます。
  「■ 音声案内を止める場合 」225ページで 消音 ボタンを選択している場合は、[現在地]ボタンを押しても音声案内を聞くことはできません。



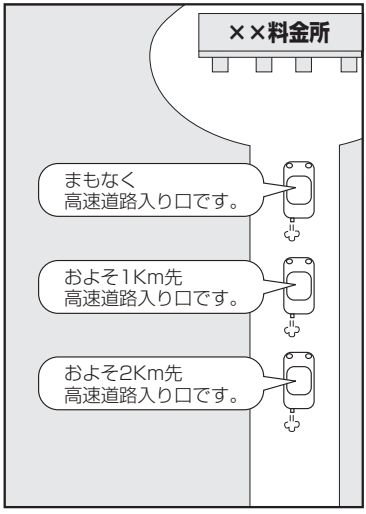
目的地までのルート案内時に、右左折する交差点などに近づくと自動的に音声で案内が流れます。

一般道の交差点

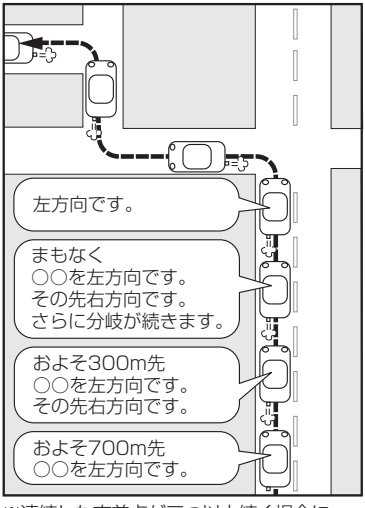


※交差点名がある場合は、交差点名を音声案内します。

高速道路入口

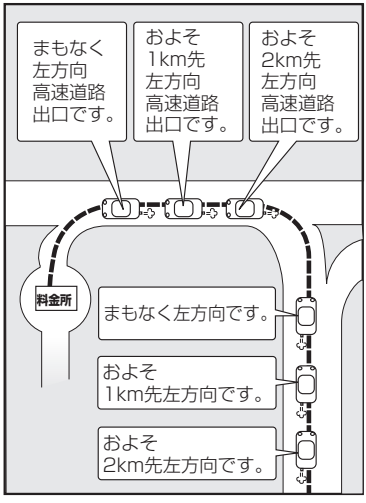


一般道の連続した交差点



※連続した交差点が三つ以上続く場合に案内します。

高速道路出口

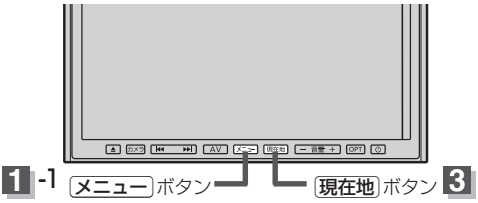


目的地

自宅周辺の地図を表示する……89
電話番号で地点を探す ……90、91
　個人宅の電話番号を入力した場合……91
住所で地点を探す ……92～94
登録地点で地点を探す ……95、96
施設の名前で地点を探す［50音］ ……97～100
施設のジャンルから地点を探す……101～103
表示できる施設……104～106
目的地履歴の中から地点を探す・削除する…107、108
周辺にある施設から地点を探す……109～111
SDカードで地点を探す ……112～114
緯度・経度で地点を探す ……115
郵便番号で地点を探す ……116
地図から地点を探す ……117
地名から地点を探す［50音］……118、119
マップコードで地点を探す ……120

自宅周辺の地図を表示する

自宅周辺の地図を表示します。



アドバイス

この機能を使うには、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。
「自宅を登録する」76～78ページ

1 メニュー ボタンを押し、
目的地 ボタンをタッチし、
自宅 ボタンをタッチする。
：自宅周辺の地図が表示されます。



2 周辺の地図を見るには…
閉じる ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。
※再度設定メニューを表示させるときは **設定** ボタンをタッチしてください。
「Quick機能について」71ページ



3 現在地の地図画面に戻るときは、現在地 ボタンを押す。

電話番号で地点を探す(1)

電話番号から、その地域の地図を表示することができます。電話番号を入力して地点を探すことができます。地図ソフトには、NTTタウンページの情報の一部(約1,000万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報約3,000万件)が収録されています。



1

メニューボタンを押し、
目的地ボタンをタッチし、
電話番号ボタンをタッチする。

：電話番号検索入力画面が表示されます。



2

数字をタッチして電話番号を入力し、検索ボタンをタッチする。

※電話番号は市外・市内局番を含めて全桁(最大10桁)入力してください。



入力した数字を1つ訂正する場合
訂正ボタンをタッチします。
全ての数字を訂正する場合
訂正ボタンを長めにタッチします。

入力途中で検索ボタンをタッチした場合
市内局番に該当する周辺地図を表示します。

※個人宅の電話番号を入力した場合は、電話番号登録者名入力画面が表示されます。

「個人宅の電話番号を入力した場合」91ページ

※入力した電話番号に対して複数の施設候補がある場合は、項目を選択すると地図が表示されます。

3

周辺の地図画面が表示されます。

※閉じるボタンまたは地図画面をタッチすると設定メニューを閉じることができます。



電話番号で地点を探す(2)

4 現在地の地図画面に戻るときは、現在地ボタンを押す。

アドバイス

該当する番号が収録されていない場合は、“該当する電話番号は収録されていません。”と表示されるため番号を確認のうえ、もう一度入力し直してください。

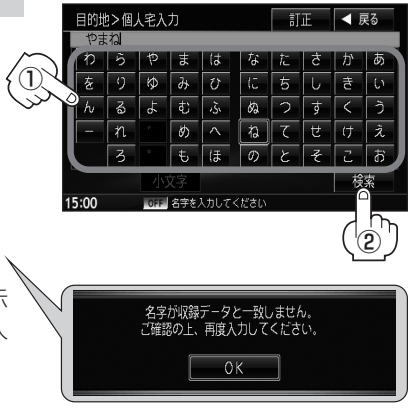
個人宅の電話番号を入力した場合

プライバシー保護のため、個人宅の電話番号と登録者名の名字が合致したときに地図が表示されます。

電話番号登録者名入力画面が表示されます。
登録者名の名字を入力後、検索ボタンを
タッチしてください。

：入力した名字が正しい場合は、個人宅付近の地図が表示されます。入力した名字が間違っている場合は、“名字が収録データと一致しません。ご確認の上、再度入力してください。”と表示されます。

※該当するデータが収録されていない場合は地図は表示されません。入力した名字を確認のうえ、もう一度入力し直してください。



アドバイス

- 登録者名は必ず名字のみ入力してください。濁点、半濁点の入力および小文字への変換を省いても検索できます。文字の入力のしかたについては、「施設の名前で地点を探す[50音]」の手順 2 (97ページ)をご覧ください。
- 公開電話番号登録者の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上、実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。
- 個人宅電話番号検索では、一部検索できない場合または、ピンポイント検索ができない場合があります。
- 電話番号非公開個人宅のデータは収録されておりません。

住所で地点を探す(1)

住所を入力して地点を探すことができます。地図ソフトには、約3,500万件のデータが収録されています。



1

メニュー ボタンを押し、
目的地 ボタンをタッチし、
住所 ボタンをタッチする。
：住所検索リスト画面が表示されます。



アドバイス

住所検索リスト画面について



頭文字リスト
※タッチするたびに頭文字の行の文字を表示

ここをタッチして地名から検索することもできます。
「 ■ 地名を入力して探す場合 」93、94ページ



数字入力ボタン
※入力できない文字は暗くなり、選択できません。

“丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”の続きに地名がある場合、**その他** ボタンをタッチすると地名をリストに表示します。効率よく場所を絞り込むことができます。(地名がない場合はボタンは暗くなります。)

住所で地点を探す(2)

2 ■ リストから探す場合

例 東京都新宿区西新宿2-8-1を探す

① 頭文字リストから た ボタンをタッチし、リストから と 東京都 ボタンをタッチする。



② 頭文字リストから さ ボタンをタッチし、リストから し 新宿区 ボタンをタッチする。



③ 頭文字リストから な ボタンをタッチし、ページ戻し／送りの ▼▼ ボタンを1回タッチし、リストから に 西新宿 ボタンをタッチする。



④ 数字入力ボタンから 2 ボタンをタッチし、リストから 2丁目 ボタンをタッチする。



⑤ 数字入力ボタンから 8 ボタンをタッチし、リストから 8 ボタンをタッチする。

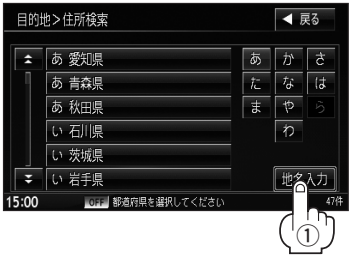


⑥ リストから 1 ボタンをタッチする。
：周辺の地図が表示されます。



■ 地名を入力して探す場合

① 地名入力 ボタンをタッチする。
：地名50音検索入力画面が表示されます。



② 文字をタッチして地名をひらがなで入力し、
検索 ボタンをタッチする。

：リストが表示されます。

入力方法は「地名から地点を探す［50音］」の手順 **3** （118ページ）をご覧ください。



③ リストから“地名”を選択しタッチする。

都道府県に複数の地名がある場合は
絞込み ボタンが表示されます。
絞込み ボタンをタッチすると都道府県名を絞り込むことができます。



都道府県に複数の地名がある場合表示

④ “丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”を選ぶ。

検索方法は手順 **2** （93ページ）をご覧ください。

：周辺の地図が表示されます。

※ **閉じる** ボタンまたは地図画面をタッチすると設定メニューを閉じることができます。
再度設定メニューを表示させるときは **設定** ボタンをタッチしてください。
「Quick機能について」71ページ

3 現在地に戻るときは、現在地ボタンを押す。

アドバイス

- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。（入力できない文字は暗くなります。）
- 入力した番地が収録されていない場合は、その付近の地図が表示されます。
- 入力した住所を訂正したい場合は、**戻る** ボタンをタッチして、訂正したいリストまで戻してください。
- 番地など住所の詳細が分からないときは“都道府県名”“市区町村名”“町名”を選択したあと **代表地点** ボタンをタッチすると、選択した場所の代表地点の地図が表示されます。

登録地点で地点を探す

あらかじめ登録しておいた場所の中から地点を探すことができます。よく利用する場所を登録しておくと、簡単に目的地として設定することができます。



1

メニュー ボタンを押し、
目的地 ボタンをタッチし、
登録地点 ボタンをタッチする。

：登録地点検索／フォルダ選択画面が表示されます。



2

登録地点の表示方法を選択しタッチする。

■ 登録地点を全て表示するには

全表示 ボタンをタッチする。

：登録されているすべての登録地点リストが表示されます。



■ フォルダごとに表示するには

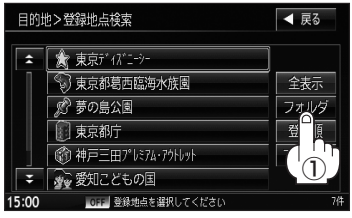
① フォルダ ボタンをタッチする。

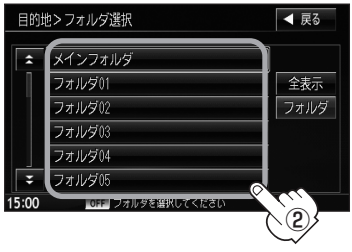
②表示させたい登録地点が入っているフォルダ（メインフォルダ ～ フォルダ20 ボタン）をタッチする。

：選択したフォルダ内の登録地点リストが表示されます。

※登録地点を編集するときに、フォルダ変更やフォルダ名編集をすることができます。

「登録地点の編集／見る」232～237ページ

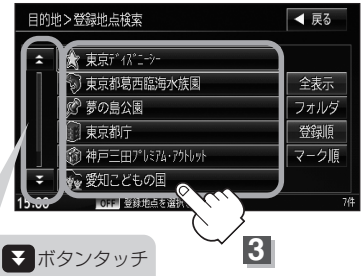




3 リストから登録地点を選択し、タッチする。

：周辺の地図が表示されます。

（例）登録順で表示



▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示

■ リストに表示される順番を替えて表示させるには

表示させたい順（登録順／マーク順）を選択し、タッチする。

登録順 ボタン……地点が登録された順（古いものから）に表示

マーク順 ボタン…同じマーク同士をまとめて順に表示

4 周辺の地図を見る場合

閉じる ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。

5 現在地の地図画面に戻るときは、現在地 ボタンを押す。

アドバイス

この機能を使うには、あらかじめ地点を登録しておく必要があります。「地点を登録する」74ページ

施設の名前で地点を探す[50音](1)

主な施設の名前を入力して探すことができます。行きたい施設の名前がわかっているときに便利です。
また、施設の候補が多い場合に順番を並び替えたり候補を絞り込んだりして探すことができます。
(ハイブリッド検索)



1

メニュー ボタンを押し、
目的地 ボタンをタッチし、
施設50音 ボタンをタッチする。

：施設50音検索入力画面が表示されます。



2

文字をタッチして、施設名をひらがなで入力する。



入力した文字を1つ訂正する場合
訂正 ボタンをタッチします。
全ての文字を訂正する場合
訂正 ボタンを長めにタッチします。

小文字に変換したい場合
変換したい文字を入力したあとに
小文字 ボタンをタッチします。

アドバイス

- 入力は、ひらがなのみです。
- 濁点、半濁点の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 入力できない文字は暗くなります。

3

検索 ボタンをタッチする。

：施設リスト画面が表示されます。
※検索施設が10,000件より多い場合 検索 ボタンは選択できません。10,000件以下になるよう入力してください。

例 “ぎん”と入力→10,000件より多い場合は検索できません 。
“ぎんざ”と入力→10,000件以下で検索可能
└次の文字を入力



4

■ リストから“施設名”を選択する場合

リストから“施設名”を選択しタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。

▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示



■ ハイブリッド検索で施設を選ぶ場合

□ 順番を並び替えて表示する

(例)距離順で表示



① 表示させたい方法の（50音順／距離順）ボタンを選択し、タッチする。

50音順 ボタン … 50音順に表示

距離順 ボタン … 地図上の直線距離で現在地から近い順に表示

② リストから“施設名”を選択し、タッチする。

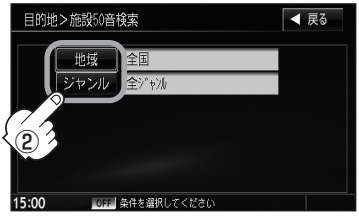
：施設周辺の地図が表示されます。

□ 条件を入力して絞り込む



① 絞込み ボタンをタッチする。

：条件入力画面が表示されます。



② 条件(地域／ジャンル ボタン)を選択し、タッチする。

■ 地域 ボタンをタッチした場合

：検索リスト画面が表示されます。



1. “都道府県名”“市区町村名”の順に選択する。

施設の名前で地点を探す[50音](2)

■ **ジャンル** ボタンをタッチした場合

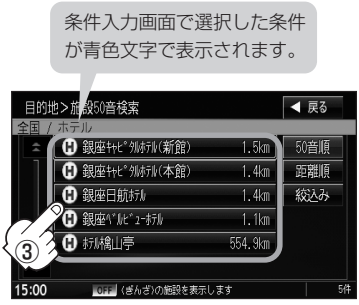
：検索リスト画面が表示されます。

1. **施設のジャンルを選択し、さらに細かく分類された施設の種類を選択してタッチしていく。**



③ リストから“施設名”を選択し、タッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。



アドバイス

- 検索施設の件数が多くなるほど施設のリストが表示されるのに時間がかかります。
- ハイブリッド検索は、最初に地域で絞り込み、さらにジャンルで絞り込むというように条件を組み合わせて絞り込むことができます。
- □ **条件を入力して絞り込む** の手順②(98ページ)で地域を選択した場合のリスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。(入力できない文字は暗くなります。)また、頭文字を連続でタッチすることで頭文字の行のリストがページ送り／ページ戻しすることができます。
- □ **条件を入力して絞り込む** の手順②(98ページ)でジャンルを選択した場合、検索リスト画面には該当するジャンルのみ表示されます。
- 名称を全て入力しなくても、施設名の一部からでも検索できます。
- 指定した条件を変更したい場合は、□ **条件を入力して絞り込む** の手順②(98ページ)の条件入力画面で変更したい条件のボタンをタッチして変更してください。

5

■ 周辺の地図を見る場合

閉じる ボタンまたは地図画面を
タッチして設定メニューを閉じる。

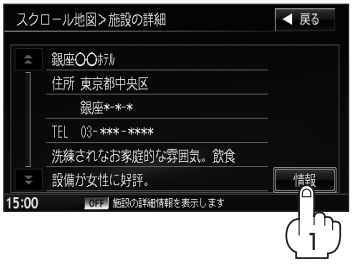
■ 施設の詳細情報を見る場合

施設の詳細 ボタンをタッチする。

：施設の詳細情報が表示されます。



（例）詳細情報画面



（例）情報リスト画面



（例）情報画面



6

現在地の地図画面に戻るときは、現在地 ボタンを押す。

施設のジャンルから地点を探す(1)

施設のジャンルや都道府県を指定して、該当する施設の名称リストを表示させ、住所や電話番号などの施設情報を見ることができます。ドライブ先の観光スポットを探すときなどに便利です。検索できる施設の種類については、「表示できる施設」(104〜106ページ)をご覧ください。



1 メニュー ボタンを押し、
目的地 ボタンをタッチし、
ジャンル ボタンをタッチする。
：ジャンル検索リスト画面が表示されます。



2 ■ リストを選択して探す場合
探している施設のジャンルを選択し、さらに細かく分類された施設の種類を選択してタッチしていく。

▲／▼ ボタンタッチでページ戻し／送り表示



■ ジャンル名を入力して探す場合

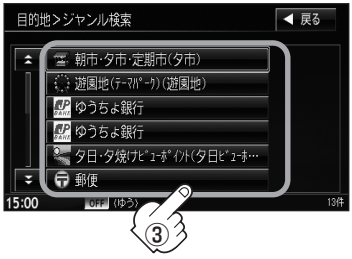
① ジャンル名入力 ボタンをタッチする。
：ジャンル名入力画面が表示されます。



② 文字をタッチしてジャンル名をひらがなで入力し、検索 ボタンをタッチする。
入力のしかたは97ページ **2** をご覧ください。



③ リストから“施設の種類”を選択し
タッチする。



3 リストから“都道府県名”を選択し、タッチする。

※市区町村名などさらに選択画面が続く場合は画面にしたがってタッチしてください。



▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示

アドバイス

- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。（入力できない文字は暗くなります。）
- ＊印：頭文字をタッチするごとに選択している行のリストがくり返し表示されます。

4 リストから“施設名”を選択しタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。

※現在地から近い順にリスト表示したい場合は **距離順** ボタンをタッチしてください。

（例）距離順で表示した場合



▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示

施設までの距離

選択時点灯

施設のジャンルから地点を探す(2)

5

■ 周辺の地図を見る場合

閉じる ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。



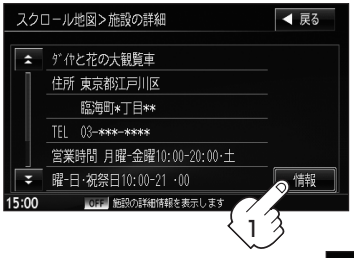
■ 施設の詳細情報を見る場合

施設の詳細 ボタンをタッチする。

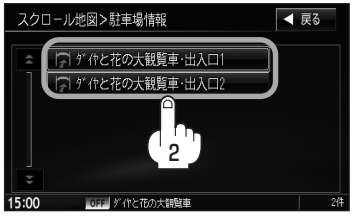
：施設の詳細情報が表示されます。

※施設に詳細内容がある場合は **情報** ボタンが表示されます。**情報** ボタンをタッチし、リストを表示させ選択すると、情報画面が表示され情報の確認ができ、**地図** ボタンをタッチすると周辺の地図を表示します。

(例)詳細情報画面



(例)情報リスト画面



(例)詳細画面



情報画面

6

現在地の地図画面に戻るときは、現在地 ボタンを押す。

アドバイス

- 入力したジャンルを訂正したい場合は、**戻る** ボタンをタッチして、訂正したいリストまで戻してください。
- “都道府県名”を選んだあと **全市区町村** ボタンをタッチすると、選んだ場所の全施設名がリストに表示されます。

表示できる施設(1)

交通機関

駅、高速・都市高速・有料道路施設、道の駅、フェリーターミナル、港、空港、タクシー

公共施設

役所、警察署・交番、消防署、図書館、裁判所、税務署、社会保険事務所、保健所、法務局、
運転免許試験場

銀行

都市銀行、地方銀行、その他銀行

駐車場

一般駐車場

学校・教育施設

大学、高校、中学校、小学校、短大、高専、中等教育学校、幼稚園、保育園、
特別支援学校、自動車学校、各種専門学校、予備校、その他学校・教育施設

病院

病院

冠婚葬祭

冠婚葬祭場、結婚式場、霊園・墓地、造花・装飾・花環

スポーツ施設

ゴルフ、スキー・スケート、マリンスポーツ、野球場、競技場、プール、モータースポーツ、
自転車、テニスコート、体育館、武道館、スポーツクラブ、バッティングセンター、
公営スポーツ施設、その他スポーツ施設

神社・仏閣・教会・巡礼

神社、仏閣・寺、教会、全国著名巡礼名所

遊ぶ

遊園地(テーマパーク)、レジャー公園・牧場、その他レジャー施設、海洋・海浜公園、サファリパーク、
海水浴場、川くだり、果物狩り、遊覧船、遊覧飛行機、リフト・ロープウェイ、釣り、キャンプ場、
公営ギャンブル、パチンコ、麻雀、ゲームセンター、ビリヤード、ボウリング場、カラオケボックス、
マンガ喫茶、インターネットカフェ、プラネタリウム、クラブ・ライブハウス、マリーナ、
待ち合わせ場所、趣味・娯楽・教養

表示できる施設(2)

観る

動物園、植物園、水族館、美術館、博物館、資料館、文化施設、ホール会館、劇場、映画館、
城・城跡、史跡、名所・観光地等、イベント、ビューポイント、住宅展示場

泊まる

ホテル、ビジネスホテル、旅館、ペンション、公共の宿、ファッションホテル、カプセルホテル、
家族旅行村、国民休暇村、民宿、その他宿泊施設

食べる

ファミリーレストラン、ファーストフード、ラーメン、うどん・そば、日本料理、中華、
イタリア料理、寿司屋、回転すし、フランス料理、カレーハウス、焼肉・ホルモン、韓国料理、
お好み焼き、とんかつ、持ち帰り弁当、喫茶、酒場、うなぎ料理店、おでん屋、海鮮料理店、
懐石料理、割烹・料亭、スパゲティ専門店、ステーキハウス、てんぷら料理店、鳥料理店、
ピザハウス、アイスクリーム、その他和風飲食店、その他洋風・中華飲食店

買う

カー用品、ホームセンター、ディスカウント、スーパー、デパート、複合大型商業施設、家電、本、
ファッション、衣服・呉服・小物、シューズ、バッグ・コート・毛皮、その他繊維製品、スポーツ、
雑貨、ドラッグストア、その他日用品・雑貨・文具、チケット売買・プレイガイド、
携帯電話ショップ、リサイクルショップ、おもちゃ屋、酒屋、食材、パン・お菓子、花屋、園芸店、
家具店、インテリア用品店、メガネ・コンタクトレンズ、釣具店、アウトドア用品店、
CDレコード店、中古CDレコード店、レンタルビデオ・CD、化粧品・装飾品・民工芸品、
オーディオ・パソコン・OA、金物店・刃物店、ガラス・陶磁器、その他小売店

生活施設

郵便、理容・美容、クリーニング、温泉、銭湯、サウナ・健康センター、クアハウス・スパ、
教養施設・福祉施設、写真・写真館、組合、人材紹介・代行サービス、録音スタジオ、
クレジット・質屋、宅配便・運輸、リース・レンタル・修理

トイレ

トイレ

カーディーラー

スズキ、スバル、ダイハツ、トヨタ、日産、日産部品、Honda Cars店、マツダ、三菱、
レクサス、アウディ、アルファロメオ、クライスラー、シトロエン、ジャガー、GM、現代、
BMW、フィアット、フォルクスワーゲン、フォード、プジョー、ベントレー、ポルシェ、ボルボ、
メルセデス・ベンツ、ヤナセ、ランドローバー、ルノー、その他カーディーラー

自動車関連

自動車整備工場、中古車販売、レッカーサービス、ロードサービス、レンタカー、レンタルバイク、その他自動車・オートバイ・自転車

コンビニエンスストア

コンビニエンスストア

ガソリンスタンド

ガソリンスタンド

エコステーション

エコステーション

その他ジャンル

大使館・領事館、マスメディア、旅行・観光業、ペット、製造・卸売業、農園・果樹園

目的地履歴の中から地点を探す・削除する

最近設定した目的地周辺の地図を表示することができます。
一度設定した目的地に、また行きたいときに便利です。



1 メニュー ボタンを押し、
目的地 ボタンをタッチし、
目的地履歴 ボタンをタッチする。

：目的地履歴検索リスト画面が表示されます。



2 履歴検索リストより地点を表示させるか履歴を削除します。

■ 地図を表示する場合

リストから見たい履歴を選択し、
タッチする。

：選択した目的地履歴周辺の地図画面を表示します。



アドバイス

設定した目的地は、最新のものから順に20か所まで自動的に登録されます。

■ 目的地履歴を削除する場合

① リストから削除したい目的地履歴の
ボタンをタッチする。



▲／▼ボタンタッチ
でページ戻し／送り表示

② 選択した目的地履歴を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので はい ボタンをタッチする。

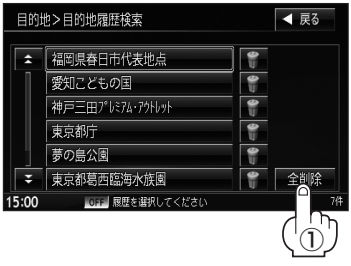
：選択した履歴を削除し、リスト画面に戻ります。



※他にリストに履歴がない場合はメニュー画面に戻ります。

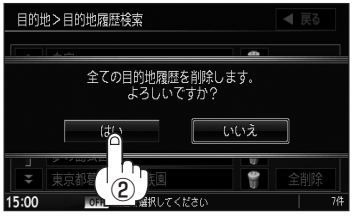
■ 全履歴を削除する場合

① 全削除 ボタンをタッチする。



② 全ての目的地履歴を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので はい ボタンをタッチする。

：全ての目的地履歴を削除し、メニュー画面に戻ります。



3 終わったら…

現在地 ボタンを押すと、現在地の地図画面に戻る。

リスト表示中に 戻る ボタンをタッチすると、メニュー画面に戻る。

周辺にある施設から地点を探す（1）

現在地またはスクロール先周辺にある施設の中から地点を探すことができます。施設までの距離と施設の位置も確認でき、近くのコンビニエンスストアなどを探したいときなどに便利です。検索できる施設の種類については、「表示できる施設」（104～106ページ）をご覧ください。



1

■ 現在地周辺の施設を検索する場合

現在地 ボタンを押す。

■ スクロール先周辺の施設を検索する場合

地図上のカーソルを検索したい施設の場所に合わせる。

2

メニュー ボタンを押し、
目的地 ボタンをタッチし、
次ページ ボタンをタッチする。



3

周辺施設 ボタンをタッチする。

：周辺検索リスト画面が表示されます。



4

■ 現在地またはスクロール先周辺を検索する場合

地図周辺 ボタンをタッチする。

■ ルート沿いにある施設を検索する場合

ルート沿い ボタンをタッチする。

■ 目的地周辺にある施設を検索する場合

目的地周辺 ボタンをタッチする。



アドバイス

- ルートを設定していない場合は **ルート沿い** ／ **目的地周辺** ボタンは選択できません。（ボタンが暗くなります）
- 現在地またはスクロール先周辺を検索する場合は、現在地から半径10km以内に存在する施設を最大100件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向にそって10km以内で、ルートの左右約100m以内に存在する施設を最大100件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。
- **地図周辺** ／ **ルート沿い** ／ **目的地周辺** ボタンでは、リストに表示される施設は異なります。

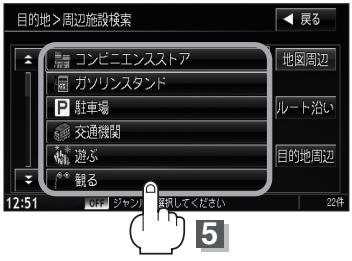
5 探している施設のジャンルを選択し、タッチする。

■ **施設の種類が表示された場合**

下記手順 **6** へ進んでください。

■ **施設名が表示された場合**

下記手順 **7** へ進んでください。



6 表示したい施設の種類を選択し、**検索** ボタンをタッチする。

：選択した種類にマーク（✔印）が付きます。
全選択 ボタンをタッチすると、全種類にマーク（✔印）が付きます。

※表示をやめたい場合は再度ボタンをタッチしてマーク（✔印）を消します。全件選択している場合は **全解除** ボタンをタッチすると、リストに付いているマーク（✔印）を全て消します。



7 リストから“施設名”を選択し、タッチする。

：左画面に選択した施設の周辺地図が表示されます。



周辺にある施設から地点を探す(2)

アドバイス

- 109ページ手順 **4** で **地図周辺** を選択した場合、施設名の横に施設から現在地またはスクロール先への距離を表示します。また、左画面の地図に現在地またはスクロール先から施設の方向を赤い線で表示します。
- 109ページ手順 **4** で **ルート沿い** ボタンを選択した場合、現在地からの距離と地図にルート沿いの左右どちらに施設があるかを表示します。
- リストから施設を選択しタッチすると左側の地図に選択した施設の周辺の地図が表示されます。
- 109ページ手順 **4** で **目的地周辺** ボタンを選択した場合、右画面リストに目的地からの距離を表示します。
- **▲広域** ／ **▼詳細** ボタンをタッチして地図を見やすく表示させることができます。（**方位** ボタンは選択することができません。）

8 **決定** ボタンをタッチする。

：周辺の地図が表示されます。



9 ■ 周辺の地図を見るには…

閉じる ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。



■ 施設の詳細情報を見るには…

施設の詳細 ボタンをタッチする。

：施設の詳細情報が表示されます。

※施設に詳細内容がある場合は **情報** ボタンが表示されます。**情報** ボタンをタッチし、リストを表示させ選択すると、情報画面が表示され情報の確認ができ、**地図** ボタンをタッチすると周辺の地図を表示します。

10 現在地の地図画面に戻るときは、現在地 ボタンを押す。

アドバイス

訂正したい場合は、**戻る** ボタンをタッチして、訂正したいリストまで戻してください。

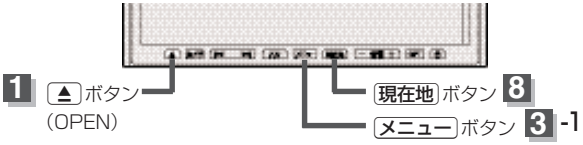
SDカードで地点を探す(1)

パソコンを使用してSDカードに保存した地点情報の周辺地図を表示します。

「パソコン連携(いつもNAVI)」55ページ

※SDカードに保存した地点情報は本機に登録することができます。(最大500ヶ所・自宅を含む)

「SDカードから地点を登録する」244~246ページ



1 ▲ボタン(OPEN)を押す。

:ディスプレイ部が開きます。

2 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

「SDカードを入れる/取り出すには」51ページをご覧ください。

:自動でディスプレイ部が閉じます。

3 メニューボタンを押し、
目的地ボタンをタッチし、
次ページボタンをタッチする。



4 SDから ボタンをタッチする。

:SDカードに保存した地点のファイル画面が表示されます。

※SDカード内に保存した地点が1つの場合は、下記手順 **5** -2 (フォルダ画面(例))へ進んでください。



5 確認したい地点が保存されているファイルをタッチし、フォルダをタッチする。

:SDカード内に保存した地点リスト画面が表示されます。

(例)ファイル画面



(例)フォルダ画面



SDカードで地点を探す(2)

6 リストから地点を選択してタッチする。

：施設の詳細情報が表示されます。

(例)リスト画面

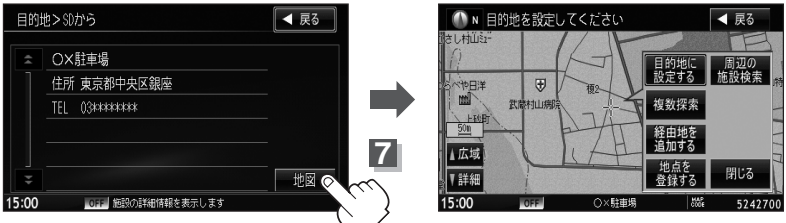


(例)詳細情報画面



7 地図 ボタンをタッチする。

：周辺の地図が表示されます。



※ 閉じる ボタンまたは地図画面をタッチすると、設定メニューを閉じることができます。
再度設定メニューを表示させるには、 設定 ボタンをタッチしてください。

8 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 ボタンを押す。

アドバイス

- 指定のWebサイト(いつもNAVI)からダウンロードした位置情報ファイルはSDカードのDRIVEフォルダ内に入れてください。SDカード内に“DRIVE”という名前のフォルダがない場合は、半角で“DRIVE”という名前のフォルダを新規作成し、作成したDRIVEフォルダ内に位置情報ファイルを入れてください。SDカードを挿入していない／SDカード内に位置情報ファイルがない場合は手順 **4** (112ページ)でSDカードを挿入またはSDカードに位置情報ファイルの書き込みをうながすメッセージが表示されます。SDカードが挿入されているかを確認／DRIVEフォルダ内に位置情報ファイルがあることを確認してください。
  「パソコン連携(いつもNAVI)」55ページ
- 指定のWebサイトからルート探索したデータを本機で探索する場合は「SDカードからルート探索をする」151～153ページをご覧ください。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい差し込み方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- SDカードに保存した地点情報は本機に登録することができます。
  「SDカードから地点を登録する」244～246ページをご覧ください。

緯度・経度で地点を探す

見たい場所の緯度と経度を入力して地点を探すことができます。



1 メニュー ボタンを押し、
目的地 ボタンをタッチし、
次ページ ボタンをタッチする。



2 緯度経度 ボタンをタッチする。

：緯度・経度検索入力画面が表示されます。



3 数字をタッチして、緯度と経度〔緯度(北緯)→経度(東経)の順〕を入力し、 検索 ボタンをタッチする。

入力方法は「電話番号で地点を探す」の手順 2 (90ページ)をご覧ください。

：周辺の地図が表示されます。
閉じる ボタンまたは地図画面をタッチすると設定メニューを閉じることができます。



数字入力時、選べない数字は暗くなります。

4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 ボタンを押す。

アドバイス

- 入力した緯度と経度のデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、“指定座標の地図が収録されていません。”と表示され入力画面に戻ります。
- 本機で表示している緯度・経度の座標数値は日本測地系に基づくものとなっていますので、世界測地系に基づいた緯度・経度で検索すると、異なる場所を表示する場合があります。

郵便番号で地点を探す

郵便番号簿(ポスタルガイド)などに掲載されている郵便番号から、施設付近の地図を表示することができます。



1 〔メニュー〕ボタンを押し、
目的地ボタンをタッチし、
次ページボタンをタッチする。



2 **郵便番号**ボタンをタッチする。
：郵便番号検索入力画面が表示されます。



3 数字をタッチして郵便番号を入力し、**検索**ボタンをタッチする。
※4桁以上の入力が必要です。



入力した数字を1つ訂正する場合
訂正ボタンをタッチします。
全ての数字を訂正する場合
訂正ボタンを長めにタッチします。

入力途中で検索ボタンをタッチした場合
入力した郵便番号の検索リストが表示されます。該当する項目を選択して、タッチすると周辺の地図が表示されます。

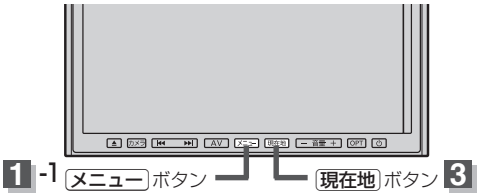
4 周辺の地図が表示されます。
※設定メニューは**閉じる**ボタンまたは地図画面をタッチすると閉じることができます。

5 現在地の地図画面に戻るときは、〔現在地〕ボタンを押す。

アドバイス
企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。

地図から地点を探す

表示中の地図から地点を探すことができます。



1 メニュー ボタンを押し、
目的地 ボタンをタッチし、
次ページ ボタンをタッチする。



2 地図から ボタンをタッチする。

：この画面に入る前の地図画面を表示します。

※設定メニューを表示させるには 設定 ボタンをタッチしてください。



3 現在地の地図画面に戻るときは、現在地 ボタンを押す。

地名から地点を探す[50音](1)

地名を入力して地点を探すことができます。



1 メニュー ボタンを押し、
目的地 ボタンをタッチし、
次ページ ボタンをタッチする。



2 地名50音 ボタンをタッチする。
：地名50音検索入力画面が表示されます。



3 文字をタッチして、地名をひらがなで入力する。



入力した文字を1つ訂正する場合
訂正 ボタンをタッチします。
全ての文字を訂正する場合
訂正 ボタンを長めにタッチします。

小文字に変換したい場合
変換したい文字を入力したあとに
小文字 ボタンをタッチします。

アドバイス

- 初期状態は“地名の一部でも検索できます”と表示されていますが、入力したいボタンをタッチすると消えます。
- 入力は、ひらがなのみです。
- 濁点、半濁点の入力および小文字への変換を省いても検索できます。例えば「ちゆうおう」や「ちよた」と入力するだけでも検索できます。
- 入力できない文字は暗くなります。

地名から地点を探す[50音](2)

4 **検索** ボタンをタッチする。

：地名50音検索画面が表示されます。

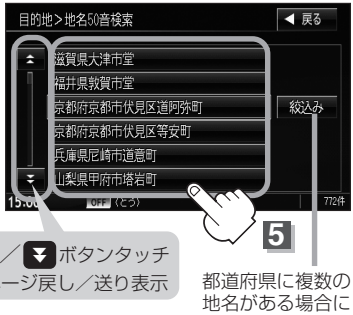


5 リストから“地名”を選択し、タッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※“丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”と続く場合は画面にしたがってタッチしていってください。

検索方法は「住所で地点を探す」の手順 2 (93、94ページ)をご覧ください。



■ **都道府県に複数の地名がある場合**

絞込み ボタンが表示されます。

絞込み ボタンをタッチすると都道府県名を絞り込むことができます。

▲▲／▼▼ ボタンタッチでページ戻し／送り表示

都道府県に複数の地名がある場合に表示

6 周辺の地図を見るには…

閉じる ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。

※再度設定メニューを表示させるには **設定** ボタンをタッチしてください。



7 現在地の地図画面に戻るときは、現在地 ボタンを押す。

マップコードで地点を探す

ガイドブック等に掲載されているマップコードから、施設付近の地図を表示することができます。



1 メニュー ボタンを押し、
目的地 ボタンをタッチし、
次ページ ボタンをタッチする。



2 マップコード ボタンをタッチする。

：マップコード検索入力画面が表示されます。



3 数字をタッチして、マップコードを入力し、
検索 ボタンをタッチする。

☞ 入力方法は「電話番号で地点を探す」の手順 2 (90ページ)をご覧ください。

：周辺の地図が表示されます。 閉じる ボタンまたは地図画面をタッチすると設定メニューを閉じることができます。



4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 ボタンを押す。

アドバイス

マップコードについて

- 6～10桁の数字で地図上の位置を表すコードで、施設等の位置を示すためにガイドブック等に掲載されています。
  ※マップコードを掲載したガイドブックは、株式会社JTBパブリッシング社などから出版されています。(平成22年3月現在)
  全てのガイドブックにマップコードが掲載されているわけではありませんので、ガイドブックをお買い上げの際に、ご確認ください。
- 本機は高精度マップコードに対応しておりません。
  ※高性能マップコードは、約3m四方の地点を特定することができ、10桁以降に記号と数字で表示されています。
  例）1234567890 ＊ 12
  入力可能　入力不可
- 本機では、地図画面でカーソルを合わせた場所のマップコードを表示します。
- 入力したマップコードのデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、“該当するマップコードが収録されていません。”と表示され入力画面に戻ります。
- MAPCODE® およびマップコードはデンソーの登録商標です。

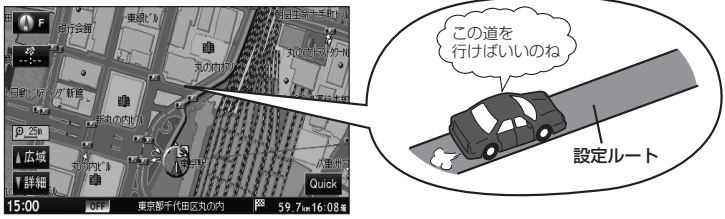
ルート

ルート設定について……123〜125
ルート探索について ……124
細街路探索について ……125
1ルート・複数ルート探索をする ……126〜130
1ルート探索をする ……127〜129
複数ルート探索をする ……130
ルートを変更する……131〜138
出発地の変更……131、132
目的地の変更 ……133
目的地の追加 ……134
経由地の追加……134〜137
経由地の変更／削除 ……137
経由地／目的地など地点の入れ替え ……137
探索条件の変更 ……138
ルート案内をストップ／スタートする ……139
前方の道が通れない（迂回探索）……140
現在のルートを表示する……141、142
ルート詳細情報を表示するには ……141
シミュレーション走行をする ……143
渋滞予測ルート探索をする……144〜146
現在のルートを削除する ……147
現在のルートを保存する ……148
登録ルート……149、150
保存したルートの呼び出し ……149
保存したルートの削除 ……150
SDカードからルート探索をする ……151〜153
渋滞地点を確認する ……154
ルートから外れてしまったら（再探索）……155

ルート設定について(1)

ルート設定をすると、本機は、登録した条件と地図ソフトのデータをもとに、出発地から目的地までのルートを探索し、地図上に表示します。(この画面をルート案内画面と呼びます。)このルート上を走ることによって、目的地に到着します。

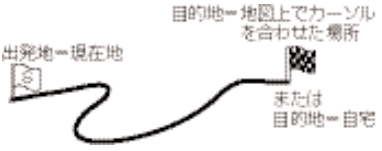
ルート案内画面



ルート設定は、主に次の3通りの方法で行ないます。

クイックルート(Quick機能)探索 ☞79、80ページ

- カーソルを目的地に合わせ **設定** ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ **目的地に設定する** ボタンをタッチすると、現在地から目的地までのルートが表示されます。
  ☞「**現在地から目的地までのルートを探索をする場合**」79ページ
- 現在地表示時に、**Quick** ボタンをタッチし、Quick MENUを表示させ **自宅** ボタンをタッチすると、現在地から自宅までのルートが表示されます。
  ☞「**現在地から自宅までのルートを探索をする場合**」80ページ

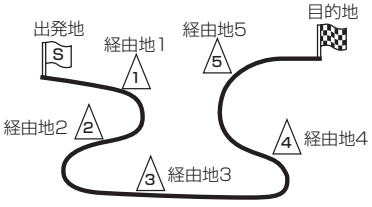


ルート ボタン　1ルート探索・複数ルート探索

☞126～130ページ

- **ルート編集** ボタンから好きな場所を出発地にできます。
- 複数探索を選ぶと、5通りのルートを同時に探索します。表示されたルートを見て、好きなルートを選んでください。
- 途中に寄りたい場所や通りたい道などを経由地として登録できます。(5か所まで)

※経由地を設定すると複数探索はできません。



目的地 ボタンから探索方法を選択してルート探索 ☞89～120ページ

住所／電話番号／施設50音／ジャンル／郵便番号など、お好きな方法で目的地を登録し、現在地から目的地までのルートを探索します。

NAVI設定 ボタン

探索条件や有料道路料金表示の車種を設定することができます。

☞「ルート探索条件の設定をする」247～250ページ

アドバイス

必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。

⚠注意 交通規制の変更などにより、実際には探索したルートが通れない場合があります。この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

ルート探索について

画面の流れ （例） ルート ボタンから探索した場合

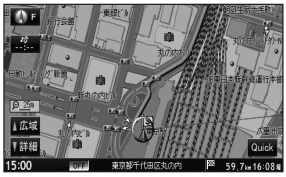
探索中



（例）全ルート表示画面



（例）ルート案内画面

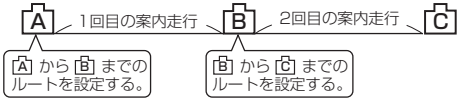


- 出発地と目的地との距離が長いほど、また、1ルート探索より複数ルート探索の方が、ルート探索に時間がかかります。
- 出発地と目的地との距離が長すぎて、ルート探索ができない場合は、“ルートが探索できません”などと表示し、探索を中止します。この場合は、設定内容（出発地／経由地／目的地）を変更して、出発地と目的地との距離を短くしてください。

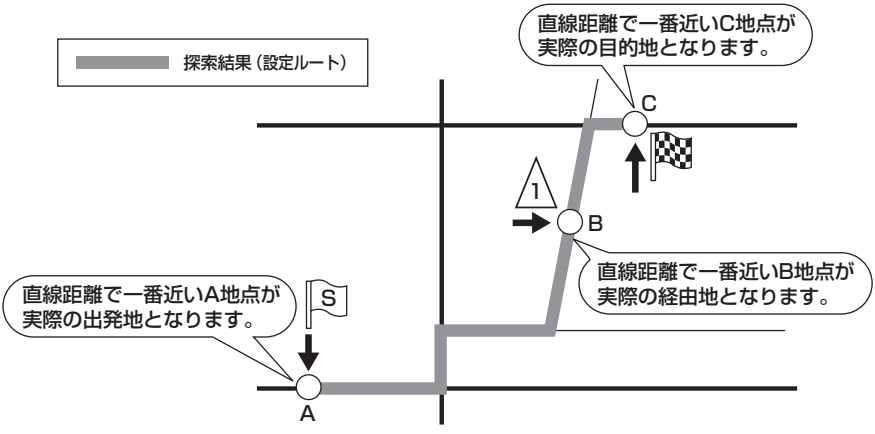
例えば、A地点からC地点に行く場合、

① A地点からB地点までのルートを設定して、B地点まで行く。
② B地点からC地点までのルートを設定して、C地点まで行く。

というのも、1つの方法です。



- ルート探索は地図ソフトに収められている探索データをもとに行ないますが、地図上の全ての道路（場所）にこのデータがあるわけではありません。
出発地（S）／経由地（1）／目的地（旗）を登録した地点から直線距離で一番近い地点がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。
ただし規制等があって道路が通れない場合、出発地（S）／経由地（1）／目的地（旗）を登録した道路を通るルートになるとは限りません。



※有料道路（高速道路、都市高速道路を含む。）と一般道路が接近している地点に登録した場合は、有料道路上に設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。

ルート設定について(2)

- 地図ソフトの更新によって収められている探索データが異なり、出発地／経由地／目的地や探索条件が同じであっても、ルートが異なる場合があります。
- ルート探索中に車のキースイッチを「OFF」に入れると、ルート探索を中断します。この後に車のキースイッチを「ACC」または「ON」にするとルートは中止(削除)されています。

細街路探索について

細街路の時間規制は考慮されない場合があります。

※市街地図の収録エリアおよび細街路探索エリアにつきましては、
559～562ページをご覧ください。

ルート設定の流れ　目的地 ボタンから探索する場合

目的地を登録する

↓

探索実行

探索条件、地図ソフトのデータをもとに、本機がルートを探索します。

↓

ルート案内開始

※ルート案内を止める場合は「ルート案内をストップ／スタートする」(139ページ)にしたがって操作してください。

1ルート探索・複数ルート探索をする(1)

ルート設定の流れ　ルート ボタンから探索する場合

目的地を登録する

↓

出発地を登録する
現在地以外の場所を出発地にする場合は、登録が必要です。

経由地を登録する
途中に寄りたい場所や通りたい場所(道)がある場合に登録します。(5か所まで)

↓

探索条件を選択する
- 自動 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道幅優先 のどれか1つを選択。
- 自動再探索／フェリーを優先／季節規制考慮／時間規制道路を考慮／スマートICを利用／ルート学習結果を利用／VICS自動再探索／VICS情報を考慮／統計交通情報を考慮／ルート探索時は する ボタンを選択する。

探索開始 (ルートを1つ探索する)か 複数探索 (参考ルートを5つ探索して、好きなルートを選ぶ)のどちらかを選択。
※経由地が設定されている場合は 複数探索 は選択できません。

↓

探索実行
登録した内容(目的地・出発地・経由地)、探索条件、地図ソフトのデータをもとに、本機がルートを探索します。

↓

ルート案内開始
※ルート案内を止める場合は「ルート案内をストップ／スタートする」(139ページ)にしたがって操作してください。

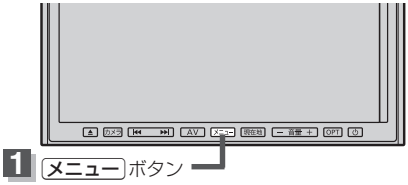
アドバイス

- 現在地を出発地にする場合は、ルート設定をする前に、実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)と一般道路が接近している地点に、出発地／経由地／目的地を登録すると、有料道路上に設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。
  有料道路上に設定する場合は 有料道路 を、一般道路上に設定する場合は 一般道路 を選択し、タッチしてください。
- ジャンルから高速ICの出入口を選択した場合は、出入口が反映された地点が表示されます。その地点を登録し、登録地点から表示させルート探索をすると出入口情報は反映されません。画面にメッセージが表示されるので 有料道路 ／ 一般道路 ボタンを選択してください。
- ルートは、必ずしも最短ルートが選ばれるわけではありません。

⚠注意　交通規制の変更などにより、実際には探索したルートが通れない場合があります。この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

1ルート探索・複数ルート探索をする(2)

1ルート探索をする



1 メニュー ボタンを押す。

2 ■ 目的地画面から選択する場合

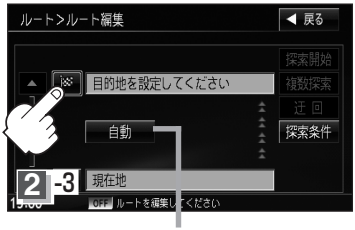
目的地 ボタンをタッチし、検索方法を選択してタッチする。



■ ルート編集画面から選択する場合

ルート ボタンをタッチし、ルート編集 ボタンをタッチする。
ルート編集画面が表示されたら、 ボタンをタッチする。





探索条件を変更する場合はここをタッチ
138ページ

この後は、選んだ方法で登録する場所周辺の地図画面を表示させます。

- 目的地付近：目的地の地図を表示
- 出発地付近：出発地の地図を表示
- 経由地付近：経由地の地図を表示
- 現在地付近：現在地の地図を表示
- 自宅 ☞89ページ
- 電話番号 ☞90、91ページ
- 住所 ☞92～94ページ
- 登録地点 ☞95、96ページ
- 施設50音 ☞97～100ページ
- ジャンル ☞101～103ページ
- 目的地履歴 ☞107、108ページ
- 周辺施設 ☞109～111ページ
- SDから ☞112～114ページ
- 緯度経度 ☞115ページ
- 郵便番号 ☞116ページ
- 地図から ☞117ページ
- 地名50音 ☞118、119ページ
- マップコード ☞120ページ

3 目的地を登録します。

■ 表示された目的地で良い場合

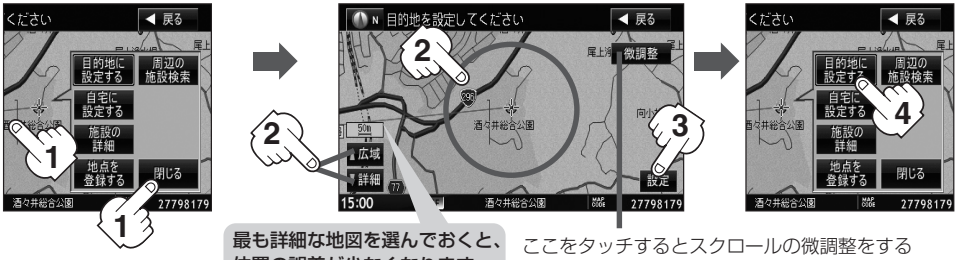
設定 ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ 目的地に設定する ボタンをタッチする。

■ 設定メニューと共に表示された目的地で良い場合

目的地に設定する ボタンをタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、目的地の位置調整をする場合

閉じる ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。
カーソルを目的地に合わせたら 設定 ボタンをタッチし設定メニューを表示させ、
目的地に設定する ボタンをタッチする。



最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

ここをタッチするとスクロールの微調整をすることができます。
☞「 スクロールの微調整をする 」68ページ

：
- 目的地 ボタンから探索した場合、目的地にゴールマーク( )が表示された後、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、全ルート表示画面が表示されます。
  ※到着地点情報が表示されたときは、129ページのアドバイスをご覧ください。
- ルート ボタンから探索した場合、目的地を登録すると、ルート編集画面に戻ります。
  探索開始 ボタンをタッチすると、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、全ルート表示画面が表示されます。

1ルート探索・複数ルート探索をする(3)

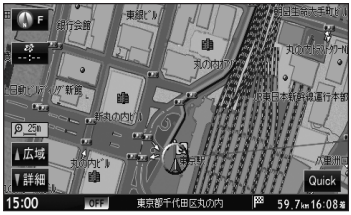
4 **案内スタート** ボタンをタッチする。

：ルート案内を開始します。

(例)全ルート表示画面



(例)ルート案内画面



アドバイス

- **目的地** ボタンから探索して目的地を登録するとき、選択した場所に「出入り口情報」や「提携駐車場情報」などの到着地点情報がある場合はメッセージが表示されます。 **はい** ボタンを選択すると情報リスト画面が表示され、リストを選択すると情報画面を表示して情報の確認をすることができます。
  いいえ ボタンを選択すると、ルート探索完了後ルート案内を開始します。
- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。「平均速度を設定する」197ページ
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- 探索条件を変更する場合は、「ルート探索条件の変更」247～250ページをご覧ください。
- メニュー ボタンを押し、 **NAVI設定** → **表示** → **ルート案内設定** ボタンをタッチして“全ルートの表示”を **する** に設定している場合、上記手順 **4** で **別ルート** ボタンが表示されます。 **別ルート** ボタンをタッチすると、複数ルート探索を開始します。
  「ルート案内画面の設定を変える」209～219ページ、「 **複数ルート探索をする** 」130ページ
- 上記手順 **4** で **詳細情報** ボタンをタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
  「 **ルート詳細情報を表示するには** 」141ページ

複数ルート探索をする

表示されたルートの中から(“自動”“有料優先”“一般優先”“距離優先”“道幅優先”)お好みのルート案内を開始することができます。

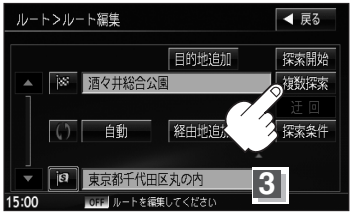
※複数ルート探索はトップメニューの **ルート** ボタンより操作します。

1 メニュー ボタンを押す。

2 **ルート** ボタンをタッチし、
ルート編集 ボタンをタッチする。
：ルート編集画面が表示されます。



3 **複数探索** ボタンをタッチする。
：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。



アドバイス

複数ルート探索は1ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。
経由地を設定した場合、“複数探索”はできません。

4 探索条件(**自動** / **有料優先** / **一般優先** / **距離優先** / **道幅優先** ボタン)をタッチしてルートを確認する。
：有料道路は青、一般道路は緑/ピンクで表示されます。



目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「−−−円」と表示されます。)

5 **案内スタート** ボタンをタッチする。
：ルート案内を開始します。

このボタンをタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
「**ルート詳細情報を表示するには**」141ページ

アドバイス

- ルート確認画面で地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
「**地図を動かす(地図スクロール)**」66、67ページ
- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。「平均速度を設定する」197ページ
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- 有料道路を優先する設定にしていても、有料道路を使用しないルート探索をするときもあります。
- 出発地(現在地)または目的地の変更や出発地と目的地の入れ替えなどは手順 **3** で“複数探索”をタッチする前に設定できます。「ルートを変更する」131〜138ページ
- 探索条件については「**探索条件の変更**」129ページ/「ルート探索条件の設定をする」247、248ページをご覧ください。

ルートを変更する(1)

設定したルートを修正して、新しいルートを探索することができます。
出発地の変更、目的地の変更、経由地の追加／変更／削除、経由地／目的地の入れ替え、探索条件の変更ができます。



1

メニューボタンを押し、
ルートボタンをタッチして、
ルート編集ボタンをタッチする。
：ルート編集画面が表示されます。



2

登録内容を変更する。

出発地の変更（現在地以外を出発地にする）

① ボタンをタッチする。
（新しい出発地を登録する。）



② 吹き出し表示の中から
変更ボタンをタッチする。

③ 表示されたメニューの中から、地図を探す方法を選択してタッチする。
（☞128ページ）
：周辺の地図を表示します。



④ 出発地を登録します。

■ 表示された出発地で良い場合

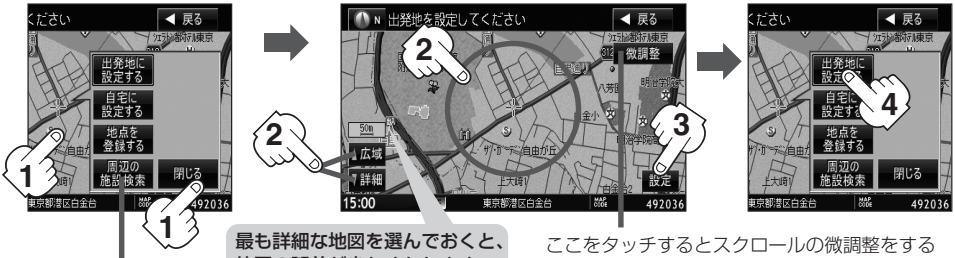
設定 ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ **出発地に設定する** ボタンをタッチする。

■ 設定メニューと共に表示された出発地で良い場合

出発地に設定する ボタンをタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、出発地の位置調整をする場合

閉じる ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。
カーソルを出発地に合わせたら **設定** ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ **出発地に設定する** ボタンをタッチする。



最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

ここをタッチするとスクロールの微調整をすることができます。
「 スクロールの微調整をする 」68ページ

設定メニューの **周辺の施設検索** ボタンをタッチして出発地を探すこともできます。（109ページ手順 4 から）

：ルート編集画面に戻ります。

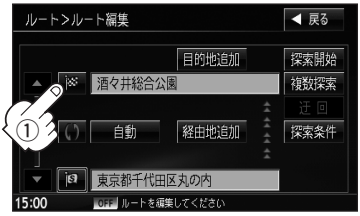
ルートを変更する(2)

目的地の変更

① ボタンをタッチする。

② 新しい目的地を登録する。

登録のしかたは、出発地の変更（131ページ）
手順②、③をご覧ください。



③ 目的地を登録します。

■ 表示された目的地で良い場合

設定 ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ 目的地に設定する ボタンをタッチする。

■ 設定メニューと共に表示された目的地で良い場合

目的地に設定する ボタンをタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、目的地の位置調整をする場合

閉じる ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。
カーソルを目的地に合わせたら 設定 ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ 目的地に設定する ボタンをタッチする。



最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

ここをタッチするとスクロールの微調整をすることができます。
☞「スクロールの微調整をする」68ページ

設定メニューの 周辺の施設検索 ボタンをタッチして目的地を探すこともできます。（☞109ページ手順 4 から）

：ルート編集画面に戻ります。

目的地の追加

追加する地点を目的地にし、すでに設定されている目的地を経由地にすることができます。

① **目的地追加** ボタンをタッチする。



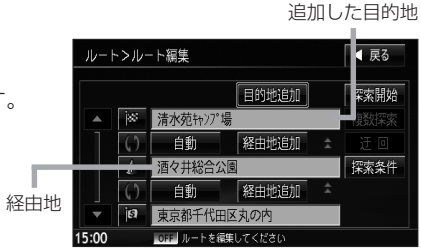
② **新しい目的地を登録する。**

登録のしかたは、**出発地の変更**（131ページ）手順③をご覧ください。

③ **目的地を登録します。**

登録のしかたは、**目的地の変更**（133ページ）手順③をご覧ください。

：目的地を追加し、ルート編集画面に戻ります。



経由地の追加

① **追加する場所の 経由地追加 ボタンをタッチする。**

出発地と目的地の間に追加する場合



② **表示されたメニューの中から、経由地の地図を探す方法を選択し、タッチする。**（☞128ページ）



ルートを変更する(3)

③ 経由地を登録します。

■ 表示された経由地で良い場合

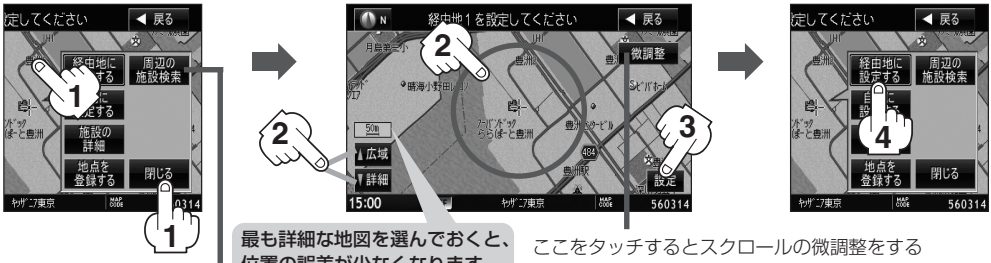
設定 ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ **経由地に設定する** ボタンをタッチする。

■ 設定メニューと共に表示された経由地で良い場合

経由地に設定する ボタンをタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、経由地の位置調整をする場合

閉じる ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。
カーソルを経由地に合わせたら **設定** ボタンをタッチし設定メニューを表示させ、**経由地に設定する** ボタンをタッチする。



最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

ここをタッチするとスクロールの微調整をすることができます。
「スクロールの微調整をする」68ページ

設定メニューの **周辺の施設検索** ボタンをタッチして経由地を探すこともできます。(109ページ手順 4 から)

：経由地が追加され、ルート編集画面に戻ります。



ルート案内中に経由地を目的地画面から追加することができます。

① メニュー ボタンを押し、**目的地** ボタンをタッチする。

② 表示されたメニューの中から検索方法を選択してタッチする。（☞128ページ）

※経由地の位置を調整する場合は、地図をスクロールさせて経由地の地図を表示させる。☞「見たい地域を探す」66～68ページ



③ 経由地を登録します。

■ 設定メニューと共に表示された経由地で良い場合

経由地を追加する ボタンをタッチする。

■ 表示された経由地で良い場合

設定 ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ **経由地を追加する** ボタンをタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、経由地の位置調整をする場合

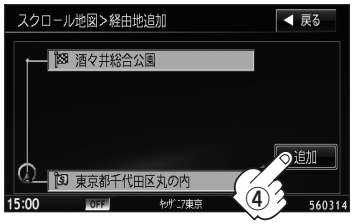
閉じる ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。
カーソルを経由地に合わせたら **設定** ボタンをタッチし設定メニューを表示させ、**経由地を追加する** ボタンをタッチする。



ルートを変更する(4)

④ 追加する場所の **追加** ボタンをタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、全ルートが表示されます。



⑤ **案内スタート** ボタンをタッチする。

：ルート案内が開始されます。

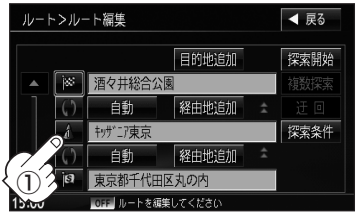
アドバイス

- となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- 経由地は5か所まで登録できます。
- すでに通過した区間には経由地を登録することはできません。
- 地図画面または **目的地** ボタンから経由地を追加する場合、ルート案内を停止していると **経由地を追加する** ボタンは表示されません。

経由地の変更／削除

① 変更／削除する経由地の **▲** ボタンをタッチする。

経由地1を選んだ場合



② ■ 変更する場合

変更 ボタンをタッチして、新しい経由地登録する。

登録のしかたは、**経由地の追加**（134～137ページ）を参照。



■ 削除する場合

削除 ボタンをタッチする。

地点を削除し、ルート編集画面に戻ります。

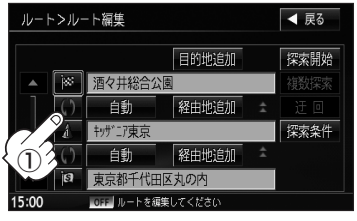
※変更／削除を中止する場合は、**閉じる** ボタンをタッチしてください。



経由地／目的地など地点の入れ替え

① 入れ替えしたい場所の **⟲** ボタンをタッチする。

経由地1と目的地を入れ替える場合



アドバイス

すでに通過した経由地の変更・入れ替えはできません。

探索条件の変更

① 変更する場所の 自動 ボタンをタッチする。

② 探索条件(自動 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道幅優先 ボタン)を選択し、タッチする。

※探索条件の変更を中止する場合は、 閉じる ボタンをタッチしてください。

設定できる探索条件

自動
推奨のルートを自動的に探索します。

有料優先
高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索します。

一般優先
国道や県道などを通るルートを優先的に探索します。

距離優先
走行距離がなるべく短くなるようなルートを優先的に探索します。

道幅優先
なるべく道幅が広いところを優先的に探索します。

経由地1までの探索条件を変更する場合



探索条件 ボタンをタッチして探索条件の変更をすることもできます。

「ルート探索条件の設定をする」247~250ページ



アドバイス

- 距離優先 を表示させると、細い道路ばかり通ったり、有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。
- 距離優先 で探索させた場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので距離優先とならない場合があります。また、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。

3 ルート探索を開始する場合は、 探索開始 ／ 複数探索 ボタンを選択しタッチする。

■ 探索開始 を選択した場合

ルート探索が完了すると全ルート表示画面が表示され、 案内スタート ボタンをタッチすると、ルート案内を開始します。

■ 複数探索 を選択した場合

ルート探索が完了すると、5つのルートの選択画面になります。好きなルートを選択し、 案内スタート ボタンをタッチすると、ルート案内を開始します。

アドバイス

- 複数ルート探索は1ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。
- 経由地を設定したときは、 複数探索 ボタンは選択できません。
- 到着予想時刻は平均速度の設定によって異なります。「平均速度を設定する」197ページ
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。

ルート案内をストップ／スタートする

よく知っている道など案内が必要ない場合は音声案内と画面表示を一時的に止めたり、設定したルートの案内を再び開始させることができます。

※一度もルート探索をしていない場合は選択できません。「1ルート探索・複数ルート探索をする」126～130ページを参考にルート探索をしてください。



1 メニュー ボタンを押し、
ルート ボタンをタッチする。
：ルートメニュー画面が表示されます。



2 ■ **ルート案内を止める場合**

案内ストップ ボタンをタッチする。
：ルート案内を停止し、地図画面が表示されます。



■ **ルート案内を開始する場合**

案内スタート ボタンをタッチする。
：前回ルート探索したルート案内を開始します。



アドバイス

- 現在地表示時に Quick の **案内スタート** ／ **案内ストップ** ボタンをタッチしても案内をストップ／スタートすることができます。（タッチするたびに表示が切り替わります。）
- ルート案内をやめても、探索されたルートは次にルートを探索したり、ルートの変更をしたり、保存ルートを呼び出したりするまでは保存されています。

前方の道が通れない…（迂回探索）

ルート案内走行時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正することができます。



1 メニューボタンを押し、
ルートボタンをタッチして、
ルート編集ボタンをタッチする。
：ルート編集画面が表示されます。



2 迂回ボタンをタッチする。
：迂回距離選択画面が表示されます。



3 迂回距離（1km迂回／2km迂回／5km迂回／10km迂回ボタン）を選択する。

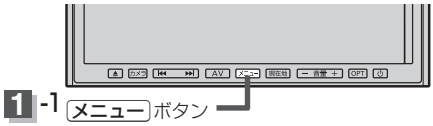


アドバイス

- 保存ルートを呼び出してルート案内走行していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回探索は、安全な場所に車を止めて行なってください。迂回探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 他の道がない場合や探索した迂回路が極端に遠回りになる場合は、現在のルートをそのまま表示する場合があります。
- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過している経由地は除く。）

現在のルートを表示する

設定したルート(出発地から目的地まで)を全画面に表示させて確認することができます。



1 メニュー ボタンを押し、
ルート ボタンをタッチして、
全ルート表示 ボタンをタッチする。
：全ルート表示画面が表示されます。



2 見終わったら・・・
戻る ボタンをタッチする。

出発地から目的地までのルート全体が見える縮尺で表示されます。



ルート詳細情報を表示するには

設定したルートの道路の種類や案内区間の距離を確認することができます。

① 上記手順 **1** にしたがって操作し、
詳細情報 ボタンをタッチする。
：ルート詳細情報画面が表示されます。



ルート詳細情報画面(例)

② 見終わったら・・・
戻る ボタンをタッチする。
：全ルート表示画面に戻ります。

▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示



アドバイス

- 3Dビューのときでも、全ルート表示は平面地図画面で表示されます。
- ルートの一部が画面内に入りきらない場合があります。
- 地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
  「地図を動かす(地図スクロール)」66ページ
- 現在のルートに有料道路がある場合は、その目的地までの合計料金も表示されます。(実際の料金と異なる場合があります。)
- ルート詳細情報画面では各区間ごとの料金を表示します。
- シミュレーション走行(143ページ)、ルート情報(211ページ)、音声案内(85、86ページ)など、ルート案内走行を助ける様々な機能もあります。
- 設定ルートの色(緑/ピンク)を選ぶことができます。
  ※どちらを選んだ場合も、有料道路は青色になります。
  「■ 設定ルートの色を選ぶには 」210ページ

シミュレーション走行をする

設定したルートを画面に表示し、地図上でそのルートを走ってみることができます。(これをシミュレーション走行と呼びます。)ルート情報表示(211ページ)、音声案内(85、86ページ)をすることもでき、出発前に、前もってルートを確認するのに便利です。



1 メニューボタンを押し、
ルートボタンをタッチして、
全ルート表示ボタンをタッチする。
：全ルート表示画面が表示されます。



2 シミュレーションボタンをタッチする。
：シミュレーション走行が開始されます。



3 シミュレーション走行を終わるには・・・
メニューボタンを押してください。



アドバイス

- シミュレーション走行時、交差点拡大をしない／音声案内が遅れる／自車マークが大きく移動することがありますが、故障ではありません。
- シミュレーション走行中の動作(操作など)は、実際の操作と異なります。(Quick MENUなどは操作できません。また、軌跡の表示はしません。)
- 細街路の音声案内はシミュレーション走行のみされます。
- 上記手順 2 で 詳細情報 ボタンをタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
「 ルート詳細情報を表示するには 」141ページ
- シミュレーション走行中に ▶ ボタンをタッチすると、JCT・交差点拡大表示を一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は ◀ ボタンをタッチしてください。

渋滞予測ルート探索をする(1)

本機に収録されている過去の渋滞統計データをもとに、設定したルート上の渋滞を予測して回避するルート探索をすることができます。表示された参考ルートの中から出発時刻(“現在時刻” “指定日時” “30分後” “1時間後” “予測なし”)によって、所要時間やルートの違いを確認することができます。



1 メニューボタンを押し、
ルートボタンをタッチして、
渋滞予測回避ボタンをタッチする。
：渋滞予測回避画面が表示されます。



2 設定したい項目(現在時刻探索／日時指定探索ボタン)をタッチする。



■ 現在時刻探索を選択した場合

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

① 現在時刻／30分後／1時間後／予測なし／カレンダーボタンをタッチしてルートを確認する。

- 現在時刻 …出発時刻を現在の時刻で設定する。
- 30分後 ……出発時刻を現時刻の30分後で設定する。
- 1時間後 ……出発時刻を現時刻の1時間後で設定する。
- 予測なし …渋滞統計データを考慮しないルートで設定する。
- カレンダー …出発日時をお好みに設定できる。
  ※設定の方法は次ページの
  ■ 日時指定探索 選択した場合 手順①～④をご覧ください。

ルート確認画面



このボタンをタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
☞「ルート詳細情報を表示するには」141ページ

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。)

渋滞予測ルート探索をする(2)

■ **日時指定探索** を選択した場合

：日付指定画面が表示されます。

① 日付を選択し、タッチする。

：時刻指定画面が表示されます。



ここをタッチするとカレンダー送りができます。(今月を指定しているときは、前月を指定することはできません。**前月** ボタンは暗くなります。)

② 数字をタッチして時間を入力する。

※時間は24時間制の15分単位で入力します。



数字入力時、選べない数字は暗くなります。

③ 探索 ボタンをタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

④ 指定日時 ／ 30分後 ／ 1時間後 ／ 予測なし ボタンをタッチしてルートを確認する。

指定日時 …日付指定探索で設定した出発時刻とする。
30分後 ……日付指定探索で設定した出発時刻の30分後を出発時刻とする。
1時間後 ……日付指定探索で設定した出発時刻の1時間後を出発時刻とする。
予測なし …渋滞統計データを考慮しないルートで設定する。

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。)



※ **カレンダー** ボタンをタッチすると、上記手順①からの操作となります。

※ **詳細情報** ボタンをタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。

☞「 ルート詳細情報を表示するには 」141ページ

3 案内スタート ボタンをタッチする。

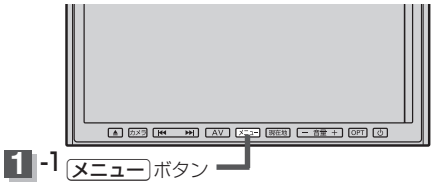
：ルート案内を開始します。



アドバイス

- 到着予想時刻は指定した時刻によって異なります。
- 日付指定画面で過去の日時を設定することはできません。
- ルート確認画面で地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
  「地図を動かす（地図スクロール）」66、67ページ
- ルート確認画面で **カレンダー** ボタンをタッチして、日時の変更をすることができます。145ページ手順①～④にしたがって操作してください。
- 過去の渋滞状況をもとに渋滞を予測してルート探索するため、実際の渋滞を避けたルートになるとは限りません。
- 各道路（一般道路／国道／有料道路）の平均走行速度を設定していても所要時間と到着予想時刻は **自動** でルート探索された表示になります。「平均速度を設定する」197ページ
- 出発地と目的地との距離が長い場合、経由地を多く登録している場合は、ルート探索に時間がかかります。

現在のルートを削除する



1 **メニュー ボタンを押し、**
ルート ボタンをタッチして、
ルート削除 ボタンをタッチする。

：現在のルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンを選択するとルートを削除し、ルートメニュー画面に戻ります。



アドバイス

現在のルートは、次の場合、自動的に削除されます。
- ルート探索をして、あらたにルートを設定したとき
- ルートの変更をしたとき
- ルートの再探索をしたとき

現在のルートを保存する

設定したルートの地点と探索条件を20件まで保存することができます。保存したルート(登録ルート)は、再び呼び出すことができます。「登録ルート」149、150ページ



1 メニューボタンを押し、
ルートボタンをタッチして、
ルート保存ボタンをタッチする。
：“このルートを保存しました。”と表示されます。



2 設定を終わるには・・・
現在地ボタン、メニューボタンを押すまたは戻るボタンをタッチすると、現在地の地図画面に戻る。

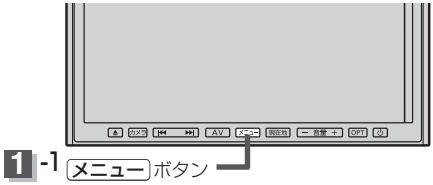
アドバイス

- ルート設定後、次のルートを探索したり、ルートの変更後再探索をしたり、保存ルートを呼び出したりすると、そのルートは、自動的に削除されます。残しておきたいルートは、保存しておいてください。
- 上記手順 1 で、すでに設定したルートの地点と探索条件が20件保存されている場合は、“登録可能件数を超えました。不要な登録内容を削除してください。”と表示されます。ルート→登録ルート→ を選択し、不要なデータを削除してください。「保存したルートの削除」150ページ

登録ルート（保存したルートの呼び出し）

保存したルートを呼び出して、ルート探索をすることができます。
※現在ルートを表示している場合は、現在のルートが削除され、呼び出したルートが表示されます。

あらかじめルートを保存しておきます。「現在のルートを保存する」148ページ



1 メニュー ボタンを押し、
ルート ボタンをタッチして、
登録ルート ボタンをタッチする。
：登録ルートリスト画面が表示されます。



2 呼び出したいルートをタッチする。

■ すでに現在のルートがある場合

現在のルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択するとルート探索を開始します。

■ ルートがない場合

ルート探索を開始します。

：ルート探索が完了すると全ルートが表示され 案内スタート ボタンをタッチすると、ルート案内を開始します。

※保存したときの探索条件でルート探索されます。



（保存したルートの削除）

保存したルートを削除することができます。

あらかじめルートを保存しておきます。「現在のルートを保存する」148ページ



1 メニューボタンを押し、
ルートボタンをタッチして、
登録ルートボタンをタッチする。

：登録ルートリスト画面が表示されます。



2 削除したいルートのボタンをタッチする。

：登録ルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるのではいボタンを選択します。
登録ルートリスト画面に戻ります。



／ボタンタッチでページ戻し／送り表示

3 設定を終わるには・・・

現在地ボタンを押すと、現在地の地図画面に戻る。
戻るボタンをタッチすると、メニュー画面に戻る。

アドバイス

現在のルートは、次の場合、自動的に削除されます。

- ルート探索をして、あらたにルートを設定したとき
- ルートの変更をしたとき
- ルートの再探索をしたとき

SDカードからルート探索をする(1)

パソコンを使用してSDカードに保存したルート情報を本機で再探索することができます。

「パソコン連携(いつもNAVI)」55ページ

※SDカードの再生を停止してから操作してください。

「SDモードを終了する」402ページ



1 ▲ボタン(OPEN)を押す。

：ディスプレイ部が開きます。

2 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

「SDカードを入れる／取り出すには」51ページをご覧ください。

：自動でディスプレイ部が閉じます。

3 メニューボタンを押し、ルートボタンをタッチして、SDルートボタンをタッチする。

：SDカードに保存したルートのファイル画面が表示されます。

※SDカード内に保存したルートが1つの場合は、手順 5 (152ページ)へ進んでください。



4 確認したいルートが保存されているファイルをタッチする。

：SDカード内に保存したルートのリストが表示されます。

(例)ファイル画面



5 リストから呼び出したいルートをタッチする。

(例)リスト画面



■ すでに現在のルートがある場合

：現在のルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとルート編集画面を表示します。

■ ルートがない場合

：下記手順 **6** へ進んでください。

6 探索開始 ／ 複数探索 ボタンを選択し、タッチする。

目的地追加 ボタン

目的地追加 ボタンをタッチして、追加する地点を目的地にすることができます。
☞134ページ



経由地追加 ボタン

経由地追加 ボタンをタッチして、経由地を追加／変更／削除することができます。
☞134、135ページ

：ルート探索を開始します。
ルート探索が完了すると全ルートが表示され、 **案内スタート** ボタンをタッチするとルート案内を開始します。

※経由地がある場合は **複数探索** ボタンは選択できません。

※ **複数探索** を行った場合は ☞130ページ手順 **4** 、 **5** をご覧ください。

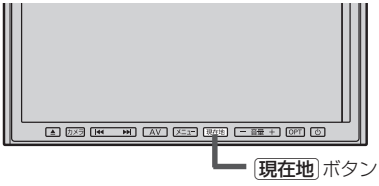
SDカードからルート探索をする(2)

アドバイス

- 手順 4 (151ページ)でルート探索をする場合、本機に設定している探索条件を基にルート探索を行なうため、パソコン(指定Webサイト)上でのルート探索結果と異なります。
  「ルート探索条件の設定をする」209〜211ページ
- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。「平均速度を設定する」197ページ
- 指定のWebサイト(いつもNAVI)からダウンロードした位置情報ファイルはSDカードのDRIVEフォルダ内に入れてください。SDカード内に“DRIVE”という名前のフォルダがない場合は、半角で“DRIVE”という名前のフォルダを新規作成し、作成したDRIVEフォルダ内に位置情報ファイルを入れてください。SDカードを挿入していない／SDカード内に位置情報ファイルがない場合は、手順 3 (151ページ)でSDカードを挿入またはSDカードに位置情報ファイルの書き込みをうながすメッセージが表示されます。SDカードが挿入されているかを確認／DRIVEフォルダ内に位置情報ファイルがあることを確認してください。
- 指定のWebサイトから地点を保存したデータは「SDカードで地点を探す」112〜114ページをご覧ください。
- SDルートから探索した場合、目的地履歴には残りません。
- 探索したルートは本機に保存することができます。(最大20件)「現在のルートを保存する」148ページ
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい差し込み方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

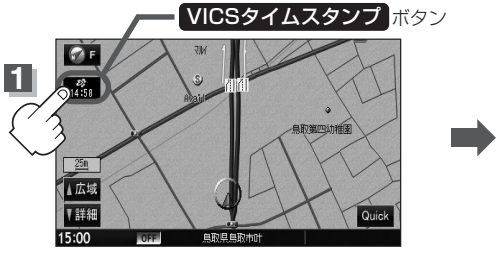
渋滞地点を確認する

設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。



1 現在地表示画面で VICSタイムスタンプ ボタン(13:53)をタッチする。

：音声案内とともに渋滞／規制地点が表示されます。



ここをタッチするとスクロールの微調整をすることができます。

「 スクロールの微調整をする 」68ページ



2 見終わったら・・・

現在地 ボタンを押すまたは 戻る ボタンをタッチすると、現在地の地図画面に戻る。

アドバイス

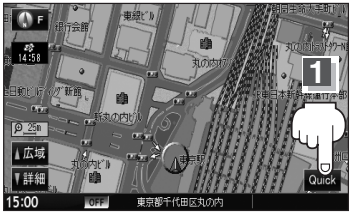
- ルート上に渋滞／規制がない場合、 VICSタイムスタンプ ボタン(13:53)をタッチしても地点は表示されません。音声案内のみとなります。
- 渋滞地点は現在地から前方10km以内の一番近い渋滞／規制地点が表示されます。
- Quick MENUに 渋滞地点 ボタンを登録すると、 Quick → 渋滞地点 で、渋滞地点を確認することもできます。
  「Quick MENUの設定を変えるには」545、546ページ
- ルート案内を停止している場合、 VICSタイムスタンプ ボタン(13:53)は選択できません。
  また、FM多重の番組設定を “ 一般情報番組を受信します ” に設定している場合も選択できません。
  (一般情報スタンプ(“FM一般”)表示時)
  「ルート案内をストップ／スタートする」139ページ
  「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」174、175ページ

ルートから外れてしまったら…（再探索）

本機はルート案内走行時に設定ルートから外れると自動的に再探索（リルート）するように初期設定されていますが（☞247～250ページ）、再探索しない設定にしている場合にルート案内走行時に設定ルートから外れてしまった場合、下記の手順（手動）で、現在地から目的地までの参考ルートを再探索することができます。
再探索が完了すると、古いルートが消えて、新しいルートが表示されます。

1 現在地表示画面で、**Quick** ボタンをタッチする。

：Quick MENUが表示されます。



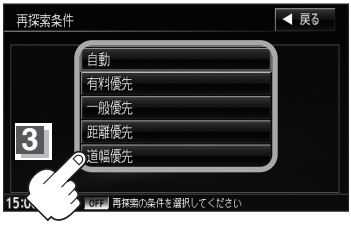
2 **再探索** ボタンをタッチする。

：再探索条件設定画面が表示されます。



3 探索条件（**自動** ／ **有料優先** ／ **一般優先** ／ **距離優先** ／ **道路優先** ボタン）を選び、タッチする。

※探索を中止する場合は、**戻る** ボタンをタッチしてください。



アドバイス

- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過した経由地は除く。）
- 経由地を登録している場合、選択した探索条件は次の経由地までとなります。
- 再探索は、安全な場所に車を止めて行なってください。ルート探索中に移動すると、設定ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動した後で行なってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地（現在地）が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。

情　報

エコドライブ情報の設定をする　…157～161
GPS情報を見る　……162
接続確認をする　……163
ETC情報を見るには　……164、165
交通情報（*VICS*情報）／一般情報の受信について　……166
交通情報（*VICS*情報）について　…167～169
交通情報（*VICS*情報）とは　……167
表示について　……167、168
マーク一覧表……169
*VICS*放送局　……169
一般情報について　……170、171
一般情報とは……170
表示について……170
一般情報の内容（番組）について　……170
一般情報放送局……171
操作の前に　……172
FM多重の項目一覧　……172
操作画面について……172
交通情報／一般情報を表示するには　……173
操作の流れ……173
情報の消去について……173
受信する情報（交通情報／一般情報）を選ぶには　……174、175
交通情報（文字情報）／一般情報を見るには　……176、177
交通情報（図形情報）を見るには　……178
緊急情報を見るには　……179、180
緊急情報について……180
選局するには　……181～186
自動選局　……181、182
自動選局を止めるには……182
手動選局　……183、184
エリア選局　……185、186
放送局をプリセット（保存）するには…187～189
プリセットした放送局を呼び出すには……188
プリセットした放送局に上書きするには……189
ビーコン情報を見るには　……190
ビーコンの項目一覧……190
ビーコン交通情報を見るには　……191
地図画面について……191
ビーコンの文字情報／図形情報（簡易図形）を見るには　……192
ビーコンの緊急情報／旅行時間情報を見るには　……193、194
緊急情報について……194
***VICS*設定をするには……195**

エコドライブ情報の設定をする(1)

走行中の「加速」や「減速」「アイドリング時間」などをGPS衛星の信号や車速情報をもとに計算し、ドライビングスタイルが環境にやさしく無駄の少ない運転(エコドライブ)ができているか評価して、その情報を確認することができます。



1 メニューボタンを押し、情報ボタンをタッチして、エコドライブ情報ボタンをタッチする。

：エコドライブ情報画面が表示されます。

※1日の評価時間内の結果をグラフで表示します。

急加速 ……急に加速した回数

急減速 ……急に減速した回数

アイドリング ……車両停車時間(一定時間以上の停車をアイドリングとします。)

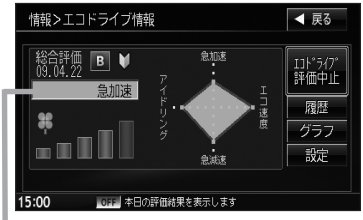
エコ速度 ……規定速度以上で走行した時間(法定速度とは異なりますのでご注意ください。)

評価レベル ……初級で評価した場合、マークを表示

総合評価 ……総合評価をA～Eの5段階で判定



エコドライブ情報画面(例)



メッセージがスクロール表示されます。

※この評価は本機独自の評価です。グラフの数が5つのときはA、4つのときはB、3つのときはC、2つのときはD、1つのときはE評価です。グラフの数が多いほど環境にやさしく、無駄の少ない運転ができていることを意味します。

2 機能を利用／設定する。

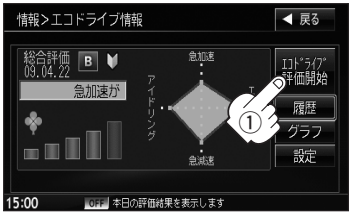
■ エコドライブ評価を開始する場合

① エコドライブ評価開始ボタンをタッチする。

：エコドライブ評価を開始します。

※戻るボタンをタッチすると情報バーにECOマークを表示します。

エコドライブ情報画面



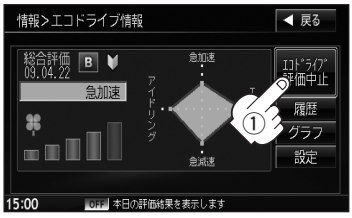
■ エコドライブ評価を止める場合

① **エコドライブ評価中止** ボタンをタッチする。

：エコドライブ評価を中止します。

※ **戻る** ボタンをタッチすると情報バーの ECO マークを中止します。

エコドライブ情報画面



■ エコドライブ情報の設定をする場合

① **設定** ボタンをタッチする。

：エコドライブ設定画面が表示されます。

エコドライブ情報画面

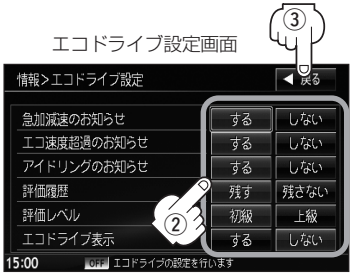


② **お知らせメッセージや評価履歴の設定をする場合、急加減速のお知らせ／エコ速度超過のお知らせ／アイドリングのお知らせ／エコドライブ表示を する ／ しない ボタン、評価履歴を 残す ／ 残さない ボタン、評価レベル 初級 ／ 上級 ボタンを選択し、タッチする。**

※エコ速度超過のお知らせ／エコドライブ表示の **する** ボタンをタッチした場合、メッセージが表示されるので、メッセージの内容を確認し **OK** ボタンをタッチしてください。

※評価レベルを変更する場合、評価レベルの変更をしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ／ **いいえ** ボタンをタッチしてください。

エコドライブ設定画面



③ **設定が終わったら・・・**

戻る ボタンをタッチする。

：設定を保存し、エコドライブ情報画面に戻ります。

アドバイス

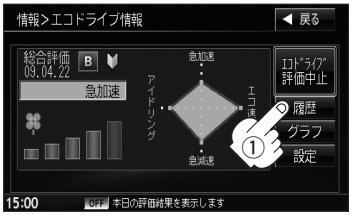
- エコドライブ表示を **する** に設定した場合、現在地の地図画面に戻ったとき右画面にエコドライブ情報を表示します。エコドライブ情報の表示を止めたい場合は、エコドライブ表示の **しない** ボタンをタッチしてください。
- ■ **エコドライブ情報の設定をする** の手順②で評価レベル **初級** ボタンを選択すると、2画面表示またはエコドライブ情報を表示させたときに マークが表示されます。161ページのアドバイス
- ルート情報／ハイウェイモード表示中はエコドライブ情報を **する** に設定しても右画面にエコドライブ情報は表示されません。「ルート案内画面の設定を変える」211、212ページ

エコドライブ情報の設定をする(2)

■ 評価履歴を見るには

① **履歴** ボタンをタッチする。

：エコドライブ評価履歴画面が表示されます。
今までの評価履歴が最大50件まで日付の新しい順に表示されます。



② リストから見たい日時の履歴を選択し、タッチする。

：エコドライブ評価履歴詳細画面が表示されます。

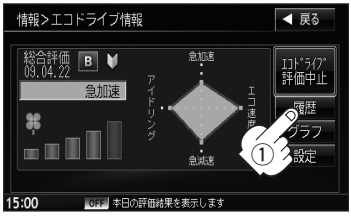


③ 見終わったら・・・
戻る ボタンをタッチする。

■ 評価履歴を削除するには

① **履歴** ボタンをタッチする。

：エコドライブ評価履歴画面が表示されます。



② 削除したい履歴を選択し、タッチする。

：エコドライブ評価履歴詳細画面が表示されます。



全履歴を削除したい場合は
全削除 ボタンをタッチします。

③ **削除** ボタンをタッチする。

：選択した評価履歴を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** ボタンを選択すると履歴を削除し、エコドライブ評価履歴画面に戻ります。

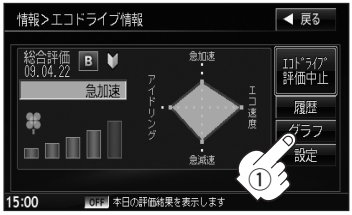


④ 設定を終わるには・・・
戻る ボタンをタッチする。

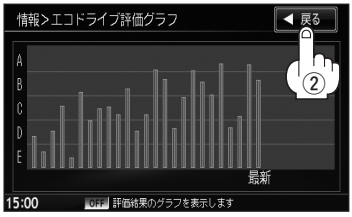
■ グラフ表示で見るには

① グラフ ボタンをタッチする。

：グラフ画面が表示されます。
評価グラフは最大30件まで表示されます。



② 見終わったら・・・
戻る ボタンをタッチする。



3 確認が終わったら・・・

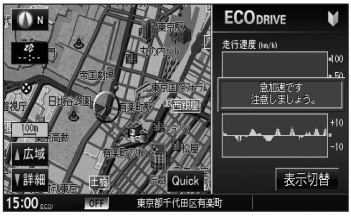
戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／ メニュー ボタンを押す。

：それぞれの画面に戻ります。

エコドライブ情報の設定をする(3)

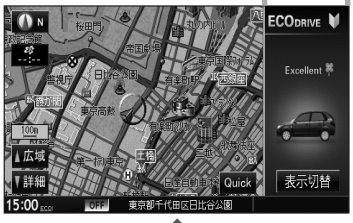
アドバイス

- 157ページ手順 **2** で **エコドライブ評価開始** ボタンをタッチすると、走行中に各評価レベルの設定値を超えたときにチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。
  ※エコドライブ情報を表示しているときに、チャイムを鳴らしてメッセージを表示します。



- 右画面にエコドライブ情報を表示する設定にすると右画面にアニメーション、走行速度・加速度インジケーターまたは、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。
  ルート案内中は交差点拡大などを表示する設定にしている場合は、交差点拡大などを優先して表示します。
  「エコドライブ情報の設定をする」157～160ページ
  ※エコドライブ評価を開始していない場合は、右画面にエコドライブ情報を表示しません。
  「エコドライブ情報の設定をする」157ページ
- メニュー ボタンを押し、**NAVI設定** → **表示** → **地図表示設定** → ▼▼ を2回タッチ→右画面に地図を表示 **する** にすると、右画面にエコドライブを表示することができません。
- 現在地表示時に **Quick** → **右画面表示** → **エコドライブ** で右画面にエコドライブ情報を表示することもできます。(**表示切替** ボタンをタッチで、表示の切替え)

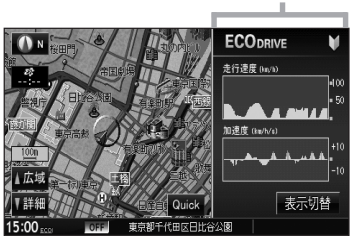
(例)アニメーションを表示



(例)走行速度・加速度インジケーターを表示



(例)走行速度・加速度履歴グラフを表示



- **エコドライブ情報は、実際の走行状態を表すものではありません。**
- アニメーション、走行速度・加速度インジケーターの場合、評価レベルによって文字とイラスト(🍀)の色(緑＝優良、橙＝注意、赤＝要注意)が変化します。
- 評価は1日単位で保存します。
- GPSが受信されていない場合は、正しい評価をすることができません。
- エコドライブ情報での評価内容はあくまでも目安です。

GPS情報を見る

現在地の緯度・経度、現在受信中のGPS衛星の数、現在の日付・時刻を表示することができます。



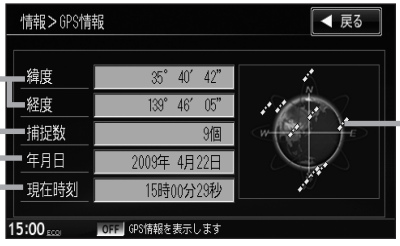
1

メニューボタンを押し、
情報ボタンをタッチして、
GPS情報ボタンをタッチする。

：GPS情報画面が表示されます。



GPS情報画面



現在地の緯度、経度

受信中のGPS衛星の数

現在の日付

現在の時刻

GPS衛星マーク
受信中のGPS衛星の
おおよその位置を示します。

※受信中のGPS衛星の数には、測位に使用できないものも含まれています。
測位に使用できるGPS衛星の数が3個以上ない（現在地の測位ができない）場合は、緯度と経度は表示されません。

2

見終わったら・・・

戻るボタンをタッチ、または現在地／メニューボタンを押す。

：それぞれの画面に戻ります。

アドバイス

現在の時刻は、GPS衛星の電波を受信していても、1秒程度の誤差はあります。
電波を受信していないときは、誤差はより大きくなります。

接続確認をする

本機が車側に正しく接続されていない場合、本機の機能が正常に働きません。
接続確認画面で、パーキングブレーキ／車速パルス／バックセンサー／ETC／ビーコンの接続を確認してください。



1 メニューボタンを押し、
情報ボタンをタッチして、
接続確認ボタンをタッチする。
：接続確認画面が表示されます。



2 接続を確認する。

パーキングブレーキ
正しく接続されていれば、車のパーキングブレーキをかけているときは“ON”、かけていないときは“OFF”を表示します。

車速パルス
正しく接続されていれば、停車中は“OFF”、車を少し動かすと“ON”を表示します。
※車を動かす際、広い場所（駐車場等）で、安全確認をしてください。

バックセンサー
正しく接続されていれば、車のシフトレバーをリバースに入れているときは“ON”、リバース以外に入れているときは“OFF”を表示します。バックカメラを選択（表示灯点灯）しているときは、バックカメラ画面に変わります。

ETC
別売のETCユニットを接続すると“ON”、接続していないときは“OFF”を表示します。

ビーコン
別売のVICSビーコンユニットを接続すると“ON”、接続していないときは“OFF”を表示します。

3 確認が終わったら・・・
戻るボタンをタッチ、または現在地／メニューボタンを押す。
：それぞれの画面に戻ります。

ETC情報を見るには(1)

本機に別売のETCユニットを接続している場合に本機でETCの利用履歴や、ETC管理情報を表示することができます。



1

メニューボタンを押し、
情報ボタンをタッチして、
ETC情報ボタンをタッチする。
：ETC情報画面が表示されます。



2

履歴・管理情報を表示する。

■ 履歴を見るには

① ETC履歴ボタンをタッチする。
：今までの利用履歴が最大100件まで日付の新しい順に表示されます。

② 履歴をリストから選択し、タッチする。
：履歴の詳細情報が表示されます。







アドバイス

地図ソフトに収録されていない料金所につきましては、入口／出口料金所の名称は“登録なし”と表示されます。

ETC情報を見るには(2)

■ 管理情報を表示するには

① **ETC管理情報** ボタンをタッチする。
：ETC本体の登録内容が表示されます。





3 見終わったら・・・

現在地 ボタンを押すと、現在地の地図画面に戻る。

戻る ボタンをタッチすると、メニュー画面に戻る。

アドバイス

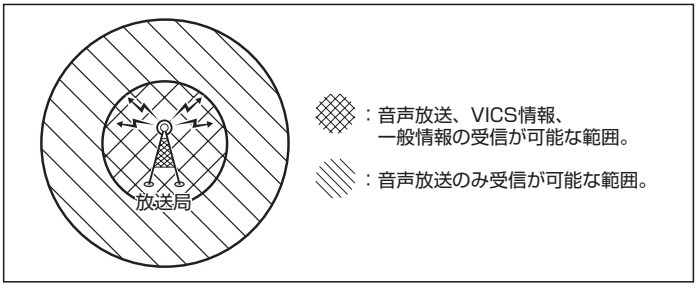
別売のETCユニットを接続すると、上記の方法でETC情報を確認することができます。接続可能なETCユニットにつきまして、詳しくは販売店へご相談ください。

交通情報(*VICS*情報)／一般情報の受信について

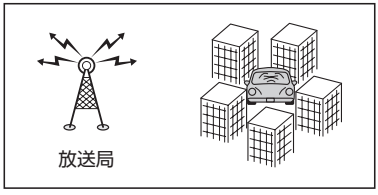
●電波が強くなければ、これらの情報は受信できません。
したがって、受信できるエリアも、音声放送に比べ、かなり狭い範囲に限られます。

解説

VICS情報、一般情報は、デジタルデータにされ、FMラジオ放送局の電波の一部を使って送られてきます。デジタルデータは、正確に受信する必要があるため、電波が強い場所でなければ、受信できません。したがって、お手持ちのラジオで、FMラジオ放送局から送られてくる音声放送が聞けたとしても、その放送局から送られてくるVICS情報、一般情報は受信できない場合があります。VICS情報、一般情報が受信できるエリアの目安は、音声放送が受信できる限界の距離の約半分の距離です。



●放送局からの距離は、受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合があります。



●すべてのFMラジオ放送局でVICS情報、一般情報を放送しているわけではありません。
情報を放送している放送局については、VICS放送局 169ページ／ 一般情報放送局 171ページをご覧ください。

交通情報(*VICS*情報)について(1)

交通情報(*VICS*情報)とは

FM多重放送局の中には、*VICS*センターから提供される*VICS*情報(レベル1～レベル3)を放送している局*があります。本書および画面表示では、この*VICS*情報を“交通情報”とも呼んでいます。

＊本書では交通情報を放送しているFM多重放送局を“***VICS***放送局”と呼んでいます。

「***VICS***の概要」563、564ページ

表示について

交通情報の表示には、3種類(レベル1、レベル2、レベル3)があります。

※表示形式は、放送局によって異なる場合があります。

レベル1(文字)表示

※表示内容は更新(変更)される場合があります。

(例)



ヘッダー文
VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

表示中の情報が交通情報であることを示します。

受信中の周波数

本文

- 1ページは、ヘッダー文(1行)と本文(全角：15文字×2行の30文字まで。半角：31文字×2行の62文字まで)で構成されています。

レベル2(簡易図形)表示

(例1)



ヘッダー文
VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

渋滞情報
赤色：渋滞
橙色：混雑
※渋滞方向を矢印で表示します。

(例2)



ヘッダー文

***VICS*放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。**

高速・有料道路がこの先もつづくことを示します。
この先の情報提供がない場合は、灰色です。

渋滞情報

矢印方向の渋滞状況を示します。赤色：渋滞　　橙色：混雑

矢印方向の次の地点までの所要時間(5分単位)

この例の場合は、津山IC から落合JCまで、約20分かかることを示しています。

***VICS*情報マーク**

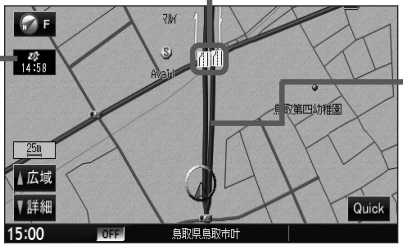
マーク一覧表 169ページ

アドバイス

渋滞情報は、渋滞や混雑がない場合、または情報が不明な場合は表示されません。

レベル3(地図)表示

(例1)



***VICS*情報マーク**

マーク一覧表 169ページ

***VICS*タイムスタンプ**

- 交通情報の提供時刻を表示します。

※表示可能なレベル3情報がない時は“－－：－－”を表示します。

※一般情報を受信する設定になっている場合は、表示されません。

- ルート案内中にタッチすると、渋滞／規制を確認することができます。

「渋滞地点を確認する」154ページ

渋滞情報

赤色：渋滞　　橙色：混雑
緑色：渋滞なし　黄色：規制
※渋滞の方向を矢印で表示します。

：交通情報

(例2)



地図をスクロールさせてVICS情報マークにカーソル(┼)をあわせると、マーク詳細情報が表示されます。

***VICS*情報マーク**

マーク一覧表 169ページ

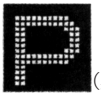
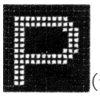
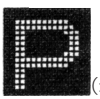
アドバイス

- 縮尺によってはレベル3表示できない場合があります。
- レベル3表示の情報提供時刻は、レベル1やレベル2表示の情報提供時刻と一致しない場合があります。
- 情報提供時刻が表示されている時(“－－：－－”表示ではない時)に、レベル3が表示できます。
- 受信状況によっては、3種類(レベル1～レベル3)の情報を全て表示することはできない場合があります。

交通情報(*VICS*情報)について(2)

マーク一覧表

交通情報によっては、下記のマークが表示されます。

事　故 	凍　結 	チェーン規制 	駐車場(混雑)  (橙)	車線規制 	入り口制限 	速度規制40km/h 	速度規制80km/h 
故障車 	作　業 	進入禁止 	駐車場(不明)  (黒)	徐　行 	速度規制10km/h 	速度規制50km/h 	
路上障害 	通行止め／閉鎖 	駐車場(空)  (青)	駐車場(閉) 	入り口閉鎖 	速度規制20km/h 	速度規制60km/h 	
工　事 	片側交互通行 	駐車場(満)  (赤)	対面通行 	大型通行止め 	速度規制30km/h 	速度規制70km/h 	

*VICS*放送局

●平成22年4月1日現在、開局されている放送局は次のとおりです。

VICS旭川(85.8MHz)、***VICS***札幌(85.2MHz)、***VICS***函館(87.0MHz)、***VICS***北見(86.0MHz)、***VICS***仙台(82.5MHz)、***VICS***福島(85.3MHz)、***VICS***前橋(81.6MHz)、***VICS***さいたま(85.1MHz)、***VICS***宇都宮(80.3MHz)、***VICS***水戸(83.2MHz)、***VICS***東京(82.5MHz)、***VICS***千葉(80.7MHz)、***VICS***横浜(81.9MHz)、***VICS***長野(84.0MHz)、***VICS***新潟(82.3MHz)、***VICS***甲府(85.6MHz)、***VICS***静岡(88.8MHz)、***VICS***金沢(82.2MHz)、***VICS***名古屋(82.5MHz)、***VICS***岐阜(83.6MHz)、***VICS***津(81.8MHz)、***VICS***大津(84.0MHz)、***VICS***奈良(87.4MHz)、***VICS***京都(82.8MHz)、***VICS***大阪(88.1MHz)、***VICS***和歌山(84.7MHz)、***VICS***神戸(86.5MHz)、***VICS***岡山(88.7MHz)、***VICS***広島(88.3MHz)、***VICS***山口(85.3MHz)、***VICS***高松(86.0MHz)、***VICS***松山(87.7MHz)、***VICS***徳島(83.4MHz)、***VICS***福岡(84.8MHz)、***VICS***大分(88.9MHz)、***VICS***熊本(85.4MHz)、***VICS***宮崎(86.2MHz)、***VICS***高知(87.5MHz)、***VICS***佐賀(81.6MHz)、***VICS***長崎(84.5MHz)、***VICS***鹿児島(85.6MHz)、***VICS***沖縄(88.1MHz)、***VICS***福井(83.4MHz)、***VICS***富山(81.5MHz)、***VICS***山形(82.1MHz)、***VICS***秋田(86.7MHz)、***VICS***青森(86.0MHz)、***VICS***松江(84.5MHz)、***VICS***鳥取(85.8MHz)、***VICS***盛岡(83.1MHz)、***VICS***釧路(88.5MHz)

※交通情報は、NHK－FM放送局の電波の一部を使用して放送されています。
上記の周波数は親局のものです。これら親局の中継局でも、交通情報を受信できます。

アドバイス

- ***VICS***のサービスエリア外の地域やトンネルの中など電波の届きにくい場所、電波状況の悪い場合などは、交通情報の受信が困難になったり、情報がそろうのに時間がかかることがあります。
- ***VICS***放送局の情報提供時間は、24時間です。ただし、メンテナンス作業のために午前1時～午前5時までは放送を休止する場合がありますので、この間は、交通情報は受信できません。

一般情報について(1)

一般情報とは

FM多重放送局の中には、各放送局が製作した文字情報(レベル1)を放送している局*があります。本書および画面表示では、この文字情報を“一般情報”と呼んでいます。

＊本書では一般情報を放送しているFM多重放送局を“一般情報放送局”と呼んでいます。

表示について

(目次画面の例)



ヘッダー文
放送局名、番組名、ページなどを表示します。

表示中の情報が一般情報であることを示します。

受信中の周波数

本文
1ページは、ヘッダー文(1行)と本文(全角：15文字×2行の30文字まで。半角：31文字×2行の62文字まで)で構成されています。ページ数は番組によって異なり、番組によっては自動的にページ送りするものもあります。

一般情報の内容(番組)について

1つの放送局から、同時に複数の番組が放送されています。番組の数や内容は、放送局によって異なります。番組は目次画面で選ぶことができます。(表示について 上記)
番組は大きく次の2つに分けられます。

●連動情報番組(番組情報チャンネル)

FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名、アーティスト名、リクエストの受付電話番号など、音声放送に関連した内容です。音声放送に合わせて、放送局が内容を変えていきます。

●独立情報番組(天気予報、ニュース&スポーツ、交通情報、エンターテイメントチャンネルなど)

FM音声放送とは関連のない、独立した番組です。ページ送りは、放送局が行なう場合もあります。
※番組の名称、数、内容等は、放送局によって異なります。また、番組の更新情報を受信すると、自動的に本機内に保存している一般情報が更新されます。

一般情報について(2)

一般情報放送局

一般情報放送局（民放FM放送局）には、JFN系列／JFL系列／独立局などがあります。
一般情報番号を受信する設定にしている場合は、現在地周辺の最新エリアの情報局を受信します。

アドバイス

- 各放送局の放送休止時間帯は一般情報を受信することはできません。
- 電波の状況によっては、FM音声放送は受信できても、一般情報は受信できない場合があります。
- 一般情報は、親局の中継局でも受信できます。

操作の前に

FM多重の項目一覧

情報 メニューの **FM多重** ボタンから操作します。



①交通情報(文字情報)または一般情報を表示します。(レベル1) 176、177ページ

②交通情報(図形情報)を表示します。(レベル2)
178ページ
※この項目は、**受信番組設定** を **一般情報番組を受信します** に設定している場合は暗くなります。

③受信済みの緊急情報を表示します。(レベル1)
179、180ページ

④受信する情報(交通情報／一般情報)の選択をするためのメニューです。
174、175ページ

⑤周波数を設定するためのメニューです。
181～189ページ

操作画面について

次のような画面が表示された場合は、番号を選択し、タッチしてください。

2ページ以上ページがある場合は…

▼：画面送り　▲：画面戻し

戻る：1つ前の選択画面に戻る。
※緊急情報表示画面や、目次画面の場合は、メニュー画面に戻ります。(ただし、現在地表示から緊急情報表示画面になったときは、現在地表示に戻ります。)

目次：目次画面に戻る。
※暗い項目は、選べません。

(例)



情報を見たい番号を選んでください。

交通情報／一般情報を表示するには

本機では、FM多重放送を使って提供される交通情報（***VICS***）と一般情報（各放送局が独自に製作して放送している文字情報）を表示することができます。

操作の流れ

1 受信番組設定を下記のように設定しておく。

■ 交通情報を表示する場合　交通情報番組（VICS）を受信します ボタンをタッチする。

■ 一般情報を表示する場合　一般情報番組を受信します ボタンをタッチする。

「受信する情報（交通情報／一般情報）を選ぶには」174、175ページ

2 手順1で選んだ情報を放送している放送局を受信する。

「選局するには」181～186ページ

アドバイス

よく使う放送局は、プリセット（保存）しておくと便利です。

「放送局をプリセット（保存）するには」187～189ページ

3 見たい情報を表示させる。

■ 交通情報を表示する場合

「交通情報（文字情報）／一般情報を見るには」176、177ページ
「交通情報（図形情報）を見るには」178ページ
「緊急情報を見るには」179、180ページ
「VICS表示の設定をする」251、252ページ

■ 一般情報を表示する場合

「交通情報（文字情報）／一般情報を見るには」176、177ページ
「緊急情報を見るには」179、180ページ

情報の消去について

次の場合は、本機で受信した情報が消去されます。

- 車のキースイッチをOFFにしたり、受信周波数が変わったり、変えたりした場合に受信した情報が消去されることがあります。
- 渋滞情報保存時間を経過した。（交通情報の場合）
- 受信する情報（交通情報／一般情報）を切り替えた場合、切り替える前の情報は消去されます。（たとえば、交通情報を受信していて、一般情報に切り替え、再度、交通情報に切り替えた場合、前回受信していた交通情報は消去されています。ただし、レベル3情報については切り替える直前のデータが保持されるため、一定時間の表示は可能です。）

受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには(1)

番組設定 で 交通情報番組(VICS)を受信します に設定すると、交通情報を受信する設定になります。また、 一般情報番組を受信します に設定すると一般情報を受信する設定になります。



1-1、4 メニュー ボタン　現在地 ボタン 4

例 一般情報を受信する場合

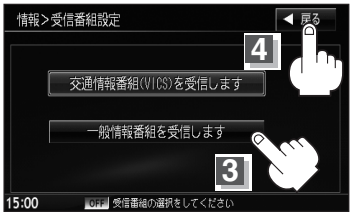
1 メニュー ボタンを押し、
情報 ボタンをタッチして、
FM多重 ボタンをタッチする。
：FM多重画面が表示されます。



2 受信番組設定 ボタンをタッチする。
：受信番組設定画面が表示されます。



3 一般情報番組を受信します ボタンをタッチする。



4 設定を終わるには・・・
戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／
メニュー ボタンを押す。
：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには(2)

アドバイス

- 交通情報番組(VICS)を受信します に設定しているときは、VICSタイムスタンプに、交通情報提供時刻を表示します。 一般情報番組を受信します に設定しているときは、VICSタイムスタンプに変わり、一般情報スタンプ(“FM一般”)を表示します。
- 交通情報番組(VICS)を受信します に設定しているときは、一般情報を放送している放送局を受信しても、一般情報は受信しません。同様に 一般情報番組を受信します に設定しているときは、***VICS*** 放送局(交通情報を放送している放送局)を放送している放送局を受信しても、交通情報は受信しません。
- 交通情報番組(VICS)を受信します 、 一般情報番組を受信します に設定しただけでは、各情報を表示することはできません。「交通情報／一般情報を表示するには」173ページ

交通情報(文字情報)／一般情報を見るには(1)



1

■ 交通情報(文字情報)を見る場合

受信番組設定 を 交通情報番組(VICS)を受信します に設定し、
VICS 放送局(☞ 169ページ)を受信する。

■ 一般情報を見る場合

受信番組設定 を 一般情報番組を受信します に設定し、
一般情報放送局(☞ 171ページ)を受信する。

☞「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」174、175ページ
☞「選局するには」181～186ページ

2

メニュー ボタンを押し、
情報 ボタンをタッチして、
FM多重 ボタンをタッチする。
：FM多重画面が表示されます。



3

文字情報 ボタンをタッチする。



交通情報(文字情報)／一般情報を見るには(2)

4 見たい情報の番号を、タッチする。

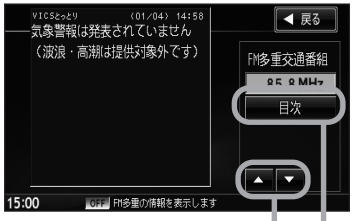
選択画面が続く場合は、▼ボタンをタッチして“見たい情報の番号を、タッチする。”を繰り返してください。

交通情報(文字情報)の目次画面(例)
(“4．気象警報他”を見る場合)



2ページ以上ある場合は、画面を送って、見たい情報のある画面を表示してください。

※ページ数が表示されない番組もあります。



▲：前画面に戻るとき、選んで、タッチします。(画面戻し)

▼：次画面に進むとき、選んで、タッチします。(画面送り)

一般情報の場合、放送局がページ送りをする番組もあります。

目次に戻るとき、タッチします。

※一般情報の場合、目次データが受信できていない場合は“情報の受信中です。”と表示します。目次データが受信できると、目次画面を表示します。

情報表示中に新しい情報を受信したら・・・

：自動的に情報を書きかえます。

5 情報表示を止めるには・・・

現在地ボタン／メニューボタンを押すか、戻るボタンをタッチします。

アドバイス

- 一般情報の場合、手順 1 ～ 3 (176ページ)の操作をした後、目次画面ではなく、連動情報番組(☞170ページ)が表示されることがあります。目次データは受信できないが、連動情報番組データは受信できた場合にこうなります。他の番組を見たい場合は、しばらく待って、目次ボタンをタッチしてみてください。
- 表示内容は更新(変更)される場合があります。

交通情報(図形情報)を見るには



2-1、5 メニューボタン　現在地ボタン 5

1 受信番組設定 を 交通情報番組(VICS)を受信します に設定し、*VICS* 放送局(☞169ページ)を受信する。

☞「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」174、175ページ
☞「選局するには」181～186ページ

2 メニューボタンを押し、情報 ボタンをタッチして、FM多重 ボタンをタッチする。

：FM多重画面が表示されます。



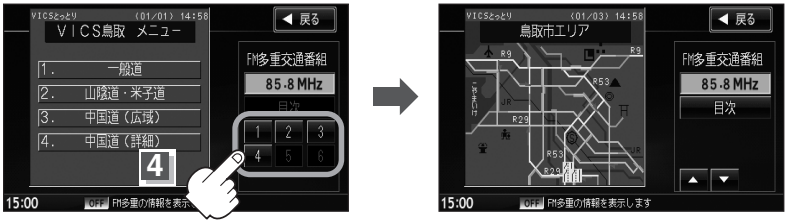
3 図形情報 ボタンをタッチする。



4 見たい情報の番号を、タッチする。

選択画面が続く場合は、“見たい情報の番号を、タッチする”を繰り返してください。

図形情報の目次画面(例)



情報表示中に新しい情報を受信したら・・・

：自動的に情報を書きかえます。

5 情報表示を止めるには・・・

現在地ボタン／メニューボタンを押すか、戻る ボタンをタッチします。

アドバイス

FM多重の 図形情報 は、 受信番組設定 を、 一般情報番組を受信します に設定している場合は暗くなります。

緊急情報を見るには

交通情報を受信中は、交通情報の緊急情報番組を受信します。
また、一般情報を受信中は、一般情報の緊急情報番組を受信します。



1

■ 交通情報(文字情報)を見る場合

受信番組設定 を **交通情報番組(VICS)を受信します** に設定し、
VICS 放送局(☞ 169ページ)を受信する。

■ 一般情報を見る場合

受信番組設定 を **一般情報番組を受信します** に設定し、
一般情報放送局(☞ 171ページ)を受信する。

☞「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」174、175ページ
☞「選局するには」181～186ページ

2

メニューボタンを押し、
情報 ボタンをタッチして、
FM多重 ボタンをタッチする。
：FM多重画面が表示されます。



3

緊急情報 ボタンをタッチする。
※情報を受信していないときは、
ボタンは暗くなります。



情報表示中に新しい情報を受信したら・・・
：自動的に情報を書きかえます。

4

情報表示を止めるには・・・
現在地ボタン／メニューボタンを押すか、 **戻る** ボタンをタッチします。

緊急情報について

受信中の放送局の緊急情報番組を受信すると、音声で受信したことを知らせます。

- 現在地表示時に受信した場合は、自動的に情報を表示します。ただし、再探索中などは割り込み表示しません。
  ※約15秒後には、緊急情報は消え、自動的に現在地表示に戻りますが、緊急情報表示画面で、戻るボタンをタッチして、現在地表示に戻すこともできます。
- 交通情報（文字情報／図形情報）表示中、または一般情報表示中に受信した場合は、他の情報より優先して、受信した緊急情報を表示します。この場合、緊急情報表示画面で、戻るボタンをタッチすると、メニューに戻ります。
- 上記以外のときに受信した場合、緊急情報を見るには、179ページにしたがって、FM多重の緊急情報ボタンをタッチしてください。

アドバイス

- 緊急情報は、見終わった後も消えず、179ページにしたがって、FM多重の緊急情報ボタンをタッチすると、表示されます。

※情報を消去する行為をした場合は、緊急情報も消えます。
「情報の消去について」173ページ

- 交通情報を受信中は、交通情報の緊急情報番組を受信します。
  また、一般情報を受信中は、一般情報の緊急情報番組を受信します。
- 緊急情報表示を止める場合は、現在地ボタン／メニューボタンを押すか、戻るボタンをタッチしてください。

選局するには(1)

交通情報を見るには、***VICS***放送局(☞169ページ)を受信してください。
また、一般情報を見るには、一般情報放送局(☞171ページ)を受信してください。選局には、
自動選局 、 手動選局 、 エリア選局 の3つの方法があります。

アドバイス

受信した放送局をプリセット(保存)しておくと、後で呼び出すことができます。
☞「放送局をプリセット(保存)するには」187～189ページ



自動選局 …… 周波数設定画面で **自動選局** ボタンをタッチして表示灯を点灯させると、自動選局をはじめ、放送局*を受信すると止まります。この後、受信中の電波が弱くなると、自動的に電波の強い周波数に切り替わるので、引き続き、情報を受信することができます。

*： **受信番組設定** を **交通情報番組(VICS)を受信します** に設定している場合は、***VICS***放送局を受信します。また、 **一般情報番組を受信します** に設定している場合は、一般情報放送局を受信します。

1 メニュー ボタンを押し、
情報 ボタンをタッチして、
FM多重 ボタンをタッチする。
：FM多重画面が表示されます。

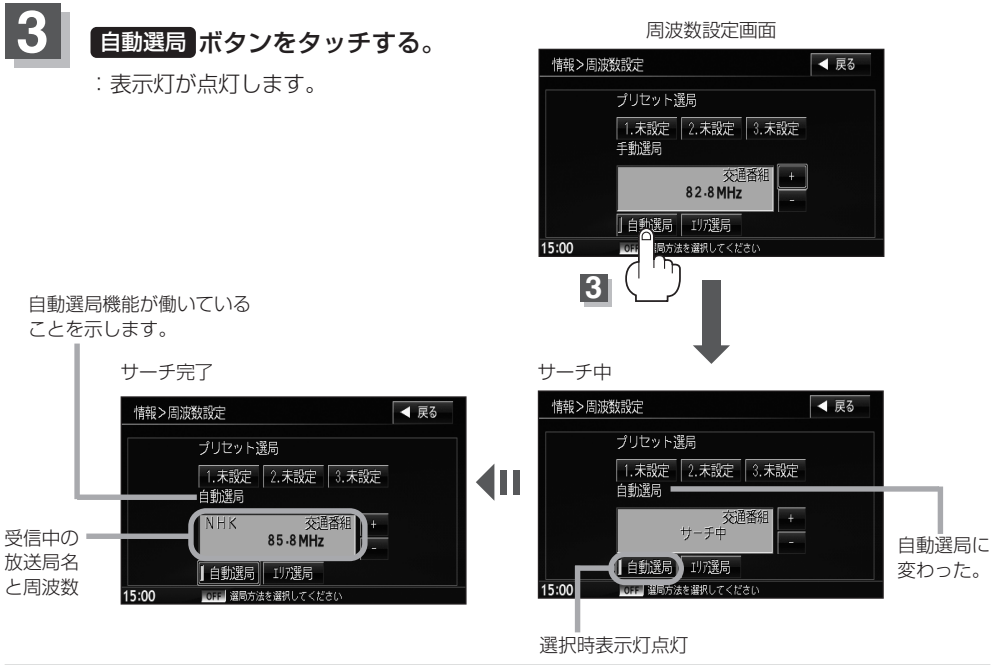


2 周波数設定 ボタンをタッチする。
：周波数設定画面が表示されます。



3 自動選局 ボタンをタッチする。

：表示灯が点灯します。



4 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／ メニュー ボタンを押す。

アドバイス

放送局が受信できるまでは、周波数設定画面は“サーチ中”を表示したままとなります。電波状況が悪く、自動選局で放送局が受信できない場合は、手動選局(183、184ページ)またはエリア選局(185、186ページ)をしてみてください。

自動選局を止めるには・・・

周波数設定画面が“自動選局”表示になっているときは、自動選局機能が働いて、受信中の電波が弱くなると、自動的に電波の強い周波数(放送局)に切り替わります。自動選局を止める(周波数が自動的に切り替わるのを止める)場合は、 自動選局 ボタンをタッチして表示灯を消灯し、表示を“手動選局”に変えてください。

選局するには(2)

手動選局 …… 周波数設定画面で、ご自分の好きな周波数に合わせることができます。

1 **メニュー** ボタンを押し、
情報 ボタンをタッチして、
FM多重 ボタンをタッチする。
：FM多重画面が表示されます。



2 **周波数設定** ボタンをタッチする。
：周波数設定画面が表示されます。



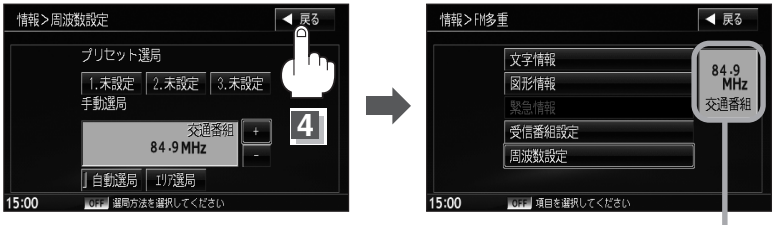
3 **＋**／**－** ボタンをタッチし、
受信したい周波数を表示させる。



－ ボタンをタッチすると、0.1MHzダウン、長めにタッチすると始めは0.1MHzダウンし、その後1MHzずつダウンする。

＋ ボタンをタッチすると、0.1MHzアップ、長めにタッチすると始めは0.1MHzアップし、その後1MHzずつアップする。

4 **戻る** ボタンをタッチしてみると・・・



上記手順 **3** で表示させた周波数に変わった。

5 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／ メニュー ボタンを押す。

アドバイス

- ***VICS*** 放送局の周波数については、169ページをご覧ください。
  一般情報放送局の周波数については、171ページをご覧ください。
- 受信番組設定 を 交通情報番組(VICS)を受信します に設定しておかないと、***VICS*** 放送局に周波数を合わせても、交通情報を受信することはできません。
  同様に、 一般情報番組を受信します に設定しておかないと、一般情報放送局に周波数を合わせても、一般情報を受信することはできません。

選局するには(3)

エリア選局 …… 周波数設定画面で **エリア選局** ボタンをタッチすると、現在地周辺のFM放送局リストが表示されます。このリストの中からお好きな放送局を選択し、タッチするとその周波数を受信します。

アドバイス

- **受信番組設定** で **交通情報番組(VICS)を受信します** に設定している場合は、NHK-FM放送局リストが表示されます。また、 **一般情報番組を受信します** に設定している場合は、民放FM放送局リストが表示されます。
- 表示されるリストには、交通情報／一般情報を放送していないFM放送局も含まれています。リストの中から、交通情報／一般情報を放送している放送局を選んでください。
  「(VICS放送局)」169ページ、「(一般情報放送局)」171ページ
- リスト選局をすると、周波数とともに、放送局名も表示します。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、受信できない場合があります。その場合は手動選局で周波数を合わせてください。「(手動選局)」183、184ページ

1 (メニュー)ボタンを押し、
情報 ボタンをタッチして、
FM多重 ボタンをタッチする。
：FM多重画面が表示されます。



2 **周波数設定** ボタンをタッチする。
：周波数設定画面が表示されます。



3 **エリア選局** ボタンをタッチする。

周波数設定画面



受信中の周波数

4 受信する放送局を選択し、タッチする。

現在地周辺のFM放送局リスト



これを受信する場合



リストで選んだ放送局を受信します。

5 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／ メニュー ボタンを押す。

放送局をプリセット(保存)するには(1)

放送局を3コまでプリセット(保存)できます。



1 -1、3 メニュー ボタン　現在地 ボタン 3

1 プリセットしたい放送局を受信する。
(画面は、周波数設定画面のままにしておきます。)

「選局するには」181～186ページ

アドバイス

自動選局にしている場合は、自動選局を止めてください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機はサーチを始めてしまい、周波数が変わってしまいます。

「 自動選局を止めるには・・・ 」182ページ

2 保存する場所(1.未設定 ／ 2.未設定 ／ 3.未設定)を選択し、1.5秒以上タッチする。

例 1.未設定 に保存する場合



未設定が85.8MHzにかわった

3 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／ メニュー ボタンを押す。

アドバイス

上記手順 2 で、すでに他の放送局が保存されている場所を選ぶと、保存されている放送局を消去して、新しい放送局を保存します。「 プリセットした放送局に上書きするには 」189ページ

プリセットした放送局を呼び出すには

1 メニュー ボタンを押し、
情報 ボタンをタッチして、
FM多重 ボタンをタッチする。
：FM多重画面が表示されます。



2 周波数設定 ボタンをタッチする。
：周波数設定画面が表示されます。



3 呼び出す周波数を選択し、タッチする。

例 3. 83.8MHz を呼び出す場合





85.8MHzが83.8MHzにかわった

※プリセットを呼び出したときは、手動選局表示になります。

4 設定を終わるには・・・
戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／ メニュー ボタンを押す。

アドバイス

受信番組設定 で 交通情報番組(VICS)を受信します に設定しておかないと、***VICS*** 放送局を呼び出しても、交通情報を受信することはできません。
同様に、 一般情報番組を受信します に設定しておかないと、一般情報放送局を呼び出しても、一般情報を受信することはできません。
「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」174、175ページ

放送局をプリセット(保存)するには(2)

プリセットした放送局に上書きするには

プリセットした放送局に新しい放送局を上書きすることができます。

1 メニューボタンを押し、
情報ボタンをタッチして、
FM多重ボタンをタッチする。
：FM多重画面が表示されます。



2 周波数設定ボタンをタッチする。
：周波数設定画面が表示されます。



3 新しい放送局を呼び出す。
「選局するには」(181～186ページ)

4 消去する周波数を選択し、1.5秒以上タッチする。

例 1. 85.8MHzに上書きする場合



1.5秒以上タッチする



85.8MHzが83.7MHzにかわった

5 設定を終わるには・・・
戻るボタンをタッチ、または現在地／メニューボタンを押す。

ビーコン情報を見るには

別売のVICSビーコンユニットを本機に接続すると、ビーコンの交通情報(VICS)を見ることができます。

ビーコンの項目一覧

本機に別売のVICSビーコンユニットを接続して、電源を入れると、メニューの情報のビーコンから操作します。(下記参照。)



①ビーコンの文字情報を表示します。(レベル1)
☞192ページ

②ビーコンの簡易図形(図形情報)を表示します。
(レベル2)☞192ページ

③ビーコンの受信済みの緊急情報を表示します。
(レベル1)☞193、194ページ

④主要地点間の所要時間情報を表示します。
(レベル1)☞193、194ページ

⑤***VICS***設定画面を表示します。
VICS設定画面では、

- VICS表示設定
  (交通情報レベル3の表示項目の選択/道路の選択/矢印表示の点滅をする・しないの選択)
  ☞251、252ページ
- 車種の設定
  ☞253ページ
- ビーコンの割込み情報(文字/図形情報)を表示する/しない、ビーコン情報の受信を音で知らせる/知らせないの選択。
  ☞254、255ページ

ビーコン交通情報を見るには

地図画面について

レベル3(地図)表示

(例)



***VICS*情報マーク**

渋滞情報

赤色：渋滞　　橙色：混雑
緑色：渋滞なし　黄色：規制
※渋滞の方向を矢印で表示します。

***VICS*タイムスタンプ**

- 表示するレベル3の情報提供時刻を表示します。
  ※表示可能なレベル3情報がない時は“－－：－－”を表示します。
  ※一般情報を受信する設定になっているときは、表示されません。
  提供時刻は表示されず“FM一般”と表示されます。
- ルート案内中にタッチすると、渋滞／規制を確認することができます。
  「渋滞地点を確認する」145ページ

ビーコンの文字情報／図形情報(簡易図形)を見るには



1 メニューボタンを押し、
情報ボタンをタッチして、
ビーコンボタンをタッチする。
：ビーコン情報画面が表示されます。



2 文字情報ボタン(文字情報を見る場合)、
または図形情報ボタン(簡易図形を見る場合)
をタッチする。
※情報を受信していないときは、ボタンは暗くなります。



(例)文字情報表示

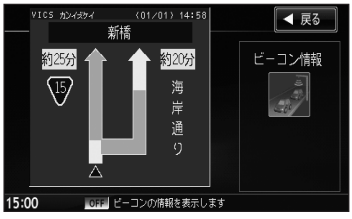
文字情報ボタンを選択した場合



▲／▼ボタンタッチで
ページ戻し／送り表示

(例)簡易図形表示

図形情報ボタンを選択した場合



情報表示中に新しい情報を受信したら・・・
：自動的に情報を書きかえます。

3 **情報表示を止めるには・・・**
現在地ボタン／メニューボタンを押すか、戻るボタンをタッチします。

ビーコンの緊急情報／旅行時間情報を見るには



1 メニューボタンを押し、
情報ボタンをタッチして、
ビーコンボタンをタッチする。
：ビーコン情報画面が表示されます。



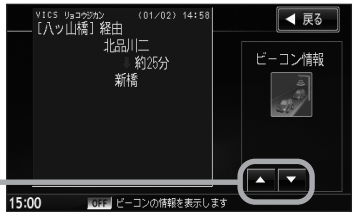
2 緊急情報ボタン（緊急情報を見る場合）、
または旅行時間ボタン（旅行時間情報を見る場合）をタッチする。
※情報を受信していないときは、ボタンは暗くなります。



緊急情報ボタンを選択した場合
：受信済みの緊急情報を表示します。

旅行時間ボタンを選択した場合
：主要地点間の所要時間を表示します。

旅行時間表示（例）



▲／▼ボタンタッチで
ページ戻し／送り表示

情報表示中に新しい情報を受信したら・・・
：自動的に情報を書きかえます。

3 **情報表示を止めるには・・・**
現在地ボタン／メニューボタンを押すか、戻るボタンをタッチします。

緊急情報について

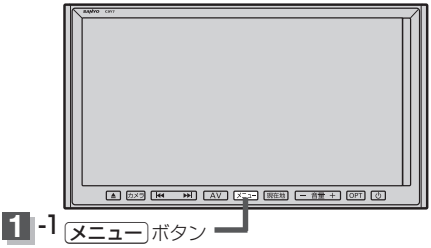
緊急情報を受信すると、音声で受信したことを知らせます。

- 現在地表示時に受信した場合は、割り込み表示をしない設定になっていても、自動的に緊急情報を表示します。ただし、再探索中などは割り込み表示しません。
  ※約15秒後には、緊急情報は消え、自動的に現在地表示に戻ります。
- 文字情報／図形情報／緊急情報／旅行時間を表示中に受信した場合は、他の情報より優先して、受信した緊急情報を表示します。
- 上記以外のときに受信した場合、緊急情報を見るには、「ビーコンの緊急情報／旅行時間情報を見るには」（193ページ）にしたがって、緊急情報 ボタンをタッチしてください。

アドバイス

- 緊急情報は、見終わった後も消えず、「ビーコンの緊急情報／旅行時間情報を見るには」（193ページ）にしたがって、緊急情報 ボタンをタッチすると表示されます。
  ※***VICS*** 情報を消去する行為をした場合は、緊急情報も消えます。
- 緊急情報表示を止める場合は、現在地 ボタン、メニュー ボタン、戻る ボタンをタッチしてください。

*VICS*設定をするには



1 メニュー ボタンを押し、
情報 ボタンをタッチして、
ビーコン ボタンをタッチする。

：ビーコン情報画面が表示されます。



2 VICS表示設定 ボタンをタッチする。
各操作については下記ページをご覧ください。



VICS表示設定

「***VICS***表示の設定をする」（251、252ページ）

ビーコン車種設定

「ビーコン車種設定について」（253ページ）

ビーコン割込み設定 「ビーコンの割込み表示を設定する」（254、255ページ）

NAVI設定

平均速度を設定する ……197
メイン画面（地図）の設定を変える…198、199
右画面地図表示の内容を設定する…200、201
3Dの角度を調整する ……202、203
地図の色を変える ……204、205
表示項目の設定を変える ……206～208
情報バーの表示設定をする場合……207
その他の設定をする場合……207
ルート案内画面の設定を変える……209～219
全ルートの表示をする／しないにする場合…209
交差点情報の表示をする／しないにする場合…210
ルート色の表示を選ぶ場合……210
目的地までの方位を直線で表示／丸印で表示する場合 …211
ルート情報の表示をする／しないにする場合……211
ハイウェイモードの表示をする／しないにする場合 …212
JCTビューの表示をする／しないにする場合 …213
交差点拡大図の表示をする／しないにする場合…214
リアル3D交差点を表示する／しないにする場合…215
方面看板の表示をする／しないにする場合…216
AV画面中の案内割り込みをする／しないにする場合…217
ETCレーンの表示をする／しないにする場合…218、219
ランドマークを設定する ……220、221
自車マークの種類／色を変える ……222
自車マークの位置／角度を修正する ……223、224
音声案内の音量を調整／案内設定をする ……225～227
音声案内の音量を調整する場合……225
音声案内を止める場合……225
合流案内／踏み切り案内設定を変える場合…226
専用レーン案内の案内設定を変える場合……226
高速走行時の音声切替／VICS案内を止める場合……227
軌跡を使う ……228～230
軌跡の記録をするには……228
軌跡の記録を止めるには……229
軌跡を表示するには……229
軌跡の表示を止めるには……229
軌跡を削除するには……230
自宅を登録する ……231
登録地点の編集／見る ……232～237
登録地点の並び替えをする……238、239
自宅／登録地点の地図を呼び出す …240、241
自宅／登録地点を削除する ……242、243
SDカードから地点を登録する ……244～246
ルート探索条件の設定をする ……247～250
VICS表示の設定をする ……251、252
レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について……252
ビーコン車種設定について ……253
ビーコンの割込み表示を設定する…254、255

平均速度を設定する

ルート案内時に目的地までの到着予想時刻を表示させることができます。



1

メニュー ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
到着予想 ボタンをタッチする。

：到着予想設定画面が表示されます。



2

自動 ボタン、または各道路（一般道路／国道／有料道路）の − ／ ＋ ボタンをタッチして平均速度を設定する。（5km/h単位）

※走行は実際の法定速度にしたがって走行してください。



アドバイス

- 自動 ボタンをタッチして表示灯を消灯してから、各道路の平均速度を設定してください。
- 自動 に設定するとVICS情報や過去のVICS渋滞統計データを考慮して、目的地までの到着予想時刻を表示します。

3

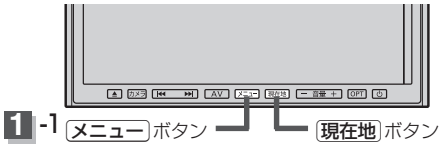
設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチまたは 現在地 ボタンを押す。

：設定を保存し、1つ前の画面に戻るまたは現在地の地図画面に戻ります。

メイン画面(地図)の設定を変える(1)

住所の色分け／吹き出し表示／名称の文字サイズ／地図モードを選ぶことができます。



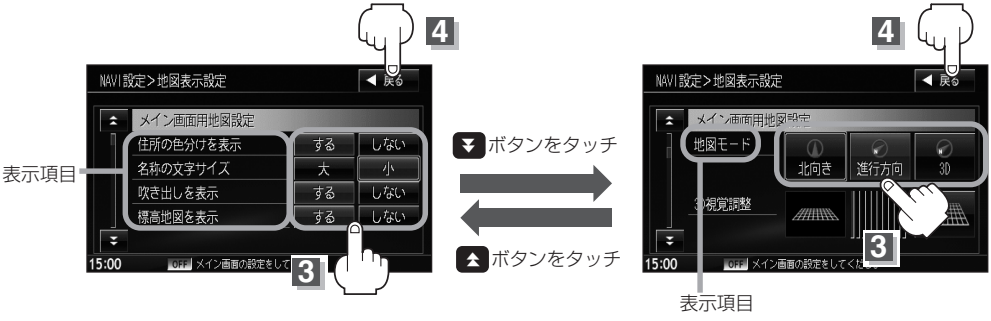
1 メニュー ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
表示 ボタンをタッチする。
：表示設定画面が表示されます。



2 地図表示設定 ボタンをタッチする。
：メイン画面用地図設定画面が表示されます。



3 変更したい項目(する ／ しない 、 大 ／ 小 、 北向き ／ 進行方向 ／ 3D ボタン)を選択してタッチする。



※3Dの角度調整につきましては「3Dの角度を調整する」202、203ページをご覧ください。

4 設定を終わるには・・・
戻る ボタンをタッチまたは 現在地 ボタンを押す。
：設定を保存し、1つ前の画面に戻るまたは現在地の地図画面に戻ります。

メイン画面(地図)の設定を変える(2)

“住所の色分けを表示”について

地図の縮尺レベルが10km以下の画面で都道府県や市区町村などの境ごとに色分けをする／しないの設定ができます。

“名称の文字サイズ”について

地図に表示されている名称の文字サイズを替えることができます。

文字サイズ大



文字サイズ小



“吹き出しを表示”について

高速道路の出入口、主要交差点の交差点名を表示することができます。表示は収録されているデータに基づいて行なうため、収録されていない交差点では表示しません。



“標高地図を表示”について

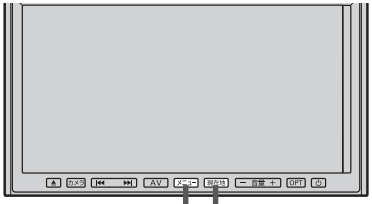
地図の縮尺が5km以上の画面で詳細な地形地図にする／しないの設定ができます。

“地図モード”について

- 地図表示(方位)を“北方向を上”“進行方向を上”“3Dビュー”に設定できます。
  地図表示(方位)は、地図画面の F (方位)ボタンをタッチして切り替えることもできます。
  各地図表示の特長については「地図表示(方位)を切り替える」64、65ページをご覧ください。
- 1ルート探索・複数ルート探索やルート変更をするときに、目的地／経由地／出発地を登録する際の地図は“北方向を上”の地図になります。また、自車マークの位置／方位を修正する際の地図も、“北方向を上”の地図になります。

右画面地図表示の内容を設定する(1)

全画面表示から右画面地図表示にしたり、右画面地図の設定を変えることができます。



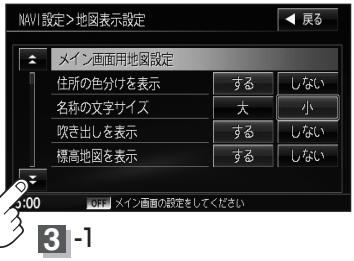
1 メニュー ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
表示 ボタンをタッチする。
：表示設定画面が表示されます。

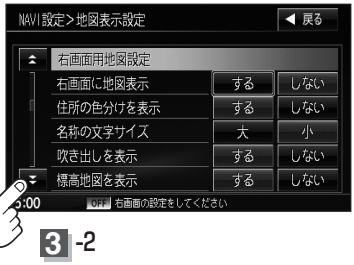


2 地図表示設定 ボタンをタッチする。
：メイン画面用地図設定画面が表示されます。



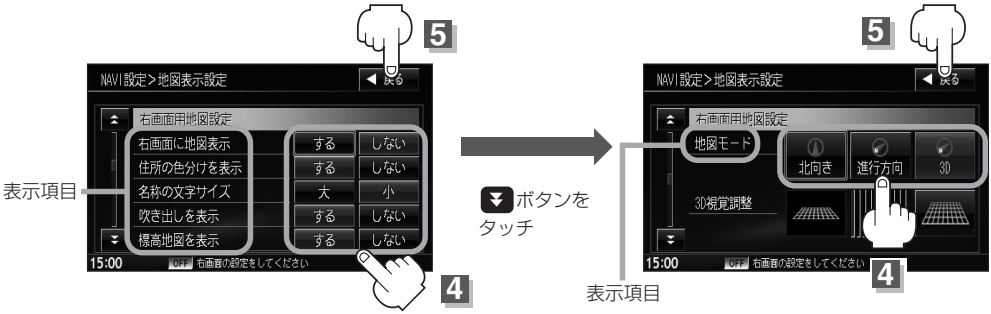
3 ▼ボタンを2回タッチする。
：右画面用地図設定画面が表示されます。





右画面地図表示の内容を設定する(2)

4 変更したい項目(する／しない、大／小、北向き／進行方向／3Dボタン)を選択してタッチする。



※3Dの角度調整につきましては「3Dの角度を調整する」202、203ページをご覧ください。

5 設定を終わるには・・・

戻るボタンをタッチまたは**現在地**ボタンを押す。

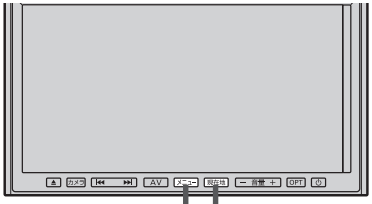
：設定を保存し、1つ前の画面に戻るまたは現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス

- 右画面の地図表示(住所の色分けを表示、名称の文字サイズ、吹き出しを表示、標高地図を表示、地図モード)の選択については、「メイン画面(地図)の設定を変える」198、199ページをご覧ください。
- 右画面地図表示にするには、現在地表示時に**Quick**ボタンをタッチしてQuick MENUを表示させ、**右画面表示**ボタンをタッチして**地図**ボタンをタッチすると右画面地図表示することもできます。
  「右画面表示を設定する」81～84ページ

3Dの角度を調整する(1)

メイン画面、右画面地図で3Dビュー表示時に、地図を見下ろす角度を高く設定すると、道路を上空から見下ろす感じで地図が表示され、低く設定すると、道路を水平方向から見る感じで地図が表示されます。



1 メニュー ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
表示 ボタンをタッチする。
：表示設定画面が表示されます。



2 地図表示設定 ボタンをタッチする。
：メイン画面用地図設定画面が表示されます。



3 ▼▼ボタンをタッチする。
※右画面の3Dの角度を調整したい場合は、▼▼ボタンを3回タッチして右画面用地図設定画面を表示させます。

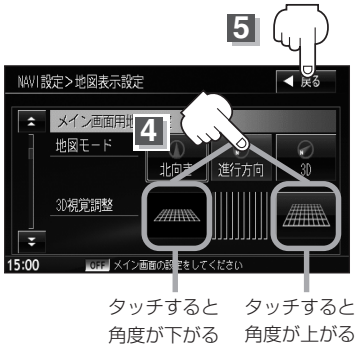


3Dの角度を調整する(2)

4 ／ボタンをタッチして調整する。

：角度を下げます。

：角度を上げます。



見下ろし角度が低いとき



見下ろし角度が高いとき



5 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチまたは **現在地** ボタンを押す。

：設定を保存し、1つ前の画面に戻るまたは現在地の地図画面に戻ります。

地図の色を変える(1)

平面・3D地図画面時の色(スモール連動／昼／夜)、標高地図の色(季節連動／標準／春／夏／秋／冬)を選ぶことができます。



1 メニュー ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
表示 ボタンをタッチする。
：表示設定画面が表示されます。

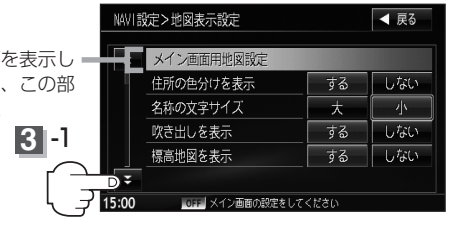


2 地図表示設定 ボタンをタッチする。
：メイン画面用地図設定画面が表示されます。

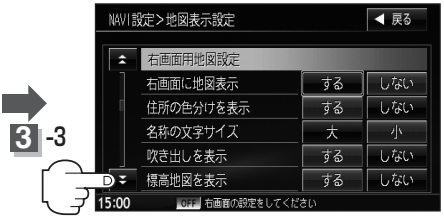


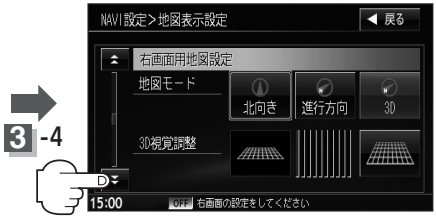
3 ▼ボタンを4回タッチする。
：地図色設定画面が表示されます。

どの画面を表示しているか、この部分で確認









地図の色を変える(2)

4 “地図色設定”から好きな色(**スモール連動**／**昼**／**夜**／**時間連動**ボタン)または(**季節連動**／**標準**／**春**／**夏**／**秋**／**冬**ボタン)を選択し、タッチする。



※ **スモール連動**ボタンをタッチした場合は、車のライトをONにすると夜モードの色に、ライトをOFFにすると昼モードの色に自動的に切り替わります。
時間連動ボタンをタッチした場合は、GPSからの日付情報をもとに、自車位置を考慮した色に自動的に変わります。
季節連動ボタンをタッチした場合は、GPSからの日付情報をもとに3月～5月は春、6月～8月は夏、9月～11月は秋、12月～2月は冬と自動的に切り替わります。

---

5 設定を終わるには・・・

戻るボタンをタッチ、または現在地／メニューボタンを押す。

：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

表示項目の設定を変える(1)

MAPCODE／地図情報／AUDIO情報／緯度・経度／登録地点の設定を行ないます。



1 メニュー ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
表示 ボタンをタッチする。
：表示設定画面が表示されます。



2 地図表示設定 ボタンをタッチする。
：地図表示設定画面が表示されます。



3 ▼▼ボタンを5回タッチする。
：情報バー表示設定画面が表示されます。









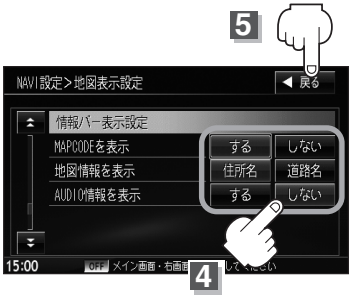


表示項目の設定を変える(2)

4 設定したい項目を選択する。

■ 情報バーの表示設定をする場合

設定したい項目(する／しない、住所名／道路名ボタン)を選んでタッチする。

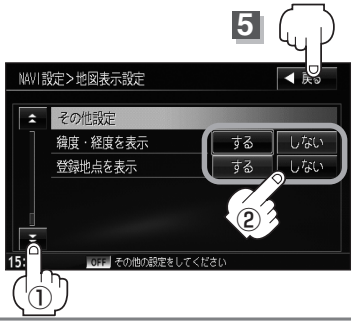


■ その他の設定をする場合

① ▼▼ボタンをタッチする。

：その他設定画面が表示されます。

② 設定したい項目(する／しない ボタン)を選んでタッチする。



5 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチまたは 現在地 ボタンを押す。

：設定を保存し、1つ前の画面に戻るまたは現在地の地図画面に戻ります。

“MAPCODEを表示”について

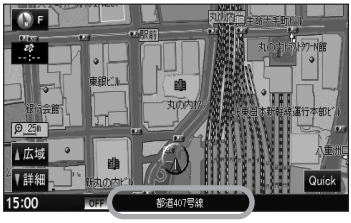
情報バー(現在地表示時は除く)に、マップコードを表示することができます。



“地図情報表示設定”について

- 情報バーに住所名／道路名を表示するように選ぶことができます。
- 道路名表示ができない場合は周辺の住所を表示します。
- GPS衛星電波の誤差により、実際に走行している道路名が出なかったり、近くの別の道路名が出る場合もあります。

(例)道路名を表示する場合



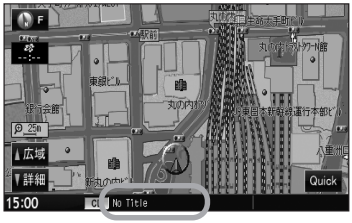
“AUDIO情報を表示”について

現在地表示時に、情報バーに再生中の下記内容を表示することができます。

※CD／MP3／WMA、SD／iPodを再生している場合は曲名、Radio(AM／FM)を選択している場合は周波数・放送局名、ワンセグを選択している場合は放送局名、DVDビデオを再生中はタイトル／チャプター番号を表示します。

「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」542、543ページ

(例)曲名を表示する場合



“緯度・経度を表示”について

地図画面(現在地表示時は除く)に、緯度・経度を表示することができます。



“登録地点を表示”について

しないにすると、一時的に地図上から登録地点マークを消すことができます。



登録地点マーク

ルート案内画面の設定を変える(1)

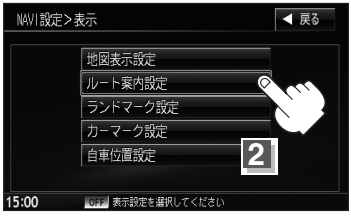
全ルート表示／交差点情報／ルート色／目的地方位／ルート情報／ハイウェイモード／JCTビュー／交差点拡大／リアル3D／方面看板／AV画面中の案内割り込み／ETCレーンの設定を行ないます。



1 メニューボタンを押し、
NAVI設定ボタンをタッチして、
表示ボタンをタッチする。
：表示設定画面が表示されます。



2 ルート案内設定ボタンをタッチする。
：表示項目設定画面が表示されます。



3 設定する項目を選択し、タッチする。

■ 全ルートの表示をする／しないにする場合

① 設定(する／しないボタン)を選択して
タッチする。



□ する ボタンをタッチすると…
：ルート探索終了後全ルートを表示します。

□ しない ボタンをタッチすると…
：ルート探索終了後全ルートは表示しません。
※複数ルート探索後は全ルート表示となります。

■ 交差点情報の表示をする／しないにする場合

① 設定（する／しない／案内中のみ ボタン）を選択してタッチする。

□ する ボタンをタッチすると…

：走行中は常に交差点情報を表示します。

□ しない ボタンをタッチすると…

：交差点情報を表示しません。

□ 案内中のみ ボタンをタッチすると…

：ルート案内時のみ交差点情報を表示します。



アドバイス

- 交差点情報は次の案内ポイントまでの距離と曲がる方向、交差点の名称を表示します。（表示される距離は目安です。実際の距離とは異なる場合もあります。）
  ※次の交差点が10km以上の場合は交差点情報マークに“みちなり”と表示されます。

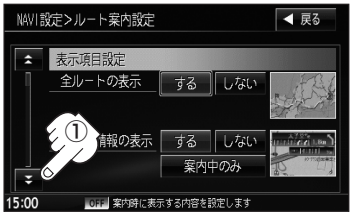


- 案内中のみ に設定している場合、ルート案内時に曲がる方向を橙色の矢印で表示します。
- 次の案内ポイントまでにレーン情報がある場合、交差点情報の下にその交差点までの距離とレーンガイドを表示します。



■ ルート色の表示を選ぶ場合

① ▼ ボタンをタッチし、“ルート色の表示”を表示させる。



② 好きな色（緑色／ピンク ボタン）を選択し、タッチする。

：選んだ色が表示されます。

設定した色が表示



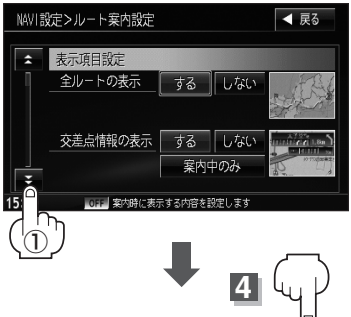
アドバイス

設定ルートの色は 緑色／ピンク のどちらかを選んだ場合も、有料道路は青色になります。

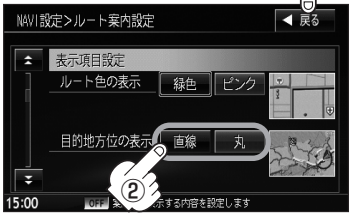
ルート案内画面の設定を変える(2)

■ 目的地までの方位を直線で表示／丸印で表示する場合

① ▼▼ボタンをタッチしていき、“目的地方位の表示”を表示させる。



② 表示方法(直線／丸ボタン)を選択してタッチする。



□ 直線ボタンをタッチすると…

：自車マークから目的地まで直線で結びます。

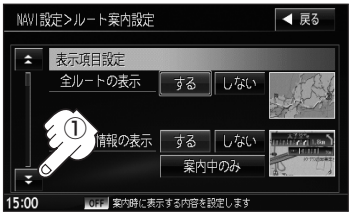
□ 丸ボタンをタッチすると…

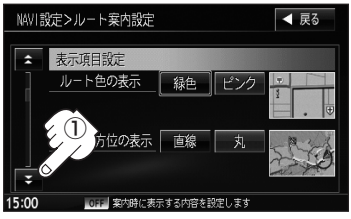
：自車マークに●印で目的地の方向を表示します。



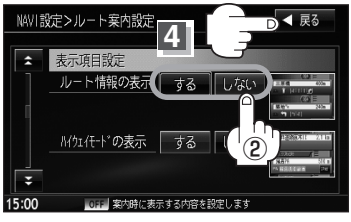
■ ルート情報の表示をする／しないにする場合

① ▼▼ボタンをタッチしていき、“ルート情報の表示”を表示させる。





② 設定(する／しないボタン)を選択し、タッチする。



□ する ボタンをタッチすると…

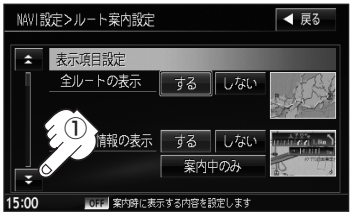
：ルート情報を表示します。

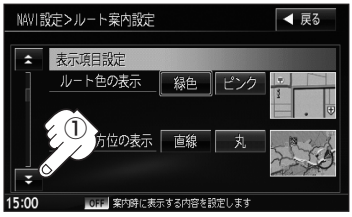
□ しない ボタンをタッチすると…

：ルート情報を表示しません。

■ ハイウェイモードの表示をする／しないにする場合

① ▼▼ボタンをタッチしていき、“ハイウェイモードの表示”を表示させる。





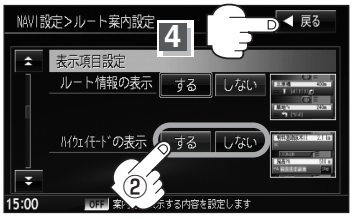
② 設定(**する**／**しない**ボタン)を選択し、タッチする。

□ **する**ボタンをタッチすると…

：高速道路／一般有料道路走行時のみ情報を表示します。

□ **しない**ボタンをタッチすると…

：情報を表示しません。



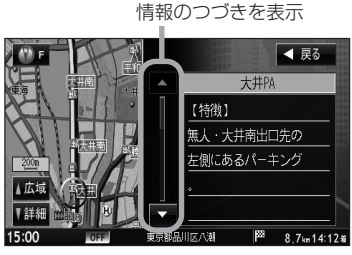
アドバイス

- ルート情報の表示を**する**ボタンを選択すると、ルート探索をしてルート案内にしたがって走行しているとき、道路名称、曲がるべき方向／距離、高速道路／一般有料道路の各区間ごとの料金や情報などを表示します。
- **する**ボタンを選択した場合、ルート情報は、ルート案内時とシミュレーション走行時に表示できます。“ルート情報の表示”を**する**ボタンを選択すると、高速道路／一般有料道路の情報も表示する設定になるため、“ハイウェイモードの表示”の**する**ボタンは選択できなくなります。
- Quick MENUから設定することもできます。「右画面表示を設定する」81～84ページ
- 高速道路を走行中に、パーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)、料金所(¥)のボタンが表示された場合、**詳細**ボタンをタッチすると、特徴や施設情報などの詳細情報を表示することができます。(探索したルートに高速道路がある場合でも、その高速道路に情報がない場合はボタンは表示されません。)



詳細情報がある場合、パネルにボタン表示されます。

タッチすると詳細情報を表示



- 走行中は詳細情報は表示されません。

＊印：ルート案内中に高速道路または有料道路を走行中**SA／PA**ボタンをタッチすると、サービスエリア／パーキングエリアのみルート情報を表示します。

※探索したルートに高速道路がある場合でもその高速道路にサービスエリア／パーキングエリアがないときは選択できません。

ルート案内画面の設定を変える(3)

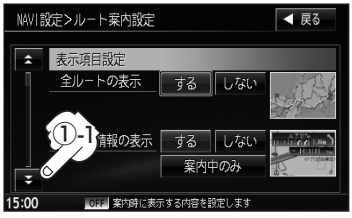
アドバイス

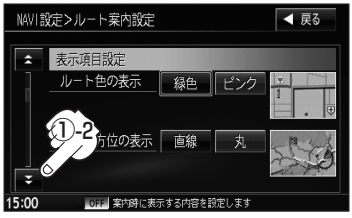
- VICS情報を受信している場合、その区間の渋滞状況やVICS情報マークを表示します。
「マーク一覧表」169ページ



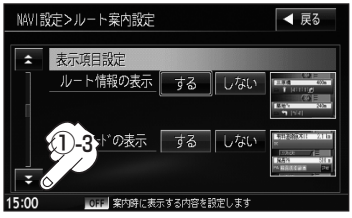
■ JCTビューの表示をする／しないにする場合

① ▼ボタンをタッチしていき“JCTビューの表示”を表示させる。





② 設定(**する**／**しない**ボタン)を選択してタッチする。





アドバイス

- 高速道路や都市高速道路のJCT(ジャンクション)分岐や都市高速道路の出口(ランプ)が近づくと、その付近の案内図(JCTビュー)を右画面に表示します。案内図には、方面案内とともに、曲がるべき方向が表示されます。案内が終わると、もとの画面に戻ります。
- ▶ボタンをタッチすると、JCTビュー表示を一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は◀ボタンをタッチしてください。

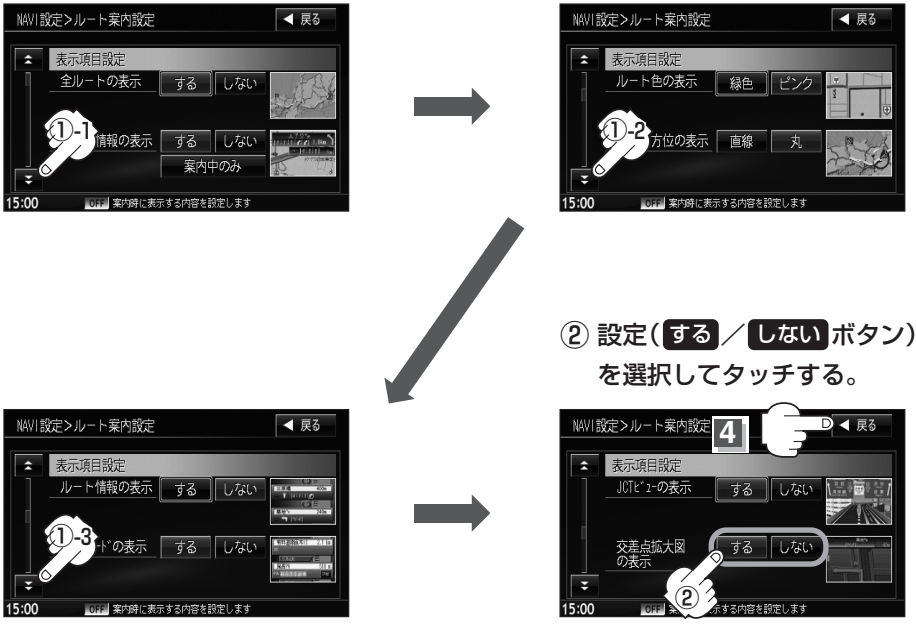
(例)JCTビュー表示



- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行なうため、
  - ・データが収録されていない分岐点では、JCTビューはしません。
  - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ランドマーク等)が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。
- 地図ソフトでは、JCTビューは、高速道路や都市高速道路の一部に対応しています。

■ 交差点拡大図の表示をする／しないにする場合

① ▼▼ボタンをタッチしていき“交差点拡大図の表示”を表示させる。

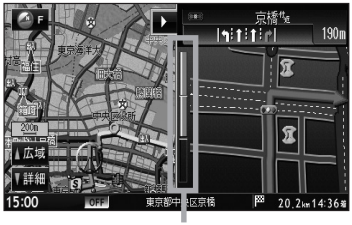


② 設定（する ／ しない ボタン）を選択してタッチする。

アドバイス

- 主要な交差点に近づくと、その交差点の拡大図を右画面に表示します。拡大図には、交差点名やランドマーク（ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、公園など、目印となる施設）とともに、曲がるべき方向が矢印で表示されます。
- GPS衛星からの電波が受信できず、正しい測位ができない場合や、GPSデータの誤差が大きい場合は、交差点拡大機能は正常に働きません。また、連続する交差点間の距離が短すぎる場合は、この機能は働きません。
- 拡大表示のとき ▶ ボタンをタッチすると、一時的に交差点拡大表示を消すことができます。もう一度、表示したい場合は ◀ ボタンをタッチしてください。
- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行なうため、
  - ・データが収録されていない交差点では、交差点拡大表示はしません。
  - ・交差点によっては、交差点名やランドマークが表示されないものもあります。
  - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容（ランドマーク等）が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

（例）交差点拡大表示

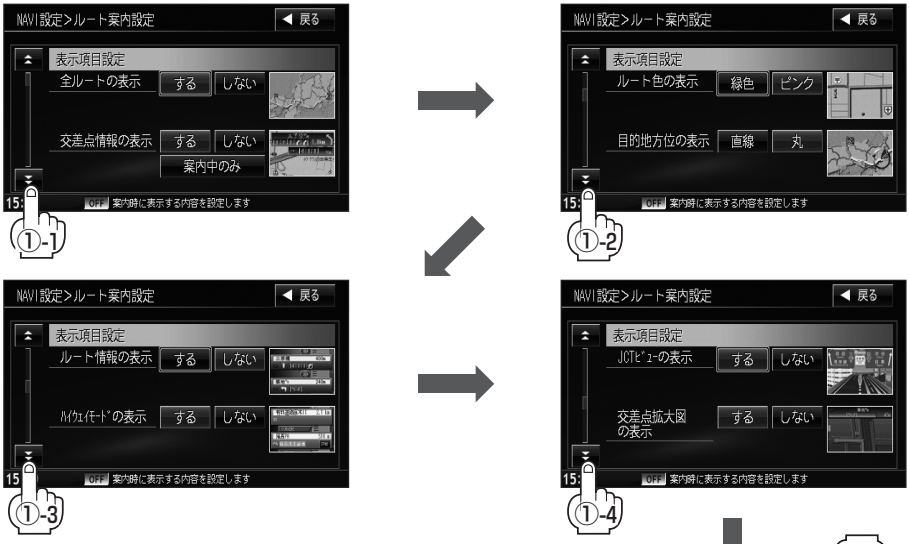


※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

ルート案内画面の設定を変える(4)

■ リアル3D交差点を表示する／しないにする場合

① ⏬ボタンをタッチしていき“リアル3D表示”を表示させる。



② 設定(**する**／**しない**ボタン)を選択してタッチする。

□ **する**ボタンをタッチすると…

：リアル3D交差点を表示します。

□ **しない**ボタンをタッチすると…

：リアル3D交差点を表示しません。



アドバイス

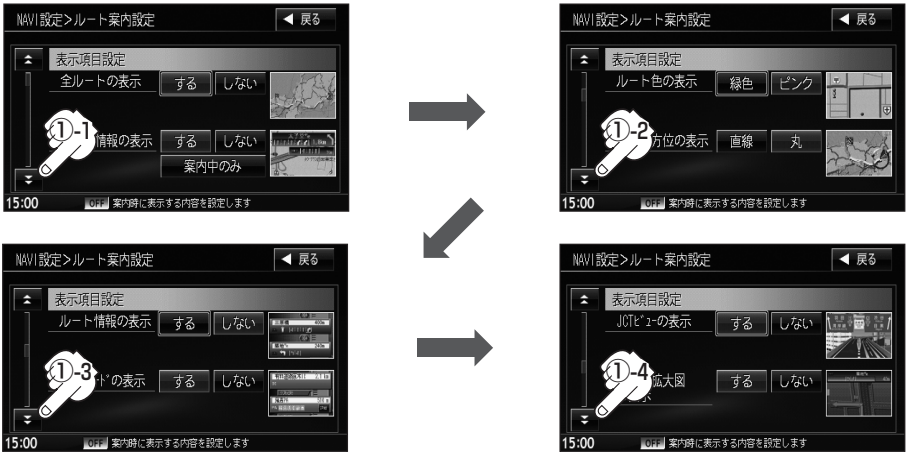
- ルート案内時、札幌・仙台・さいたま・千葉・東京23区・横浜・川崎・新潟・静岡・浜松・名古屋・京都・大阪・堺・神戸・広島・福岡・北九州の中心部の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。
- 3D交差点表示のとき▶ボタンをタッチすると、一時的にリアル3Dの表示を消すことができます。もう一度、表示したい場合は◀ボタンをタッチしてください。

(例)リアル3D表示



■ 方面看板の表示をする／しないにする場合

① ▼▼ボタンをタッチしていき“方面看板の表示”を表示させる。



② 設定（**する**／**しない**／**案内中のみ**ボタン）を選択してタッチする。



□ **する**をタッチすると…

：走行中は常に表示します。

□ **しない**をタッチすると…

：方面看板を表示しません。

□ **案内中のみ**をタッチすると…

：ルート案内時のみ表示します。

アドバイス

(例)方面看板表示

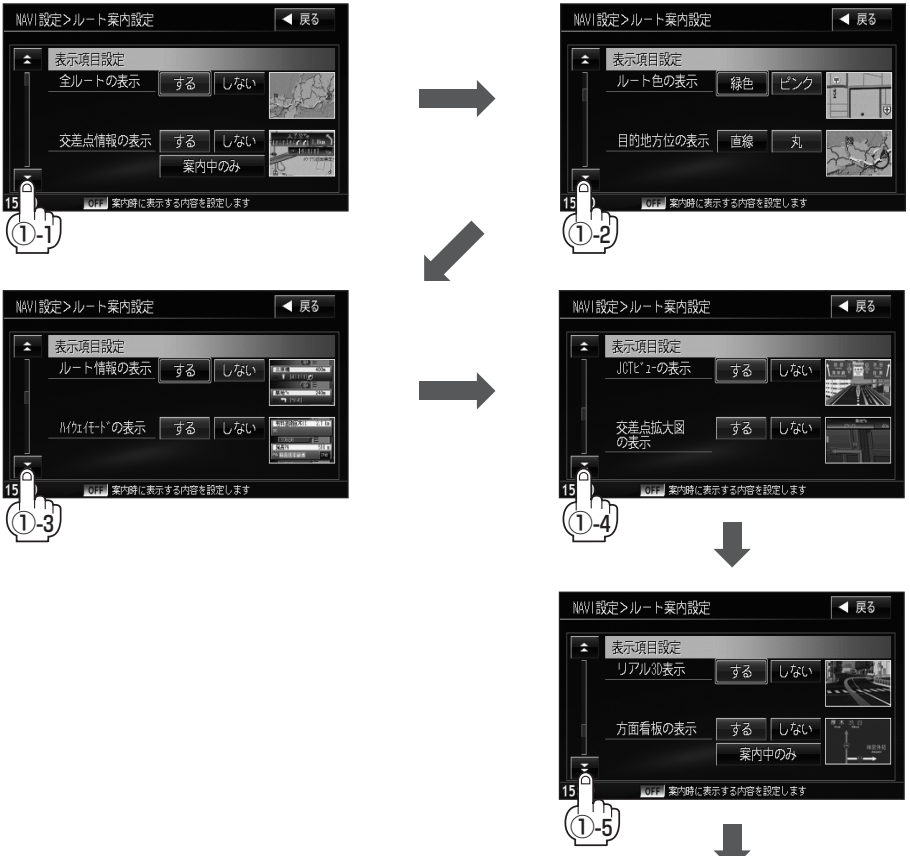


- 全国の国道をはじめとした主要交差点または一般道の行き先案内を示す方面看板（案内標識）が表示されます。看板には方面、方向が表示されます。
- 方面看板表示は交差点の約1km手前で表示され、案内ポイントに近付くと約150m手前で交差点拡大表示に切り替わります。
- 交差点までに距離がない（約150m未満の）場合は方面看板は表示せず、交差点拡大表示となります。
- **する**／**案内中のみ**に設定している場合、ルート案内時に進む方向を橙色の矢印で表示します。
- 方面看板表示のとき▶ボタンをタッチすると、一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は◀ボタンをタッチしてください。

ルート案内画面の設定を変える(5)

■ AV画面中の案内割込みをする／しないにする場合

① ▼▼ボタンをタッチしていき、“AV画面中の案内割込み”を表示させる。



② 設定(**する**／**しない**ボタン)を選択しタッチする。

□ **する**ボタンをタッチすると…

：AV画面(各AVモードのトップ画面)表示中に、ルート案内画面を表示します。

□ **しない**ボタンをタッチすると…

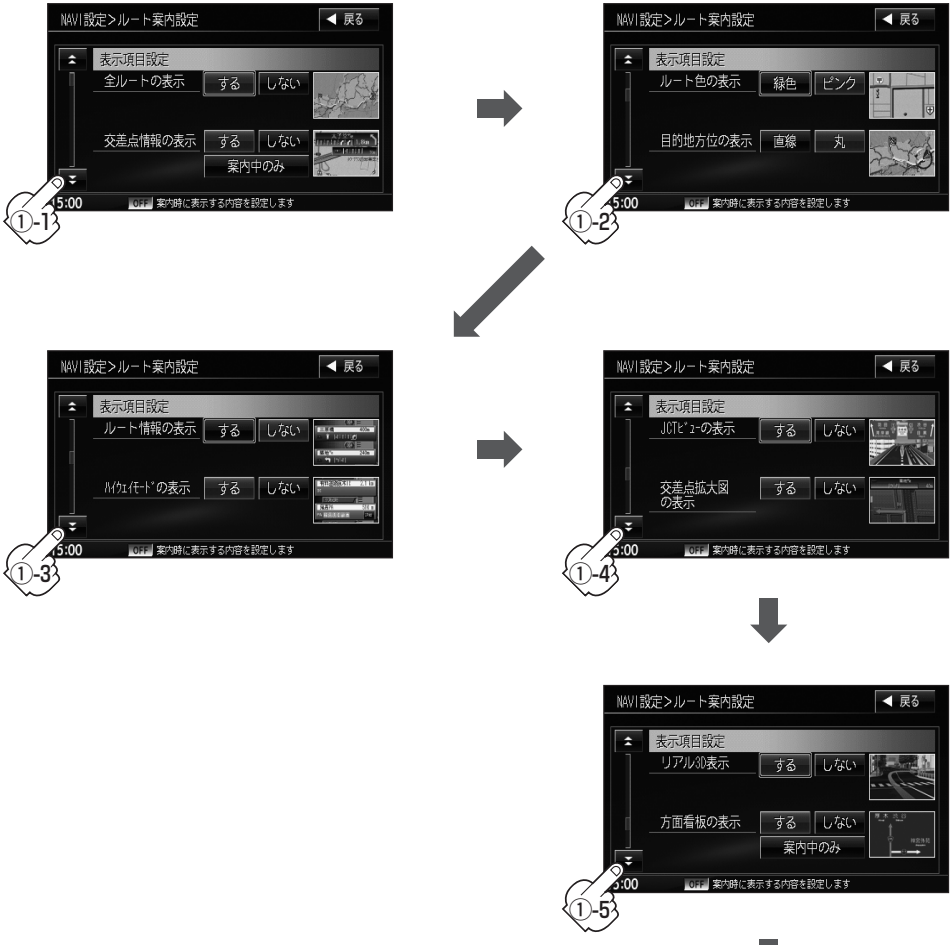
：AV画面(各AVモードのトップ画面)表示中に、ルート案内画面を表示しません。

アドバイス

- AV画面(各AVモードのトップ画面)を表示している場合、ルート案内中にルート案内画面(ルート情報／ハイウェイモード／交差点情報／方面看板／JCT(ジャンクション)ビュー／リアル3D／交差点拡大図／ETCレーン表示)を割り込ませて表示することができます。
- ▶ボタンをタッチするとルート案内画面を一時的に消すことができます。
- AV画面中の案内割り込みの設定を**する**にしている場合、AV画面表示中に左折、右折などの情報が発生してもAV画面操作をしているとNAVI画面には切り替わりません。
- AV画面中の案内割り込みの設定を**する**にしている場合、NAVI画面に切り替わった際にNAVI画面を操作するとAV画面には戻りません。

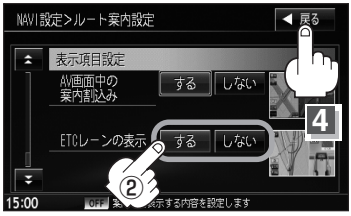
■ ETCレーンの表示をする／しないにする場合

① ▼▼ボタンをタッチしていき、“ETCレーンの表示”を表示させる。



ルート案内画面の設定を変える(6)

② 設定(**する**／**しない**ボタン)を
選択してタッチする。



□ **する**ボタンをタッチすると…
：料金所の手前でETCレーンを表示します。

□ **しない**ボタンをタッチすると…
：ETCレーン表示しません。

アドバイス

(例)ETCレーン表示



- ETCレーン表示のとき▶ボタンをタッチすると、一時的に消すことができます。
  もう一度表示したい場合は◀ボタンをタッチしてください。
- ETCレーン表示は、ETCユニット未接続時でも表示されます。
- 表示は地図ソフトに収録されているデータに基づいて行なうため、
  ・データが収録されていないETCレーンでは、ETCレーン表示はしません。
  ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ETCレーン表示など)が実際とは異なる場合がありますのでご注意ください。

4 **設定を終わるには・・・**
戻るボタンをタッチ、または**現在地**／**メニュー**ボタンを押す。
：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

ランドマークを設定する(1)

特定の施設を探したいとき、または道しるべとして利用したいときなどは、各施設を地図上にマークで表示(ランドマーク表示・最大300件)させることができます。



1 メニューボタンを押し、
NAVI設定ボタンをタッチして、
表示ボタンをタッチする。

：表示設定画面が表示されます。



2 ランドマーク設定ボタンをタッチする。

：ランドマーク設定画面が表示されます。

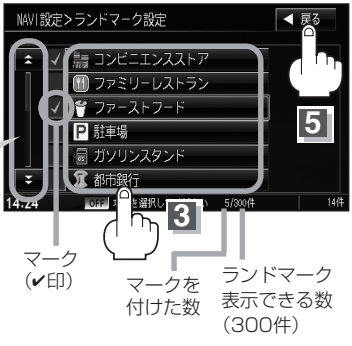


3 リストから表示したいジャンルを選択し、タッチする。

※選択できる件数は300件までです。

▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示

■ 駐車場、トイレ、道の駅を選択した場合
手順 5 (221ページ)へ進んでください。



4 リストから表示したい詳細施設を選択し、
戻るボタンをタッチする。

：選択した施設にマーク(✔印)が付きます。
全選択ボタンをタッチすると全施設にマーク(✔印)が付きます。



ランドマークを設定する(2)

マークの表示を止めるには…

■ 駐車場、トイレ、道の駅 の場合

手順 3 (220ページ)で再度ボタンをタッチしてマーク(✔印)を消し、戻る ボタンをタッチします。

■ その他のジャンルの場合

手順 4 (220ページ)で再度ボタンをタッチしてマーク(✔印)を消し、戻る ボタンをタッチします。初期化 ボタンをタッチするとリストに付いているマーク(✔印)を全て消します。

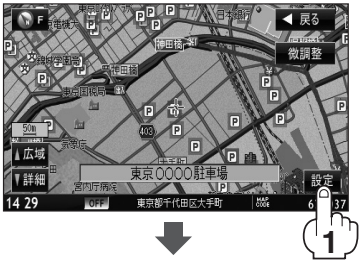
5 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ、または 現在地 / メニュー ボタンを押す。

:設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

アドバイス

- 縮尺スケールが200m以上の場合は、ランドマークは表示されません。
- 複数の施設を表示する場合、情報がたくさんある地域では、地図がマークだらけになり、マークが重なり合って見づらくなります。不要な施設は表示をやめることをおすすめします。
- ランドマークにカーソルを合わせると、地図画面下に施設名が表示されます。
  設定 ボタンをタッチして設定メニューを表示させ、
  施設の詳細 ボタンをタッチすると施設の詳細情報を見ることができます。

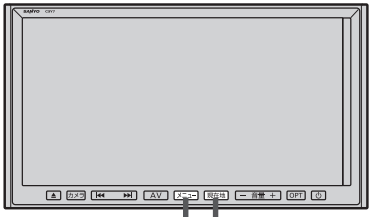


(例)詳細情報画面



自車マークの種類／色を変える

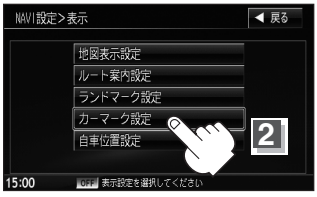
自車マークの種類と色を選ぶことができます。



1 メニュー ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
表示 ボタンをタッチする。
：表示設定画面が表示されます。



2 カーマーク設定 ボタンをタッチする。
：カーマーク設定画面が表示されます。



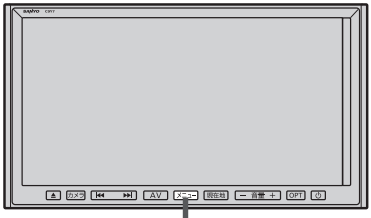
3 好きな種類（ミニバン ／ コンパクト ／
スポーツカー1 ／ スポーツカー2 ／ セダン ／
矢印 ボタン）を選択し、タッチする。
：タッチするたびに色が変わります。
※自車マークの色は6色の中から、
矢印の色は赤と黄の2色の中からお好みの色を選んで
ください。



4 設定を終わるには・・・
戻る ボタンをタッチまたは 現在地 ボタンを押す。
：設定を保存し、1つ前の画面に戻るまたは現在地の地図画面に戻ります。

自車マークの位置／角度を修正する

走行環境やGPS衛星の状態などにより、自車マークの位置／角度が実際の車の位置／角度とずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行すると、自動的に自車マークの位置／角度が修正されますが、下記の手順で、ご自分で修正することもできます。



1 地図をスクロールし、自車マークを表示する場所にカーソルを合わせる。

最も詳細な地図を選んでおくと、より正確な位置の修正ができます。



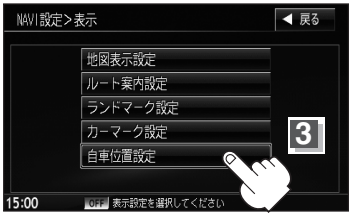
2 メニューボタンを押し、
NAVI設定ボタンをタッチして、
表示ボタンをタッチする。

：表示設定画面が表示されます。



3 自車位置設定ボタンをタッチする。

：自車位置設定画面が表示されます。



4 カーソルの位置を確認し、必要であれば画面をタッチして修正する。

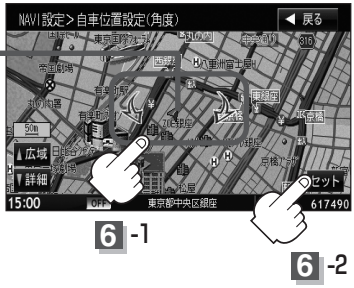
5 セット ボタンをタッチする。

：角度修正画面になります。



6 矢印をタッチして、自車マークの角度を修正し、 セット ボタンをタッチする。

：修正した現在地の地図画面に戻ります。

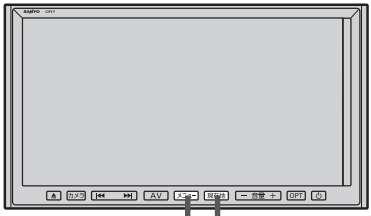


アドバイス

- 現在地から目的地までのルート探索をする際、自車マークの位置／角度がまちがっている場合は、必ず修正してください。
- 手順 1 (223ページ)／上記手順 4 で地図画面をスクロールして修正する場合は、「見たい地域を探す」66～68ページを参考に修正してください。
- 現在地(自車)マークを変更することができます。「自車マークの種類／色を変える」222ページ

音声案内の音量を調整／案内設定をする(1)

ルート案内時や音声操作時の音声案内の音量は、下記の手順で調整してください。



1 メニューボタンを押し、
NAVI設定ボタンをタッチして、
音声案内ボタンをタッチする。

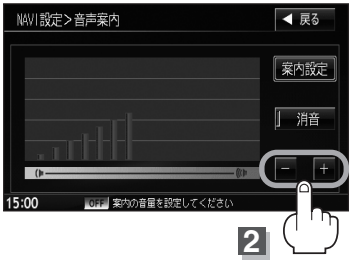
：音声案内画面が表示されます。



2 ■ 音声案内の音量を調整する場合

－／＋ボタンをタッチして、
お好みの音量に調整する。

：調整時に“この音量でご案内します。”と音声が鳴ります。

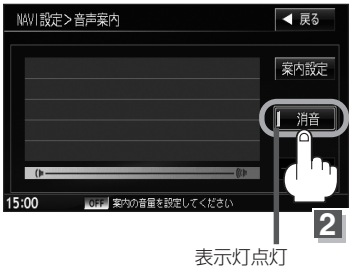


■ 音声案内を止める場合

消音ボタンをタッチする。

：表示灯が点灯し、音声が消えます。

※音声案内をしたい場合は再度消音ボタンをタッチして表示灯を消してください。



アドバイス

音声案内は前側の右スピーカーから出力されます。

■ 合流案内／踏み切り案内設定を変える場合

高速道路の合流地点に近くなるとお知らせする音声案内／踏み切り近くになるとお知らせする音声案内の設定を変えることができます。

① **案内設定** ボタンをタッチする。

：案内設定画面が表示されます。



② 合流案内／踏み切り案内の **常時** ／ **案内中** ／ **なし** ボタンを選択してタッチする。

□ **常時** ボタンをタッチすると…

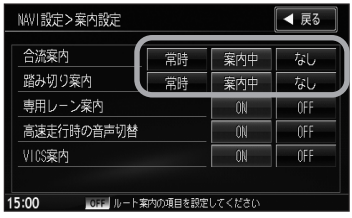
：ルートを設定していないときでも音声案内をします。

□ **案内中** ボタンをタッチすると…

：ルート案内中に音声案内をします。

□ **なし** ボタンをタッチすると…

：音声案内を止めます。

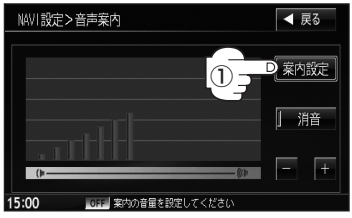


■ 専用レーン案内の案内設定を変える場合

ルート案内中に、右折専用道路または左折専用道路がある場合、音声で知らせる／知らせないを設定することができます。

① **案内設定** ボタンをタッチする。

：案内設定画面が表示されます。



② 専用レーン案内の **ON** ／ **OFF** ボタンを選択しタッチする。

□ **ON** ボタンをタッチすると…

：ルート案内中に音声案内をします。

□ **OFF** ボタンをタッチすると…

：音声案内を止めます。



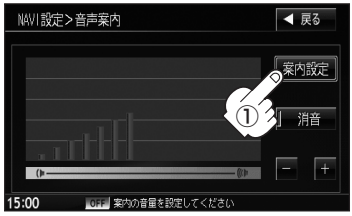
音声案内の音量を調整／案内設定をする(2)

■ 高速走行時の音声切替*／VICS案内を止める場合

高速走行時の音声案内を設定した音量に戻す、または発生した渋滞や交通規制をお知らせする音声案内を止めます。

① **案内設定** ボタンをタッチする。

：案内設定画面が表示されます。



② 高速走行時の音声切替／VICS案内の **OFF** ボタンをタッチする。

□ 高速走行時の音声切替をOFFにすると…

：高速走行時の音声は切り替わりません。

※高速走行中、自動的に音量を大きくしたい場合は **ON** ボタンをタッチしてください。

□ VICS案内をOFFにすると…

：渋滞／規制情報を音声案内しません。

※渋滞／規制情報の音声案内を行なうには **ON** ボタンをタッチしてください。



アドバイス

- *印：高速走行時に自動で音量を上げる機能です。
- VICS情報を受信できない場合などは、VICS案内の **ON** ボタンを選択していても、渋滞／規制情報を音声案内しない場合があります。

3 **設定を終わるには・・・**

戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／ メニュー ボタンを押す。

：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

軌跡を使う(1)

通った道にしるしをつけ、記録(メモリ)することができます。
通った道をあとで確認したり、同じ道を通りたいときなどに便利です。



軌跡の記録をするには

1 メニューボタンを押し、
NAVI設定ボタンを選択して、
走行軌跡ボタンをタッチする。
：走行軌跡設定画面が表示されます。



2 記録スタートボタンをタッチする。
：軌跡の記録を開始します。

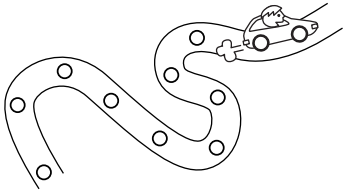


軌跡の記録を開始すると・・・

自車マークが移動すると、軌跡があらわれます。
また、それら軌跡の登録も開始します。

アドバイス

- 軌跡は、約500kmまで記録できます。
  容量をこえると、古い軌跡から順に自動的に消し、新しい軌跡を記録します。
- 軌跡の色は青です。
- 軌跡の記録を止め、再び軌跡の記録を開始した場合は、前回記録した続きより記録されます。
- シミュレーション走行中は軌跡の記録を行ないません。



3 設定を終わるには・・・
戻るボタンをタッチ、または現在地／メニューボタンを押す。
：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

軌跡を使う(2)

軌跡の記録を止めるには



① 手順 1 (228ページ)にしたがって操作し、
記録ストップ ボタンをタッチする。

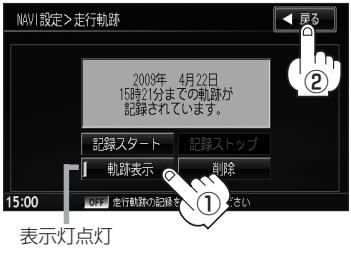
② 記録を止めたら・・・

現在地 ボタンを押すと、現在地の地図画面に戻ります。

戻る ボタンをタッチまたは メニュー ボタンを押すと、
メニュー画面に戻ります。

軌跡を表示するには

地図上に軌跡を表示します。
※表示するだけで、記録はされません。



表示灯点灯

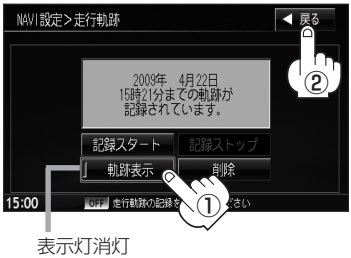
① 手順 1 (228ページ)にしたがって操作し、
軌跡表示 ボタンの表示灯が消えている場合は
軌跡表示 ボタンをタッチし表示灯を点灯させる。

② **戻る** ボタンをタッチまたは メニュー ボタンを押す。
：設定を保存し、メニュー画面に戻ります。

③ 現在地 ボタンを押すと、現在地の地図画面に戻る。

軌跡の表示を止めるには

地図上の軌跡を消します。
※表示を止めるだけで、メモリから消すわけではありません。



表示灯消灯

① 手順 1 (228ページ)にしたがって操作し、
軌跡表示 ボタンをタッチし表示灯を消灯させる。
：設定表示が消えます。

② **戻る** ボタンをタッチまたは メニュー ボタンを押す。
：設定を保存し、メニュー画面に戻ります。

③ 現在地 ボタンを押すと、現在地の地図画面に戻る。

アドバイス

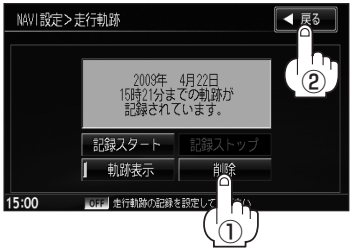
軌跡を記録中は、軌跡の表示を止めることはできません。

軌跡を削除するには

① 手順 1 (228ページ)にしたがって操作し、
削除 ボタンをタッチする。

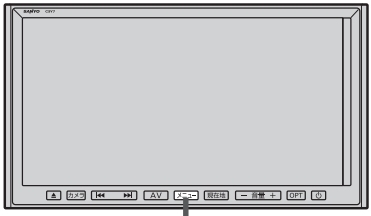
：軌跡を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので、 はい ボタンをタッチします。

② 現在地 ボタンを押すと、現在の地図画面に戻る。
戻る ボタンをタッチまたは メニュー ボタンを押すと、メニュー画面に戻る。



自宅を登録する

自宅を登録しておくと、自宅までのルートを探索することができます。



1

メニュー ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
登録地点編集 ボタンをタッチする。

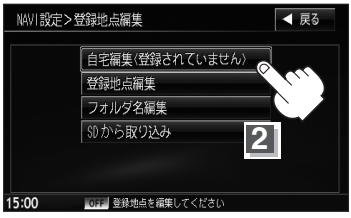
：登録地点編集画面が表示されます。



2

自宅編集<登録されていません> ボタンをタッチする。

：自宅登録方法画面が表示されます。



3

自宅を登録する。

※操作のしかたは「自宅を登録する」の手順 3 、 4 （76～78ページ）をご覧ください。



登録地点の編集／見る(1)

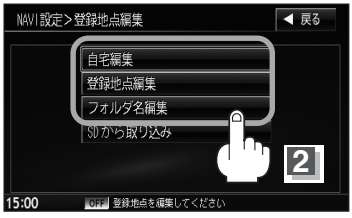
マークをつけた場所の名称／マーク／フォルダを変更したり、電話番号(TEL)／メモの登録や、登録地点に近づいたときのアラーム音の種類を選択することができます。



1 メニューボタンを押し、
NAVI設定ボタンをタッチして、
登録地点編集ボタンをタッチする。
：登録地点編集画面が表示されます。



2 編集または確認したい項目(自宅編集／登録地点編集／フォルダ名編集ボタン)を選択し、タッチする。



■ 自宅／登録地点を編集する場合

① 自宅編集／登録地点編集ボタンをタッチする。

※ 登録地点編集ボタンをタッチした場合は、さらにリストより編集したい登録地点を選択しタッチしてください。(下記アドバイス参照)
：登録地点編集画面が表示されます。

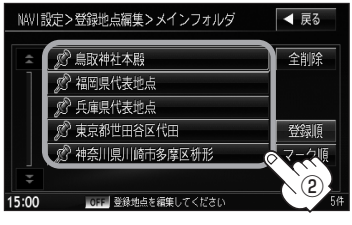
アドバイス

登録地点編集ボタンをタッチしてフォルダ選択画面が表示された場合

①編集したい登録地点が保存されている
フォルダをタッチする。



②リストより編集したい登録地点を選択し、
タッチする。



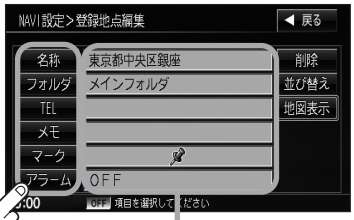
※手順①で全表示ボタンをタッチすると、本機に登録されている地点が全て表示されます。(自宅は除く)

登録地点の編集／見る(2)

② 変更／登録する項目をタッチする。

名称 ボタン……名称を変更します。
フォルダ ボタン…フォルダの変更／編集をします。(登録地点のみ)
TEL ボタン……電話番号を登録します。
メモ ボタン……メモを登録します。
マーク ボタン……マークを変更します。
アラーム ボタン…アラーム音を変更します。

登録地点詳細画面



② 現在登録している情報を表示します。

アドバイス

カーソルを登録地点マークに合わせ**設定**ボタンをタッチして設定メニューを表示させ**地点を編集する**ボタンをタッチして登録地点詳細画面を表示させることもできます。
「登録地点で地点を探す」95、96ページ

□ 名称／メモを編集するには

1. **名称** ／ **メモ** ボタンをタッチする。

：名称入力またはメモ入力画面が表示されます。
※ひらがな14文字、漢字／カタカナ16文字、英数記32文字まで入力できます。

例 メモに「友達の家」と入力する場合

2. **と** **も** **た** **゛** **ち** **の** **い** **え** と文字を1文字ずつタッチする。

3. **変換** ボタンをタッチする。

：変換候補画面が表示されます。

アドバイス

- 漢字変換しない場合は **無変換** ボタンをタッチしてください。
- **←** ／ **→** ボタンをタッチして変換する文字の範囲を選択することができます。選択されている文字は水色の帯で表示されます。
- ■ ボタンタッチで1文字分のスペースを空けます。

■ ひらがなと漢字を入力する場合

入力した文字を訂正する場合
① **訂正** ボタンをタッチする。
全ての文字を訂正する場合は、**訂正** ボタンを長めにタッチする。
②正しい文字を入力する。



小文字に変換したい場合
小文字 ボタンをタッチする。(50音パレットが小文字*に変わる。) *選択可能な文字のみ
※50音パレットは **小文字** ↔ **大文字** ボタンをタッチするたびに、小文字または大文字に切り替わります。

4. 変換したい漢字にタッチする。



アドバイス

- 次ページがある場合 ▲▲ ／ ▼▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 閉じる ボタンをタッチすると変換候補画面を閉じることができます。

5. 決定 ボタンをタッチする。

□ カタカナ、英数を入力するには

1. カナ ボタンをタッチする。
   ：50音パレットがカタカナ表示になります。

タッチするたびに→カナ→英数→かなと切り替わります。
※用途に合わせて切り替えてください。



2. 入力したい文字を選択し、タッチする。

小文字に変換したい場合
小文字 ボタンをタッチする。（50音パレットが小文字*に変わる。）*選択可能な文字のみ
※50音パレットは 小文字 ↔ 大文字 ボタンをタッチするたびに、小文字または大文字に切り替わります。

3. 決定 ボタンをタッチする。

□ 電話番号を編集するには

1. TEL ボタンをタッチする。
   ：電話番号編集画面が表示されます。

2. 数字を入力し、決定 ボタンをタッチする。
   ※12文字まで入力できます。

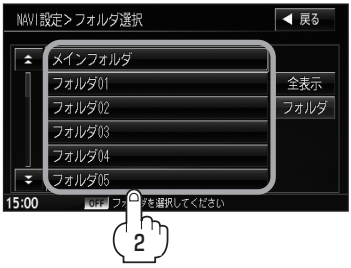


登録地点の編集／見る(3)

□ フォルダを指定するには

1. フォルダ ボタンをタッチする。
   ：フォルダ選択画面が表示されます。

2. 指定したフォルダ(フォルダ01～フォルダ20 ボタン)を選択し、タッチする。
   ：選択したフォルダに移動し、登録地点詳細画面に戻ります。



アドバイス

- フォルダを指定していない場合、メニュー ボタンを押し、目的地 → 登録地点 → フォルダ ボタンをタッチして、フォルダ選択画面を表示させたときに メインフォルダ ボタンをタッチすると登録した地点が表示されます。
  ※フォルダ(フォルダ01～フォルダ20 ボタン)を指定した場合は、“メインフォルダ”には表示されません。
- メインフォルダ～フォルダ20 ボタンに登録したリストは、「登録地点で地点を探す」(95、96ページ)、または「自宅／登録地点の地図を呼び出す」(240、241ページ)でも確認できます。

□ マークを編集するには

1. マーク ボタンをタッチする。
   ：マーク編集画面が表示されます。

2. 表示したいマークをタッチし、戻る ボタンをタッチする。
   ※ここで選んだマークが地図上に表示されます。



□ **アラームを編集するには**

1. **アラーム** ボタンをタッチする。
   ：アラーム編集画面が表示されます。

2. お好みのアラーム音を選んでタッチする。
   ※ **OFF** ボタンを選択しタッチした場合、
   アラーム音は鳴りません。

3. 案内距離（ **50m** ／ **100m** ／ **300m** ／ **500m** ボタン）を選択しタッチする。
   ※選択した距離まで近付くと、アラーム音が鳴ります。

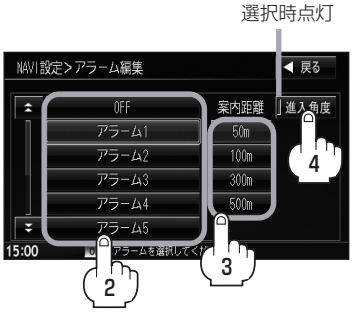
4. 特定の方向から登録地点に近づいたときにアラーム音を鳴らす場合は、 **進入角度** ボタンをタッチする。
   ：進入角度編集画面が表示されます。

5. 矢印をタッチして、自車マークの方向を修正し、 **セット** ボタンをタッチする。
   ：アラーム編集画面に戻り、 **進入角度** ボタンの表示灯が点灯されます。

アドバイス

進入角度の設定をした場合、左15°右15°の範囲から登録地点に近付いたときにアラーム音を鳴らします。

6. **戻る** ボタンをタッチする。



アラーム音の種類

アラーム1	登録地付近です
アラーム2	チェックポイントです
アラーム3	スピードに注意してください
アラーム4	お帰りなさい
アラーム5	運転おつかれさまでした
アラーム6	効果音1
アラーム7	効果音2
アラーム8	効果音3
アラーム9	効果音4



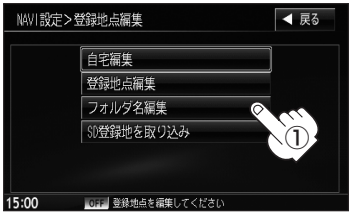
登録地点の編集／見る(4)

■ フォルダ名を編集する場合

① フォルダ名編集 ボタンをタッチする。

② リストから編集するフォルダを選択し
タッチする。

③ 入力方法は □ 名称／メモを編集するには
233、234ページをご覧ください。





アドバイス

メインフォルダは編集することができません。

3 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチする。

：設定を保存し、地点編集画面に戻ります。

4 現在地 ボタンを押すと、現在地の地図画面に戻る。

戻る ボタンをタッチすると、メニュー画面に戻る。

登録地点の並び替えをする(1)

登録地点編集画面に表示される地点の並び順を替えることができます。



1

メニュー ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
登録地点編集 ボタンをタッチする。

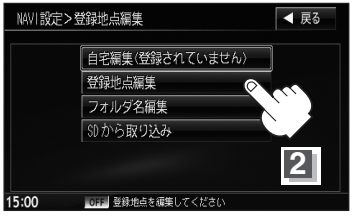
：登録地点編集画面が表示されます。



2

登録地点編集 ボタンをタッチする。

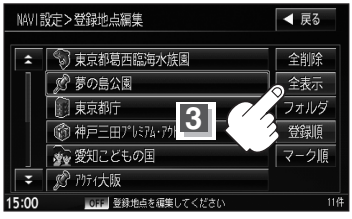
：登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。



3

地点の表示方法を選択し、タッチする。

(例)登録順で表示



■ 地点を全て表示する場合

全表示 ボタンをタッチする。

：登録されている全ての地点が表示されます。

■ フォルダごとに表示する場合

① フォルダ ボタンをタッチする。

② 表示させたい登録地点が入っているフォルダ(メインフォルダ ～ フォルダ20 ボタン)を選択し、タッチする。

：選択したフォルダ内の地点リストが表示されます。

※登録地点が入っていないフォルダは選択できません。(ボタンが暗くなります。)



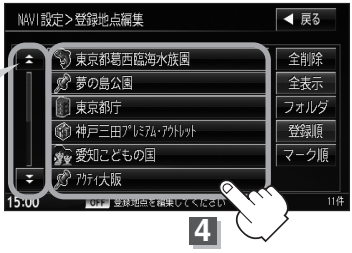
登録地点の並び替えをする(2)

4 並び替えをしたい地点を選び、タッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。

▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示

(例)登録順で表示



■ 順番を並び替えて表示したい場合

並び替えたい順(登録順／マーク順ボタン)を選んでタッチする。

登録順ボタン……地点が登録された順(古いものから)に表示

マーク順ボタン…同じマークのもの同士をまとめて表示

5 並び替えボタンをタッチする。

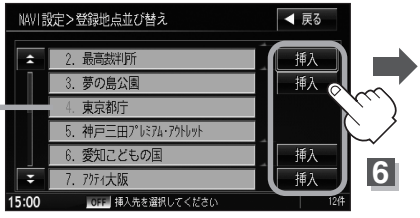
：登録地点並び替え画面が表示されます。



6 挿入したい場所の挿入ボタンをタッチする。

例 2 最高裁判所の下に挿入する場合

並び替えしたい地点の番号を青色で表示





7 設定を終わるには・・・

現在地ボタンを押すと、現在地の地図画面に戻る。

※**戻る**ボタンをタッチすると、一つ前の画面に戻ります。

アドバイス

- 登録地点が2個以上ある場合に並び替えができます。1個の場合は**並び替え**ボタンは表示されません。
- カーソルを登録地点マークに合わせ**設定**→**地点を編集する**ボタンをタッチして登録地点詳細画面を表示させることもできます。

自宅／登録地点の地図を呼び出す（1）



1 メニュー ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
登録地点編集 ボタンをタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。



2 自宅編集 ／ 登録地点編集 ボタンをタッチする。

：登録地点詳細画面／登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。

※ 自宅編集 ボタンをタッチした場合は手順 5 （241ページ）へ進んでください。

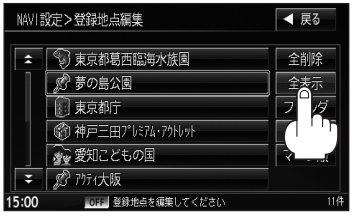


3 登録地点の表示方法を選択し、タッチする。

■ 全ての登録地点を表示する場合

全表示 ボタンをタッチする。

：登録されている全ての登録地点が表示されます。



■ フォルダごとに表示する場合

① フォルダ ボタンをタッチする。

② 表示させたい登録地点が入っているフォルダ（メインフォルダ ～ フォルダ20 ボタン）を選択しタッチする。

：選択したフォルダ内の登録地点リストが表示されます。

※登録地点が入っていないフォルダは選択できません。（ボタンが暗くなります。）

※フォルダ名は編集することができます。
「登録地点の編集／見る」 232～237ページ



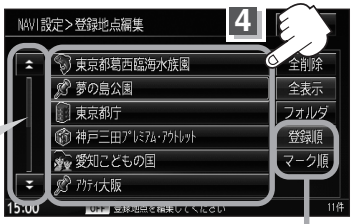


自宅／登録地点の地図を呼び出す（2）

4 登録地点を選択し、タッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。

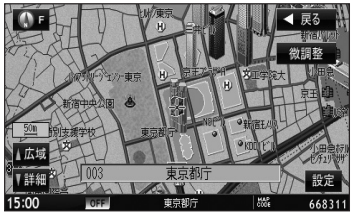
▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示



リストを並び替えて表示することができます。☞238ページ

5 地図表示 ボタンをタッチする。





6 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／ メニュー ボタンを押す。

：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

アドバイス

地図の呼び出しは、メニュー → 目的地 → 登録地点 ボタンをタッチしてもできます。

☞「登録地点で地点を探す」95、96ページ

自宅／登録地点を削除する(1)



1 メニューボタンを押し、
NAVI設定ボタンをタッチして、
登録地点編集ボタンをタッチする。
：登録地点編集画面が表示されます。



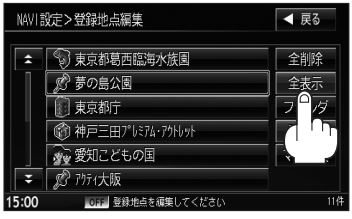
2 自宅編集／登録地点編集ボタンをタッチする。
：登録地点詳細画面／登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。
※ 自宅編集ボタンをタッチした場合は手順 5 (243ページ)へ進んでください。



3 登録地点の表示方法を選択し、タッチする。

■ 全ての登録地点を表示する場合

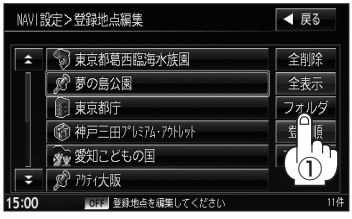
全表示ボタンをタッチする。
：登録されている全ての登録地点が表示されます。



■ フォルダごとに表示する場合

① フォルダボタンをタッチする。

② 表示させたい登録地点が入っているフォルダ(メインフォルダ～フォルダ20ボタン)を選択しタッチする。
：選択したフォルダ内の登録地点リストが表示されます。
※登録地点が入っていないフォルダは選択できません。(ボタンが暗くなります。)
※フォルダ名は編集することができます。
☞「登録地点の編集／見る」
232～237ページ





自宅／登録地点を削除する(2)

4 **削除したい登録地点を選択し、タッチする。**

：登録地点詳細画面が表示されます。

■ **全ての登録地点を削除したい場合**

全削除 **ボタンをタッチする。**



▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示

リストを並び替えて表示することができます。239ページ

5 **削除** **ボタンをタッチする。**

：登録地点を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、地点を削除し、登録地点編集画面／登録地点リスト画面に戻ります。



6 **設定を終わるには・・・**

戻る **ボタンをタッチ、または** 現在地 ／ メニュー **ボタンを押す。**

：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

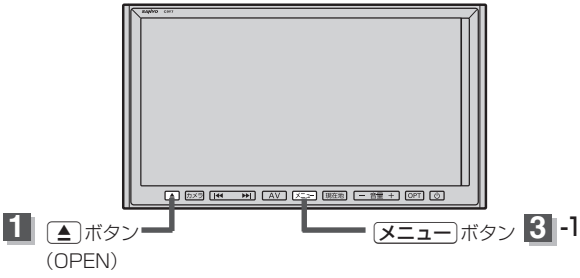
アドバイス

- 登録地点を削除すると、地図上からマークが消え、登録した名称／フォルダ／TEL／メモ／マーク／アラームも全て消えてしまいます。
  一時的に、地図上からマークを消したい場合は、「表示項目の設定を変える」206～208ページをご覧ください。
  （この場合は、全ての登録地点マークが、地図上から消えます。）
- カーソルを登録地点マークに合わせ **設定** → **地点を編集する** ボタンをタッチして登録地点詳細画面を表示させることもできます。

SDカードから地点を登録する(1)

パソコンを使用してSDカードに保存した地点を本機に登録することができます。
(最大500ヶ所・自宅含む)

「パソコン連携(いつもNAVI)」55ページ



1 **▲ボタン(OPEN)を押す。**

：ディスプレイ部が開きます。

2 **SDカード挿入口にSDカードを差し込む。**

「SDカードを入れる／取り出すには」51ページをご覧ください。

：自動でディスプレイ部が閉じます。

3 **メニューボタンを押し、**
NAVI設定ボタンをタッチして、
登録地点編集ボタンをタッチする。

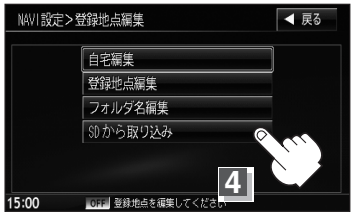
：登録地点編集画面が表示されます。



4 **SDから取り込みボタンをタッチする。**

：SDカードに保存した登録地点リストが表示されます。

※SDカード内に保存した地点が1つの場合は、手順 5 ((例)フォルダ画面)(245ページ)へ進んでください。



SDカードから地点を登録する(2)

5 登録したい地点が保存されているファイルをタッチし、フォルダをタッチする。

：SDカード内に保存した地点リスト画面が表示されます。

(例)ファイル画面



(例)フォルダ画面



6 本機に登録したい地点を選択しタッチする。

：選択したリストにマーク(✔印)が付きます。

※ 全選択 ボタンをタッチすると全リストにマーク(✔印)が付きます。

▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示



マーク(✔印)　　マークされた数

■ 登録を止めるには(チェックマーク解除)

① 登録を止めたい地点をタッチする。

：チェックマーク(✔印)が消え解除されます。

※ 全解除 ボタンをタッチすると、全てのチェックマークが消え、解除されます。

7 登録 ボタンをタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。



8 保存したいフォルダ（ メインフォルダ ～ フォルダ20 ボタン)を選択し、タッチする。

：“地点を登録しました。”というメッセージが表示され、登録地点編集画面に戻ります。



アドバイス

- 登録した地点を確認するには、メニューボタンを押し、NAVI設定→登録地点編集ボタンをタッチし、地点編集画面にマークで表示されます。
- 指定のWebサイト(いつもNAVI)からダウンロードした位置情報ファイルはSDカードのDRIVEフォルダ内に入れてください。SDカード内に“DRIVE”という名前のフォルダがない場合は、半角で“DRIVE”という名前のフォルダを新規作成し、作成したDRIVEフォルダ内に位置情報ファイルを入れてください。SDカードを挿入していない／SDカード内に位置情報ファイルがない場合は手順4(244ページ)でSDカードを挿入またはSDカードに位置情報ファイルの書き込みをうながすメッセージが表示されます。SDカードが挿入されているかを確認／DRIVEフォルダ内に位置情報ファイルがあることを確認してください。
  「SDカードを入れる／取り出すには」51ページ、「パソコン連携(いつもNAVI)」55ページ
- 本機に登録しないと、名称／フォルダ／TEL／メモ／マーク／アラームなどの編集を行なうことはできません。
- SDカードから本機に登録した地点の詳細内容を変更することができます。
  「登録地点の編集／見る」232～237ページ
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい差し込み方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

ルート探索条件の設定をする(1)

ルートを探索する条件を変更することができます。次に行なうルート探索から、変更後の条件で探索します。



1

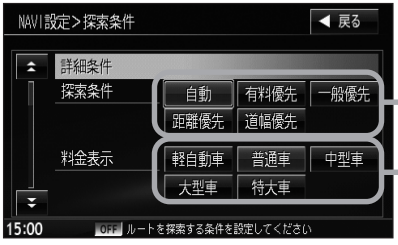
メニュー ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
探索条件 ボタンをタッチする。

：探索条件設定画面が表示されます。



2

探索条件を選び、タッチする。



探索する条件を設定します。

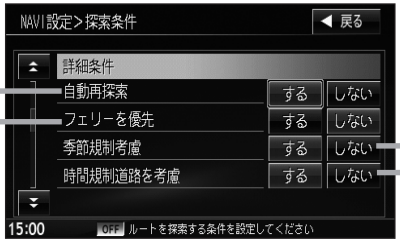
車種別に有料道路料金表示を設定します。

▼ボタンをタッチ

▲ボタンをタッチ

自動再探索する／しないを設定します。

フェリーを優先する／しないを設定します。



季節規制を考慮する／しないを設定します。

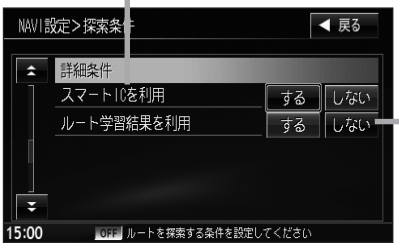
時間規制／曜日規制を考慮する／しないを設定します。

- 祝祭日指定の時間規制のある道路では、一年中規制があるものとしてルート探索します。
- 実際の規制とは異なる場所もありますので、実際の交通規制にしたがって走行してください。

▼ボタンをタッチ

利用できるスマートIC（SA／PAなどから一般道に出入り可能なETC専用のインターチェンジ）を利用する／しないを設定します。
※別売のETCユニットを接続すると自動的に する ボタンが選択されます。

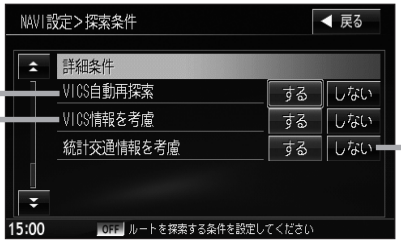
▲ ボタンをタッチ



過去の交通状況データや自車の走行履歴などをもとにしたルート学習結果を利用する／しないを設定します。
※247ページ手順 2 で 距離優先 ボタンを選択している場合は、ルート学習結果を考慮しない場合があります。

VICS情報をもとにVICS自動再探索する／しないを設定します。
※VICS情報考慮を“しない”に設定するとボタンが暗くなり選択できなくなります。
※FM VICSのみの場合は渋滞による自動探索はできません。

▼ ボタンをタッチ　▲ ボタンをタッチ



過去の渋滞統計データをもとに統計交通情報を考慮する／しないを設定します。

VICS情報をもとに渋滞や交通規制を考慮する／しないを設定します。
※FM VICSのみの場合は渋滞の考慮はできません。

3 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／ メニュー ボタンを押す。

：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

アドバイス

- 自動 、 有料優先 、 一般優先 、 距離優先 、 道幅優先 は、いずれか1つ設定できます。
- メニュー ボタンを押し ルート → ルート編集 → 探索条件 ボタンをタッチして、探索条件設定画面を表示することもできます。
- ルート案内中に探索条件を変更し 戻る ボタンをタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。
- 探索条件で 一般優先 または 距離優先 を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。 距離優先 を選択している場合でも細い道路を探索することもあります。
- 道幅優先 を選択している場合でも細い道路を探索することもあります。
- フェリーを優先“する”設定にしていても、出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない（地図データ上にない）場合は、陸路になります。
- フェリーを優先“する”設定にしていても、フェリー航路を優先しない場合もあります。
- ルートを設定している場合は、設定した探索条件でルートの再探索を行ないます。

ルート探索条件の設定をする(2)

アドバイス

料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 料金表示の対象道路は、都市間高速(東名高速、中央高速、名神高速など)、都市内高速(阪神高速、名古屋高速、首都高速など)および、一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、一部の一般有料道路には対応していません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 首都高速などの単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行なっても、料金は表示されません。
- 1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行なうと、2つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行なった場合は、料金表示はされず、「－－－円」と表示される場合があります。(ルートの出発地／目的地が高速(有料)道路上にある時も、料金の表示は「－－－円」となります。)
- “○○IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索(手動・自動)を再度行なわない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- ルート確認画面、全ルート表示画面、ルート詳細情報画面では出発地点から目的地地点までのルートに含まれる有料道路の合計料金を表示します。
- ルート情報画面では有料道路の各区間ごとの料金を表示します。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「－－－円」かまたは実際の料金と異なる場合があります。

スマートICについて

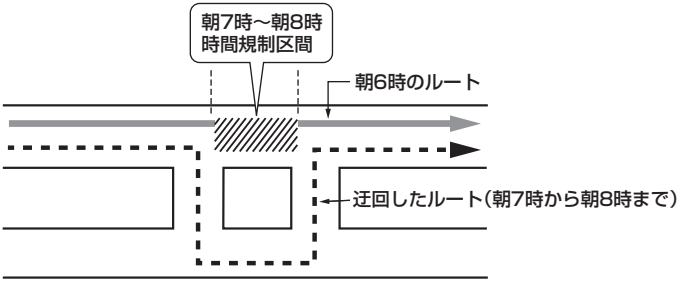
- スマートICとは、高速道路の本線やSA・PAから乗り降りができるように設置されたETC搭載車両専用のインターチェンジ(IC)のことです。
- スマートICはETC車載器を搭載した車両のみご利用できます。
- 社会実験として実施されているスマートICは収録されていません。
- 営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行なっていますが、対象車種を考慮したルート探索は行なっていません。(営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください。)

※ETCを搭載していない車両は通行できません。

※通行可能車両、通行可能時間等が制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

時間規制道路を考慮について

(例) 下記斜線部分が朝7時から朝8時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。



※ルート探索した時間が朝6時のときは迂回しないルート探索をしますが、実際に運転されていて朝7時を過ぎると自動的に再探索され、迂回するルートに変わります。

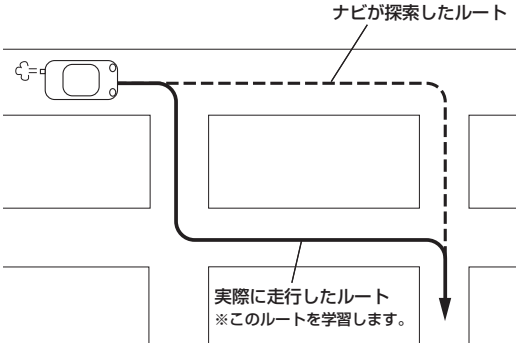
アドバイス

ルート学習結果について

●ルート案内中に探索したルートを外れて他のルートを何度か走行した場合、そのルートを学習します。

※探索したルートが渋滞している場合、ルート学習結果は考慮されません。

※ルート学習結果を初期化するには「データを初期化(消去)する」279、280ページをご覧ください。



VICS自動再探索／VICS情報を考慮・統計交通情報を考慮について

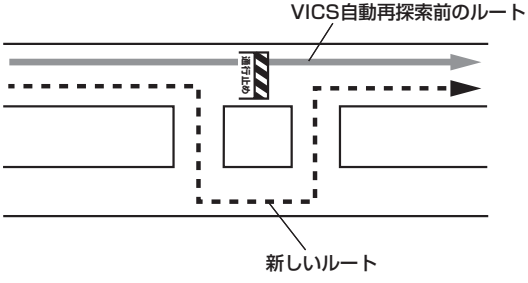
●VICS情報を考慮“する”に設定していても別売のVICSビーコンユニットを接続していない場合は規制のみ(通行止めなど)を考慮したルート探索となります。

●VICS情報を考慮“する”、VICS自動再探索“する”に設定しても、VICS情報を受信できていない場合は渋滞を考慮するルート探索やVICS自動再探索はされません。

●統計交通情報を考慮“する”に設定すると本機に収録されている季節・曜日・大型連休・時間などをパターン化した過去のVICS渋滞統計データをもとにルート探索を行なうため、突発的な事故・工事・規制などによる交通状況の急な変化には考慮されない場合があります。

●VICS自動再探索“する”に設定すると、ルート前方に通行止めなどの規制情報が存在した場合に、自動でルートを再探索します。また、別売のVICSビーコンユニットを接続すると渋滞情報を考慮したルートを自動的に再探索します。

●探索されたルートは必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。



VICS表示の設定をする

地図画面に交通情報(レベル3)を表示する道路や表示する項目の設定をすることができます。
「交通情報(VICS情報)について」167～169ページ



1 メニュー ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
VICS表示設定 ボタンをタッチする。
：VICS設定画面が表示されます。



2 VICS表示設定 ボタンをタッチする。
：VICS表示設定画面が表示されます。



3 表示したい項目(規制 ／ 駐車場 ／ 渋滞無し ／ 渋滞混雑 ボタン)をタッチする。
※項目ボタンをタッチし、表示灯を点灯／消灯するたびに、マークや矢印の表示／非表示が切り替わります。



4 表示したい道路(一般道 、 有料道 ボタン)をタッチする。
一般道 ボタン…一般道路に対し交通情報を表示
有料道 ボタン…有料道路に対し交通情報を表示



5 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ、または **現在地** ／ **メニュー** ボタンを押す。

：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

情報表示を止めるには

251ページ手順 **3** の設定画面で、表示を止めたい項目(**規制** 、 **駐車場** 、 **渋滞無し** 、 **渋滞混雑**)、251ページ手順 **4** で表示を止めたい道路(**一般道** 、 **有料道**)ボタンをタッチし、表示灯を消灯させます。

アドバイス

- VICS表示の設定は別売のVICSビーコンユニットを接続している場合、 **メニュー** ボタンを押し **情報** → **ビーコン** → **VICS設定** → **VICS表示設定** ボタンをタッチしてもできます。
- 表示したい項目の表示灯を点灯させても、レベル3表示されない場合は、表示中の地域に情報がない、または表示中の縮尺がレベル3表示できない縮尺であることが考えられます。
- **情報が多い場合は、レベル3表示するまでに数秒かかることがあります。**
- レベル3表示は、地図スクロール中はデータ処理のために消える場合がありますが、スクロールを止めると表示されます。
- 地図画面に交通情報(レベル3)を表示する場合は、174ページ手順 **1** ～ **3** にしたがって **受信番組設定** を **交通情報番組(VICS)を受信します** に設定し、VICS放送局(169ページ)を受信してください。

「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」174、175ページ
「選局するには」181～186ページ

レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について

① **点滅** ボタンの表示灯を点灯させると、レベル3の矢印表示が点滅します。

② **戻る** ボタンをタッチする。



ビーコン車種設定について

本機を装着している車の車種を設定してください。
この情報は、光ビーコン発信機を介して光ビーコン管理者に送られ、交通管理等に利用されますので、必ず設定してください。（工場出荷時は“普通車両”に設定されています。）
本機に別売のVICSビーコンユニットを接続すると、ビーコンの車種設定ができます。



1

メニューボタンを押し、
NAVI設定ボタンをタッチして、
VICS表示設定ボタンをタッチする。
：VICS画面が表示されます。



2

ビーコン車種設定ボタンをタッチする。
：ビーコン車種設定画面が表示されます。



3

車種を選択してタッチする。



4

設定を終わるには・・・
戻るボタンをタッチ、または現在地／メニューボタンを押す。
：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

ビーコンの割込み表示を設定する(1)

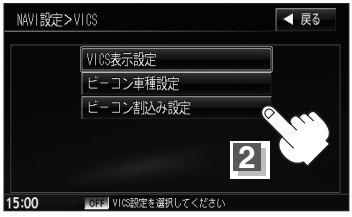
本機に別売のVICSビーコンユニットを接続すると、ビーコンの割り込み情報(文字／図形情報)を受信時に自動的に表示する／しない、音で知らせる／知らせないを設定できます。



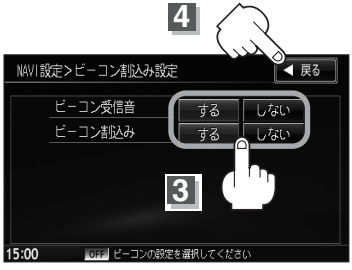
1 メニューボタンを押し、
NAVI設定ボタンをタッチして、
VICS表示設定ボタンをタッチする。
：VICS画面が表示されます。



2 ビーコン割込み設定ボタンをタッチする。
：ビーコン割込み設定画面が表示されます。



3 ビーコン受信音またはビーコン割込みの設定(する／しないボタン)を選択し、タッチする。



4 設定を終わるには・・・
戻るボタンをタッチ、または現在地／メニューボタンを押す。
：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

ビーコンの割込み表示を設定する(2)

アドバイス

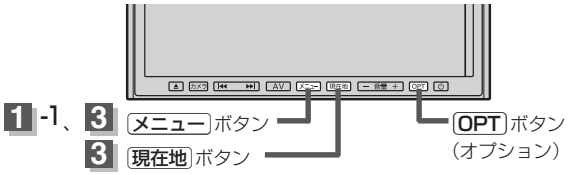
ビーコン割込みを する に設定すると、簡易図形の最新情報が届いた場合は、最新の情報を表示します。(図形情報がない場合でも、文字情報を受信していれば文字情報が表示されます。)また、ビーコンの受信音を する に設定すると、割込み表示した場合に音でお知らせします。
割り込み表示機能は、現在地表示時に可能です。ただし、再探索中などは割り込み表示しません。また、割り込み表示は、約10秒後には消えます。

システム設定

オプションボタンの設定をする …257、258
機能の内容について……258
メンテナンス情報を設定する ……259〜262
カメラの接続を確認する ……263
バックカメラ映像を表示するには 264、265
バックカメラ映像の表示を止めるには……264
バックカメラ映像のバンパーラインを表示するには……264
フロントカメラ／サイドカメラ映像を表示するには ……266
カメラ映像を止めるには……266
カメラボタンの動作について……267
ETCの各機能を設定するには ……268、269
ETCについて……270
ETCの基本操作……271
ETCを起動する ……271
ETCカードを取り出す ……271
ETCを利用するには……272
料金所通過表示について……272
セキュリティ設定をする ……273、274
盗難多発地点を設定する……273
イルミネーションを変えるには ……275
バージョン情報を見る ……276
パワーアンテナの設定をするには …277、278
初期設定を行なう……277
パワーアンテナを上げるには……278
パワーアンテナを下げるには……278
データを初期化（消去）する ……279、280
キー操作音を止めるには ……281
キー操作音を鳴らすには……281

オプションボタンの設定をする

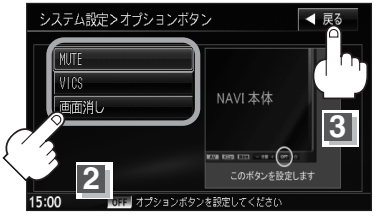
本機の OPT ボタン(オプション)によく使う機能を設定することができます。設定すると OPT ボタン(オプション)を押して、MUTEや画面消しなどの操作ができます。



1 メニュー ボタンを押し、
システム設定 ボタンをタッチして、
オプションボタン ボタンをタッチする。
：オプションボタン設定画面が表示されます。



2 設定する機能(MUTE ／ VICS ／ 画面消し ボタン)を選んでタッチする。



3 設定を終わるには・・・
戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／ メニュー ボタンを押す。
：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

機能の内容について

257ページ手順 2 で設定した機能は、OPTボタン(オプション)を押すと以下のようになります。

MUTE を設定した場合

：画面はそのままで、オーディオの音量のみ消します。もう一度OPTボタン(オプション)を押すと音量が出ます。

VICS を設定した場合

：VICS(FM多重)の図形情報を表示します。「交通情報(図形情報)を見るには」178ページ

画面消し を設定した場合

：音声はそのままで、画面を消します。画面をタッチするか、もう一度OPTボタン(オプション)を押すと再度画面を表示します。「音声はそのままで画面を消すには」540ページ

メンテナンス情報を設定する(1)

GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のオイルや消耗部品の交換・イベント時期などがきたことを音と画面でお知らせします。

■**日付の設定**：オイル交換／クリーンフィルター交換／バッテリー交換／タイヤローテーション／結婚記念日／誕生日1／誕生日2／お好み

■**距離の設定**：オイル交換／クリーンフィルター交換／タイヤローテーション

■**名称編集**：お好み



1

メニュー ボタンを押し、
システム設定 ボタンをタッチして、
メンテナンス ボタンをタッチする。

：メンテナンス設定画面が表示されます。



2

設定したい項目の する ボタンをタッチする。

：メンテナンス設定詳細画面が表示されます。

メンテナンス設定画面1



▼ボタンをタッチ

▲ボタンをタッチ

メンテナンス設定画面2



3

各項目を設定する。

アドバイス

日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定してください。
項目によっては日付のみの場合や名称編集があります。

■ 日付の設定をする場合

① 年月日設定 ボタンをタッチする。

：日付入力設定画面が表示されます。

メンテナンス設定詳細画面



② 数字をタッチして日付を入力する。

※年の入力は西暦（4桁）で入力します。
ひと桁の月日を設定するときは前に「0」を付けてください。
例）2009年10月1日は「2 0 0 9 1 0 0 1」とタッチする。

アドバイス

- 日付の設定はお知らせしたい年の西暦(年)を入力してください。
- 設定した日付がすぎたら、もう一度、日付の設定をしなおしてください。

入力した数字を訂正する場合
訂正 ボタンをタッチします。
全ての数字を訂正する場合
訂正 ボタンを長めにタッチします。



数字入力時、選べない数字は暗くなります。

③ 決定 ボタンをタッチする。

：メンテナンス設定詳細画面に戻ります。

■ 通知開始日の設定をする場合

① 通知開始設定 ボタンをタッチする。

：タッチするたびに

→ 3日前から → 7日前から → なし（当日）

と切り替わります。

（例）



■ 通知開始距離の設定をする場合（オイル交換・クリーンフィルター交換・タイヤローテーションのみ）

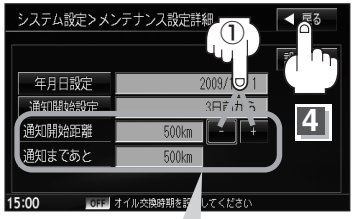
① − ／ ＋ ボタンをタッチして距離を設定する。

※設定距離は500～3万kmの範囲で、500km単位で設定できます。

アドバイス

設定した距離がすぎたら、もう一度、距離の設定をしなおしてください。

（例）



距離の設定をする場合に表示されます。

メンテナンス情報を設定する(2)

■ **設定項目の名称を変更する場合**（お好みのみ）

① 名称編集 ボタンをタッチする。

：名称編集画面が表示されます。

② 訂正 ボタンをタッチして訂正したい文字を削除する。

※全ての文字を訂正する場合は、**訂正** ボタンを長めにタッチしてください。

③ 入力する。

※ひらがな(漢字)／カタカナを5文字まで英数字を11文字まで入力できます。

入力方法は「登録地点の編集／見る」232～237ページをご覧ください。

④ 入力が終わったら・・・

決定 ボタンをタッチする。

：メンテナンス設定詳細画面に戻ります。



4

戻る ボタンをタッチすると・・・

：メンテナンス設定画面が表示され、お知らせ設定を**する**が選択されます。（ボタン点灯）

5

設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／ メニュー ボタンを押す。

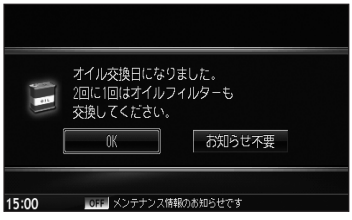
：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

アドバイス

- 通知開始設定の日になった／設定日当日になった／設定日をすぎた、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーションを立ち上げた(起動した)ときにそれぞれの画面でお知らせします。

  ※ **お知らせ不要** ボタンをタッチすると現在地表示画面に切り替わり、次回起動時からは案内されません。

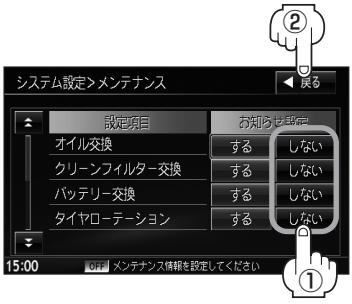
設定当日(例)



- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げいただきました販売店へご相談ください。
- メンテナンス情報の設定をしていても、お知らせ設定を**しない**にしているときは案内されません。

  「■ メンテナンス情報のお知らせを止める場合 」262ページ
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期はお車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

■ メンテナンス情報のお知らせを止める場合

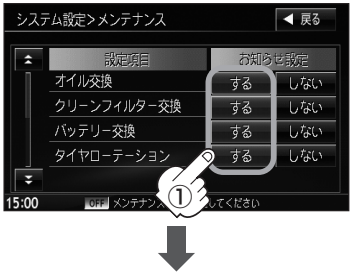


① 手順 **1** (259ページ)にしたがって操作し、各設定項目の **しない** ボタンをタッチする。

※お知らせしたいときには、再度 **する** ボタンをタッチしてください。

② **戻る** ボタンをタッチ、現在地／メニューボタンを押す。

■ メンテナンス情報の設定を消去する場合



① 手順 **1** (259ページ)にしたがって操作し、設定を消去する項目の **する** ボタンをタッチする。

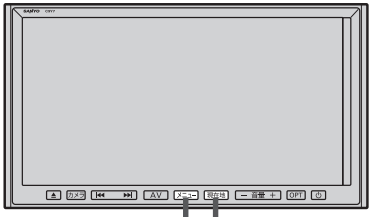


② **設定消去** ボタンをタッチする。

：設定を消去してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** ボタンを選択します。

カメラの接続を確認する

本機に別売のカメラを接続した場合、接続を確認することができます。



1 メニューボタンを押し、
システム設定ボタンをタッチして、
カメラボタンをタッチする。
：カメラ接続確認画面が表示されます。



2 接続を確認する。

バックカメラ

正しく接続されていれば“ON”、接続されていなければ“OFF”を表示します。

サイドカメラ

正しく接続されていれば“ON”、接続されていなければ“OFF”を表示します。

フロントカメラ

正しく接続されていれば“ON”、接続されていなければ“OFF”を表示します。

3 確認が終わったら
戻るボタンを押す、または現在地／メニューボタンを押す。
：それぞれの画面に戻ります。

バックカメラ映像を表示するには(1)

別売のバックカメラを接続している場合、下記操作を行なうとバックカメラの映像が表示されます。

1 車のシフトレバーをリバースに入れる。

：バックカメラ映像画面が表示されます。
リバースに入れている間は、バックカメラの映像を表示します。
その間、後方確認のメッセージが表示されます。

バックカメラ映像の表示を止めるには

1 シフトレバーをリバース以外に入れる。

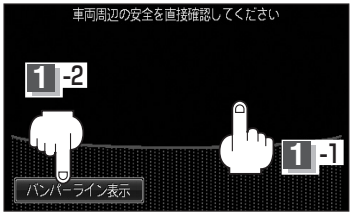
：もとの画面に戻ります。

※バックカメラ映像表示中は[現在地]、[AV]、[メニュー]ボタンは効きません。

バックカメラ映像のバンパーラインを表示するには

1 パーキングブレーキをかけて車のシフトレバーをリバースに入れ、バックカメラ映像画面を表示し、画面をタッチして[バンパーライン表示]ボタンをタッチする。

※バンパーラインが表示されます。



2 表示を止めるには・・・
[バンパーライン表示]ボタンをタッチする。

：バンパーラインの表示が消えます。

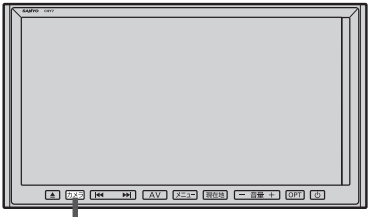
バックカメラ映像を表示するには(2)

⚠注意
- バックカメラが映し出す範囲には限界があります。またバックカメラの画面上に表示されるバンパーラインは、実際の距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- 後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行なわないでください。

アドバイス
- 手順 2 (264ページ)の バンパーライン表示 ボタンは、約5秒間表示されます。ボタン表示が消える前にタッチしてください。消えた場合は、再度画面をタッチして表示させてください。
  車のシフトレバーをリバースに入れているときのみ バンパーライン表示 ボタンを点灯／消灯ができます。
- バックカメラ映像表示中に、 カメラ ボタンを押すとサイドカメラ映像に切り替えることができます。

フロントカメラ／サイドカメラ映像を表示するには(1)

別売のフロントカメラまたは別売のサイドカメラを接続している場合、下記操作を行なうとそれぞれの映像が表示されます。



1 **カメラボタンを押す。**

：フロントカメラ映像が表示されます。
もう一度カメラボタンを押すと、サイドカメラ映像が表示されます。

アドバイス

- カメラボタンを押すごとに フロントカメラ→サイドカメラ と切り替わります。
- フロントカメラが接続されていない場合、カメラボタンを押すとサイドカメラ映像が表示されます。

カメラ映像を止めるには

1 **現在地ボタンを押す、またはメニュー／AVボタンを押す。**

：カメラ映像が止まります。

フロントカメラ／サイドカメラ映像を表示するには(2)

カメラボタンの動作について

※カメラの接続状態によってカメラボタンの動作が異なります。

カメラ接続状態	車のシフトレバー	カメラボタンによる切り替え	カメラ映像の解除		
			現在地 ボタンを押す	AV ボタンを押す	メニュー ボタンを押す
バックカメラ＋サイドカメラ＋フロントカメラ	リバース以外に入れる	→ フロントカメラ → サイドカメラ →	○	○	○
	リバースに入れる	→ バックカメラ[*1] → サイドカメラ[*2] →	×	×	×
バックカメラ＋サイドカメラ	リバース以外に入れる	サイドカメラ	○	○	○
	リバースに入れる	→ バックカメラ[*1] → サイドカメラ[*2] →	×	×	×
バックカメラ＋フロントカメラ	リバース以外に入れる	フロントカメラ	○	○	○
	リバースに入れる	バックカメラ固定	×	×	×
バックカメラのみ	リバース以外に入れる	カメラ表示しない	―	―	―
	リバースに入れる	バックカメラ固定	×	×	×

○：解除できる　×：解除できない

＊1 印：カメラ映像を解除するには、リバース以外に入れてください。

＊2 印：カメラ映像を解除するには、リバース以外に入れた後、現在地 ／ AV ／ メニュー ボタンのいずれかを押してください。

ETCの各機能を設定するには(1)

本機に別売のETCユニットを接続している場合に本機でETCカード挿入アイコンやETC音声ガイドの有無の設定をすることができます。



1 メニューボタンを押し、
システム設定ボタンをタッチする。

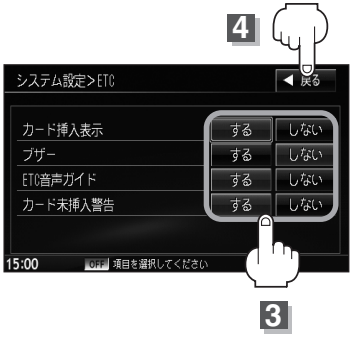


2 ETCボタンをタッチする。

：ETC設定画面が表示されます。



3 設定する項目を選択し、タッチする。



■ カード挿入表示をする場合

するボタンをタッチする。

：ETCカードを挿入すると情報バーにETCアイコンが表示されます。

□ 表示を止めるには…

しないボタンをタッチする。

■ ブザーを鳴らす場合

するボタンをタッチする。

：ETCカードを挿入したときや、入口／出口料金所通過時にETC車載器のブザーを鳴らします。

□ ブザーを止めるには…

しないボタンをタッチする。

ETCの各機能を設定するには(2)

■ ETC音声ガイドをする場合

する ボタンをタッチする。

：利用料金をナビゲーション本体から音声ガイドします。

□ 音声ガイドを止めるには…

しない ボタンをタッチする。

■ カード未挿入警告をする場合

する ボタンをタッチする。

：車のキースイッチをACC／ONにしたときなど、ETCカードが挿入されていない場合ナビゲーション本体から音と画面で警告します。

□ 警告を止めるには…

しない ボタンをタッチする。

4 設定を終わるには…

戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／ メニュー ボタンを押す。

：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

アドバイス

- 別売のETCユニットを接続して、268、269ページの方法でETC設定をすると、ETCを利用することができます。接続可能なETCユニットについて、詳しくは販売店へご相談ください。
- カード未挿入でETCカード未挿入お知らせアンテナ付近を通過すると、音声でのお知らせと“ETCが利用できません。”と画面にメッセージが表示されます。

ETCについて

ETCは財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。

＜ETCとは＞

インターチェンジランプなどの料金所では、いったん、停車して通行料金を支払います。これは、現在の有料道路利用において、一般的な通行料金の支払い方法となっています。
しかし、このような料金所通過時における一時停止は、交通の流れを妨げ、渋滞発生の一因ともなっています。実際、料金所を通過する際に、渋滞で待たされることは少なくありません。
ETC（ノンストップ自動料金支払いシステム）ユニットは、ETC対応車線に設置されたアンテナと車載ETCユニット間の無線通信により、現金、クレジットカードなどの受け渡しを行なわずに、自動的に料金支払いができるシステムです。
ETCによって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。
通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。
※ETCに対応した料金所は、今後、順次拡大していく予定です。

＜ETCを利用するには＞

ETCをご利用になるには、本ETCユニットのほかに、クレジット会社が発行するETC専用のカードが必要になります。
カードの発行は、カード会社の審査・条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社へお問い合わせください。
また、ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取り扱い方法については、ETCユニットに添付の取扱説明書をご覧ください。

⚠警告

- ETCユニットを分解したり、改造したりしないでください。分解すると保証対象外になります。また、改造すると電波法により罰せられることがあります。
- ETCカード以外のもの（コイン、金属板など）を挿入しないでください。また、濡れた手で操作したり、濡れたカードを挿入しないでください。事故、火災、感電、故障の原因になります。

⚠注意

- ご利用時はETCカードが挿入されているかどうか確認してください。
- 車を離れるときは、ETCカードを車内に放置しないでください。故障、変形、盗難のおそれがあります。
- ETCカードをETCユニットに入れたまま、バッテリーを外さないでください。
- 安全のため、走行中は、ETCカードの出し入れをしないでください。
- カード挿入表示を する に設定している場合、有効期限の切れたETCカードをETCユニットに挿入すると、情報バーに ETC アイコンは表示されますが、ETCゲートは通過できませんのでご注意してください。

「ETCの各機能を設定するには」268、269ページ

アドバイス

- システム作動中はETCユニット内の温度が上昇します。そのため、ETCカードの表面も温かくなりますが、故障ではありません。
- ETCカード以外のカードを挿入すると変形、破損するおそれがありますので、挿入しないでください。

ETCの基本操作

ETCを起動する

1 車のキースイッチを「ACC」または「ON」にしてナビゲーションの電源を入れる。

2 ETCカードをETCユニットに、“カシャン”と音がするまで押し込む。

：数秒後、情報バーにETCアイコンが表示されます。



アイコン

アドバイス

- 車のキースイッチをACCまたはONにすると、ETCユニットの機能チェックが自動的に行なわれ、ETCカード挿入部の表示灯が緑色に点灯します。
- ナビゲーションシステムを起動すると、自動的にETCユニットの機能チェックが行なわれます。
- ETCカードを先に挿入しておいても、同様に起動できます。
- ETCカードの挿入後は、情報バーにETCアイコンが表示されるまで、カードの排出などの操作を行なわないでください。

※カード挿入表示を**する**に設定していない場合はETCアイコンは表示されません。

「ETCの各機能を設定するには」268、269ページ

- ETCカードの情報読みとり中は、カードを取り出さないでください。
- ETCユニットやETCカードに異常があったときは、ETCを利用できません。
- ETCカードの読み込みなどが正常に行なえなかったときは、警告音とともに、画面にエラーメッセージが表示されます。

ETCカードを取り出す

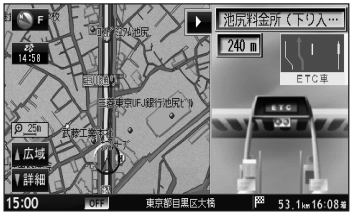
1 車を停車し、車のキースイッチを「OFF」にして、ナビゲーションの電源を切る。

2 ETCユニットの取り出しボタンを押して、ETCカードを取り出す。

ETCを利用するには

料金所通過表示について

1 料金所手前でETCレーンが表示されます。



2 ETCゲートを通過すると「料金は○○円でした」という音声ガイドが流れ、利用金額と利用時刻が画面に表示されます。



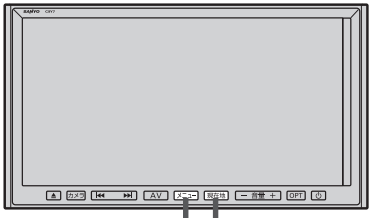
アドバイス

- この機能を利用するには、別売のETCユニットが必要となります。
- ETCゲートでは、何らかの理由で先行車両が停車することがあります。ゲート通過時は速度を落として、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- 218ページのETCレーンの表示を **しない** に設定している場合は、ETCレーンは表示されません。また、ETCレーンは何らかの理由で変更されることがあります。ETCレーンを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。

セキュリティ設定をする(1)

盗難多発地点を設定する

盗難多発地点を表示するかしないかの設定をします。



1 メニュー ボタンを押し、
システム設定 ボタンをタッチして、
セキュリティ ボタンをタッチする。

：セキュリティ設定画面が表示されます。



2 盗難多発地点の(する／しない ボタン)を選択してタッチする。



■ する ボタンをタッチした場合

：地図上に盗難多発地点の表示(マーク)とガイダンスが流れます。

■ しない ボタンをタッチした場合

：地図上に盗難多発地点の表示(マーク)とガイダンスをしません。

3 設定を終わるには…
戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ボタンを押す。

アドバイス

- **する** ボタンを選択した場合は、地図画面で画面をタッチし地図をスクロールさせて3!マークにカーソルを合わせると、盗難多発地点の詳細情報を見ることができます。
  ※3!マークは地図の縮尺スケールが100m以下で表示されます。



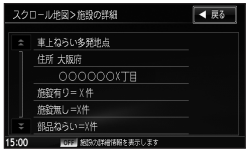
スクロールし、
3!マークに合わせる。



設定 ボタンを
タッチする。



施設の詳細 ボタンを
タッチする。

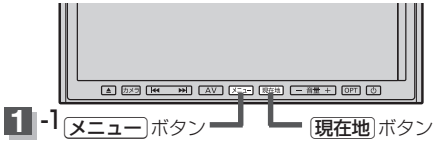


：過去に盗難があった地点の
情報が表示されます。

- 盗難多発地点は青森県、岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県に適応しています。
- 危険度を3!マークの色で赤→黄→青と3段階表示しており、青→黄→赤の順で危険度が高くなり、赤色が最も盗難が多発しており危険度が高いことを表します。(各府県によって危険度の基準は異なります。)
- 盗難多発地点を目的地に設定した場合、ルート探索前に“目的地付近で車上ねらい等が多発しています。ご注意ください。”というメッセージと音声の後にルート探索を開始します。目的地付近を走行すると“目的地付近で車上ねらい等が多発しています。ご注意ください。”というメッセージと音声でお知らせします。
- 3Dビューでは3!マークの表示はされますが、地図画面上に“車上ねらい多発地点”は表示されません。また、**設定** ボタンをタッチして詳細情報を確認することもできません。詳細情報を確認したい場合は、地図表示を切り替えてください。☞「地図表示(方位)を切り替える」64、65ページ

イルミネーションを変えるには

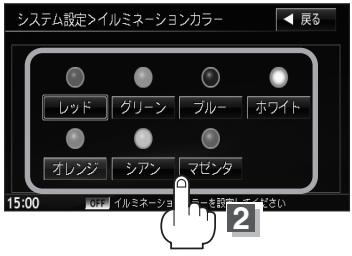
お車のイルミをONにしたとき、本機パネルボタンの文字（カメラ、AV、メニュー、現在地、音量、OPT）またはイラスト（⏏、⏮、⏭、－、＋、⏻）の色を変えることができます。
※工場出荷時（初期設定）は“オレンジ”が設定されています。



1 メニュー ボタンを押し、
システム設定 ボタンをタッチして、
イルミネーションカラー ボタンをタッチする。
：イルミネーションカラー設定画面が
表示されます。



2 お好みの色（ レッド ／ グリーン ／ ブルー ／ ホワイト ／ オレンジ ／ シアン ／ マゼンタ ボタン）を選択し、タッチする。

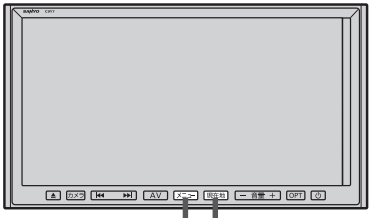


3 設定を終わるには…
戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ボタンを押す。

アドバイス
お車のイルミをONにしたとき、上記手順 2 で設定した色に光ります。

バージョン情報を見る

現在のプログラム／地図ソフトのバージョンを見ることができます。



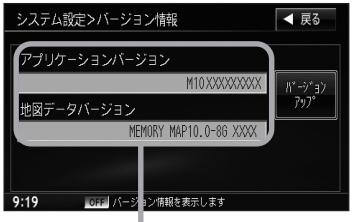
1 メニューボタンを押し、
システム設定ボタンをタッチして、
その他ボタンをタッチする。
：その他画面が表示されます。



2 **バージョン**ボタンをタッチする。
：バージョン情報画面が表示されます。



（例）バージョン情報画面

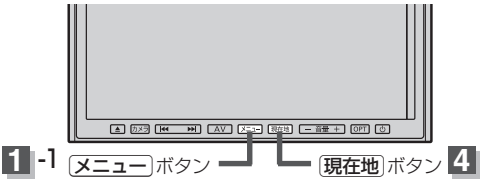


現在のプログラム／地図ソフトのバージョン

3 見終わったら・・・
戻るボタンをタッチ、または現在地ボタンを押す。

パワーアンテナの設定をするには

お持ちの車が“パワーアンテナ車”の場合、下記の手順でアンテナの上げ下げの設定をすることができます。



初期設定を行なう

1 メニューボタンを押し、
システム設定ボタンをタッチして、
その他ボタンをタッチする。
：その他画面が表示されます。



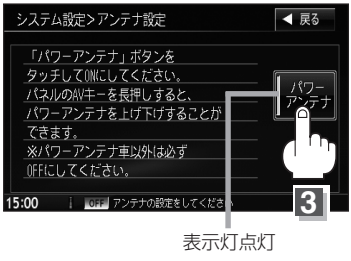
2 **アンテナ設定**ボタンをタッチする。
：パワーアンテナ設定画面が表示されます。



3 **パワーアンテナ**ボタンをタッチする。
：表示灯が点灯し、パワーアンテナの上げ下げを可能状態にします。

⚠注意 表示灯消灯時、アンテナの上げ下げはできません。また、お持ちのお車がパワーアンテナ車以外の場合は、必ず表示灯は消灯させてください。

パワーアンテナ設定画面



4 設定を終わるには…
戻るボタンをタッチ、または**現在地**ボタンを押す。
：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

パワーアンテナを上げるには

AV ボタンを2秒以上押す。

：画面にメッセージが表示され、
アンテナが上がります。



アドバイス

- パワーアンテナの上げ下げは、パワーアンテナ設定画面で パワーアンテナ ボタンの表示灯点灯時のみ操作可能となります。（☞ 初期設定を行なう 277ページ手順 3）
- 高さに限りのある場所でのアンテナの上げ下げの操作は十分にお気をつけください。

パワーアンテナを下げるには

AV ボタンを2秒以上押す。

：画面にメッセージが表示され、
アンテナが下がり収納されます。



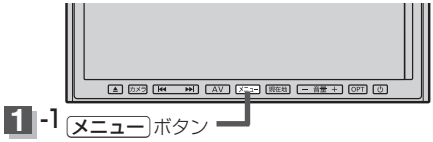
アドバイス

- パワーアンテナの上げ下げは、パワーアンテナ設定画面で パワーアンテナ ボタンの表示灯点灯時のみ操作可能となります。（☞ 初期設定を行なう 277ページ手順 3）
- アンテナが収納されている間は、VICSやラジオ情報を受信しません。また、車のキースイッチを「OFF」にしてもアンテナの設定は保持されます。

⚠注意 車を車庫などに入れる場合は、アンテナが収納されていることを確認してください。

データを初期化(消去)する(1)

本機に登録・設定された内容(登録地点、登録ルート、音楽データ、画像など)やSDカードにあるデータ、センサー学習結果、ルート学習結果を初期化することができます。



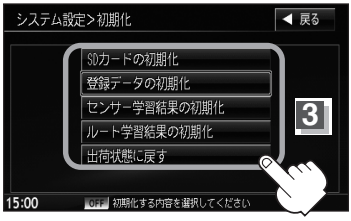
1 メニュー ボタンを押し、
システム設定 ボタンを選択して、
その他 ボタンをタッチする。
：その他画面が表示されます。



2 初期化 ボタンをタッチする。
：初期化メニュー画面が表示されます。



3 初期化したい項目(SDカードの初期化 ／ 登録データの初期化 ／ センサー学習結果の初期化 ／ ルート学習結果の初期化 ／ 出荷状態に戻す ボタン)をタッチする。
：初期化してもいいかメッセージが表示されるので はい ボタンをタッチします。本当に初期化してもいいのか再度、確認メッセージが表示されるので はい ボタンをタッチすると初期化を開始します。
※ SDカードの初期化 ボタンは本機にSDカードを挿入していない場合は選択できません。



⚠注意
- **初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のキースイッチを変更)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で"はい"を選択すると、お客さまの登録情報／音楽／映像データは消去され、二度と復帰しません。**

※すでにデータが書き込まれている"SDカード"を初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないようにご注意ください。
(SDカード内全てのデータが消去されます。)

アドバイス

- 初期化が終了したら、車のキースイッチ(電源)をOFFにしてください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客さまが入力された個人情報(登録地点の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず消去してください。
- 279ページ手順 3 で選択する項目によって初期化される内容が異なります。

  SDカードの初期化 ……SDカードにあるデータを初期化します。

  登録データの初期化 ……音楽以外の登録・設定した内容を初期化します。

  センサー学習結果の初期化 ……車の走行状況を初期化します。

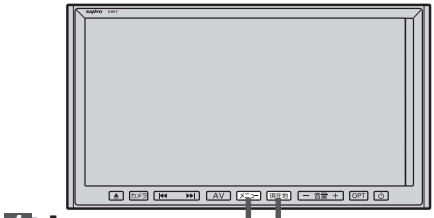
  ルート学習結果の初期化 ……本機のルート学習機能を初期化します。

  出荷状態に戻す ……個人情報に関する設定を工場出荷時の状態に戻します。

  ※ワンセグの初期化は、「 **設定を初期化する** 」496ページにしたがって操作してください。
- 本機は、走行するたびに車の走行状況(距離・方位・傾斜(3D))を学習し、記録しています。(センサー学習度)走行を重ねることで測位の精度が高くなります。
  測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替え、他人に譲渡または処分などの場合は、センサー学習結果の初期化を行なってください。
- 本機はルート案内中に通った道を学習しており、ルート設定では学習した道を探索しやすくなります。したがって、他の効率の良い道が見つかっても、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときはルート学習結果をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。

キー操作音を止めるには

ナビゲーション操作時、キー操作音(ピッ)を出す／出さないを選択できます。



1 メニューボタンを押し、
システム設定ボタンをタッチして、
その他ボタンをタッチする。
：その他画面が表示されます。



2 キー操作音のしないボタンをタッチする。
：キー操作音が消えます。



3 設定を終わるには…
戻るボタンをタッチ、または現在地ボタンを押す。
：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

キー操作音を鳴らすには

① 上記手順 **2** で、再度、キー操作音のするボタンをタッチする。

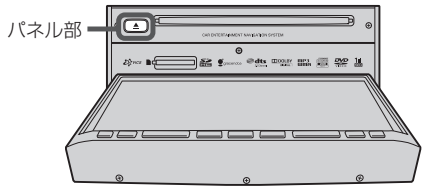
② 戻るボタンをタッチ／現在地ボタンを押す。

オーディオ／共通

はじめに……283～285
操作したいモードに替えるには……283～285
AV SOURCE画面のモードボタンについて ……286
AV MENU画面について……287
音量を調整する ……288
オーディオの調整をする……289、290
フェード・バランスの調整をするには……289、290

はじめに(1)





- パネル部の詳細につきましては「各部の名称とはたらき」53、54ページをご覧ください。
- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面とはCD／DVD／MP3／WMA／Radio／SD／USB／VTR／MUSIC STOCKER／ワンセグ／Photo／iPodモード時を示します。(モード指定がある場合は明記しています。)
  ※iPodビデオと記載している場合は映像データを表します。

操作したいモードに替えるには

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、手順 2 (284ページ)へ進んでください。

1 車のキー スイッチを「ACC」または「ON」に入れる。



：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。

※ディスプレイの角度を変える場合は「ディスプレイ部の角度を調整する」52ページをご覧ください。

起動初期画面



モード表示画面((例)CDモード画面)



CDモード選択中

⚠注意 車のキースイッチを「ACC」(エンジンを停止したまま)で長時間使用しないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 それぞれ、下記の場合にしたがって操作してください。

■ ナビゲーション画面または他のモード画面が表示された場合

①AVボタンを押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。



□ AV SOURCE画面のときは…

下記手順②へ進んでください。

□ ラストモード*1画面のときは…

もう一度AVボタンを押す。

：AV SOURCE画面が表示されます。

＊1印：前回最後に選択していたモード画面（OFF含む）

AV SOURCE画面



②操作したいモード（CD／DVD／Radio／SD／USB／VTR／MUSIC STOCKER／ワンセグ／Photo／iPodボタン）をタッチする。

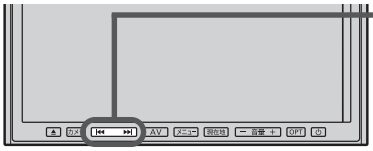
各ボタンの詳細につきましては286ページアドバイスをご覧ください。

■ 操作したいモード画面が表示された場合

292～533ページにしたがって、ご希望の操作をしてください。

はじめに(2)

アドバイス



●各モードに合わせて呼び名を変えています。

トラック…CD／MP3／WMA／SD／USB／
MUSIC STOCKER／Photo／iPod
選局……Radio(AM／FM)／ワンセグ
スキップ…DVD

設定の保持について

決定 ボタンのある画面では、 決定 ボタンをタッチすると設定が保持されます。

※ 決定 ボタンのない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定(設定保持)となります。
(例：映像／オーディオ調整など)

AV SOURCE画面のモードボタンについて

選択可能モードはアイコンがカラー表示、
モードの文字が白色表示*1



選択不可能モードは
モードの文字が灰色表示



※モードボタンの色はメニュー配色の設定より変更できます。
☞568ページ

*1印：SDカード未挿入／iPod接続アダプターは本機に接続しているが、iPod本体を接続していない場合でもモードボタンは選択できますが、それぞれのモードでメッセージが表示されます。

*2印：*3のとき、一度他のモードにすると選択不可となります。

● **CD／DVD表示について**

CD／DVD モードボタンは使用状態によって表示が異なります。

CD／DVD未挿入時*2



CD選択後にディスクを
抜いたとき*3



CD／MP3／WMA
ディスクを挿入し再生時



DVDディスクを
挿入し再生時



アドバイス

- CD／DVD ＝CD/DVD/MP3/WMAモード
- CD ＝CD/MP3/WMAモード
- Radio ＝Radioモード
- SD ＝SDモード
- USB ＝USBモード
- VTR ＝VTRモード
- MUSIC STOCKER ＝MUSIC STOCKERモード
- ワンセグ ＝ワンセグモード
- Photo ＝Photoモード
- iPod ＝iPodモード

※USB を操作するには、USBメモリデバイスまたは、iPodを本機から出ているUSBケーブルに接続しておく必要があります。

AV MENU画面について

AV MENU画面に表示されるボタンでいろいろな設定ができます。(各機能(☞289、290、300～310ページ))

AV MENU画面は選択するボタン(**AUDIO設定**／**システム設定**)によって
AUDIO設定またはシステム設定に関するそれぞれのボタン表示となります。



(例)AUDIO設定のAV MENU画面



(例)システム設定のAV MENU画面



※AV MENUは最終選択時の状態を保持するため、状態によっては**AUDIO設定**または**システム設定**ボタン選択の操作は省略することができます。

※**システム設定**ボタン選択時に表示される各機能につきましては☞「システム設定」256～281ページをご覧ください。

音量を調整する

（例）CDモード画面



1 －音量＋ボタン

音量を調整すると画面に現在の音の大きさ（0～31）を示す音量表示が表示されます。
音量表示は約2秒間表示されます。

1 **－音量＋ボタンを押す。**

＋側：音量が大きくなります。
－側：音量が小さくなります。

※押し続けて調整することもできます。

アドバイス

- ナビゲーションの音声案内の音量調整は画面をタッチして調整します。
  「音声案内の音量を調整／案内設定をする」225～227ページ
- OPTボタン（オプション）にMUTE機能を設定している場合は、このボタンを押して音を消すことができます。
  「オプションボタンの設定をする」258、259ページ

オーディオの調整をする

フェード・バランスの調整をするには

低音、高音の調整や前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

BASS（バス）：低音域の調整　／　TREBLE（トレブル）：高音域の調整
BALANCE（バランス）：左または右スピーカーの音量調整　／　FADE（フェード）：前または後ろスピーカー音量調整

※AV電源OFFの場合、フェード・バランスの調整をすることはできません。

---

1 **オーディオ画面で［メニュー］ボタンを押す。**

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は［メニュー］ボタンを2回押します。

（例）オーディオ画面（CDモード画面）



1 ［メニュー］ボタン

---

2 **［AUDIO設定］ボタンをタッチし、［フェードバランス］ボタンをタッチする。**

：フェード・バランス設定画面が表示されます。

AV MENU画面

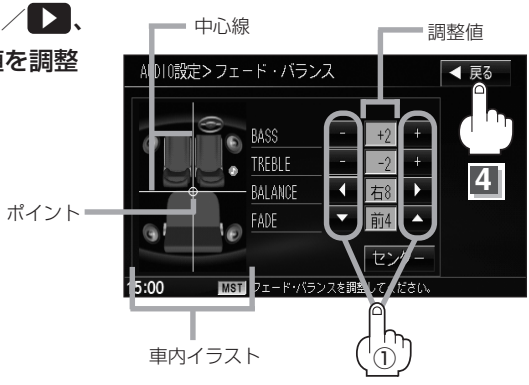


アドバイス

AV MENU画面につきましては☞287ページをご覧ください。

---

3 **調整したい項目（［－］／［＋］、［◀］／［▶］、［▼］／［▲］ボタン）をタッチして値を調整する。**



- BALANCE（バランス）とFADE（フェード）の場合、車内イラストを直接タッチし、ポイント（値）を移動させて調整することもできます。

BASS（バス）（−5〜+5）

− ボタンタッチ
：低音が弱まります。

＋ ボタンタッチ
：低音が強まります。

TREBLE（トレブル）（−5〜+5）

− ボタンタッチ
：高音が弱まります。

＋ ボタンタッチ
：高音が強まります。

BALANCE（バランス）（左9〜右9）

◀ ボタンタッチ
：右スピーカーの音量が下がります。

▶ ボタンタッチ
：左スピーカーの音量が下がります。

FADE（フェード）（前9〜後9）

▼ ボタンタッチ
：前スピーカーの音量が下がります。

▲ ボタンタッチ
：後ろスピーカーの音量が下がります。

4 設定を終わるには…

戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を調整した場合はその値で確定(決定)されます。
- **センター** ボタンについて



センター ボタンをタッチすると
BALANCEとFADEの値が“0”に
戻り、ポイントが中心線上に戻ります。

ポイントが中心線上に戻ります。

録音設定／データ管理

Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートと
カスタムアップデートの操作手順(操作方法)につきましては
指定Webサイトにアクセスし、ユーザー登録をお願い致します。(注)

(注) 操作方法につきましては、“www.sanyo-car.co.jp”
をご参照ください。

※Webサイトのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

音楽CDの録音方法(手動／自動)を
選択する……293、294
音楽CDを録音する ……295～299
本機のMUSIC STOCKER機能について ……295
MUSIC STOCKERへの録音について ……296
音楽CDの録音モードを選択し、
録音方法／録音音質を選択する……297～299
データ管理……300～310
Gracenoteデータベースタイトル情報追加の
流れについて……300、301
Gracenoteデータベースの更新をするには…302～306
Gracenoteデータベースのデータを
初期化するには……306、307
音楽データの修復をするには ……308
音楽データの初期化をするには ……309
本体の情報を知る ……310

音楽CDの録音方法(手動／自動)を選択する

音楽CDを本機に挿入したとき、再生される曲をMUSIC STOCKERへ録音することができます。録音には手動録音と自動録音があります。
※本機の初期の録音方法は“手動録音”に設定されています。

1 オーディオ画面で［メニュー］ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

(例)オーディオ画面(CDモード画面)



2 AUDIO設定 ボタンをタッチして 録音 ボタンをタッチする。

：録音設定画面が表示されます。

AV MENU画面



3 録音方法(手動録音／自動録音ボタン)を選択する。

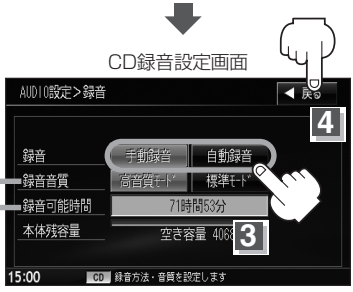
■ 手動録音 ボタンをタッチした場合

：CDモード画面で録音モード(マッハリッピング／追っかけ)／録音方法(全曲録音／選択曲録音)／録音音質(高音質モード／標準モード)を選択して ●録音開始 ボタンをタッチすると録音を開始します。
☞「音楽CDの録音モードを選択し、録音方法／録音音質を選択する」297～299ページ

■ 自動録音 ボタンをタッチした場合

：音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時にMUSIC STOCKERに曲の録音を開始します。
☞「MUSIC STOCKERへ録音する」316ページ

CD録音設定画面



音質の選択や録音可能時間の確認もできます。☞音質選択298ページ

アドバイス

すでにMUSIC STOCKERに録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は、●録音開始 ボタンを選択して録音を開始させてください。
☞316ページ

4 **設定を終わるには…**

戻る ボタンをタッチする。

：設定が確定(決定)されます。

※ 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に、AV ボタンを押すと選択中モード画面に戻ります。

音楽CDを録音する(1)

本機のMUSIC STOCKER機能について

本機には主に下記に示すようなMUSIC STOCKER機能があります。

■録音時にタイトル情報を自動付加(Gracenoteデータベース収録済)
■アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコートなどの選曲モードの各ボタンに自動でふり分け
※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限ります。
■録音済みの音楽をお好みの曲だけ集めた“お気に入りリスト”作成可能
■マッハリッピング(高速録音)機能により録音時間の短縮を実現
■設定により手動録音／自動録音の選択が可能

アドバイス

- 選曲モードの各モードへのふり分けは収録しているデータベースに合致した場合に行なわれ、自動ふり分けがされない場合もあります。
- 録音可能曲数と容量は以下のとおりとなります。

	高音質モード	標準モード
録音可能曲数☆	約1000曲	約1300曲

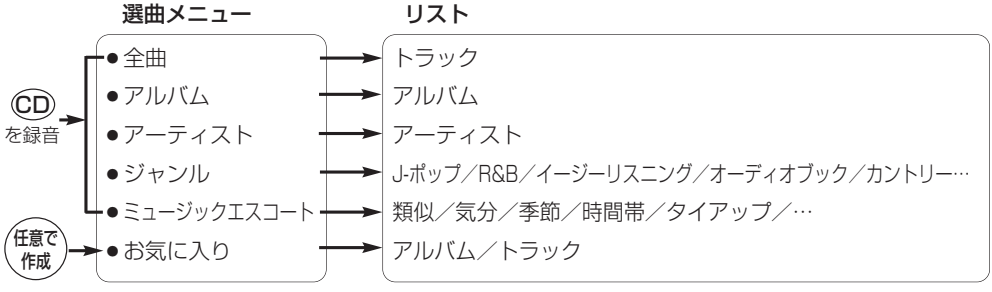
※☆印：録音音質は標準モードで1曲を4分で換算した場合
※最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。

- MUSIC STOCKERには4つのアルバムと4つのトラックのお気に入りフォルダを作成することができ、1つのアルバムフォルダに200アルバム、1つのトラックフォルダに200曲の登録が可能です。
- マッハリッピング機能により通常の最大12倍速録音が可能となるため、時間がないときなどに便利です。(マッハリッピング中にCD以外のSOURCEを選択すると、録音速度が低下することがあります。)
- Gracenoteデータベースについては35、36ページをご覧ください。

■ MUSIC STOCKERの構成について

本機(MUSIC STOCKER)に録音された音楽CDは自動で4種類(アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)の選曲モードの各ボタンにふり分けられます。さらにお気に入りボタンにはお好みの音楽だけを集めたアルバムリストやトラックリストを作成することができます。各選曲モードの再生リストから絞り込んで検索することができるため便利です。

※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限ります。



MUSIC STOCKERへの録音について

●本機の故障、誤動作または不具合によりフラッシュメモリードライブに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、フラッシュメモリードライブ内の保存データについては補償できません。

●録音中に車のキースイッチを変更したり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となる恐れがあります。

■本機の録音は初期設定が“手動”に設定されていますが、“自動”に設定した場合、CDを挿入すると、再生と同時に自動でMUSIC STOCKERへ録音を開始します。

■車のキースイッチをOFFまたはオーディオをOFF状態にしても前回設定した録音方法／録音音質（297～299ページ）は保持されます。

■本機のMUSIC STOCKERへの録音は音楽CDのみです。MP3／WMAファイル、DVD、ラジオ、ワンセグ、SDカード／USBメモリデバイスなどから録音することはできません。

■録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■車のキースイッチを「ACC」の状態で録音しているときに、「ON」にしてエンジンをスタート（始動）すると、録音したデータが消失する恐れがあります。

■ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するCDに依存しますのでご了承ください。

■録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止することがあります。

- マッハリッピング時（音楽CDを録音中）にラジオなどに切り替えた場合、録音が終了すると終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。

■録音中、モードを切り替えても、録音は継続されます。また、オーディオをOFF状態にしても録音は継続されます。

■本機で録音したCDは、重複して録音することはできません。

■自動録音に設定した場合、すでにMUSIC STOCKERに録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。（曲は再生されます。）未録音の曲を録音したい場合は手動で録音モード、録音方法を選択して録音を開始させてください。

■録音途中に録音を停止する場合は次曲を3秒ほど再生してください。
※音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。

■MUSIC STOCKERの録音可能時間がCDの演奏時間より短い場合は録音されません。

■MUSIC STOCKERの使用状況を確認するには
「本体の情報を知る」310ページ（“音楽データ”部分）を参照してください。

■音楽CDの記録面の傷、汚れなどの状況や録音（記録）内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロールCDにつきましては正常に録音、再生できない場合があります。

■追っかけ録音中の再生音はMUSIC STOCKERに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。

■追っかけ録音中に録音が終了した場合は、最後に再生していたトラックの先頭からCD再生を開始します。

■次の場合、録音中のトラック（曲）を削除します。

- 録音中に車のキースイッチを変更した場合
- 録音中にCDを取り出した場合

音楽CDを録音する(2)

音楽CDの録音モードを選択し、録音方法／録音音質を選択する

本機は手動にて マッハリッピング ／ 追っかけ ボタンを選択して録音を開始する“手動録音”と、音楽CDの再生と同時に自動で録音を開始する“自動録音”があります。

※“手動録音”と“自動録音”の設定のしかたは「音楽CDの録音方法(手動／自動)を選択する」293、294ページをご覧ください。

※“マッハリッピング”…通常の最大12倍速で録音(ただし録音中音楽は再生できません)
“追っかけ”……音楽を再生させながら録音(マッハリッピングに比べ録音速度は低下します)

1 **CDモード時、 ●録音 ボタンをタッチする。**

：録音モード設定画面が表示されます。

CDモード画面(手動録音設定時)



2 **録音モード(マッハリッピング ／ 追っかけ ボタン)を選択する。**

(例)録音モード設定画面



■ **マッハリッピング ボタンを選択した場合**

：最大12倍の速さで録音します。

■ **追っかけ ボタンを選択した場合**

：音楽を再生させながら録音します。

アドバイス

CDモード画面(追っかけ録音モード設定時)
未録音の場合



録音中
表示される

●録音設定で“自動録音”に設定している場合は未録音のCDを挿入すると同時に自動で追っかけ録音を開始します。

録音を止めたい、マッハリッピングをしたい、選択曲録音をしたい場合は **録音中止** ボタンをタッチしてください。

3 録音方法、録音音質を選択する。

■ “録音方法”（全曲録音／選択曲録音）を選択する場合

全曲録音するか、お好みの曲を録音するかを設定することができます。

□ **全曲録音** ボタンをタッチすると…

：CD内にある全ての曲の録音となります。ただし本体の容量が足りない場合 **全曲録音** ボタンは選択できません。

※録音順はアルバムに収録されている通りとなります。

□ **選択曲録音** ボタンをタッチすると…

：録音曲選択画面が表示されます。

（例）録音モード設定画面



1. 録音したいトラックをタッチする。

（例）録音曲選択画面



トラックをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。

✔：このトラックを録音します。

■：このトラックは録音しません。

※すでに録音済のトラックは選択できません。（✔表示有／トラックは灰色表示）

2. **決定** ボタンをタッチする。

（例）録音曲選択画面



：録音したいトラックが確定（決定）され、リッピング画面に戻ります。

※ **戻る** ボタンをタッチした場合は選択は解除（無効）となりリッピング画面に戻ります。

アドバイス

- MUSIC STOCKERに録音される順番はアルバム（CD）に収録されている通りとなります。
- タイトル情報が収録されていない場合、リスト表示は“Trackxx”と表示されます。
  ※xxにはトラック番号の数字が入ります。
- 次ページがある場合、▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示をします。

■ “録音音質”（高音質モード／標準モード）を選択する場合

音の質（容量）を選択することができます。

□ **高音質モード** ボタンをタッチすると…

：音の質は良くなりますがデータ容量が大きくなります。

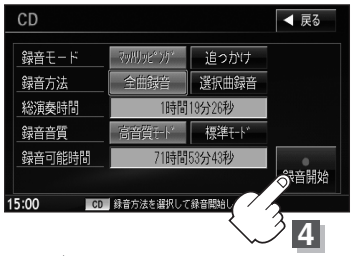
□ **標準モード** ボタンをタッチすると…

：音の質は下がりますがデータ容量が小さくなります。



音楽CDを録音する(3)

4 ●録音開始ボタンをタッチする。



□ 手順 2 (297ページ)で マッハリッピング ボタンを選択している場合はメッセージとリッピング状態を示す情報を表示し、全曲または録音曲選択画面(330ページ)で選択した曲の録音を無音にて開始します。

□ 手順 2 (297ページ)で 追っかけ ボタンを選択している場合は追っかけ録音画面に戻り、全曲または録音曲選択画面(330ページ)で選択した曲を再生しながら録音します。

追っかけ録音の場合
(例) MUSIC STOCKER



追っかけ録音中に再生しているトラックを確認することができます。

進行中の数／録音総数

録音中に表示される

アーティスト名／トラック名表示
※マッハリッピング中は表示されません。

録音中トラックの進行度の目安を100%をMAXとした値とバーの長さで表示

録音を止めたい場合は 録音中止 ボタンをタッチしてください。
※録音を中止してもすでにMUSIC STOCKERに録音(REC)したトラックはMUSIC STOCKERに保存されます。

全曲録音または録音曲選択画面で選択した全てのトラックの全体的な録音の進行度の目安をバーの長さと100%をMAXとした値で表示(録音終了の目安表示)

アドバイス

- 録音中に 録音中止 ボタンをタッチすると録音を中止できます。
  ※録音を中止してもすでにMUSIC STOCKERに録音したトラックはMUSIC STOCKERに保存されます。
- 追っかけ録音で全曲の録音が完了すると、自動で録音を終了し、録音完了時に再生していた曲の始めに戻って再生を始めます。
- 録音(REC)をしながら他のモードにすることができます。(SD／Photoモードは再生できません。)
  現在地 **ボタンを押す。**：ナビゲーション画面を表示します。
  ※ただし、マッハリッピング中ナビのNAVI MENU等の操作は制限されます。
  さらに、録音時間は通常より長くなります。
  AV **ボタンを押す。**：Radio ／ USB ／ VTR ／ MUSIC STOCKER ／ ワンセグ ／ iPod ボタンをタッチしてそれぞれのモードにすることができます。
  ※マッハリッピング時は、録音(REC)が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。
- MUSIC STOCKERへの録音可能時間の情報を知ることができます。
  「 本体の情報を知る 」310ページ

データ管理(1)

■本機にはあらかじめ商用CDタイトルの約95%のアルバム情報を取得成功できるデータベースなどが収録されており、CD再生時のタイトル情報表示やCD録音時に自動でアーティスト名、タイトル名などをつけることができるので、入力の手間をはぶくことができます。(編集も可能です。)
本機に収録されていない情報の場合でもSDカードなどを使用して情報を書き出し、パソコンでGracenote音楽認識サービスからタイトル情報を取得し、本機にアップデートすることで最新の情報に更新することができます。
※全てのタイトル名の取得および正確性を保証するものではありません。
また、MCDBデータベースを利用することによりCD録音した曲のミュージックエスコート(曲調にあわせた再生リストへのふり分け)が可能となりました。

Gracenoteデータベースタイトル情報追加の流れについて

※番号にしたがってご覧ください。

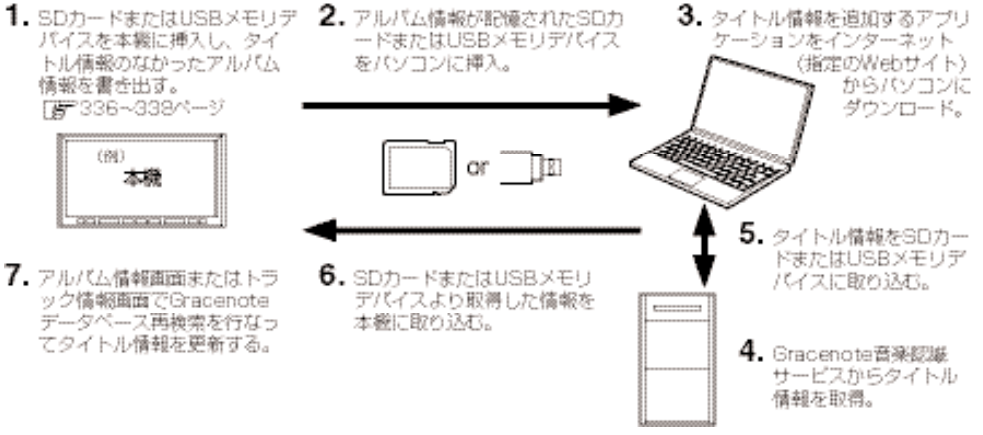
本機に収録されているGracenoteデータベースは、アップデートすることができます。アップデートする方法はローカルアップデート(定期更新)とカスタムアップデート(個別更新)の2種類があります。

■ ローカルアップデート(定期更新)の場合



■ カスタムアップデート(個別更新)の場合

本機のGracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報を、パソコンを使用してGracenote音楽認識サービスより個別に取得できます。



データ管理(2)

アドバイス

- ローカルアップデート(定期更新)のデータ更新により本機のデータベースを最新の状態にできます。
- ローカルアップデート(定期更新)はローカルアップデート専用アプリケーションを使用してダウンロードしたデータをSDカード／USBメモリデバイスに書き込むことができます。
- CD-Rに書き込む場合は半角でNVDATAフォルダを作成し、ダウンロードしたデータをNVDATAフォルダに入れてください。
- CD-Rに書き込む際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理してください。(Romeo／ISO9660／パケットライト方式などは不可)
- カスタムアップデート(個別更新)は間違ったタイトル情報が表示されたときに正しいタイトル情報を取得する際にも使用できます。
- カスタムアップデート(個別更新)はカスタムアップデート専用アプリケーションを使用して、本機から書き出したデータの検索ができます。
- Gracenoteデータベースよりタイトル情報を入手するにはSDカードまたはUSBメモリデバイス8MB以上、パソコン100MB以上の空容量、インターネット接続環境(64kbps以上推奨)、カードリーダライターなどインストールするにあたり動作環境をととのえていただく必要があります。
- Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートとカスタムアップデートの操作手順(操作方法)につきましては指定Webサイトにアクセスし、ユーザー登録をお願い致します。(注)
- ローカルアップデート(定期更新) 専用アプリケーション、カスタムアップデート(個別更新) 専用アプリケーションは指定ウェブサイトから入手できます。

(注) 操作方法につきましては、“www.sanyo-car.co.jp”をご覧ください。
※Webサイトのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

□ MCDBについて

MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDBデータベースはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。
MCDBは、メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲者・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。

- MCDBサービスは、ユーザーの趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBサービスは、個人の使用のみに使うことを許可します。
- MCDBサービスを、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- 本製品に格納されたMCDBデータベースは、第三者に譲渡・コピー・転送することを禁止します。
- お客様が、上記同意事項に違反した場合には、弊社は、MCDBサービスの利用を終了させていただくことができます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法、関連諸法規、関連国際条約などで保護されています。

Gracenoteデータベース検索を利用して本機に収録されていない(アーティスト名・タイトル名などの)情報をアップデートすることができます。

Gracenoteデータベースの更新をするには

※MUSIC STOCKER／SD／USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

1 **オーディオ画面で[メニュー]ボタンを押す。**

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は[メニュー]ボタンを2回押します。

(例)オーディオ画面(CDモード画面)



1 [メニュー]ボタン

2 **[AUDIO設定]ボタンをタッチして、[Gracenoteデータベース]ボタンをタッチする。**

：Gracenoteデータベース画面が表示されます。

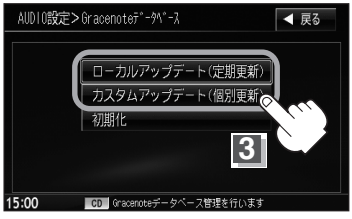
※録音中はこれ以降の操作はできません。

AV MENU画面



3 **アップデートの方法([ローカルアップデート(定期更新)]／[カスタムアップデート(個別更新)]ボタン)を選択する。**

Gracenoteデータベース画面



データ管理(3)

■ ローカルアップデート(定期更新)ボタンをタッチした場合

アドバイス

ローカルアップデート(定期更新)ボタンをタッチする前に…

1. ローカルアップデート用専用アプリケーションをパソコンにダウンロード
2. データベースファイルをパソコンにダウンロード
3. SDカードまたはUSBメモリデバイスの場合、ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して半角でNVDATAフォルダを作成／CD-Rの場合、手動でメディアに半角でNVDATAフォルダを作成
4. パソコンにダウンロードしたデータベースファイルをフォルダの中に移動
5. CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスを本機に挿入または接続

①更新する方法(CD／SDカード／USBボタン)を選択し更新開始ボタンをタッチする。

：更新してもいいかどうかのメッセージが表示されるので**はい**ボタンをタッチすると、選択した方法で本機に情報を取り込みます。



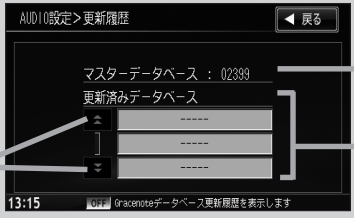
⚠注意

更新中は他の操作(モード切替／車のキースイッチ変更／電源を切る／CD・SDカード・USBメモリデバイスを抜くなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

更新履歴ボタンをタッチすると、CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスからアップデートしたGracenote データベースのバージョンを確認することができます。

次ページがある場合、▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示

バージョン更新履歴確認画面



工場出荷時のバージョンを表示

お客様が変更されたデータベースのバージョンを表示

Gracenoteデータベース検索でここに表示されていないバージョンをアップデートしてください。確認画面に表示できるデータベースのバージョン情報は200個です。それ以上はバージョン情報の古い順に上書き表示されます。

②“Gracenoteデータベースの更新が完了しました。録音済みのタイトル情報を更新する場合は、編集でデータベースの再検索を行ってください。”とメッセージが表示されるのでOKボタンをタッチする。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

③“更新後もタイトルがつかないアルバムはカスタムアップデートで更新してください。”とメッセージが表示されるのでOKボタンをタッチする。

アドバイス

- ローカルアップデート(定期更新)は情報の取り込みのみを行ないます。
- CD-Rに書き込む際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理をしてください。(Romeo／ISO9660／パケットライト方式などは不可)

■ カスタムアップデート（個別更新）ボタンをタッチした場合

※SDカード／USBメモリデバイスを本機に挿入（準備）しておく必要があります。
「SDカードを入れる／取り出すには」51ページ
「（USBメモリデバイス／iPodコード（USB接続用）を本機に接続するには）」418ページ



●データの書き出しをする。

アドバイス
新規アルバム表示または、まちがったタイトル表示のときにデータの書き出しを行ないます。

□ 新規アルバム（No title表示）の場合

1. 305ページ手順①へ進んでください。

□ まちがったタイトルを表示（ミスヒット）している場合

●データベースに複数のタイトル情報があるときは…

1. MUSIC STOCKERモードでデータベース再検索をする。
366ページ手順 1 ～ 3 で アルバム編集 ボタンまたは、
373ページ手順 1 、 2 で トラック編集 ボタンをタッチし、
「□ データベースから再検索するときは… 」370～372ページ参照

●データベースにタイトル情報がないときは…

※MUSIC STOCKER再生中は、再生を停止する必要があります。

1. MUSIC STOCKERを再生させて（MUSIC STOCKER再生画面にして）編集 ボタンをタッチし、 曲管理 ボタンをタッチする。
：曲管理画面が表示されます。

2. まちがった情報のアルバムをタッチし、アルバム編集 ボタンをタッチする。
：アルバム編集画面が表示されます。

3. アルバム情報保存 をタッチする。
：まちがったアルバム情報を一旦本機に保存します。

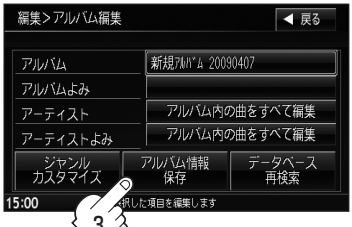
4. 302ページ手順 1 、 2 にしたがって操作し、手順 3 のとき カスタムアップデート（個別更新） ボタンをタッチする。

5. 次ページ手順①へ進んでください。

曲管理画面



アルバム編集画面



データ管理(4)

①書き出しする方法(SDカード／USBボタン)を選択し、書き出しボタンをタッチする。

：書き出しをしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい ボタンをタッチするとSDカード／USBメモリデバイスにタイトル情報のなかったアルバム情報を書き出します。



②“Gracenotoデータベースの書き出しを完了しました。PCツール「Title Clipper」を使用してタイトル情報の取得を行ってください。”とメッセージが表示されるので OK ボタンをタッチする。

③本機よりSDカード／USBメモリデバイスを取り、パソコンに挿入する。

④パソコンからGracenote音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。

⑤取得した情報をSDカード／USBメモリデバイスに取り込む。

⑥SDカード／USBメモリデバイスをパソコンより外し、本機に挿入／接続する。

●データの取り込みをする。

※302ページ手順 1 、 2 にしたがって操作し、手順 3 のとき カスタムアップデート(個別更新) ボタンをタッチする。

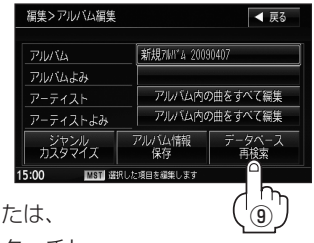


⑦取り込み方法(SDカード／USBボタン)を選択し、取り込みボタンをタッチする。

：取り込んでもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい ボタンをタッチするとSDカード／USBメモリデバイスより取得した情報を本機に取り込みます。

⑧“Gracenotoデータベースの取り込みを完了しました。録音済みのタイトル情報を更新する場合は編集でデータベースの再検索を行ってください。”のメッセージが表示されるので OK ボタンをタッチする。

アルバム編集画面の場合



⑨本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で データベース再検索 ボタンをタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

☞366ページ手順 1 ～ 3 で アルバム編集 ボタンまたは、373ページ手順 1 、 2 で トラック編集 ボタンをタッチし、「□ データベースから再検索するときは… 」370～372ページ参照

アドバイス

- Gracenoteデータベースタイトル情報追加の流れについて 300、301ページもご覧ください。
- ▲／▼ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

4 設定を終わるには…

戻る ボタンをタッチまたは **AV** ボタンを押す。

：**戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**AV** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

Gracenoteデータベースのデータを初期化するには

Gracenoteデータベースのデータを初期化することができます。

1 オーディオ画面で **メニュー** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は **メニュー** ボタンを2回押します。

（例）オーディオ画面（CDモード画面）



1 メニュー ボタン

2 **AUDIO設定** ボタンをタッチして、**Gracenoteデータベース** ボタンをタッチする。

：Gracenoteデータベース画面が表示されます。

AV MENU画面



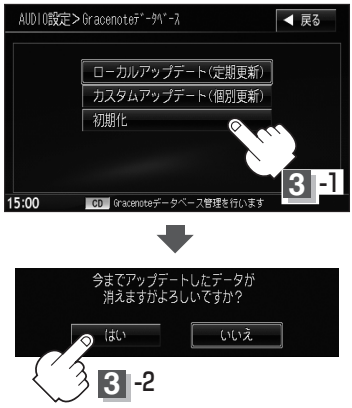
データ管理(5)

3 **初期化** ボタンをタッチする。

：今までアップデートしたデータを消してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンを画面にしたがって選択するとデータを消去し、Gracenoteデータベース画面に戻ります。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ずデータの初期化を行なってください。

Gracenoteデータベース画面



4 設定を終わるには…

戻る ボタンをタッチまたは AV ボタンを押す。

：**戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、AV ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

⚠注意

- **初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のキースイッチを変更)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で“はい”を選択すると、お客様の今までアップデートしたデータ(ローカルアップデート(定期更新)／カスタムアップデート(個別更新))は消去され、二度と復帰しません。**

音楽データの修復をするには

本機(MUSIC STOCKER)に録音(REC)した音楽データが見当たらないなどのときに操作するとデータを修復できる場合があります。

※MUSIC STOCKER／SD／USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

1 **オーディオ画面で[メニュー]ボタンを押す。**

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は[メニュー]ボタンを2回押します。

(例)オーディオ画面(CDモード画面)



1 [メニュー]ボタン

2 **AUDIO設定ボタンをタッチして、データ管理ボタンをタッチする。**

：データ管理画面が表示されます。

※走行中、これ以降の操作はできません。

AV MENU画面



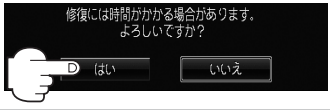
3 **音楽データ修復ボタンをタッチして、はいボタンをタッチする。**

：修復作業が開始されます。

※修復作業は曲数が増加するにしたがって長くなります。

データ管理画面





3 -2

4 **修復が終わったら…**

戻るボタンをタッチまたは[AV]ボタンを押す。

：**戻る**ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、[AV]ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

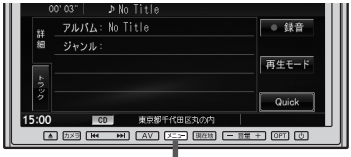
データ管理(6)

音楽データの初期化をするには

MUSIC STOCKERに録音(REC)した音楽データを初期化することができます。

※MUSIC STOCKER／SD／USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

(例)オーディオ画面(CDモード画面)



1 メニューボタン

1 **オーディオ画面で メニュー ボタンを押す。**

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は メニュー ボタンを2回押します。

2 **AUDIO設定 ボタンをタッチして、**
データ管理 ボタンをタッチする。

：データ管理画面が表示されます。

AV MENU画面



3 **音楽データ初期化 ボタンをタッチする。**

：今まで録音した音楽データが消えてもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい ボタンを画面にしたがって選択します。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ず音楽データの初期化を行なってください。

データ管理画面



4 **初期化が終わったら…**

戻る ボタンをタッチまたは AV ボタンを押す。

： 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 AV ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

⚠注意
- **初期化中(修復中)は他の操作(モードを切り替えたり車のキースイッチの変更)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で“はい”を選択すると、お客様の音楽データは消去され、二度と復帰しません。**

本体の情報を知る

本機の使用状況を確認することができます。

1 **オーディオ画面で［メニュー］ボタンを押す。**

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は［メニュー］ボタンを2回押します。

（例）オーディオ画面（CDモード画面）



1 ［メニュー］ボタン

2 **AUDIO設定ボタンをタッチして、データ管理ボタンをタッチする。**

：データ管理画面が表示されます。

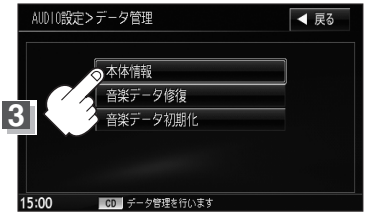
AV MENU画面



3 **本体情報ボタンをタッチする。**

：本体情報画面が表示されます。

データ管理画面

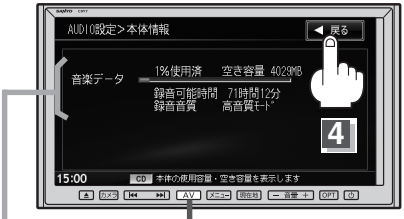


4 **本機の使用状況を確認したら…**

戻るボタンをタッチまたは［AV］ボタンを押す。

：戻るボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、［AV］ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

本体情報画面（例）



［AV］ボタン 4

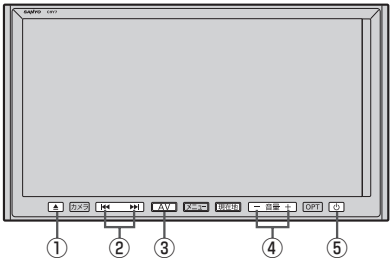
音楽データの使用情報

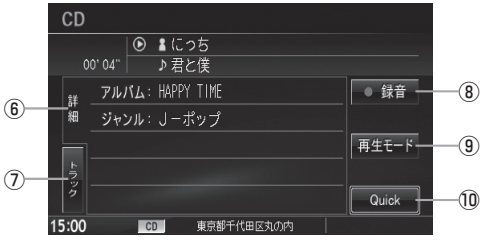
CD

CDプレーヤーを使う ……313～322
各部の名称とはたらき ……313
表示部（再生画面）について ……314
CDを聞く ……315、316
MUSIC STOCKERへ録音する ……316
CDモードを終了する ……317
CDを取り出す ……317
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する
（トラックを戻す／進める）……318
早戻し／早送りをする ……319
再生モードを選択する
（リピート／ランダム／スキャン再生）……319～321
トラックリストより好きなトラックを選び
再生させる ……322

CDプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき





① ▲ボタン(OPEN)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。

② ⏮ ⏭ボタン(トラック)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(⏮)／早送り(⏭)します。
(318、319ページ)

③ AVボタン

AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション画面／Radio／SD／USB／VTR／MUSIC STOCKER／ワンセグ／Photo／iPodモードからCDモードに切り替えるときに使用します。

④ －音量＋ボタン

音量の増減を調整します。
－：音量を下げます。　＋：音量を上げます。

⑤ ⏻ ボタン(AV電源)

- AV電源をON／OFFします。
- 2秒以上の長押しで画面を消します。
(53ページ)

⑥ 詳細 ボタン

トラックの詳細情報を表示します。(322ページ)

⑦ トラック ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。(354ページ)

⑧ ●録音 ボタン

録音方法選択画面を表示します。(316ページ)

⑨ 再生モード ボタン

リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。(320、321ページ)

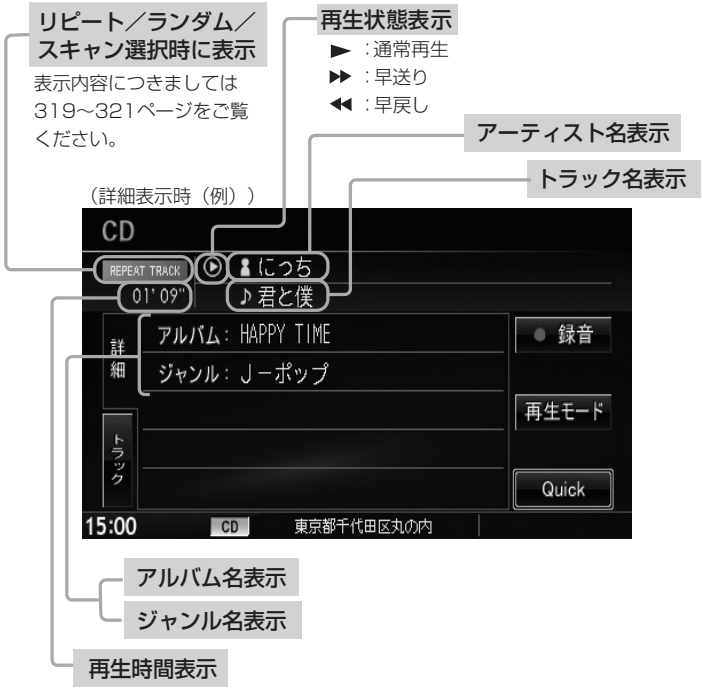
⑩ Quick ボタン

Quick MENUを使用することができます。
(544ページ)

アドバイス

- 録音(REC)中に他モードよりCDモードにした場合は、CD録画画面になります。
- 録音(REC)中はCD録音画面に 録音中止 ボタンが表示されます。タッチすると録音(REC)を中止します。
- 1枚のディスクに音楽トラックとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。

表示部(再生画面)について



アドバイス

- 詳細表示のとき、トラック名／アーティスト名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名／アーティスト名／アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

■ DISC内のCD-TEXT情報と、Gracenoteデータベースの検索結果によって再生時の表示は以下の様になります。
- DISCにCD-TEXT情報があれば、トラック名／アーティスト名／アルバム名はCD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。
- CD-TEXTが無い場合でGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのトラック名／アーティスト名が表示されます。
- DISCにCD-TEXTも無くGracenoteデータベースにもヒットしなければ、トラック名／アーティスト名／アルバム名は全て“No Title”と表示されます。
- 本機へ録音(REC)されるタイトル情報はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみであり、CD-TEXT情報は反映されません。
- CD再生中のリスト表示はGracenoteデータベースにヒットしている場合にトラック名がリスト表示されます。DISCにCD-TEXTがある場合はCD-TEXTが優先してリスト表示されます。どちらの情報もない場合はトラック名に全て“TRACK1…”と表示され、タイトル表示されません。

※市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。

■ トラック名／アーティスト名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

CDプレーヤーを使う(2)

CDを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1 ⏏ボタン(OPEN)を押す。

：ディスプレイが開きます。

アドバイス

- ディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。
- ディスク挿入口やパネルにつきまして詳しくは☞『ディスクを入れる／取り出すには」49、50ページをご覧ください。

2 ディスク挿入口にCDを挿入する。

：自動でディスプレイが閉じ、CDの再生を始めます。



① ⏻ ボタン(AV電源)

■ 他のモード画面を表示している場合

□ CDモード画面でAV電源OFFにしていた場合

①⏻ボタン(AV電源)を押す。

：前回のつづきからCDの再生を始めます。

□ ナビゲーション画面またはCDモード以外のモード画面の場合(OFF含む)

①AVボタンを押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)



① AV ボタン

AV SOURCE画面(例)



②CDボタンをタッチする。

：CDの再生を始めます。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」288ページ／「映像の調整のしかた」535～538ページ
「オーディオの調整をする」289、290ページ

アドバイス

CDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」542、543ページ

MUSIC STOCKERへ録音する

お好みの曲を本機へ録音することができます。

1 CDモード画面で●録音ボタンをタッチする。
：録音方法選択画面が表示されます。



2 録音モード（マッハリッピング／追っかけ）、録音方法（全曲録音／選択曲録音）、録音音質（高音質モード／標準モード）を選択し、●録音開始ボタンをタッチする。
「音楽CDを録音する」295ページ

録音方法選択画面



アドバイス

- MUSIC STOCKERに録音（REC）すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。MUSIC STOCKERへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。さらに録音モード（録音速度）にはマッハリッピング（高速録音）と追っかけがあります。
「音楽CDを録音する」295～299ページ
「MUSIC STOCKERを使う」343～380ページ
※音楽CD以外（MP3／WMAなど）は録音（REC）できません。
- 本機の録音方法（初期）は手動録音に設定されていますが、自動録音に設定した場合、未録音のCDを挿入すると再生と同時にMUSIC STOCKERへ自動で追っかけで録音を開始します。（録音を停止させるには録音画面で録音中止ボタンをタッチしてください。また、マッハリッピングで録音（高速録音）をする場合も、録音中止ボタンをタッチしていったん追っかけでの録音を止めてから各操作をしてください。）
「音楽CDの録音方法（手動／自動）を選択する」293、294ページ

CDプレーヤーを使う(3)

CDモードを終了する

1 ⏻ ボタン(AV電源)を押す。

：画面に“OFF”と表示されCDの再生を止めます。

※CDの再生を止めても録音中の場合、録音は継続されます。



CDを取り出す

1 ⏏ ボタン(OPEN)を押す。

：ディスプレイが自動で開きます。

2 ⏏ ボタン(DVD／CDイジェクト)を押す。

：CDがディスク挿入口より出てきます。

アドバイス

CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。

※再生中に車のキースイッチを“OFF”にした場合は、次に車のキースイッチを“ACC”または“ON”にすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。

※⏏ボタン(DVD/CDイジェクト)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクを本機に引き込み、再生を開始します。

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)

■ 前のトラックに戻る場合

⏮ボタンを2回押す。*

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭ボタンを押す。

アドバイス

- 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。
  「(トラックリストより好きなトラックを選び再生させる)」322ページ
- 録音(REC)中トラックを戻す／進めることは操作できません。
- ＊：トラック再生開始3秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

CDプレーヤーを使う(4)

早戻し／早送りをする

1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

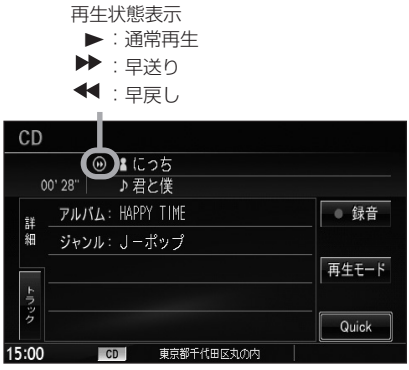


■ 早戻しで戻る場合

⏮ボタンを押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭ボタンを押し続ける。



アドバイス

- それぞれのボタンから手を離したところで通常再生を始めます。
- 録音(REC)中の早戻し／早送りはできません。

再生モードを選択する(リピート／ランダム／スキャン再生)

再生モード(リピート／ランダム／スキャン)を選択することができます。

1 再生モード ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

(例) CDモード TOP画面



右記手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

2 再生したいモード(リピート／ランダム／スキャン ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① リピート ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

- リピート ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯／TOP画面で REPEAT TRACK マーク表示有)

⬇

通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示　　選択時点灯

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① ランダム ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、ディスク内の曲を順序不同再生します。

- ランダム ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

ディスク内の曲をランダム再生

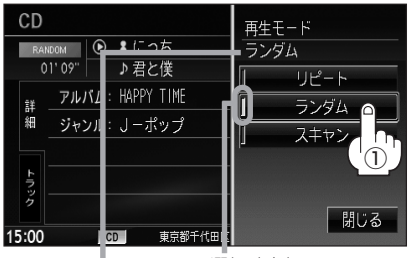
(表示灯点灯／TOP画面で RANDOM マーク表示有)

⬇

通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示　　選択時点灯

アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

CDプレーヤーを使う(5)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

ディスク内の曲をスキャン再生

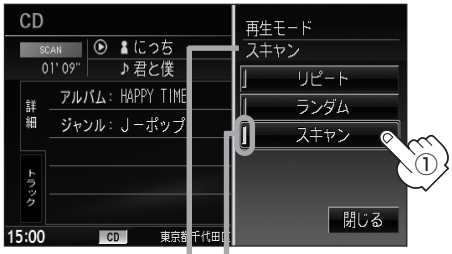
(表示灯点灯／TOP画面で SCAN マーク表示有)

↓

通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

再生モード選択画面



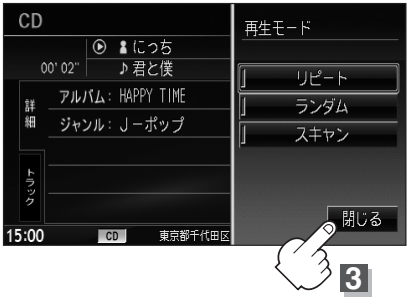
選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

---

3 設定を終わるには…

閉じる ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



アドバイス

- 録音(REC)中は操作できません。
- マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1 **トラック** ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

CDモード TOP画面（(例)詳細表示）



アドバイス

CDモード TOP画面は選択するボタン（**詳細** ／ **トラック**）によって詳細表示／トラックリスト表示となります。

(例)CDモード TOP画面



詳細表示

トラック ボタンタッチ

詳細 ボタンタッチ

(例)CDモード TOP画面



トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 **再生したいトラックをタッチする。**

：選択したトラックが再生されます。

CDモード TOP画面（(例)トラックリスト表示時）



▲／▼ ボタンタッチでページ戻し／送り表示

アドバイス

トラックリストについて

- CD-TEXT情報またはGracenoteデータベースタイトル情報が表示されます。
- タイトル情報がない場合は、TRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は **詳細** ボタンをタッチしてください。（上記アドバイス参照）

MP3／WMA

MP3／WMAについて ……325～330
MP3／WMAプレーヤーを使う ……331～341
各部の名称とはたらき ……331
表示部（再生画面）について ……332
MP3／WMAを聞く ……333、334
MP3／WMAモードを終了する ……334
MP3／WMAディスクを取り出す ……334
好きなフォルダを選ぶ ……335
操作パネル上のボタンにて1ファイルずつ選曲する（トラックを戻す／進める） ……336
早戻し／早送りをする ……337
再生モードを選択する（リピート／ランダム／スキャン再生） ……338～340
トラックリストより好きなファイル（曲）を選び再生させる ……341

MP3／WMAについて(1)

■MP3とは？

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

■WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

■再生可能なMP3／WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio*1
対応サンプリング周波数	329ページ参照	330ページ参照
対応ビットレート*2		

＊1印：
- DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
- Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。

＊2印：
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。
- VBR(可変ビットレート)に対応しています。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

■使用できるメディアについて

- MP3／WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。
  ※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。
- 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
  ※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■ファイル名について

- MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”／WMAの拡張子“WMA”が付いたものだけです。
- MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。
  ※拡張子名“MP3”／WMAは大文字でも小文字でもかまいません。

アドバイス

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
MP3／WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けないでください。
MP3／WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字、2.xは半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名です。
※WMAタグの表示可能文字数は全角、半角ともに32文字です。
※対応バージョンはVer 1.0／1.1／2.2／2.3となります。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。
※MP3／WMAファイルをDVDに書き込みしたディスクの動作保証はしていません。

■MP3／WMAの演奏時間表示について

MP3／WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

■使用できるディスクのフォーマットについて

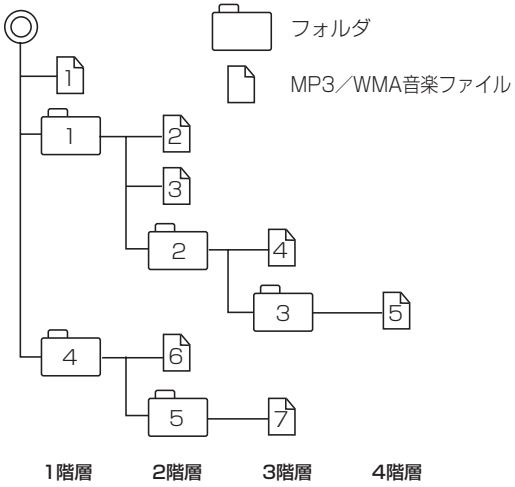
使用できるディスクのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1(＊)およびレベル2(＊)です。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。
上記フォーマット(＊)以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ階層　：8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数　：全角、半角ともに32文字
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字：A～Z、0～9、_(アンダースコア)、JIS第一水準
- 1フォルダ内の最大ファイル数　：255
- 1メディア内の最大ファイル数　：999
- 最大フォルダ数　：255
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト／m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。

MP3／WMAについて(2)

■階層と再生順序のイメージについて



- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器（プレーヤー）によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 の順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

■MP3／WMAファイルの作り方について

MP3／WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

□インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

□音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります）。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA形式のファイルに変換することで12cmの音楽CD1枚（最大74分収録／データ容量650MB）が約65MBのデータ量（約10分の1）になります。（詳しくはエンコーダソフト等の説明をご覧ください。）本機はWMAのDRM（デジタル著作権管理）に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する（Ver.によって表現が異なる場合もあります。）”の項目にチェックを付けないでください。

□CD-R／CD-RWに書き込む場合

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

アドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3／WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書をご覧ください。
- MP3／WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行なっていないディスクは再生できません。

■MP3／WMAの再生について

MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。（再生しません。）

MP3／WMAについて(3)

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数(kHz)		
16.000	–	○
22.050	–	○
24.000	–	○
32.000	○	–
44.100	○	–
48.000	○	–
ビットレート(kbps)		
8	–	○
16	–	○
24	–	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	–	○
160	○	○
192	○	–
224	○	–
256	○	–
320	○	–
VBR	○	○

※VBR：可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数(kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	−	○
ビットレート(kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	−	○
320	−	○
VBR	−	○

※VBR：可変ビットレート

- **表示可能なID3／WMAタグ**
  Song Title、Artist Name、Album Title
  ※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。

- **フォルダ番号、トラック番号について**
  演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

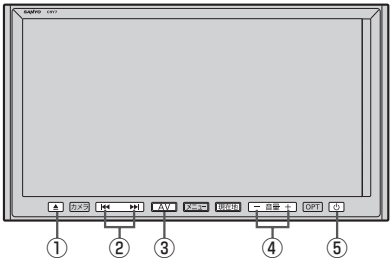
- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- 64kbps以下のビットレートで再生されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- WMA9 Professional／WMA9 Losslessには対応していません。

MP3／WMAプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき





① ▲ボタン(OPEN)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。

② ⏮ ⏭ボタン(トラック)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(⏮)／早送り(⏭)します。
(336、337ページ)

③ AVボタン

AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション画面／Radio／SD／USB／VTR／MUSIC STOCKER／ワンセグ／Photo／iPodモードからMP3／WMAモードに切り替えるときに使用します。

④ −音量＋ボタン

音量の増減を調整します。
−：音量を下げます。　＋：音量を上げます。

⑤ ⏻ ボタン(AV電源)

- AV電源をON／OFFします。(333、334ページ)
- 2秒以上の長押しで画面を消します。(53ページ)

⑥ 詳細ボタン

トラックの詳細情報を表示します。(341ページ)

⑦ トラックボタン

トラックリストを表示し、ファイル(曲)の選択が可能です。(341ページ)

⑧ フォルダ⊖／フォルダ⊕ボタン

前または次のフォルダを選択します。(335ページ)

⑨ 再生モードボタン

リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。(338〜340ページ)

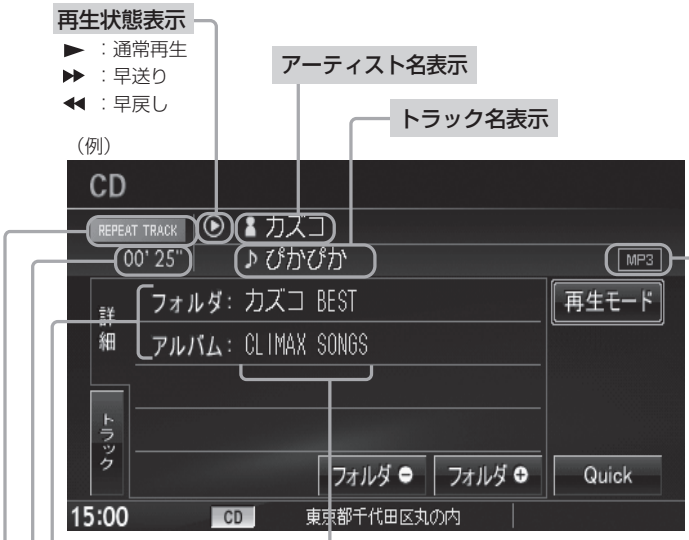
⑩ Quickボタン

Quick MENUを使用することができます。(544ページ)

アドバイス

1枚のディスクに音楽トラックとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。

表示部(再生画面)について



表示内容につきましては338～340ページをご覧ください。

アドバイス

- ファイル名／フォルダ名の最大表示文字数は全角32文字、半角32文字、トラック名／アーティスト名／アルバム名の最大表示文字数は全角32文字、半角64文字です。ファイルによっては最大文字数まで表示できない場合があります。(本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名・フォルダ名／アーティスト名／アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- アーティスト名／アルバム名が記録されていないディスクの場合は、“No Title”と表示されます。

MP3／WMAプレーヤーを使う(2)

MP3／WMAを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1 ⏏ボタン(OPEN)を押す。

：ディスプレイが開きます。

アドバイス

- ディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。
- ディスク挿入口やパネルにつきまして詳しくは☞「ディスクを入れる／取り出すには」49、50ページをご覧ください。

2 ディスク挿入口にMP3またはWMAのファイルが入ったCDを挿入する。

：自動でディスプレイが閉じ、MP3またはWMAの再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ MP3／WMAモード画面でAV電源OFFにしていた場合

①⏻ボタン(AV電源)を押す。

：前回のつづきからMP3／WMAの再生を始めます。



□ ナビゲーション画面またはMP3／WMAモード以外のモード画面の場合

①AVボタンを押す

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

＊：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)



②CDボタンをタッチする。

：MP3／WMAの再生を始めます。

AV SOURCE画面



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」288ページ／「映像の調整のしかた」535～538ページ
「オーディオの調整をする」289、290ページ

アドバイス

CDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」542、543ページ

MP3／WMAモードを終了する

1 ⏻ ボタン(AV電源)を押す。

：画面に“OFF”と表示されMP3／WMAの再生を止めます。



① ⏻ ボタン(AV電源)



MP3／WMAディスクを取り出す

1 ⏏ ボタン(OPEN)を押す。

：ディスプレイが自動で開きます。

2 ⏏ ボタン(DVD／CDイジェクト)を押す。

：MP3／WMAディスクがディスク挿入口より出てきます。

アドバイス

MP3／WMAディスクを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。
※再生中に車のキースイッチを“OFF”にした場合は、次に車のキースイッチを“ACC”または“ON”にすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
※⏏ ボタン(DVD/CDイジェクト)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクが入り本機にセットされ、再生が開始されます。

MP3／WMAプレーヤーを使う(3)

好きなフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダ⊖／フォルダ⊕ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダ⊖ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ⊕ボタンをタッチする。



操作パネル上のボタンにて1ファイルずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)を押す。

：前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。



1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)

■ 前のトラックに戻る場合

⏮ボタンを2回押す。*

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭ボタンを押す。

アドバイス

- 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。
  「トラックリストより好きなファイル(曲)を選び再生させる」341ページ
- ＊：トラック再生開始3秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

MP3／WMAプレーヤーを使う(4)

早戻し／早送りをする

1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。



1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)

再生状態表示
- ▶：通常再生
- ▶▶：早送り
- ◀◀：早戻し



■ **早戻しで戻る場合**

⏮ボタンを押し続ける。

■ **早送りで進む場合**

⏭ボタンを押し続ける。

アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで通常再生を始めます。

再生モードを選択する(リピート／ランダム／スキャン再生)

再生モード(リピート／ランダム／スキャン)を選択することができます。

1 **再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

(例) MP3モード TOP画面



手順 **2** で選択した再生モードが表示されます。

2 再生したいモード(**リピート** ／ **ランダム** ／ **スキャン** ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、リピート再生されます。

- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているファイルのリピート再生

(表示灯点灯／TOP画面で REPEAT TRACK マーク表示有)

↓

今聞いているフォルダのリピート再生

(表示灯点灯／TOP画面で REPEAT FOLDER マーク表示有)

↓

通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

MP3／WMAプレーヤーを使う(5)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

※現在再生しているフォルダのランダム再生となります。

① **ランダム** **ボタンをタッチする。**

：表示灯点灯し、現在再生しているフォルダの中から順序不同で再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

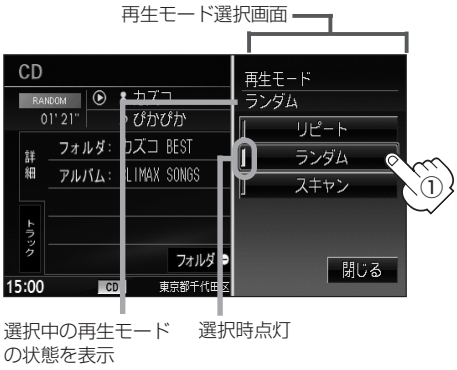
現在再生しているフォルダをランダム再生

(表示灯点灯／TOP画面で RANDOM マーク表示有)

↓

通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)



アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

※今聞いているディスク内の曲のスキャン再生となります。

① **スキャン** **ボタンをタッチする。**

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒間再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

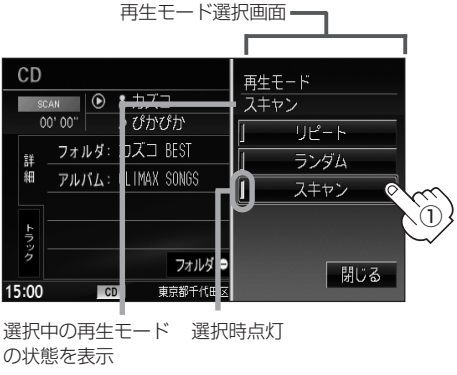
今聞いているディスク内の曲をスキャン再生

(表示灯点灯／TOP画面で SCAN マーク表示有)

↓

通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)



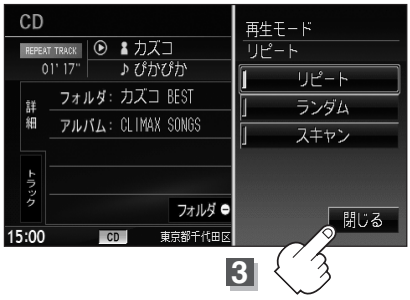
アドバイス

スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

3 設定を終わるには…

閉じる ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

MP3／WMAプレーヤーを使う(6)

トラックリストより好きなファイル(曲)を選び再生させる

ファイル(曲)を一覧表示させ、再生させることができます。

1 **トラック** ボタンをタッチする。

：再生しているフォルダのファイル(曲)が
トラックリストに表示されます。

(例) MP3モード TOP画面(詳細表示)



アドバイス

MP3／WMAモード TOP画面は選択するボタン(**詳細**／**トラック**)によって詳細表示／トラックリスト(ファイル(曲))表示となります。

(例) MP3モード TOP画面



詳細表示

トラック ボタンタッチ

詳細 ボタンタッチ

(例) MP3モード TOP画面



トラックリスト(ファイル(曲))表示

※すでにトラックリスト(ファイル(曲))表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 再生したいファイル(曲)をタッチする。

：選択したファイル(曲)が再生されます。

(例) トラックリスト(ファイル(曲))表示時



▲／▼ ボタンタッチでページ戻し／送り表示

アドバイス

トラックリストについて

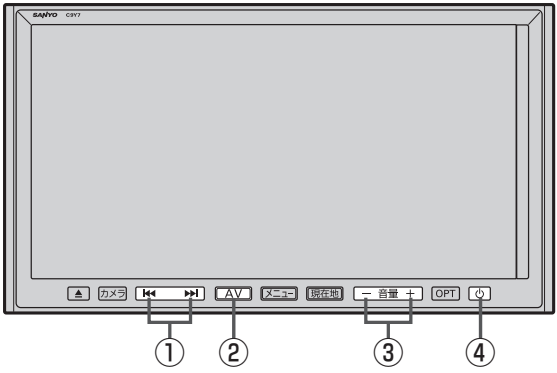
- トラックリストにはトラック名が表示されます。
- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は **詳細** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

MUSIC STOCKER

MUSIC STOCKERを使う ……343～380
各部の名称とはたらき……343、344
表示部（再生画面）について……345、346
MUSIC STOCKERを聞く ……347
MUSIC STOCKERモードを終了する ……348
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する
（トラックを戻す／進める）……348
早戻し／早送りをする ……349
トラックリストより好きなトラックを選び
再生させる ……350
選曲モードより選択し再生させる……351～358
再生モードを選択する（リピート／ランダム／
スキャン）……359、360
再生中の曲をお気に入り登録する……361、362
再生中の曲のジャンルとミュージックエスコート
を設定する……363、364
好きなアルバムを選ぶ ……365
曲管理（アルバムリストの編集）……366～372
曲管理（トラックリストの編集）……373～378
お気に入りを管理する……379、380

MUSIC STOCKERを使う(1)

各部の名称とはたらき



① ⏮ ⏭ボタン(トラック)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(⏮)／早送り(⏭)します。
(348、349ページ)

② AVボタン

AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション画面／CD／DVD／MP3／WMA／Radio／SD／USB／VTR／ワンセグ／Photo／iPodモードからMUSIC STOCKERモードに切り替えるときに使用します。(347ページ)

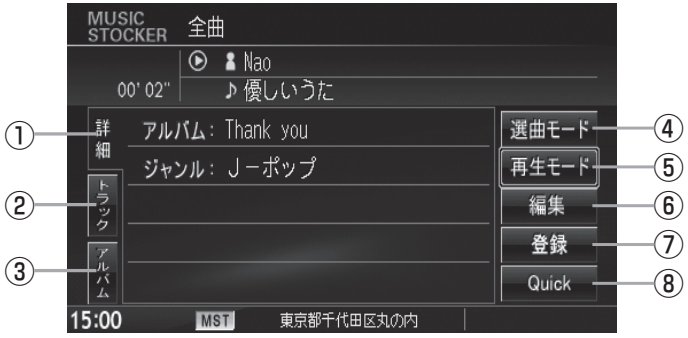
③ －音量＋ボタン

音量の増減を調整します。－：音量減　＋：音量増

④ ⏻ ボタン(AV電源)

- AV電源ON／OFFします。(347、348ページ)
- 2秒以上押すと画面が消えます。(53ページ)

（例）MUSIC STOCKER TOP画面



① **詳細**ボタン

トラックの詳細情報を表示します。
（350ページ）

② **トラック**ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。（350ページ）

③ **アルバム**ボタン

アルバムリストを表示し、アルバムの選択が可能です。（350ページ）

④ **選曲モード**ボタン

6種類の選曲モード（全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り）から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。（351～358ページ）

⑤ **再生モード**ボタン

リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。（359、360ページ）

⑥ **編集**ボタン

アルバムやトラックの編集（表示名やよみがなを変更）、ジャンルの変更、再生選択やお気に入り管理などをすることができます。（366～380ページ）

⑦ **登録**ボタン

再生中のアルバムまたはトラックをお気に入りへ登録したり、再生中トラックをお好きなジャンル／ミュージックエスコートに変更することができます。（361、362ページ）

⑧ **Quick**ボタン

Quick MENU機能を使用することができます。（544ページ）

MUSIC STOCKERを使う(2)

表示部(再生画面)について

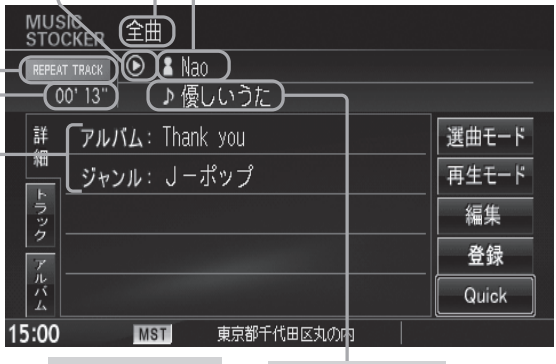
リピート／ランダム／スキャン選択時に表示
表示内容につきましては359、360ページをご覧ください。

選択中の選曲モードの内容を表示します。
※選曲モードで **ジャンル** ／ **ミュージックエスコート** ／ **お気に入り** ボタン選択時にアルバムや曲の削除、再生選択を行なった場合でも“全曲”表示となります。
選曲モード☞351～358ページ

再生状態表示
►：通常再生
►►：早送り
◄◄：早戻し

アーティスト名表示

((例)詳細表示時)

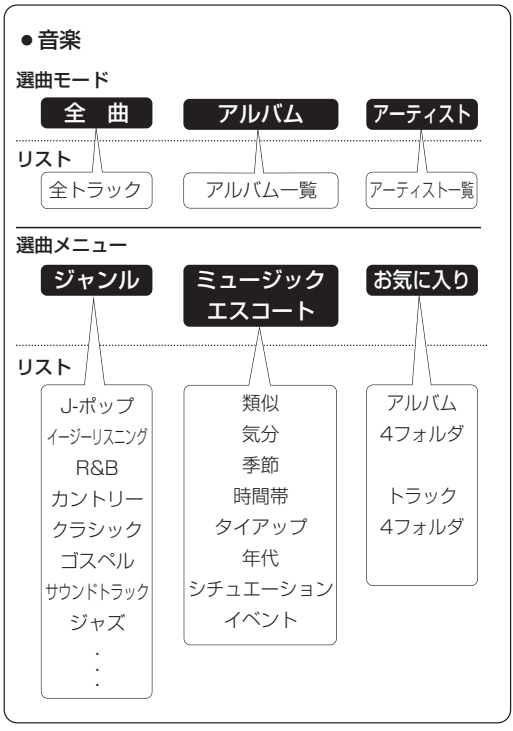


アルバム名表示
ジャンル名表示
トラック名表示
再生時間表示

アドバイス

- 詳細表示のとき、トラック名／アーティスト名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名／アーティスト名／アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- トラック名／アーティスト名／アルバム名が記録されていないディスクを録音した場合は、それぞれの表示は“トラック××”／“新規アーティスト”／“新規アルバム△△△△　△△△”と表示されます。
  ※××にはトラック番号、△にはリッピングした西暦・月・日の数字が入ります。
- 実在と異なるトラック名／アルバム名表示のままリッピングした場合は、異なった情報のまま本機にリッピングされます。
- ジャンル名表示で該当するジャンルがない場合は“その他”と表示されます。

MUSIC STOCKER イメージ図



★MUSIC STOCKERに録音*された曲は自動で4種類(アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)の選曲モードに分類され、さらに細かく分かれて管理されます。
選曲モードの各ボタンの中から絞り込んで検索することができるので便利です。

※全曲は全てのトラックを表示します。お気に入りはお好みの曲だけを集めたオリジナルリストを表示します。

※ミュージックエスコートはMCDB(メディアクリックDB)の楽曲属性DBを利用して曲調によって分別されます。

※*印：録音につきましては「音楽CDを録音する」295～299ページを必ずお読みください。

※選曲モードでジャンル／ミュージックエスコート／お気に入りを選択し、再生させているときにアルバムや曲の削除／再生選択を行なうと、詳細画面にしたとき選曲モードは自動的に“全曲”となります。(編集前の選曲モードの再生リストを継続しません。)

※録音された音楽CDがGracenoteおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限ります。

MUSIC STOCKERを使う(3)

MUSIC STOCKERを聞く

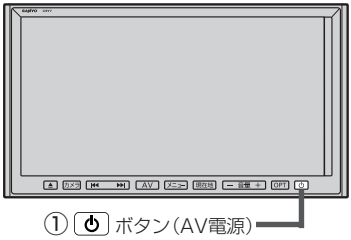
※CDから1曲もMUSIC STOCKERに録音(REC)していない場合、MUSIC STOCKERを聞くことはできません。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ MUSIC STOCKERモード画面でAV電源をOFFしていた場合

①⏻ボタン(AV電源)を押す。

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。

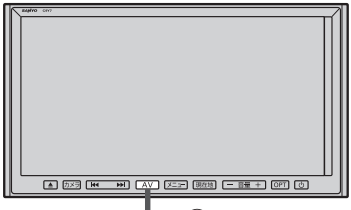


□ ナビゲーション画面またはMUSIC STOCKERモード以外のモード画面の場合(OFF含む)

①AVボタンを押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

＊：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)



②MUSIC STOCKERボタンをタッチする。

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」288ページ
「映像の調整のしかた」535～538ページ
「オーディオの調整をする」289、290ページ

アドバイス

MUSIC STOCKERの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」542、543ページ

MUSIC STOCKERモードを終了する

1 ⏻ ボタン(AV電源)を押す。

：画面に“OFF”と表示されMUSIC STOCKERの再生を止めます。



1 ⏻ ボタン(AV電源)

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 ⏮ ⏭ ボタン(トラック)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 ⏮ ⏭ ボタン(トラック)

■ 前のトラックに戻る場合

⏮側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭側を押す。

アドバイス

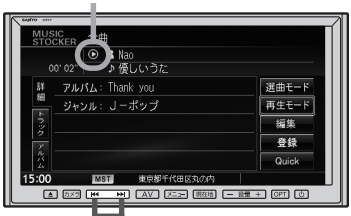
画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

「トラックリストより好きなトラックを選び再生させる」350ページ

MUSIC STOCKERを使う(4)

早戻し／早送りをする

再生状態表示
►：通常再生
►►：早送り
◄◄：早戻し



1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)

1 ⏮ ⏭**ボタン(トラック)を押し続ける。**

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ **早戻しで戻る場合**

⏮側を押し続ける。

■ **早送りで進む場合**

⏭側を押し続ける。

アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

選曲モード(☞351ページ)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1 **トラック** ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

MUSIC STOCKERモード TOP画面(詳細表示時(例))



アドバイス

MUSIC STOCKERモード TOP画面は選択するボタン(**詳細**／**トラック**／**アルバム** ボタン)によって詳細表示／トラックリスト表示／アルバムリスト表示となります。



- すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。
- トラック／アルバムボタンには選曲モード(☞351ページ)で選択された再生リストを表示しています。例えば、選曲モードで“アーティスト”を選択すると、選んだアーティスト内のトラック／アルバムが表示されます。
- 選曲モード(☞351ページ)で **ジャンル**／**お気に入り**(トラックのみ)／**ミュージックエスコート** ボタンを選択している場合は、アルバムボタンは選択できません。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

(例)MUSIC STOCKERモード TOP画面(トラックリスト表示時)



▲／▼ ボタンタッチでページ戻し／送り表示

アドバイス

TOP画面を詳細表示に戻したい場合は **詳細** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

MUSIC STOCKERを使う(5)

選曲モードより選択し再生させる

本機はCDの録音と同時にGracenote音楽認識サービスとMCDB(メディアクリックDB)により、該当する選曲モードの各ボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)に自動でふり分けます。選曲モード内はさらに細かく分かれ管理されます。聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。

※録音された音楽CDがGracenote データベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限ります。

また、選曲モードにはお好みの曲だけを集めることのできる“お気に入り”ボタンもあります。

※“お気に入り”ボタンを使用するにはあらかじめお気に入り登録をしておく必要があります。

「再生中の曲をお気に入り登録する」361、362ページ

1 **選曲モード**ボタンをタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

(例)MUSIC STOCKERモード TOP画面(詳細表示時)



2 選曲モードより選曲する方法(**全曲**／**アルバム**／**アーティスト**／**ジャンル**／**ミュージックエスコート**／**お気に入り**ボタン)を選択します。



アドバイス

- 録音(REC)した曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲モードを選択する前に**閉じる**ボタンをタッチするとMUSIC STOCKERモード TOP画面に戻ります。

■ 全曲 ボタンをタッチした場合

：トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト



アドバイス

次ページがある場合 ⏫ / ⏬ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

■ アルバム ボタンをタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

アルバムリスト



②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト



アドバイス

●アルバムリスト表示(①)のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。



1. **画面の 登録順 ボタンをタッチする。**
：本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。
※名前順表示に戻したい場合は 名前順 ボタンをタッチしてください。(アルバム名のよみ(“アルバムよみ”)が入っていないと正しく名前順に表示されません。アルバム名のよみが入っているものをリストより名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。(アルバムの編集は☞367～370ページ参照))
※初期状態は名前順表示となっています。

●次ページがある場合 ⏫ / ⏬ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

MUSIC STOCKERを使う(6)

■ アーティストボタンをタッチした場合

：アーティストリストが表示されます。

①再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。



②再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリストの表示とともに曲が再生されます。



③再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。



アドバイス

- 次ページがある場合 ⏫ / ⏬ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- アーティストリスト／アルバムリストには、タイトル名がある(Gracenoteデータベースにヒットした)場合にリストに表示されます。
- アーティストリスト(①)／アルバムリスト(②)表示のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

1. 画面の 登録順 ボタンをタッチする。

：本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は 名前順 ボタンをタッチしてください。(アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並べ替えて表示します。Gracenoteデータベースにヒットし再生画面で正しく表示されている場合でもアーティスト名のよみ（"アーティストよみ"の項目を選択し編集画面にしたとき)に何も入っていないとSHIFT-JIS順表示となります。(☞アルバム／アーティストの編集は366～372ページ参照))



※初期状態は名前順表示となっています。

■ **ジャンル** ボタンをタッチした場合

：ジャンルリストがポップアップ表示されます。

①再生させたいジャンルをタッチする。

：選択したジャンルのトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。



アドバイス

＊ジャンル一覧

・J-ポップ	クラブダンス	・パンク	・ポップ	・演歌
・R&B	・ゴスペル	・ヒップホップ	・メタル	・子供向け
・イージーリスニング	・サウンドトラック	・フォーク	・ラテン	・その他
・オーディオブック	・ジャズ	・フュージョン	・レゲエ	
・カントリー	・テクノ	・ブルース	・ロック	
・クラシック	・ニューエイジ	・ホリデー	・ワールドミュージック	

- ▲▲／▼▼ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- トラックリストはGracenoteデータベースにヒットした（タイトル情報がある）場合にトラックを表示します。
- トラックのジャンル情報はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。

「 再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する 」363、364ページ

MUSIC STOCKERを使う(7)

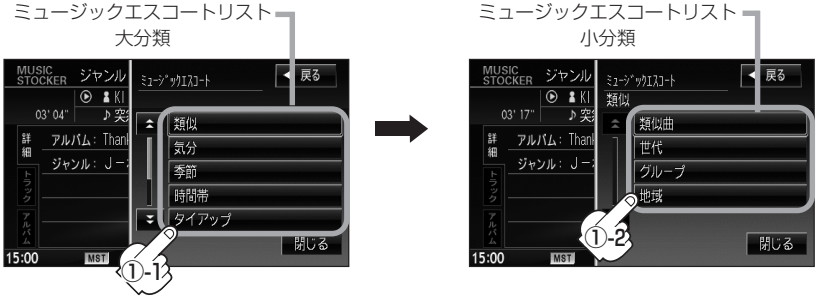
■ **ミュージックエスコート** ボタンをタッチした場合

：ミュージックエスコートリストが表示されます。

①再生させたいミュージックエスコートの大分類、小分類を選択していく。

：選択した小分類のトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

※大分類／小分類につきましては右記表(アドバイス内)をご覧ください。



②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

※トラックは10曲まで表示されます。
他の10曲を表示したい場合は再選曲をしてください。
(下記)



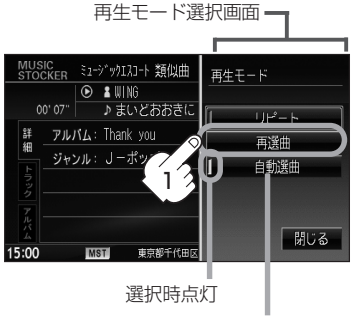
□ **再選曲をする場合**

再生モード選択画面のとき、再生させる曲を選択しなおすことができます。

※再生モード選択画面はMUSIC STOCKERモード TOP画面のとき **再生モード** ボタンをタッチして表示させます。
(391ページ)

1. **再選曲** ボタンをタッチする。

：選択中の小分類の中から本機が再選曲しなおし、曲を再生します。



自動選曲 ボタンをタッチし、表示灯点灯すると選択した小分類のトラックリストを再生し終わると、自動で小分類の中から再選曲を行ないます。

アドバイス

- ミュージックエスコートの各分類は以下のとおりとなります。

大分類	小分類
類似	類似曲／世代／グループ／地域
気分	ノリノリ／リラックス／レジャー／ロマンティック／クール
季節	春／夏／秋／冬
時間帯	早朝／朝／昼／夜／深夜
タイアップ	CMソング／ドラマ主題歌／ゲームソング／映画主題歌／テレビ主題歌
シチュエーション	海沿い／都市／ハイウェイ／雨／晴れ／雪
イベント	クリスマス／バレンタイン／卒業／誕生日／入学／結婚
年代	60年代／70年代／80年代／90年代／00年代

- ミュージックエスコートにはMCDB（CD収録属性）を利用した主観的楽曲（テンポ・シチュエーション・季節など）が自動でふり分けられます。多角的な管理の実現により気分に合わせた選曲が可能です。
- 次ページがある場合 ▲ ／ ▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 再生させたいミュージックエスコートを選択した場合ランダム／スキャン再生はできません。
  ☞355ページ
- トラックリストはGracenoteデータベース／MCDBデータベースにヒットした（タイトル情報がある）場合にトラックを表示します。
- トラックリストに表示されるトラックはミュージックエスコートを選択するごとに再編成され任意に決めるため、同じ並びでリスト表示されるとは限りません。
- 楽曲によってはユーザーの主観とは違う分類にふり分けられることがあります。
- 類似曲を検索してもユーザーの主観とは異なる楽曲が選択されることがあります。
- ミュージックエスコートリストの
  - ・類似曲とは現在の再生曲に類似した曲
  - ・世代とは再生曲のアーティストが活動した年代の曲
  - ・グループとは再生曲のアーティストタイプ（ソロ／デュエット／グループ）の曲
  - ・地域とは再生曲のアーティストが活動した地域の曲
  - ・年代とは再生中のアルバムが発表された年代の曲

  を基準としてトラックリストを作成します。
- トラックのミュージックエスコート属性はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。
  ☞「（再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する）」363、364ページ

MUSIC STOCKERを使う(8)

■ お気に入り ボタンをタッチした場合

：お気に入りリストが表示されます。

①再生させたいお気に入りアルバム1～4または お気に入りトラック1～4をタッチする。



アドバイス

- MUSIC STOCKERモード TOP画面で 登録 ボタンをタッチしてお気に入り登録をしていないと、下記手順1.以降の操作はできません。
- 1つのお気に入りアルバムに200アルバム、1つのお気に入りトラックに200曲の登録が可能です。

「 再生中の曲をお気に入り登録する 」361ページ

□ お気に入りアルバム1 をタッチした場合

：お気に入りアルバム1に収録されているアルバムリストを表示します。

1. 再生したいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



2. 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。



□ お気に入りトラック1 をタッチした場合

：お気に入りトラック1に収録されているトラックリスト表示とともにリストの1番上の曲が再生されます。

1. 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。



アドバイス

次ページがある場合 ⏫ / ⏬ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

3 設定を終わるには…

戻る ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

：**戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**閉じる** ボタンをタッチするとMUSIC STOCKERモード TOP画面に戻ります。

アドバイス

ジャンルリスト（☞354ページ）、ミュージックエスコートリスト（☞355ページ）、お気に入りリスト（☞357ページ）で再生させたいジャンル、ミュージックエスコート、お気に入り登録曲を選択したとき該当するトラックがない（Gracenoteデータベース／MCDBデータベースにヒットしない、またはお気に入り登録していない）場合、リストには何も表示されません。さらに表示部（アルバム）は“－－－”となります。

MUSIC STOCKERを使う(9)

再生モードを選択する

再生モード(リピート／ランダム／スキャン)を選択することができます。

(例)MUSIC STOCKERモード TOP画面



1 **再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

下記手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

2 再生したいモード(**リピート** ／ **ランダム** ／ **スキャン** ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

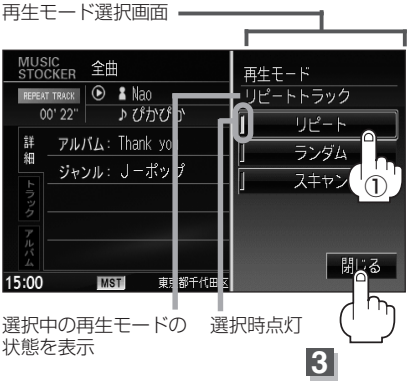
(表示灯点灯／TOP画面で REPEAT TRACK マーク表示有)

↓

通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

3

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、リスト内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの曲をランダム再生

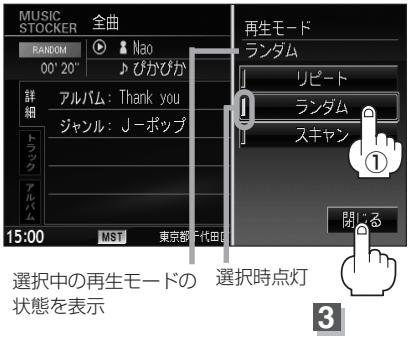
(表示灯点灯／TOP画面で RANDOM マーク表示有)

↓

通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

3

アドバイス

- ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が連続で再生されることがあります。
- 選曲モード(☞355ページ)の中で **ミュージックエスコート** ボタンを選択しているときランダム再生はできません。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの曲をスキャン再生

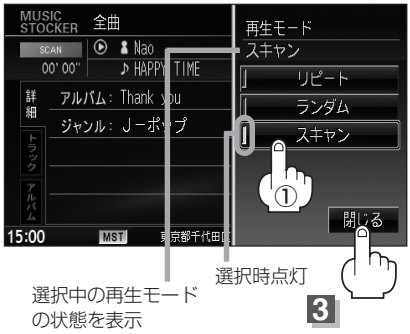
(表示灯点灯／TOP画面で SCAN マーク表示有)

↓

通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

再生モード選択画面



アドバイス

- スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。
- 選曲モード(☞355ページ)の中で **ミュージックエスコート** ボタンを選択しているときスキャン再生はできません。

3 設定を終わるには…

閉じる ボタンをタッチする。

：MUSIC STOCKERモード TOP画面に戻ります。

アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

MUSIC STOCKERを使う(10)

再生中の曲をお気に入り登録する

再生中の曲をお気に入り登録してオリジナルリスト(お気に入りのアルバムだけを集めた“お気に入りアルバム”／お気に入りの曲だけを集めた“お気に入りトラック”)を作成することができます。

1 **登録** ボタンをタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。



2 **お気に入り** ボタンをタッチする。

：お気に入り登録画面が表示されます。

※MUSIC STOCKER再生中はお気に入り登録できません。
はい ボタンをタッチして再生を停止してください。

登録メニュー画面



ジャンル ボタン
1曲またはアルバムのジャンルを変えたいときに使用します。
363ページ参照

ミュージックエスコート ボタン
再生中トラックのミュージックエスコートの小分類を変えたいときに使用します。
364ページ参照

3 **再生中トラックのアルバムを登録したい場合はお気に入りアルバム1～4の中から、再生中トラックを登録したい場合はお気に入りトラック1～4の中から登録したい場所をタッチする。**

：選択したお気に入りに登録され、上記手順 **1** の画面に戻ります。

お気に入り登録画面

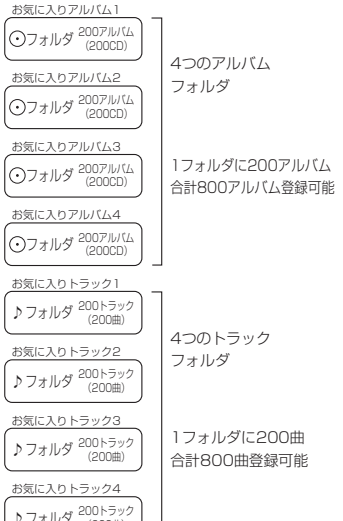
アルバム名／トラック名を表示(長い場合は途中までの表示となります。)



アドバイス

- 1つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。
- お気に入りフォルダの名前を変更したり登録したアルバムやトラックを削除することができます。
  ☞「お気に入りを管理する」379、380ページ、
- 再生していない曲をリストより選択してお気に入り登録することもできます。
  ・アルバムを登録するときは
  ☞「曲管理(アルバムリストの編集)」366ページ手順 1 ～ 3 と372ページ■ お気に入り登録 ボタンをタッチした場合
  にしたがって操作する。
  ・トラックを登録するときは
  ☞「曲管理(トラックリストの編集)」373ページ手順 1 、 2 と372ページ■ お気に入り登録 ボタンをタッチした場合
  にしたがって操作する。

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成



MUSIC STOCKERを使う(11)

再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する

本機によってふり分けられたミュージックエスコートの分類やジャンルをお好みにあわせて設定しなおすことができます。

1 **登録**ボタンをタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。



2 設定しなおしたい(**ジャンル**／**ミュージックエスコート**ボタン)をタッチする。

※MUSIC STOCKER再生中は設定できません。
はいボタンをタッチして再生を停止してください。

■ ジャンルを変更したい場合

①**ジャンル**ボタンをタッチする。

：ジャンル登録画面が表示されます。



②**アルバム単位**または**トラック単位**ボタンをタッチする。



選択中アルバムのジャンル変更となります。

選択中トラックのジャンル変更となります。

③お好きなジャンルをタッチする。

：ジャンルは変更(登録)されMUSIC STOCKERモード TOP画面に戻ります。



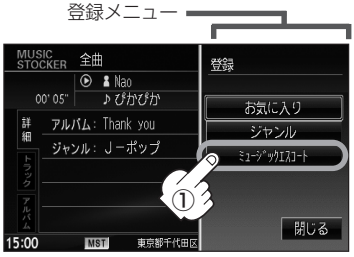
選択中のトラック名またはアルバム名を表示

※ジャンルの種類につきましては354ページアドバイス内「＊ジャンル一覧」をご覧ください。

■ ミュージックエスコートの分類を変更したい場合

① ミュージックエスコート ボタンをタッチする。

：ミュージックエスコート登録画面が表示されます。

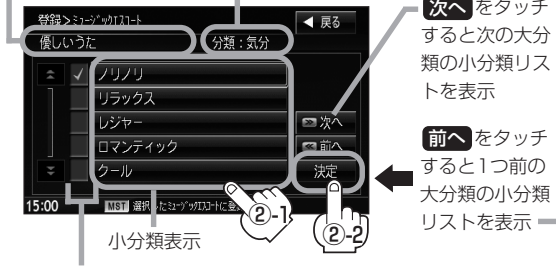


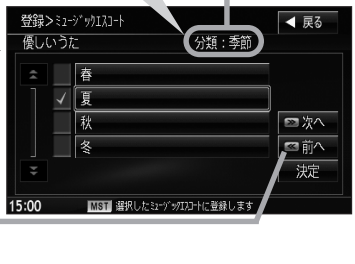
②リストより小分類を選択し、 決定 ボタンをタッチする。

：ミュージックエスコート（分類）は変更（登録）され、
MUSIC STOCKERモード TOP画面に戻ります。

次へ ／ 前へ ボタンタッチで大分類が
気分 ⟷ 季節 ⟷ 時間帯 ⟷ タイアップ ⟷ イベント ⟷ シチュエーション
と切り替わる

ミュージックエスコート登録画面





リストをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。
✔ 表示：設定されています。
■表示：設定されていません。

分類	
大分類	小分類
気分	ノリノリ／リラックス／レジャー／ロマンティック／クール
季節	春／夏／秋／冬
時間帯	早朝
・	・
・	・
・	・

- ミュージックエスコートの大分類／小分類の一覧につきましては ☞356ページアドバイスをご覧ください。
- ミュージックエスコートの分類をお様が変更する場合、各分類につき1つずつしか属性を設定できません。

アドバイス

- 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- ▲ ／ ▼ ボタンタッチでページ戻し／送り表示することができます。

MUSIC STOCKERを使う(12)

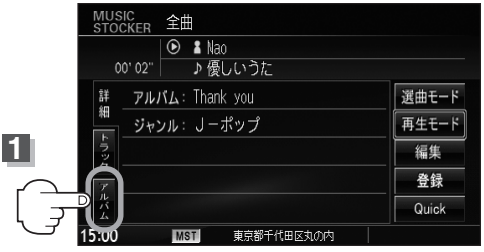
好きなアルバムを選ぶ

アルバムごとに選択することができます。

1 MUSIC STOCKERモード TOP画面が詳細表示のとき、**アルバム**ボタンをタッチする。

：登録されているアルバムが表示されます。

(例) MUSIC STOCKERモード TOP画面(詳細表示)



2 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムが表示されます。

(例) アルバムリスト表示時



アドバイス

- ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入りトラック*再生中は**アルバム**ボタンは選択できません。
  (*：お気に入りアルバムの場合は選択できます。)
- MUSIC STOCKERモード TOP画面は選択するボタンによって詳細表示／トラックリスト表示／アルバムリスト表示が異なります。
- 選曲モードがアーティストの場合、選択しているアーティストのアルバムのみリストに表示されます。

(例) トラックリスト表示時



曲管理(アルバムリストの編集)

アルバム名の変更や再生選択、お気に入り登録、アルバムの削除などをすることができます。また、ジャンルの変更やデータベースの再検索などもすることができます。

1 **編集** ボタンをタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。

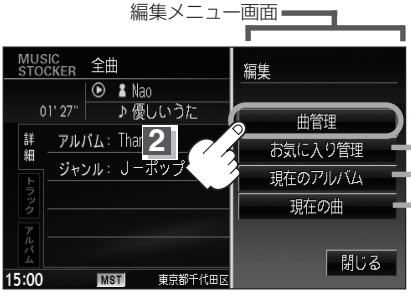


2 編集メニューより **曲管理** ボタンをタッチする。

：曲管理画面が表示されます。

※MUSIC STOCKER再生中は編集メニューのボタンを選択できません。**はい** ボタンをタッチして再生を停止してください。

編集メニュー画面



お気に入り管理 ボタン
お気に入りフォルダ名の変更や削除などをすることができます。
☞379、380ページ

現在のアルバム ボタン
アルバム編集画面を表示します。
☞367、368ページ

現在の曲 ボタン
トラック編集画面を表示します。
☞374ページ

3 編集したいアルバムを選択し、操作したい(**アルバム編集** ／ **再生選択** ／ **お気に入り登録** ／ **削除** ボタン)をタッチします。

※トラックの編集(**トラック表示** ボタンにつきまして)は☞「(**曲管理(トラックリストの編集)**)」373～378ページをご覧ください。

曲管理画面



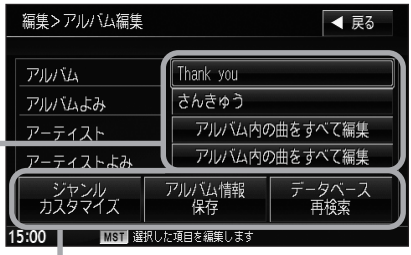
MUSIC STOCKERを使う(13)

■ アルバム編集 ボタンをタッチした場合

：アルバム編集画面が表示されます。

アルバム編集画面ではタイトル名の編集のほかに、ジャンルの変更やアルバム情報の保存、データベースの再検索をすることができます。

アルバム編集画面



タイトル名の編集をする場合は
下記参照

お好きなジャンルに変更したりアルバム情報の保存やデータベースの再検索をする場合は
369、370ページ参照

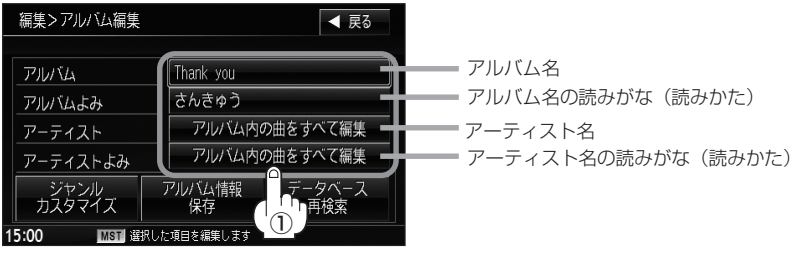
□ タイトルの編集をするときは…

※アルバム名／アーティスト名や、アルバム名／アーティスト名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

①編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

アルバム編集画面



アドバイス

- アーティスト名(**アルバム内の曲をすべて編集**)は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。
  ※選択しているアルバムのアーティスト名が一括で変更となります。
- アルバム編集画面の情報はアルバムリスト画面(352ページ)／アーティストリスト画面(353ページ)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- アーティスト名／アーティスト名の読みがなを入力しても編集画面には表示されません。変更状態はトラック編集画面(374ページ)から確認することができます。
  ※再生画面(MUSIC STOCKERモード TOP画面の詳細表示)からアーティスト名の確認ができます。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は**データベース再検索**ボタンをタッチしてください。

②入力する。

※入力できる文字数は全角32(半角64)文字です。

番号順に操作してください。

ひらがなとカタカナを入力する場合

例「わワ」と入力する場合

入力した文字を訂正する場合
① **訂正** ボタンをタッチする。
：1文字消去します。
※全ての文字を訂正する場合は、**訂正** ボタンを1.5秒以上タッチします。
②正しい文字を入力する。

← **→** をタッチしてカーソルの位置を変えることができます。

1 **わ** ボタンをタッチする。
：画面上部に、「わ」があらわれます。

3 **ワ** ボタンを選び、タッチする。(画面上部に、「ワ」があらわれる。)

1文字分のスペースを空けます。

タイトル編集画面



50音パレット

2 **カナ** ボタンをタッチする。
：50音パレットがカタカナに変わります。
※タッチするたびに
カナ → **英数** → **かな** → **カナ**
と切り替わります。用途に合わせて切り替えてください。

小文字に変換したい場合
小文字 ボタンをタッチする。
：50音パレットが選択可能な文字のみ小文字に変わります。
※タッチするたびに **小文字** ↔ **大文字** と切り替わります。用途にあわせて切り替えてください。

漢字を入力する場合

例「桜」を入力する場合

漢字に変換するひらがなの範囲を変えたい場合に **←** **→** ボタンを選択します。



2 **変換** ボタンをタッチする。
：さくらに該当するリストが表示されます。



3 **桜** ボタンをタッチする。
：画面上部に「桜」と表示されます。
※リストをタッチする前に **閉じる** ボタンをタッチすると何も選択しないままリストを閉じます。

1 **さ** **く** **ら** ボタンをタッチする。
：画面上部に「さくら」と表示されます。

●次ページがある場合 **▲** / **▼** ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

※ **無変換** ボタンをタッチすると入力したひらがなを漢字に変換せず、確定します。
※ **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

③入力が終わったら…

画面の 決定 ボタンをタッチする。

：変更が保存され、アルバム編集画面に戻ります。

MUSIC STOCKERを使う(14)

□ **ジャンルを変更するときは…** ※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

①ジャンルカスタマイズボタンをタッチする。

：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

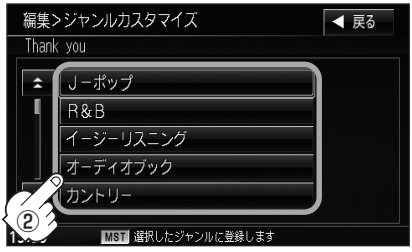
アルバム編集画面



②お好きなジャンルボタンをタッチする。

：選択中アルバムのジャンルは変更され、アルバム編集画面に戻ります。

ジャンルカスタマイズ画面

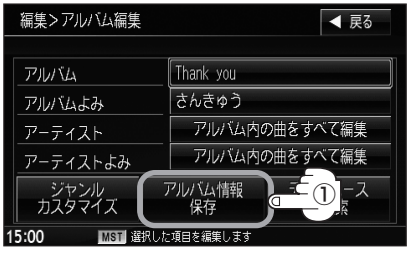


□ **アルバム情報を保存するときは…** ※本機に収録されていないタイトル情報を本機のGracenoteデータベースフォルダに保存します。

①アルバム情報保存ボタンをタッチする。

：アルバム情報を保存し、アルバム編集画面に戻ります。

アルバム編集画面



アドバイス

保存した情報はカスタムアップデート(個別更新)をすることによって未収録だったタイトルを付加(取得)することができます。

カスタムアップデート(個別更新)

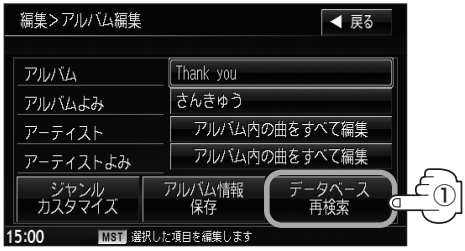
1. Gracenote音楽認識サービスよりタイトル情報を取得する。(305ページ手順①～⑥)
2. データベース再検索を行なって取り込んだタイトル情報を本機で反映する。(306ページ手順⑦～⑨)

□ データベースから再検索するときは…

※誤ったタイトル(アルバム名／アーティスト名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。
(上書きできない場合もあります。)
編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

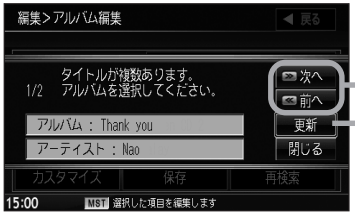
① **データベース再検索** ボタンをタッチする。
：タイトル情報を更新し、アルバム編集画面に戻ります。

アルバム編集画面



アドバイス

タイトル情報が複数ある場合はお好きなアルバム名を選択することができます。
※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。



1
次へ ／ **前へ** をタッチして次のアルバム名を表示させることができます。

2
上書きするアルバム名が決まったら **更新** をタッチします。

MUSIC STOCKERを使う(15)

■ 再生選択 ボタンをタッチした場合　※✔マークのアルバムのみ再生させることができます。

：再生選択画面が表示されます。

①再生させたくないアルバムをタッチする。

(例)再生選択画面



アルバムを一括で選択することができます。
(すべてのアルバムにチェックマーク(✔)が付きます。)

選択したアルバムを止める(取り消す)ことができます。
(すべてのアルバムのチェックマーク(✔)を消します。)

アルバムをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。

✔ 表示：このアルバムは再生されます。
■表示：このアルバムは再生されません。

② 決定 ボタンをタッチする。

：曲管理画面に戻ります。



アドバイス

- ✔マークを消して再生しない設定にしても、本機(MUSIC STOCKER)内の音楽(アルバム)は存在したままとなります。また、ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入りのリストには反映されません。
- 本機の登録アルバム数が100以上の場合、再生選択画面に 前へ ／ 次へ ボタンが表示されます。

※ 前へ ／ 次へ ボタンをタッチして100アルバムごとの再生選択をしてください。

■ お気に入り登録 ボタンをタッチした場合

※アルバムリスト(☞366ページ)より好きなアルバムを選び、お気に入り登録することができます。

：お気に入り登録画面が表示されます。

①登録したい場所(お気に入りアルバム1～4)をタッチする。

：選択したお気に入りにアルバムが登録され、曲管理画面に戻ります。

お気に入り登録画面



アドバイス

- 1つの“お気に入りアルバム”に登録できるアルバム数は200です。合計800アルバムの登録が可能です。
- トラックリストより好きなトラックを選び、お気に入り登録するには373ページをご覧ください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。
  ☞「 再生中の曲をお気に入り登録する 」361、362ページ

■ 削除 ボタンをタッチした場合 ※アルバムを削除することができます。

：選択したアルバムを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい ボタンをタッチしてください。



⚠注意 **削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のキースイッチの変更)をしないでください。**
他の操作をすると故障の原因となります。
※アルバムを削除すると、お気に入り登録したアルバムやトラックも削除されます。

アドバイス

- 次ページがある場合 ▲▲ ／ ▼▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

MUSIC STOCKERを使う(16)

曲管理(トラックリストの編集)

アーティスト名／トラック名の変更や、再生選択、お気に入り登録、トラックの削除をすることができます。

1 366ページ手順 **1** 、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のとき編集したいアルバムを選択し、**トラック表示** ボタンをタッチする。

：曲管理のトラック表示画面が表示されます。

曲管理画面



2 編集したいトラックを選択し、操作したい(**トラック編集** ／ **再生選択** ／ **お気に入り登録** ／ **削除** ボタン)をタッチする。

トラック表示画面



アドバイス

編集したいトラックを選択しなくしても **再生選択** ボタンはタッチ(操作)することができます。

■ **トラック編集** ボタンをタッチした場合

：トラック編集画面が表示されます。

トラック編集画面ではタイトル名の編集のほかに、ジャンルやミュージックエスコートの変更、データベースの再検索（タイトル情報の上書き）をすることができます。

トラック編集画面



タイトル名の編集をする場合は
下記参照

お好きなジャンルやミュージックエスコートに変更したりデータベースの再検索をする場合は
☞375、376ページ参照

□ **タイトルの編集をするときは…**

※アーティスト名／トラック名や、アーティスト名／トラック名の読みがな（読みかた）を編集することができます。

①編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

トラック編集画面



アーティスト名

アーティスト名の読みがな（読みかた）

トラック名

トラック名の読みがな（読みかた）

アドバイス

- アーティスト名（**アーティスト**）は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集（入力）します。（再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし（未表示）の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。
- トラック編集画面の情報はアーティストリスト画面（☞353ページ）の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す（入力前の情報に戻したい）場合は **データベース再検索** ボタンをタッチしてください。

②入力する。

※入力のしかたは368ページを参考にしてください。

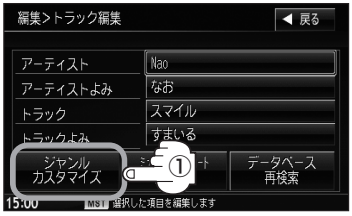
MUSIC STOCKERを使う(17)

□ **ジャンルを変更するときは…** ※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

①ジャンルカスタマイズボタンをタッチする。

：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

トラック編集画面



②お好きなジャンルボタンをタッチする。

：選択中トラックのジャンルは変更され、トラック編集画面に戻ります。

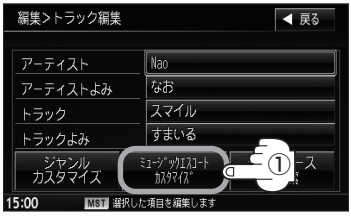
ジャンルカスタマイズ画面



□ **ミュージックエスコート(分類)を変更するときは…** ※本機によってふり分けられたミュージックエスコートの分類を変えたい場合に使用します。

①ミュージックエスコートカスタマイズボタンをタッチする。

：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。



②リストより小分類を選択し、決定ボタンをタッチする。

ミュージックエスコートカスタマイズ画面



選択中のトラック名表示

選択中トラックがどの大分類に属するか表示

小分類表示

リストをタッチするたびに✔ 表示の有無が切り替わります。

✔ 表示：設定されています。

■表示：設定されていません。

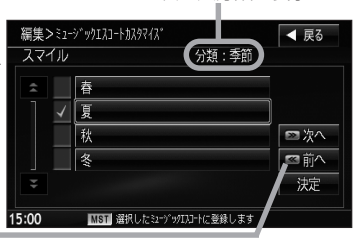
次へ／**前へ**ボタンタッチで大部分が

気分⟷季節⟷時間帯⟷タイアップ⟷イベント⟷シチュエーション⟷と切り替わる

次へをタッチすると次の大分類の小分類リストを表示

前へをタッチすると1つ前の大分類の小分類リストを表示

次の大分類を表示



：ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、MUSIC STOCKERモード TOP画面に戻ります。

※ミュージックエスコートの大分類／小分類(一覧)につきましては 356ページアドバイスをご覧ください。

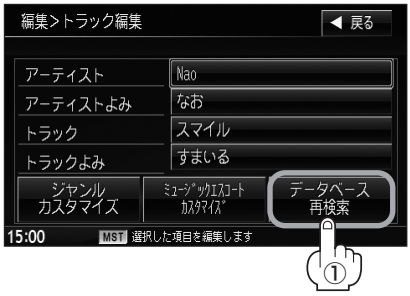
□ データベースから再検索するときは…

※誤ったタイトル(アーティスト名／トラック名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)
編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

① データベース再検索 ボタンをタッチする。

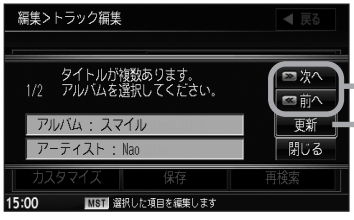
：タイトル情報を更新し、トラック編集画面に戻ります。

トラック編集画面



アドバイス

タイトル情報が複数ある場合はお好きなアルバム名を選択することができます。
※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。



1
次へ ／ **前へ** ボタンをタッチして次のアルバム名を表示させることができます。

2
上書きするアルバム名が決まったら **更新** ボタンをタッチします。

MUSIC STOCKERを使う(18)

■ 再生選択 ボタンをタッチした場合　※✔マークのトラックのみ再生させることができます。

：再生選択画面が表示されます。

①再生させたくないトラックをタッチする。

再生選択画面(例)



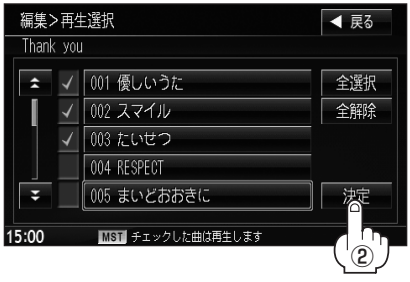
トラックを一括で選択することができます。
(すべてのトラックにチェックマーク(✔)が付きます。)

選択したトラックを止める(取り消す)ことができます。
(すべてのトラックのチェックマーク(✔)を消します。)

トラックをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。
✔ 表示：このトラックは再生されます。
■表示：このトラックは再生されません。

② 決定 ボタンをタッチする。

：曲管理のトラック表示画面に戻ります。



アドバイス

- ✔マークを消して再生しない設定にしても、本機内の音楽(トラック)は存在したままとなります。また、ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入りのリストには反映されません。
- 本機の選択アルバム内のトラック数が100以上の場合、再生選択画面に 前へ ／ 次へ ボタンが表示されます。

※ 前へ ／ 次へ ボタンをタッチして100トラックごとの再生選択をしてください。

■ お気に入り登録 ボタンをタッチした場合

：お気に入り登録画面が表示されます。

※トラック表示画面（☞373ページ）より好きなトラックを選び、お気に入り登録することができます。

①登録したい場所（お気に入りトラック1～4）をタッチする。

：選択したお気に入りにトラックが登録され、曲管理のトラック表示画面に戻ります。

お気に入り登録画面

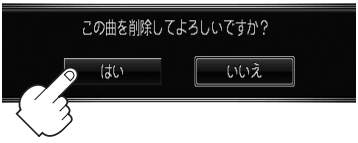


アドバイス

- 1つの“お気に入りトラック”に登録できるトラック数は200です。合計800曲の登録が可能です。
- アルバムリストより好きなアルバムを選び、お気に入り登録するには366ページ手順 1 ～ 3 と372ページをご覧ください。
- 再生中の曲（アルバム）をお気に入り登録することもできます。
  ☞「 再生中の曲をお気に入り登録する 」361、362ページ

■ 削除 ボタンをタッチした場合 ※トラックを削除することができます。

：選択したトラック（曲）を削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい ボタンをタッチしてください。



⚠注意 **削除中は他の操作（モードを切り替えたり車のキースイッチの変更）をしないでください。**
他の操作をすると故障の原因となります。
※トラックを削除すると、お気に入り登録したトラックも削除されます。

アドバイス

- 次ページがある場合 ▲▲ ／ ▼▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 画面の 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

MUSIC STOCKERを使う(19)

お気に入りを管理する

お気に入りフォルダ(お気に入りアルバム1～4／お気に入りトラック1～4)の名前の変更やお気に入りフォルダ内の(アルバム／トラックの)削除をすることができます。

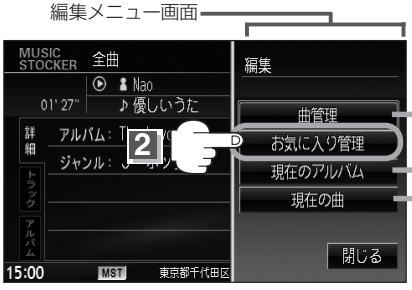
1 **編集** ボタンをタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。



2 編集メニューの **お気に入り管理** ボタンをタッチする。

：お気に入り管理画面が表示されます。



曲管理 ボタン
アルバムの再生選択や編集や削除、お気に入り登録などをすることができます。
☞366～372ページ

現在のアルバム ボタン
アルバム編集画面を表示します。
☞367、368ページ

現在の曲 ボタン
トラック編集画面を表示します。
☞374ページ

3 編集したいお気に入りフォルダ(お気に入りアルバム1～4またはお気に入りトラック1～4)を選択し、操作したい(**フォルダ内表示** ／ **フォルダ名編集** ／ **削除** ボタン)をタッチします。

お気に入り管理画面



▲／▼ボタンタッチで
1ページずつの戻り送り表示

アドバイス

お気に入りリストは4つのお気に入りアルバムフォルダと4つのお気に入りトラックフォルダがあり、1フォルダに最大200アルバムおよび200曲の登録が可能です。
☞362、372、378ページをご覧ください。

■ フォルダ内表示 ボタンをタッチした場合

※選択したお気に入りフォルダ内の確認とアルバムまたはトラックの削除をすることができます。

（選択したアルバムまたはトラックの削除）

：フォルダ内表示画面が表示されます。

①削除するには削除したいアルバムまたはトラックを選択し、 削除 ボタンをタッチする。

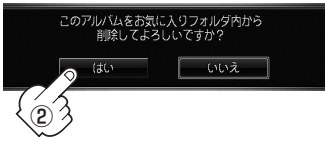
フォルダ内表示画面



手順 3 で選択したフォルダ内の情報（内容）を表示

②削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい ボタンをタッチする。

：選択したアルバムまたはトラックを削除し、フォルダ内表示画面に戻ります。



■ フォルダ名編集 ボタンをタッチした場合

※タイトル（お気に入りアルバム1～4／お気に入りトラック1～4の名前）を変更することができます。

：タイトル編集画面が表示されます。

①画面の50音パレットを使って入力し、 決定 ボタンをタッチする。

※入力のしかたは400ページを参考にしてください。



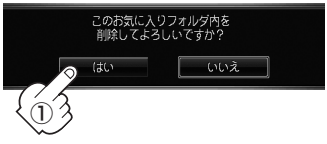
■ 削除 ボタンをタッチした場合

※選択したお気に入りフォルダ（アルバム1～4／トラック1～4）内の曲を一括で削除することができます。

（1フォルダ（最大200アルバム）ごとの削除）

①削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい ボタンをタッチする。

：選択したお気に入りフォルダ内の曲を全て削除し、お気に入り管理画面に戻ります。



アドバイス

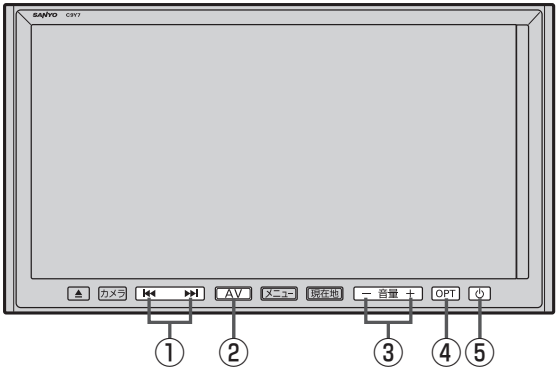
- 次ページがある場合 ▲ ／ ▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 削除中は他の操作（モードを切り替えたり車のキースイッチの変更）をしないでください。故障の原因となります。

ラジオ
〔Radioモード〕

ラジオを使う……383～390
各部の名称とはたらき……383、384
表示部について ……385
ラジオを聞く……385、386
Radioモードを終了する ……386
AM／FM放送を切り替える……387
プリセットを選ぶ ……387
選局する……388、389
プリセットボタンにメモリーする ……390
交通情報を受信する……391～393
道路交通情報を聞く ……391
道路交通情報の周波数をメモリーする ……392
道路交通情報の受信を止める ……393

ラジオを使う(1)

各部の名称とはたらき



① ⏮ ⏭ ボタン(選局)

手動／自動選局に使用します。(388ページ)

② AV ボタン

AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション画面／CD／DVD／MP3／WMA／SD／USB／VTR／MUSIC STOCKER／ワンセグ／Photo／iPodモードからRadioモードに切り替えるときに使用します。

③ －音量＋ ボタン

音量の増減を調整します。
－：音量を下げます。　＋：音量を上げます。

④ OPT ボタン(交通情報)

2秒以上の長押しで道路交通情報を受信します。(391ページ)

⑤ ⏻ ボタン(AV電源)

- AV電源をON／OFFします。(385、386ページ)
- 2秒以上の長押しで画面を消します。(53ページ)

(例)Radioモード(FM)TOP画面
(P1 ／ P2ボタン選択時)



(例)Radioモード(FM)TOP画面
(エリアボタン選択時)



① **P1** ／ **P2** ボタン

ユーザープリセット1(P1)／ユーザープリセット2(P2)を表示します。(387ページ)

② **エリア** ボタン

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を **エリア表示** ボタン(1～12)に表示します。(389ページ)

③ **プリセット** ボタン(1～6)

1.5秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。(390ページ)(エリアボタン選択時は除く)

※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

④ **交通情報** ボタン

道路交通情報を受信します。(391ページ)

⑤ **AM／FM** ボタン

AM／FMを切り替えます。(387ページ)

⑥ **Quick** ボタン

Quick MENUを使用することができます。(544ページ)

⑦ **エリア表示** ボタン(1～12)

エリア ボタンをタッチしたときに表示されます。

⑧ **エリア更新** ボタン

エリア ボタンタッチで表示させた放送局を最新の情報(放送局)で表示します。(389ページ)

ラジオを使う(2)

表示部について



ラジオを聞く

■ 他のモード画面を表示している場合

□ Radio(AM／FM)モード画面でAV電源OFFにしていた場合

①⏻ボタン(AV電源)を押す。

：ラジオ放送を受信します。

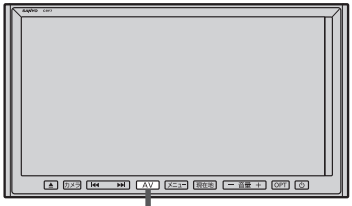


□ ナビゲーション画面またはRadio（AM/FM）モード以外のモード画面の場合

①[AV]ボタンを押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

＊：前回最後に選択していたモード画面（OFF含む）



②Radioボタンをタッチする。

：ラジオ放送を受信します。

AV SOOURCE画面



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」288ページ／
「映像の調整のしかた」535～538ページ／
「オーディオの調整をする」289、290ページ

アドバイス

ラジオ（AM／FM）の音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」542、543ページ

Radioモードを終了する

1 [⏻]ボタン（AV電源）を押す。

：画面に“OFF”と表示されラジオ放送を終了します。





ラジオを使う(3)

AM／FM放送を切り替える

1 **AM／FM ボタンをタッチする。**

：タッチするたびにAM放送↔FM放送を切り替えます。



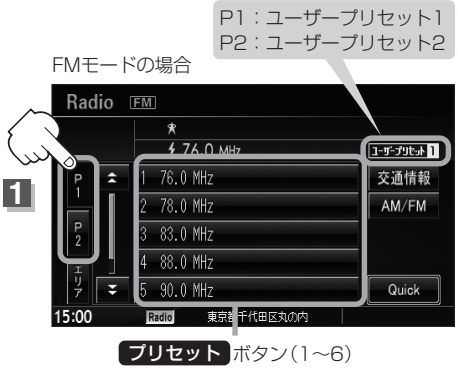
プリセットを選ぶ

P1／P2の中から聞きたいプリセットを選択することができます。

1 **P1 または P2 ボタンをタッチする。**

：上記「AM／FM放送を切り替える」で選択したモード(FM／AM)の **プリセット** ボタン表示となります。

※ **プリセット** ボタンを使っての選局は388ページをご覧ください。



アドバイス

Radioモード TOP画面は選択するボタン(P1／P2またはエリア)によってプリセット表示またはエリア表示となります。

(例) Radioモード TOP画面
プリセット表示時



エリア ボタンタッチ →

← P1／P2 ボタンタッチ

(例) Radioモード TOP画面
エリア表示時

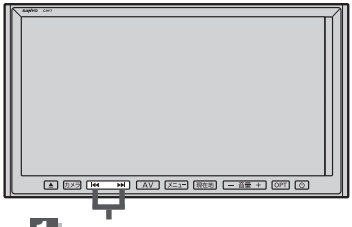


選局する　手動選局／自動選局／プリセット選局／エリア選局があります。

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

⏮ ⏭ボタン（選局）を押す。

：ボタンを押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わります。



1 ⏮ ⏭ボタン（選局）

■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

①⏮ ⏭ボタン（選局）を1秒以上押す。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に⏮ ⏭ボタン（選局）を押すと、自動選局は止まります。

アドバイス

- 選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると STEREO が表示されます。（AMステレオ放送はありません。）
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ ユーザープリセット選局（P1／P2）で放送局を選ぶ場合

プリセット ボタン（1～6）にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

：あらかじめ プリセット ボタン（1～6）に放送局をメモリーしておく必要があります。

「 プリセットボタンにメモリーする 」390ページ

（例）Radioモード（FM）TOP画面

①プリセットを選ぶ。

「 プリセットを選ぶ 」387ページ

②呼び出したい プリセット ボタン（1～6）をタッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。



プリセット ボタン（1～6）

ラジオを使う(4)

■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① エリア ボタンをタッチする。

(例)Radioモード(FM) TOP画面



：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** ボタン(1～12)に表示されます。

エリア表示 ボタン(1～12)
※エリアが6件に満たない場合、表示ボタンの数は減ります。

エリアが6局以上ある場合、▲／▼ボタンをタッチで、ページ戻し／送り表示する。

② エリア表示 ボタン(1～12)の中で聞きたい放送局をタッチする。



：選択したラジオ放送を受信します。

アドバイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数が異なりますので、全ての **エリア表示** ボタンに表示されるとは限りません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- 放送局が6局以上ない場合▼ボタンは表示されません。6局以上ある場合は▼ボタンをタッチして、次の放送局を表示させることができます。前ページの放送局表示に戻る場合は▲ボタンをタッチします。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に **エリア更新** ボタンをタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- Radioモード TOP画面は選択するボタン(**エリア** または **P1** ／ **P2**)によってエリア表示またはプリセット表示となります。387ページアドバイス参照

プリセットボタンにメモリーする

メモリーしたい局を選び、 プリセット ボタン(1～6)にメモリーします。

FM、AMの各バンドで、P1／P2ボタンに6局ずつ、計24局メモリーできます。

1 バンドを選ぶ。

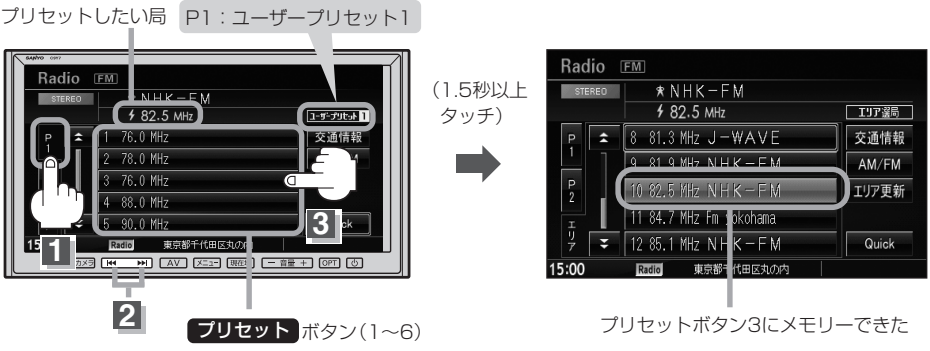
☞「 プリセットを選ぶ 」387ページ

2 ⏮ ⏭ ボタン(選局)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞「■ 手動選局で放送局を選ぶ場合 ／ ■ 自動選局で放送局を選ぶ場合 」388ページ

3 プリセット ボタン(1～6)のうち、メモリーしたいボタンを1.5秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。

例 手順 1 で“FM”の“P1”を、また手順 2 で“82.5MHz”を選び、 プリセット ボタン3にメモリーする場合



アドバイス

- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、 P1 または P2 をタッチし、呼び出したい プリセット ボタン(1～6)を軽く(1.5秒未満)タッチします。

☞「■ ユーザープリセット選局(P1／P2)で放送局を選ぶ場合 」388ページ

交通情報を受信する(1)

道路交通情報を聞く

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1 交通情報を受信します。



①AVボタンを押して
AV SOUCE画面を表示させ、
Radioボタンをタッチする。

：Radioモード TOP画面が表示されます。

※すでにRadioモードを表示している場合は
手順 **1** を省略することができます。

(例) Radioモード TOP画面



②**交通情報**ボタンをタッチする。

：交通情報受信画面になり、AMラジオ局の
道路交通情報を受信します。

アドバイス

- 初期状態は1620kHzに設定されています。
  ※交通情報の周波数は変更することができます。
  「(道路交通情報の周波数をメモリーする)」392ページ
- OPTボタン(オプション)を2秒以上長押しすると、交通情報受信画面に替わります。

交通情報受信画面



道路交通情報の周波数をメモリーする

AMラジオ局の道路交通情報をメモリーすることができます。

1 AMラジオに切り替える。

※ AM ボタンをタッチしAM放送を受信させます。

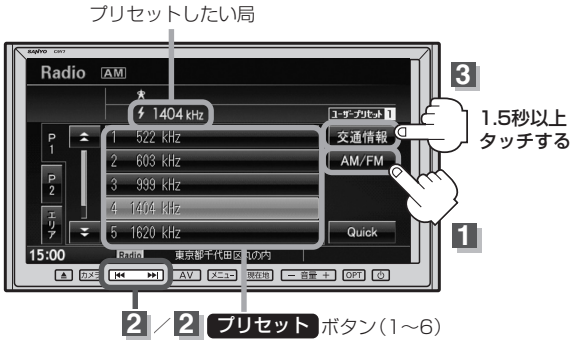
「 AM／FM放送を切り替える 」387ページ

2 ⏮ ⏭ ボタン(選局)を押す、または プリセット ボタンをタッチしてメモリーしたい周波数を受信する。

「 選局する 」388、389ページ

3 交通情報 ボタンを1.5秒以上タッチする。

例 手順 1 で“AM”、手順 2 で “1404kHz”を選び、 交通情報 ボタンにメモリーする場合



メモリーしたあとに、 交通情報 ボタンをタッチしてみると



1404kHzにメモリーできている

アドバイス

次回 交通情報 ボタンをタッチすると、前回メモリーした周波数の交通情報を受信します。

交通情報を受信する(2)

■ 変更した周波数を1620KHzに戻す場合

●交通情報受信画面で、**初期化**ボタンをタッチする。



：周波数が1620KHzに戻ります。

道路交通情報の受信を止める

■ ⏻ ボタン(AV電源)を押す

：画面に“OFF”と表示され交通情報の受信を終了します。

■ **戻る**ボタンをタッチする

：最後に選択していたモードが表示され、交通情報の受信を終了します。

SD再生（SDカード）

SDカードの音楽再生について ……395、396
SDカードを使う ……397～411
各部の名称とはたらき……397、398
表示部（再生画面）について ……399
SDカードを聞く ……400、401
SDモードを終了する ……402
SDカードを取り出す ……402
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ
選曲する（トラックを戻す／進める）……403
早戻し／早送りをする ……404
リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを
選び再生させる……405、406
選曲モードより選択し再生させる……407、408
再生モードを選択する……409～411

SDカードの音楽再生について

パソコンからSDカードにMP3／WMA形式で保存された音楽データを本機で再生することができます。

■SDロゴは商標です。

■SDHCロゴは商標です。

■MP3／WMAは音声圧縮フォーマットです。

※MP3／WMAの説明につきましては325～330ページをご覧ください。

■SDカードについて

- SDカードに記録されている音楽データを本機で編集することはできません。（32GBまでの容量のSDカードに対応しています。）
- SDカードの初期化は本機で行なってください。
- パソコンで2GB以下のフォーマットをする場合はFAT16で行なってください。
  「データを初期化（消去）する」279、280ページ
- SDモードで音楽再生またはSDカードへの録音中にSDカードを抜かないでください。
  ※SDモードを終了（OFF状態に）させてから抜いてください。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDアダプターでご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- 本機で再生する音楽データを含めたSDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
  - 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAにつきましては329、330ページをご覧ください。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

■操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機　能		SDカード（4GB以下）	SDHCカード（4GB以上 32GB以下）	miniSDカード（アダプター必要）	microSDカード（アダプター必要）
音楽データの再生 ☞325～330ページ	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
パソコンWeb連携 ☞55ページ		○	○	○	○

※256MB以上のSDカードの使用を推奨します。
※本機はclass2、class4、class6のSDHCカードに対応しています。

■MP3／WMAの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1メディア内の最大ファイル数：10000／フォルダ内の最大ファイル数：255／最大フォルダ数：200となります。
- 選曲モード（☞407ページ）のフォルダやトラックリストに表示される順番は☞「■階層と再生順序のイメージについて」（327ページ）に従います。同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
  ※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。
- 著作権保護されたWMAは再生できません。

■ファイル名について

- MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”が付いたものだけです。
  ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
  ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。

■ID3タグについて

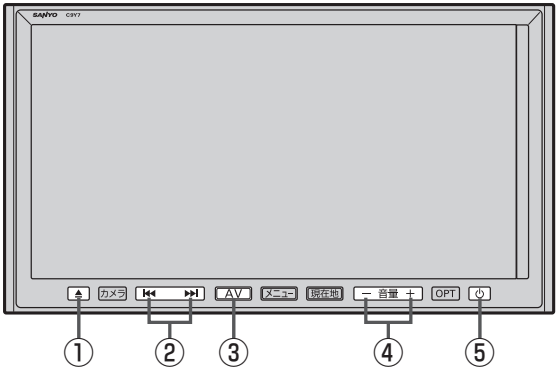
MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名です。
※WMAタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

SDカードを使う(1)

各部の名称とはたらき



① ▲ボタン(OPEN)

パネルをオープンさせて、SDカードを入れる／取り出すときに使用します。

② ⏮ ⏭ボタン(トラック)

好きなファイル・曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(⏮)／早送り(⏭)します。

③ AVボタン

AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション画面／CD／DVD／MP3／WMA／Radio／USB／VTR／MUSIC STOCKER／ワンセグ／Photo／iPodモードからSDモードに切り替えるときに使用します。

④ －音量＋ボタン

音量の増減を調整します。
－：音量を下げます。　＋：音量を上げます。

⑤ ⏻ ボタン(AV電源)

- AV電源をON／OFFします。(401、402ページ)
- 2秒以上の長押しで画面を消します。(53ページ)

（例）SDモードTOP画面（詳細表示）



① **詳細**ボタン

再生中のトラックの詳細情報を表示します。

② **トラック**ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。（405、406ページ）

③ **フォルダ**ボタン

フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。（405、406ページ）

④ **選曲モード**ボタン

選曲モード（全曲／フォルダ）から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。（407、408ページ）

⑤ **再生モード**ボタン

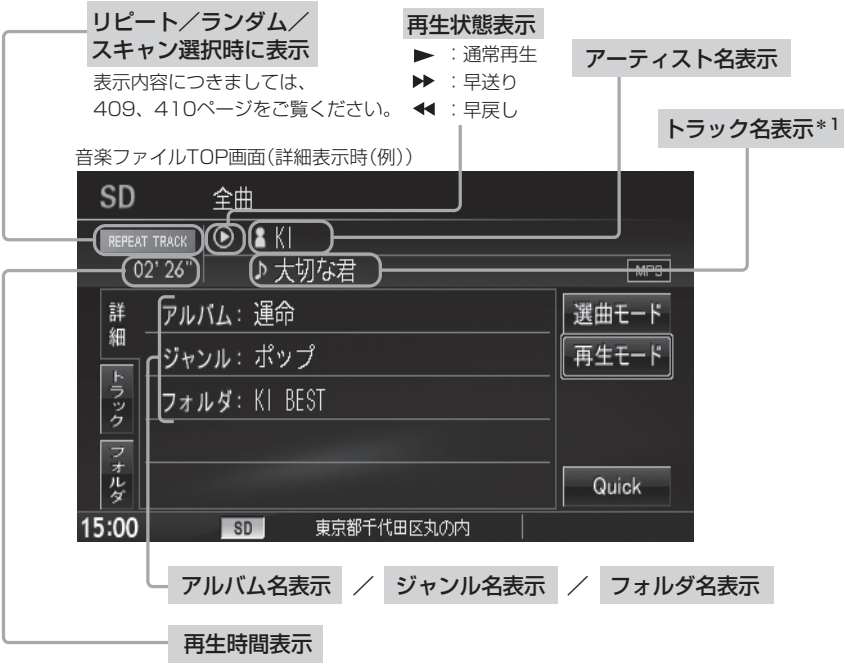
リピート／ランダム／スキャンの選択をすることができます。（409～411ページ）

⑥ **Quick**ボタン

Quick MENUを使用することができます。（544ページ）

SDカードを使う(2)

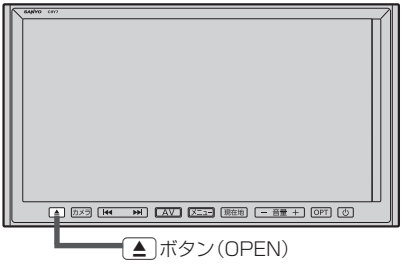
表示部(再生画面)について



アドバイス

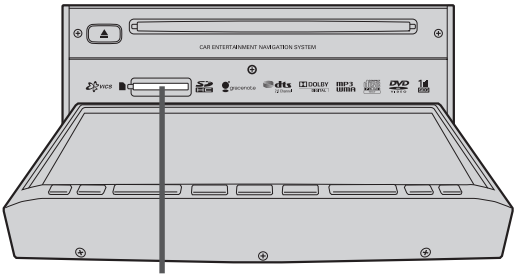
- トラック名／フォルダ名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名／アーティスト名が記録されていない場合は、"No Title"と表示されます。
  ※*1印：トラック名がない場合はファイル名を表示します。
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(トラック名／フォルダ名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

[ディスプレイが閉じた状態]



▲ボタン(OPEN)

[ディスプレイが開いた状態]



SDカード挿入口

SDカードを聞く

■ SDカード未挿入の場合

1 **▲ボタン(OPEN)を押す。**

：ディスプレイが開きます。

2 **SDカード挿入口にSDカードを差し込む。**

アドバイス

- SDカードを差し込むには「SDカードを入れる／取り出すには」51ページをご覧ください。
- SDカードについては「SDカード／USBメモリデバイスについて」42、43ページ、「SDカードの音楽再生について」395、396ページをご覧ください。

SDカードを使う(3)

3 ▲ ボタン(OPEN)を押す。

：ディスプレイ部が閉じます。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ SDモード画面でAV電源OFFしていた場合

①⏻ ボタン(AV電源)を押す。

：前回のつづきからSDの再生を始めます。

※AV ボタンを押し、SD ボタンをタッチしてもSDの再生を始めます。



① ⏻ ボタン(AV電源)

□ ナビゲーション画面またはSDモード以外のモード画面の場合

①AV ボタンを押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

■ AV SOURCE画面のときは…

下記手順②へ進んでください。

■ ラストモード*画面のときは…

もう一度AV ボタンを押す。

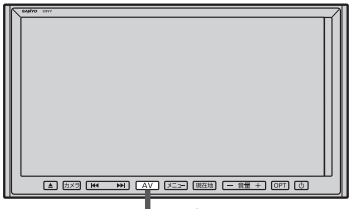
：AV SOURCE画面が表示されます。

＊：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

②SD ボタンをタッチする。

：SDの再生を始めます。

※録音中はSDカードの再生はできません。



① AV ボタン

AV SOURCE画面



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」288ページ
「オーディオの調整をする」289、290ページ
「映像の調整のしかた」535～538ページ

アドバイス

SDカードの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」542、543ページ

SDモードを終了する

1 ①⏻ボタン(AV電源)を押す。

：画面に“OFF”と表示されSDの再生を止めます。



1 ⏻ ボタン(AV電源)

SDカードを取り出す

1 ⏏ボタン(OPEN)を押す。

：ディスプレイが自動で開きます。

2 SDカードを“カチッ”と音がするまで押したあと、取り出す。

アドバイス

- SDカードを取り出して再度同じSDカードを挿入し再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
  ※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDモードを終了(OFF)にして取り出してください。

SDカードを使う(4)

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)

■ 前のトラックに戻る場合

⏮側を2回押す。*

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭側を押す。

アドバイス

- ＊印：曲が再生されてから3秒以内に⏮側を1回押しても前のトラックに戻ります。
- 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

「リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選び再生させる」405、406ページ

早戻し／早送りをする

1 ⏮ ⏭ボタン（トラック）を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

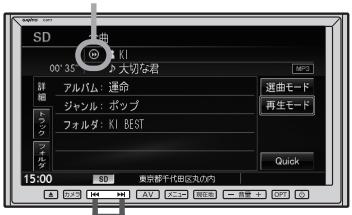
■ 早戻しで戻る場合

⏮側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭側を押し続ける。

再生状態表示
▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し



1 ⏮ ⏭ボタン（トラック）

アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。

SDカードを使う(5)

リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選び再生させる

選曲モード(☞407、408ページ)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックまたはフォルダをリストより選択再生させることができます。

1 トラック ボタンまたは
フォルダ ボタンをタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

(例) 詳細表示時



■ トラック ボタンをタッチした場合

：トラックリストが表示されます。

アドバイス

選曲モード(☞407、408ページ)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックリスト表示となります。

■ フォルダ ボタンをタッチした場合

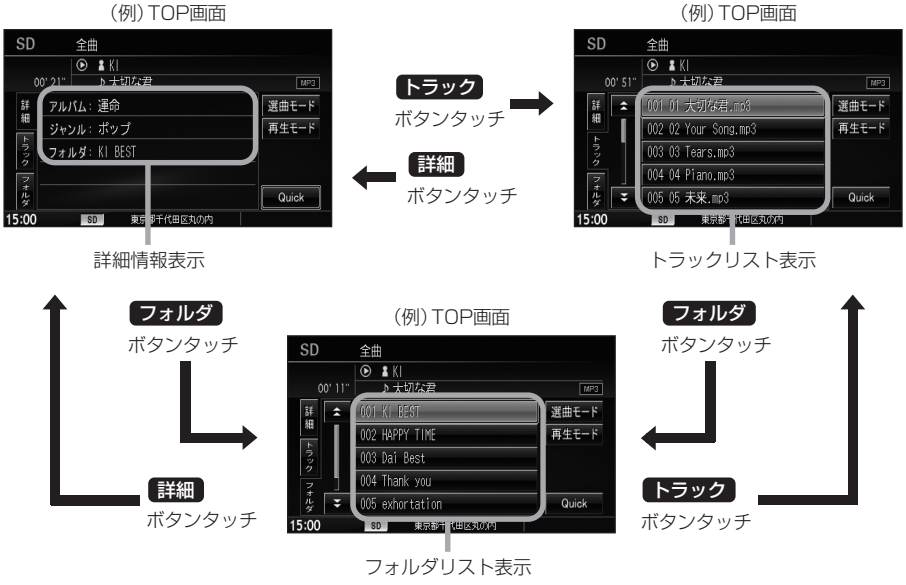
：フォルダリストが表示されます。

アドバイス

選曲モード(☞407、408ページ)でフォルダを選択した場合は、選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

アドバイス

TOP画面は選択するボタン(**詳細**／**トラック**／**フォルダ**ボタン)によって詳細表示／トラックリスト表示／フォルダリスト表示となります。



2 再生させたいトラックまたはフォルダをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面((例)トラックリスト表示時)



／ボタンタッチでページ戻し／送り表示

アドバイス

TOP画面を詳細表示に戻したい場合は**詳細**ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

SDカードを使う(6)

選曲モードより選択し再生させる

聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。

SDモード TOP画面((例)詳細表示時)



1 **選曲モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に選曲モード画面がポップアップ表示されます。

2 選曲モードより選曲する方法を選択する。

：**全曲** ／ **フォルダ** ボタンより選択する。



選曲モード

■ **全曲** ボタンをタッチした場合

：トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面(例)



■ **フォルダ** ボタンをタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

①再生させたいフォルダをタッチする。

：選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

フォルダリスト画面



フォルダリスト

②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面



トラックリスト

3 設定を終わるには…

戻る ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

：**戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**閉じる** ボタンをタッチするとSDモードTOP画面に戻ります。

アドバイス

次ページがある場合 ▲▲ ／ ▼▼ ボタンタッチでページ戻し／送り表示をします。

SDカードを使う(7)

再生モードを選択する(リピート／ランダム／スキャン再生)

再生モード(リピート／ランダム／スキャン)を選択することができます。

1 **再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

(例) SDモード TOP画面



下記手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

2 再生したいモード(**リピート** ／ **ランダム** ／ **スキャン** ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

リピート ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

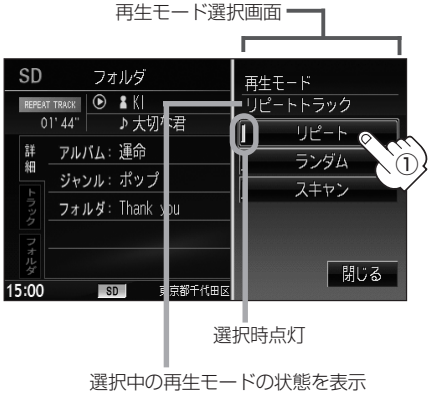
今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯／TOP画面で REPEAT TRACK マーク表示有)

↓

通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)



■ ランダム(順序不同)再生する場合

①［ランダム］ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、リスト内の曲を順序不同再生します。

［ランダム］ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

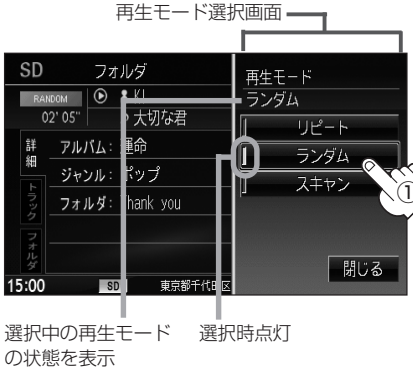
今聞いているリストの曲をランダム再生

(表示灯点灯／TOP画面で RANDOM マーク表示有)

↓

通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)



アドバイス

ランダム再生は、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決められるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

①［スキャン］ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

［スキャン］ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

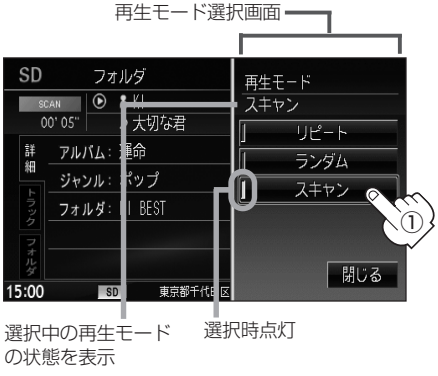
今聞いているリストの曲をスキャン再生

(表示灯点灯／TOP画面で SCAN マーク表示有)

↓

通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)



アドバイス

スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

SDカードを使う(8)

3 **設定を終わるには…**

閉じる ボタンをタッチする。

：SDモード TOP画面に戻ります。



アドバイス

- マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。
- 選曲モードでフォルダを選択している場合は、選択しているフォルダのランダム／スキャン再生となります。

USB

USBメモリデバイスの音楽再生について…413、414
USBメモリデバイスを使う ……415～429
各部の名称とはたらき……415、416
表示部（再生画面）について ……417
USBメモリデバイス／iPodコード（USB接続用）を
本機に接続するには ……418
USBメモリデバイスを聞く……419
USBモードを終了する……420
USBメモリデバイス／iPodコード（USB接続用）の
接続をやめるには ……420
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する
（トラックを戻す／進める）……421
早戻し／早送りをする ……422
USBフラッシュメモリのリスト表示より
好きなトラックを選び再生させる……423、424
選曲モードより選択し再生させる……425、426
再生モードを選択する
（リピート／ランダム／スキャン再生）……427～429
好きなフォルダを選ぶ ……429

USBメモリデバイスの音楽再生について

パソコンからUSBメモリデバイス（USBフラッシュメモリ）にMP3／WMA形式で編集された音楽データを本機で再生することができます。また、iPodをUSBケーブルで接続することにより、iPodの音楽データを本機で再生できます。（映像データは再生できません。）iPodの音楽再生については
「iPodを使う」513〜533ページをご覧ください。
※本機は、USB音楽プレイヤーに対応しておりません。

■MP3／WMAは音声圧縮フォーマットです。
※MP3／WMAの説明につきましては325〜330ページをご覧ください。

■USBメモリデバイスについて

- マスストレージクラスのUSBフラッシュメモリ（USBメモリデバイス）に対応しています。（32GBまでの容量に対応しています。）
- パーティションが複数あるデバイスには対応していません。
- 電流が500mAを超えるデバイスには対応していません。
- パソコンに接続した際、ドライバを要求されるデバイスには対応していません。
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSBメモリデバイスには対応していません。
- USB接続のカードリーダーには対応していません。SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロットを使用してください。
- USBメモリデバイスに記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USBメモリデバイスの音楽再生中にUSBメモリデバイスを外さないでください。
  ※USBモードを終了（OFF状態に）させてから外してください。
- FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- すべてのUSBメモリデバイスの動作保証するものではありません。
- 本機の車から出ているUSBケーブルを使用して接続してご使用ください。
  ※市販のiPodに付属しているiPodコード（USB接続用）を使用するとUSBモードでiPodの音楽再生をすることができます。「iPodを使う」513〜533ページ
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSBメモリデバイスの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

■MP3／WMAの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行われない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／フォルダ内の最大ファイル数：255／最大フォルダ数：200／メディア内の最大ファイル数：10000となります。

●選曲モードのリストに表示される順番は「■階層と再生順序のイメージについて」(☞327ページ)に従います。同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想されている順とは異なった順で表示されることがあります。

※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号を付けてフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

■ファイル名について

●MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”が付いたものだけです。

※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。

※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

●表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

●フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

●ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。

●ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。

●ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。

●本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名です。

※WMAタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAにつきましては☞329、330ページを参照ください。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

■市販のiPodコード(USB接続用)について

付属のUSBケーブルに市販のiPodに付属しているiPodコード(USB接続用)を使用するとiPod内の音楽再生をすることができます。

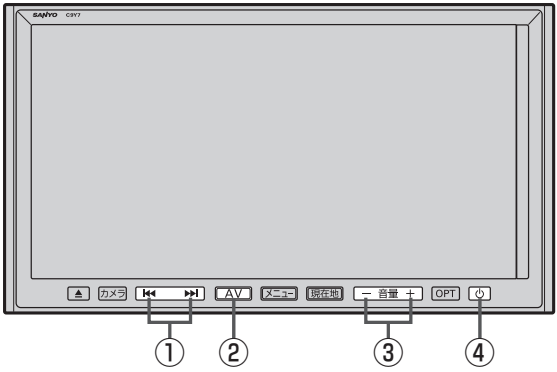
※ビデオモードは再生することができません。ビデオモードを再生するには別売のiPod接続アダプターをお買い求めください。

※iPodについては、iPodの章をご覧ください。

USBメモリデバイスを使う(1)

各部の名称とはたらき

主な操作画面は代表としてUSBフラッシュメモリ接続時を記載しています。



① ⏮ ⏭ ボタン(トラック)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(⏮)／早送り(⏭)します。
(421、422ページ)

② AV ボタン

AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション画面／CD／DVD／MP3／WMA／Radio／SD／VTR／MUSIC STOCKER／ワンセグ／Photo／iPodモードからUSBモードに切り替えるときに使用します。

③ －音量＋ ボタン

音量の増減を調整します。
－：音量を下げます。　＋：音量を上げます。

④ ⏻ ボタン(AV電源)

- AV電源をON／OFFします。(419、420ページ)
- 2秒以上の長押しで画面を消します。(53ページ)

USBモードTOP画面（(例)詳細表示時）



① **詳細** ボタン

トラックの詳細情報を表示します。(423ページ)

② **トラック** ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。(423、424ページ)

③ **フォルダ** ボタン

フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。(423、424、429ページ)

④ **選曲モード** ボタン

選曲モードから再生したい曲を絞り込んで検索することができます。(425、426ページ)

⑤ **再生モード** ボタン

リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。(427～429ページ)

⑥ **Quick** ボタン

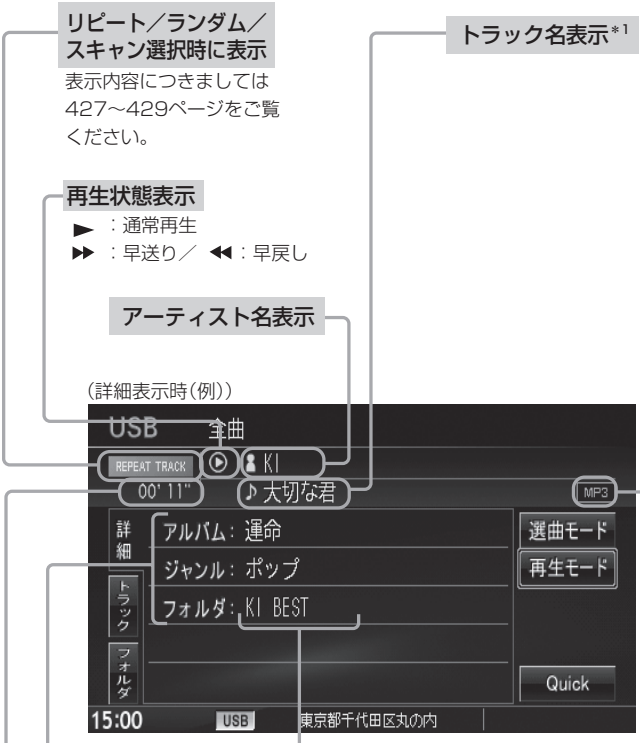
Quick MENUを使用することができます。(544ページ)

アドバイス

iPodを接続している場合の操作につきましては、「iPodを使う」518～533ページをご覧ください。

USBメモリデバイスを使う(2)

表示部(再生画面)について

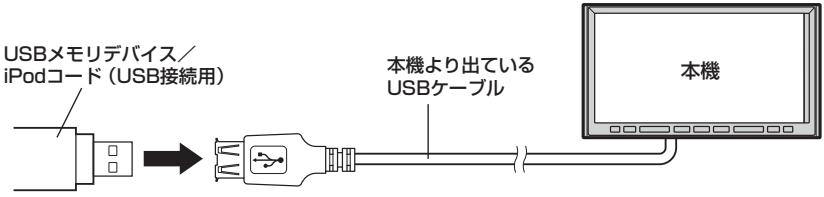


アドバイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名／ジャンル名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アーティスト名／アルバム名が記録されていない場合は、"No Title"と表示されます。
  ※*1印：トラック名がない場合はファイル名を表示します。(USBフラッシュメモリの場合)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- iPodを接続している場合の表示部につきましては「iPodを使う」513～533ページをご覧ください。
  ※USBケーブルに接続している場合、ビデオモードは再生されません。

USBメモリデバイス／iPodコード(USB接続用)を本機に接続するには

1 本機より出ている付属のUSBケーブルにUSBメモリデバイスを接続する。



アドバイス

- USBメモリデバイスの取り扱いにつきましては413、414ページおよび42、43ページをご覧ください。
- USBケーブルに市販のiPodに付属しているiPodコード(USB接続用)を接続すると、USBモードでiPodの音楽を再生することができます。

USBメモリデバイスを使う(3)

USBメモリデバイスを聞く

■ 他のモード画面を表示している場合

□ USBモード画面でAV電源OFFにしていた場合

①⏻ボタン(AV電源)を押す。

：前回のつづきからUSB機器の再生を始めます。



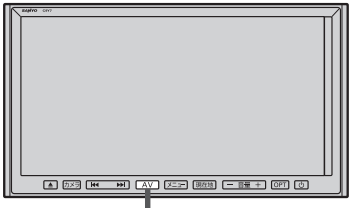
① ⏻ ボタン(AV電源)

□ ナビゲーション画面またはUSBモード以外のモード画面の場合(OFF含む)

①AVボタンを押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

＊：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)


① AV ボタン

AV SOURCE画面

②USBボタンをタッチする。

：USBメモリデバイスの再生を始めます。



アドバイス

市販のiPodに付属しているiPodコード(USB接続用)を使用してiPodを再生させた場合の操作方法につきましては「iPodを使う」513～533ページをご覧ください。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」288ページ／「映像の調整のしかた」535～538ページ
「オーディオの調整をする」289、290ページ

アドバイス

USBメモリデバイスの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」542、543ページ

USBモードを終了する

1 ⏻ ボタン(AV電源)を押す。

：画面に“OFF”と表示されUSB機器の再生を止めます。

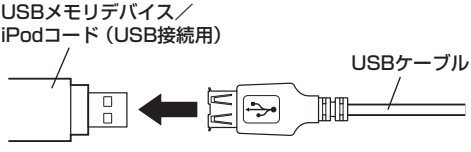


USBメモリデバイス／iPodコード(USB接続用)の接続をやめるには

1 ⏻ ボタン(AV電源)を押す。

：AV電源をOFFします。

2 USBメモリデバイス／iPodコード(USB接続用)を外す。



アドバイス

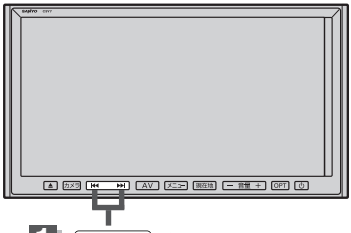
- USBメモリデバイス／iPodコード(USB接続用)を外して再度再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
  ※USBメモリデバイス認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSBメモリデバイスを外すとデータがこわれたり、USBメモリデバイスが破損する恐れがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。

USBメモリデバイスを使う(4)

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)

■ 前のトラックに戻る場合

⏮ボタンを2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭ボタンを押す。

アドバイス

画面をタッチしてリスト表示より選択することもできます。

☞「USBフラッシュメモリのリスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選び再生させる」423、424ページ

早戻し／早送りをする

1 ⏮ ⏭ボタン（トラック）を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

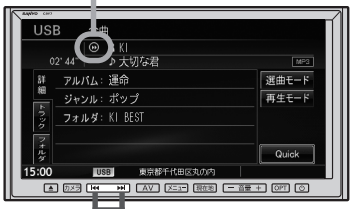
⏮ボタンを押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭ボタンを押し続ける。

再生状態表示
►：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し

（例）早送り画面



1 ⏮ ⏭ボタン（トラック）

アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。

USBメモリデバイスを使う(5)

USBフラッシュメモリのリスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選び再生させる

1 **トラック** ボタンまたは **フォルダ** ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※すでにトラックリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

(例)USBモード TOP画面(詳細表示)



■ **トラック** ボタンをタッチした場合

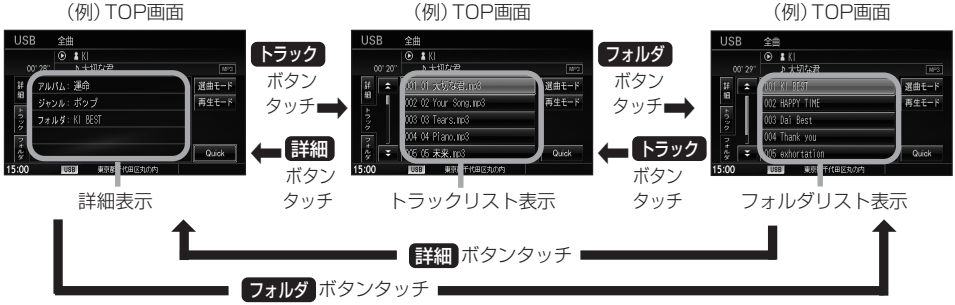
：トラックリストが表示されます。

■ **フォルダ** ボタンをタッチした場合

：全てのフォルダがリスト表示されます。

アドバイス

USBのTOP画面は選択するボタン(**詳細**／**トラック**／**フォルダ**ボタン)によって詳細表示／トラックリスト表示／フォルダリスト表示となります。



2 再生したいトラックまたはフォルダをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

（例）TOP画面（トラックリスト表示時）



▲／▼ボタンタッチで
ページ戻し／送り表示

アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は 詳細 ボタンをタッチしてください。（左記アドバイス参照）
- iPodを接続している場合は 「iPodを使う」513～533ページをご覧ください。

USBメモリデバイスを使う(6)

選曲モードより選択し再生させる

聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。

1 **選曲モード**ボタンをタッチする。

：画面右側に選曲モード画面がポップアップ表示されます。

(例) USBモード TOP画面(詳細表示時)



2 選曲モードより選曲する方法(**全曲**／**フォルダ**ボタン)を選択します。

■ **全曲**ボタンをタッチした場合

：トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

選曲モード画面



(例) トラックリスト画面



■ **フォルダ** ボタンをタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

選曲モード画面



①再生させたいフォルダをタッチする。

：選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

（例）フォルダリスト画面



フォルダリスト

（例）トラックリスト画面



トラックリスト

3 設定を終わるには…

戻る ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

：**戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**閉じる** ボタンをタッチすると再生TOP画面に戻ります。

アドバイス

- 次ページがある場合 ▲ ／ ▼ ボタンタッチでページ戻し／送り表示をします。
- iPodを接続している場合は 「iPodを使う」513～533ページをご覧ください。

USBメモリデバイスを使う(7)

再生モードを選択する

再生モード(リピート／ランダム／スキャン)を選択することができます。

1 **再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

(例)USBモード TOP画面



下記手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

2 再生したいモード(**リピート** ／ **ランダム** ／ **スキャン** ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

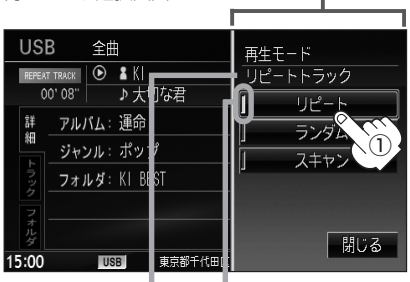
(TOP画面で REPEAT TRACK マーク表示有)

↓

通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

選択時点灯

■ ランダム（順序不同）再生する場合

①［ランダム］ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、ディスク内の曲を順序不同再生します。

- ［ランダム］ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの中からランダム再生

（表示灯点灯／TOP画面で RANDOM マーク表示有）

↓

通常再生（ランダム解除）

（表示灯消灯／マーク表示無）

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン（イントロ）再生する場合

①［スキャン］ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、曲の頭（イントロ）を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- ［スキャン］ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの中からスキャン再生

（表示灯点灯／TOP画面で SCAN マーク表示有）

↓

通常再生（スキャン解除）

（表示灯消灯／マーク表示無）

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

アドバイス

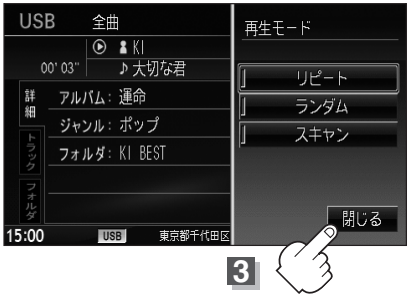
- スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。
- iPodを接続している場合は「iPodを使う」513～533ページをご覧ください。

USBメモリデバイスを使う(8)

3 **設定を終わるには…**

閉じる ボタンをタッチする。

：USBモード TOP画面に戻ります。



アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

好きなフォルダを選ぶ

聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 **フォルダ ボタンをタッチする。**

：フォルダリストが表示されます。

(例) USBモード TOP画面



2 **再生させたいフォルダをタッチする。**

：選択したフォルダが再生されます。

(例) USBモード TOP画面
((例) フォルダリスト表示時)



アドバイス

次ページがある場合 ▲▲ ／ ▼▼ ボタンタッチで1ページずつ戻し／送り表示をします。

DVD

DVDプレーヤーについて ……431、432
DVDプレーヤーを使う ……433～456
各部の名称とはたらき……433～435
再生を始める……436～438
DVDモードを終了する……438
DVDディスクを取り出す……438
再生を停止する ……439
再生を一時停止する ……440
再生中にチャプターを戻す／進める ……441
早戻し／早送りをする ……442
コマ戻し／コマ送りをする ……443
スロー戻し／スロー送りをする ……444
DVDメニューを使う ……445、446
タイトルメニューを使う……447、448
好きな所から再生する（サーチ選択）……449、450
音声言語／字幕言語を切り替える ……451
時間の表示を替える ……452
リピート（繰り返し）再生する ……453
アングル（角度）を切り替える ……454
VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる……455、456
DVDの初期設定について ……457～464
初期設定を変更する……457～464

DVDプレーヤーについて

■本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

⚠本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの許諾が必要であり、ロヴィコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

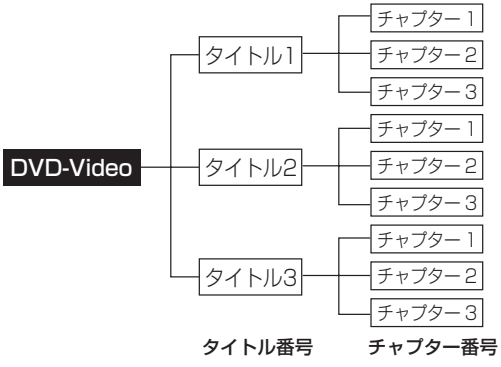
■ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。（例）

マーク（例）	意　味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
 	選択可能な画像アスペクト比（TV画面の横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
 	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

■ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、通常いくつかの区切りに分けられています。
大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



■VRモードで作成したディスクについて

本機ではDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード（VRモード）で記録されたディスクを再生することができます。また、デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード（VRモード）で記録されたものに限り再生が可能です。（下記表参照）

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。（書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。）未ファイナライズ処理のDVD-R／DVD-R DLのVRモードには対応していません。

※タイトル（映像）の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

●DVD再生ディスク対応一覧表

メディアの種類（記録方式） / 録画映像の種類	DVD-RW（VRモード）CPRM対応	DVD-RW（VRモード）CPRM非対応	DVD-R（Videoモード）DVD-RW（Videoモード）DVD+R（Videoモード）DVD+RW（Videoモード）DVD-R DL（Videoモード）DVD+R DL（Videoモード）	DVD-R DVD-R DL（VRモード）CPRM対応	DVD-R DVD-R DL（VRモード）CPRM非対応	DVD-RAM	CD-R CD-RW
録画制限なし	○	○	○	○	○	×	×
録画制限あり	○	−	−	○	−	×	×
録画禁止	×＊	×＊	×＊	×＊	×＊	×	×

−：記録できないディスク

×：再生できないディスク

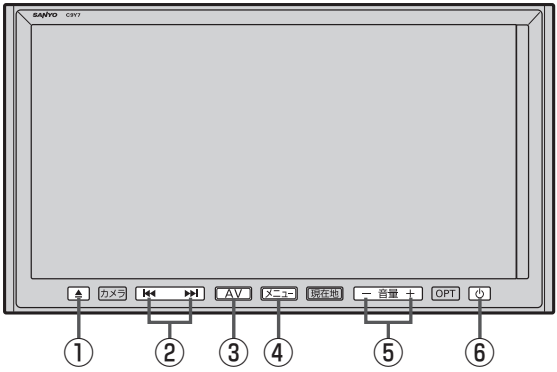
＊印：ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。（映像が乱れるなどの可能性があります。）

※ディスクの書き込み状態によっては再生できない場合があります。

DVDプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき

パネル部について



① ▲ボタン(OPEN)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。

② ⏮ ⏭ボタン(スキップ)

- 再生中にチャプター画像を戻す／進めるときに使用します。(441ページ)
- 押し続けて早戻し／早送りします。(442ページ)
- 一時停止中にコマ戻し／送りをします。(443ページ)
- 一時停止中にスロー戻し／送りをします。(444ページ)

③ AVボタン

AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション画面／Radio／SD／USB／VTR／MUSIC STOCKER／ワンセグ／Photo／iPodモードからDVDモードに切り替えるときに使用します。

④ メニューボタン

操作ボタンを表示または消します。
※押すたびに

操作ボタン有 → AV MENU画面 → 操作ボタン無 →

を繰り返します。

⑤ －音量＋ボタン

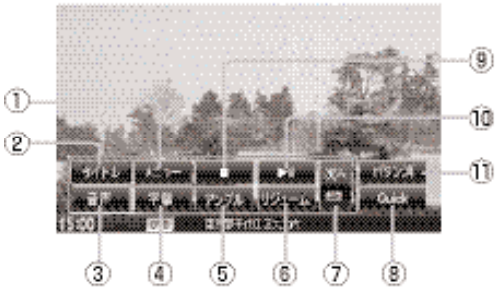
音量の増減を調整します。
－：音量を下げます。　＋：音量を上げます。

⑥ ⏻ ボタン(AV電源)

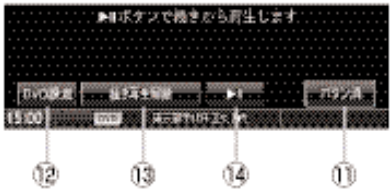
- AV電源をON／OFFします。
- 2秒以上の長押しで画面を消します。(53ページ)

タッチパネル部のボタンについて

操作ボタン1表示画面



停止画面



① メニュー ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、DVDメニュー画面になります。(445ページ)

※VRモードディスク再生中にタッチするとプレイリストが表示されます。(455、456ページ)

② タイトル ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、タイトルメニュー画面になります。(447ページ)

※VRモードディスク再生中にタッチするとタイトルリストが表示されます。(455、456ページ)

③ 音声 ボタン

(DVDビデオ再生中のみ)タッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り替わります。(451ページ)

※VRモードディスク再生中にタッチすると音声chが切り替わります。

④ 字幕 ボタン

(DVDビデオ再生中のみ)タッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り替わります。(451ページ)

⑤ アングル ボタン

DVDビデオ再生中に、タッチするごとに、アングルが切り替わります。(454ページ)

⑥ リジューム ボタン

DVDビデオ再生中に、メニュー画面を表示させた後、このボタンをタッチすると、メニュー画面を表示させる前のところより再生(リジューム再生)を行ないます。(446、448ページ)

⑦ 次へ ボタン

次ページの操作ボタンを表示します。
(操作ボタン2表示画面)

⑧ Quick ボタン

Quick MENUを使用することができます。
(544ページ)

⑨ ■ ボタン(停止)

再生中にタッチすると、再生をやめ、停止画面を表示します。(439、457ページ)

⑩ ▶II ボタン(再生／一時停止)

再生中にタッチすると、映像・音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。(439、440ページ)

⑪ ボタン消 ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

※ボタン消ボタンをタッチしなくても約13秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑫ DVD設定 ボタン

DVD設定画面を表示します。(457ページ)

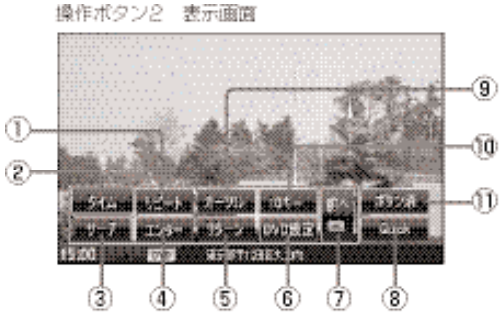
⑬ 続き再生解除 ボタン

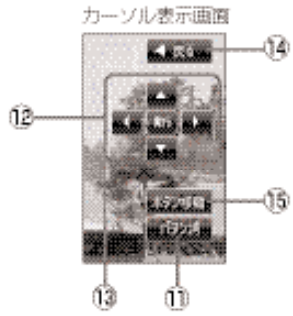
続きメモリー機能を解除します。(439ページ)

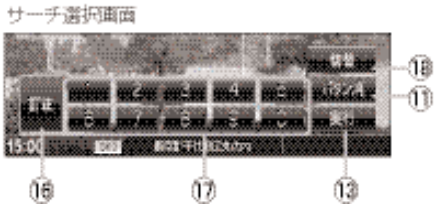
⑭ ▶II ボタン(再生／一時停止)

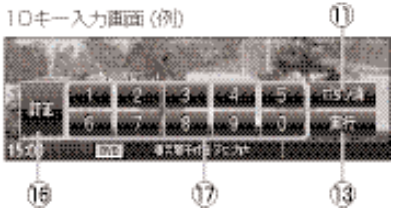
再生を始めるときに使用します。(439、440ページ)

DVDプレーヤーを使う(2)









①**リピート**ボタン
タッチするごとにリピートモードが切り替わります。(453ページ)

②**タイム**ボタン
再生の時間を表示します。(452ページ)

③**サーチ**ボタン
タイトル、チャプター、タイムのサーチ選択画面を表示します。(449、450ページ)

④**エンター**ボタン
画面で選んだ項目を実行します。

⑤**リターン**ボタン
DVDメニュー画面操作時に1つ前の画面に戻ります。
※ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

⑥**DVD設定**ボタン
DVD設定画面を表示します。(458ページ)

⑦**前へ**ボタン
操作ボタン1の画面を表示します。

⑧**Quick**ボタン
Quick MENUを使用することができます。(544ページ)

⑨**カーソル**ボタン
カーソルキーを表示させ、画面で項目を選ぶときに使用します。(カーソル表示画面)

⑩**10キー**ボタン
10キー入力画面を表示させ、数字を入力するときに使用します。

⑪**ボタン消**ボタン
画面に表示される操作ボタンを消します。
※ボタン消ボタンをタッチしなくても約13秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑫**▲**/**▼**/**◀**/**▶**ボタン(カーソルキー)
項目を上下左右選択します。

⑬**実行**ボタン
画面で選んだ項目を実行(決定)します。

⑭**戻る**ボタン
操作ボタン2表示画面を表示します。

⑮**ボタン移動**ボタン
カーソル表示を画面の左側または右側へ移動します。

⑯**訂正**ボタン
10キーボタンで入力した数字を訂正するときに使用します。

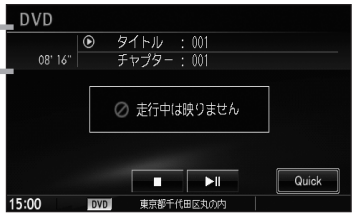
⑰**1**～**0**ボタン(10キー)
数字を入力するときに使用します。

⑱**切替**ボタン
サーチモードを切り替えます。

再生を始める

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声のみになります。）

（例）DVDモード画面（走行中）



タイトル番号
チャプター番号
を表示します。

■ ディスク未挿入の場合

1 ⏏ ボタン（OPEN）を押す。

：ディスプレイが開きます。

アドバイス

ディスク挿入口やパネルにつきまして詳しくは☞「ディスクを入れる／取り出すには」49、50ページをご覧ください。

2 ディスク挿入口にDVDディスクを差し込む。

：自動でディスプレイが閉じ、自動的に再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ DVDモード画面でAV画面OFFにしていた場合

①⏻ ボタン（AV電源）を押す。

：前回のつづきからDVDの再生を始めます。

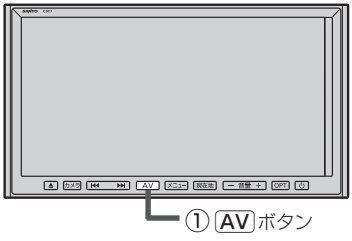


□ ナビゲーション画面またはDVDモード以外のモード画面の場合（OFF含む）

①AV ボタンを押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

＊：前回最後に選択していたモード画面（OFF含む）



②DVD ボタンをタッチする。

：DVDの再生を始めます。

AV SOURCE画面



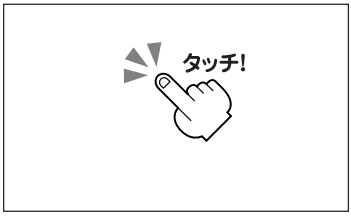
DVDプレーヤーを使う(3)

3 DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は…

下記の2つの操作方法があります。

■ 画面のメニュー項目を直接タッチする。

※●ディスクによっては操作できない場合があります。
●操作ボタンが表示されている場合は項目を選択できません。
ボタン消 ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。



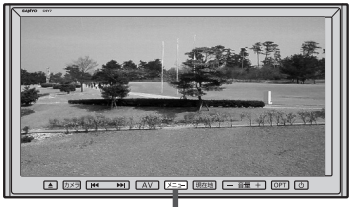
■ カーソルを表示させ項目を選択する。

①**メニュー** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

②**次へ** ボタンをタッチし
操作ボタン2表示画面を表示させ、
カーソル ボタンをタッチする。

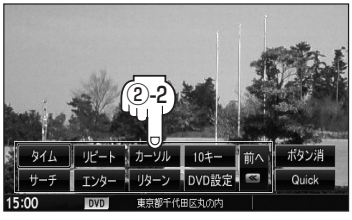
：カーソル表示画面が表示されます。



操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面



：カーソル表示画面が表示されます。

③**▲▼◀▶** ボタン(カーソルキー)をタッチして項目を選択し、
実行 ボタンをタッチする。

「DVDメニューを使う」445ページ 手順 4 を参考にしてください。

：選択した項目が再生されます。

※操作ボタンの表示を止めるには **ボタン消** ボタンをタッチしてください。
※ディスクによっては操作できない場合があります。
※その他の操作につきましてはそれぞれのページ(439～456ページ)を参照してください。

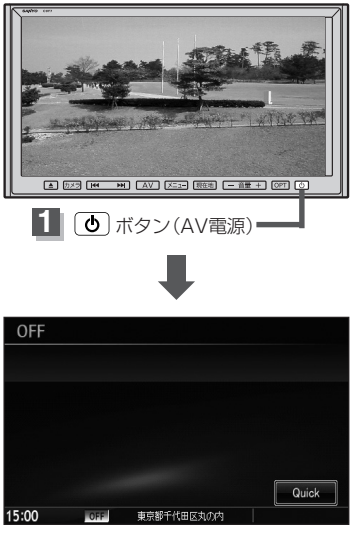
■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」288ページ／「映像の調整のしかた」535～538ページ
「オーディオの調整をする」289、290ページ

アドバイス

DVDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」542、543ページ

DVDモードを終了する



1 **ボタン(AV電源)を押す。**

：画面に“OFF”と表示されDVDの再生を止めます。

DVDディスクを取り出す

1 **ボタン(OPEN)を押す。**

：ディスプレイが自動で開きます。

2 **ボタン(DVD／CDイジェクト)を押す。**

：DVDディスクがディスク挿入口より出てきます。

アドバイス

DVDディスクを取り出して再度再生を始めると、リジューム再生(つづきから再生)を行ないます。
※再生中に車のキースイッチをOFFした場合は、次に車のキースイッチを「ACC」または「ON」にすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
※ボタン(DVD/CDイジェクト)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクを本機に引き込み、再生が開始されます。

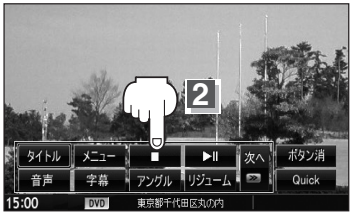
DVDプレーヤーを使う(4)

再生を停止する

1 **画面をタッチするか、**
[メニュー]ボタンを押す。
：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **■ボタン(停止)をタッチする。**



：再生を止め、停止画面が表示されます。(続きメモリー機能が働きます。)

続きメモリー機能

- 再生中に■ボタン(停止)をタッチすると、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面に“▶II ボタンで続きから再生します”を表示し、映像／音声を止めます。▶IIボタン(再生／一時停止)をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
- 続きメモリー機能は、**続き再生解除**ボタンをタッチするかディスクイジェクト(取り出す)操作で解除されます。ただし、同じディスクを再挿入すると続きメモリー機能が働きます。

※ **DVD設定**ボタンをタッチした場合も続きメモリーは解除されます。457ページ

3 **再び再生を始めるには…**
▶IIボタン(再生／一時停止)を
タッチする。
：続きメモリー機能が働いている場合は、再生を止めた続きから再生します。
続きメモリー機能が働いていない場合は、ディスクの最初から再生します。

停止画面



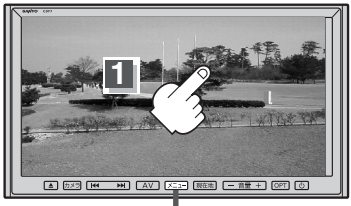
アドバイス

ディスクの最初から再生したい場合は手順 **3** (停止画面)のとき画面の**続き再生解除**ボタンをタッチし、▶IIボタン(再生／一時停止)をタッチします。

再生を一時停止(静止)する

1 画面をタッチするか、[メニュー]ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

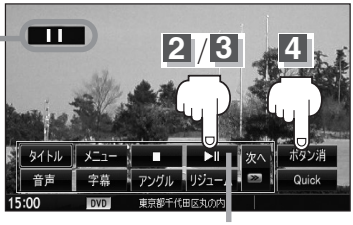


1 [メニュー]ボタン

2 ►II ボタン(再生／一時停止)をタッチする。

：画面に“II”を表示し、映像を停止(静止)します。(音声も止まります。)

操作ボタン1表示画面



一時停止アイコン

►II ボタン(再生／一時停止)

3 再び再生を始めるには…

►II ボタン(再生／一時停止)をタッチする。

：再生を止めた続きから再生します。

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには…

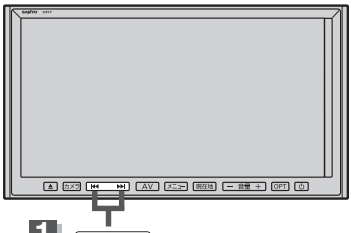
ボタン消 ボタンをタッチする。

DVDプレーヤーを使う(5)

再生中にチャプターを戻す／進める

1 ⏮ ⏭ボタン(スキップ)を押す。

：前のチャプターに戻る、または次のチャプターに進みます。



■ 前のチャプターに戻る場合

⏮ボタンを2回押す。*

※1回押した場合は再生中のチャプターの頭に戻ります。

■ 次のチャプターに進む場合

⏭ボタンを押す。

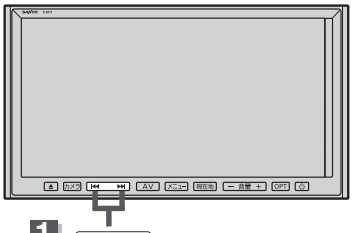
アドバイス

- チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。
- ＊：チャプター再生開始から3秒以内に押した場合は、前のチャプターの頭に戻ります。

早戻し／早送りをする

1 ⏮ ⏭ボタン（スキップ）を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。



■ 早戻しで戻る場合

⏮ボタンを押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭ボタンを押し続ける。

アドバイス

- それぞれ、ボタンから手を離したところで通常再生を始めます。
- この操作中音声は出ません。またディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。
- メニューボタンを押し、次へボタンをタッチし、カーソルボタンをタッチしてカーソルキーを表示させ、◀／▶ボタンをタッチして再生中の場面から少し前に戻す／少し先に進めることもできます。
  ※ディスクによっては、この操作を禁止しているものもあります。

DVDプレーヤーを使う(6)

コマ戻し／コマ送りをする

1 画面をタッチするか、[メニュー]ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 ▶II ボタン(再生／一時停止)をタッチする。



3 [⏮ ⏭]ボタン(スキップ)を押す。

■ コマ戻しをする場合

⏮ボタンを押す。

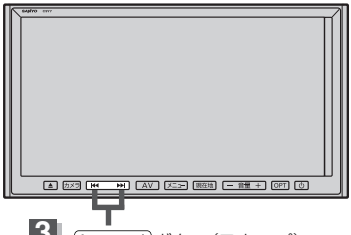
：押すごとに映像を1コマずつ戻します。

■ コマ送りをする場合

⏭ボタンを押す。

：押すごとに映像を1コマずつ送ります。

※通常再生をするには ▶II ボタン(再生／一時停止)をタッチします。



4 画面の操作ボタンの表示をやめるには… ボタン消 ボタンをタッチする。

アドバイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

スロー戻し／スロー送りをする

1 **画面をタッチするか、[メニュー]ボタンを押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 [メニュー]ボタン

2 **▶II ボタン(再生／一時停止)をタッチする。**



3 **⏮ ⏭ ボタン(スキップ)を押す。**

■ **スロー戻しをする場合**

⏮ボタンを押し続ける。

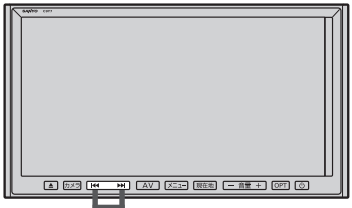
：スロー戻しで戻ります。

■ **スロー送りをする場合**

⏭ボタンを押し続ける。

：スロー送りで進みます。

※それぞれ、ボタンから手を離したところで通常再生を始めます。



3 ⏮ ⏭ ボタン(スキップ)

4 **画面の操作ボタンの表示をやめるには… ボタン消 ボタンをタッチする。**

アドバイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

DVDプレーヤーを使う(7)

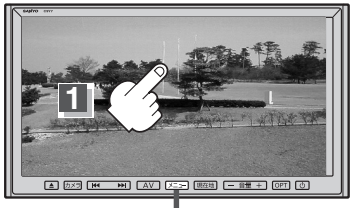
DVDメニューを使う

DVDビデオによっては、DVDメニューが収録されているものがあります。
この場合は、DVDメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。

アドバイス

下記手順 4 のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、 ボタン消 ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。)
※ディスクによっては操作できない場合があります。

1 再生中に画面をタッチするか、
メニュー ボタンを押す。
：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 メニュー ボタン

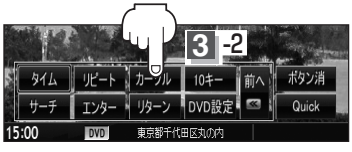
2 メニュー ボタンをタッチする。
：DVDメニュー画面が表示されます。
※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はプレイリストが表示されます。
(455、456ページ)

操作ボタン1表示画面



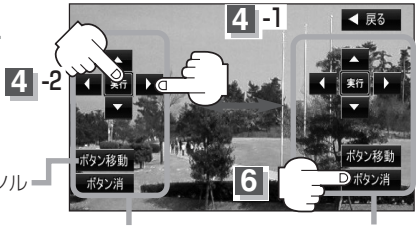
3 次へ ボタンをタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、 カーソル ボタンをタッチする。
：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



4 ▲▼◀▶ ボタン(カーソルキー)をタッチして、項目を選び、
実行 ボタンをタッチする。
：選んだ項目(シーン)の再生が始まります。

カーソル表示画面



5 さらに選択画面が続く場合は、
手順 4 を繰り返してください。

ボタン移動 ボタンをタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。

6 画面の操作ボタンの表示をやめるには…

ボタン消 ボタンをタッチする。

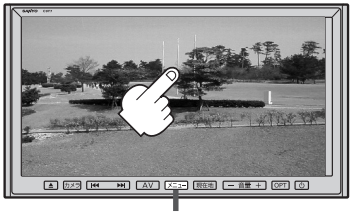
アドバイス

- ディスクによっては、DVDメニューが収録されていないものもあります。
- DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
  ※VRモード（ビデオレコーディングモードディスク）の場合プレイリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「DVDメニュー」のことを「メニュー」等と表示しているものもあります。
  また、左記手順 **4** で **実行** ボタンのことを「決定ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ DVDメニューの操作を終わる／途中で止める場合（リジューム再生）

□ 操作ボタン（カーソル含む）表示が消えている場合

- 画面をタッチするか、
  メニュー ボタンを押す →
  リジューム ボタンをタッチする。



メニュー ボタン

□ 操作ボタンが表示されている場合

- 左記手順 **2** でDVDメニュー画面（またはプレイリスト）を表示している場合
  リジューム ボタンをタッチする。
- 左記手順 **3** でカーソル表示画面を表示している場合
  戻る ボタンをタッチ →
  前へ ボタンをタッチ →
  リジューム ボタンをタッチする。



：DVDメニュー（またはプレイリスト）が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、 **ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。

DVDプレーヤーを使う(8)

タイトルメニューを使う

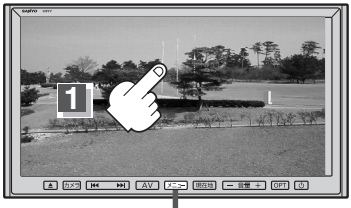
複数のタイトルに分かれているDVDビデオによっては、タイトルメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。
※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。

アドバイス

下記手順 4 のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、 ボタン消 ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。)
※ディスクによっては操作できない場合があります。

1 **再生中に画面をタッチする。または [メニュー] ボタンを押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 [メニュー] ボタン

2 **タイトル ボタンをタッチする。**

：タイトルメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はタイトルリストが表示されます。
(☞455、456ページ)

操作ボタン1表示画面



3 **次へ ボタンをタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、 カーソル ボタンをタッチする。**

：カーソル表示画面が表示されます。

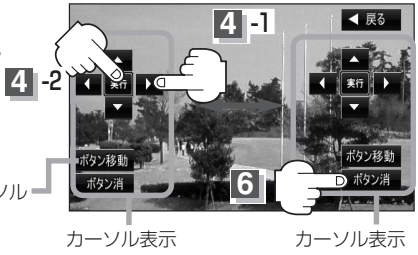
操作ボタン2表示画面



4 **▲▼◀▶ ボタン(カーソルキー)をタッチして、項目を選び、 実行 ボタンをタッチする。**

：選んだタイトルのメニューに収録されているシーンの再生が始まります。

カーソル表示画面



5 **さらに選択画面が続く場合は、手順 4 を繰り返してください。**

ボタン移動 ボタンをタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。

6 画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

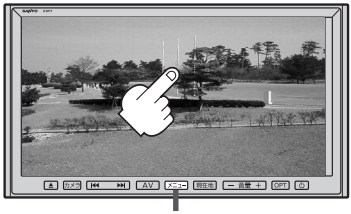
アドバイス

- ディスクによっては、タイトルメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
  ※VRモード（ビデオレコーディングモードディスク）の場合タイトルリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「タイトルメニュー」のことを「メニュー」、「タイトル」等と表示しているものもあります。また、左記手順 **4** で **実行** ボタンのことを「決定ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- タイトルメニューを表示させ（約2分以上）何も操作しないとDVDの再生が始まる場合があります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ タイトルメニューの操作を終わる／途中で止める場合（リジューム再生）

□ 操作ボタン（カーソル含む）表示が消えている場合

- 画面をタッチする。または
  〔メニュー〕ボタンを押す →
  リジューム ボタンをタッチする。



〔メニュー〕ボタン

□ 操作ボタン表示されている場合

- 左記手順 **2** でタイトルメニュー画面（またはタイトルリスト）を表示している場合
  リジューム ボタンをタッチする。
- 左記手順 **3** でカーソル表示画面を表示している場合
  戻る ボタンをタッチ →
  前へ ボタンをタッチ →
  リジューム ボタンをタッチする。



：タイトルメニュー（またはタイトルリスト）が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。

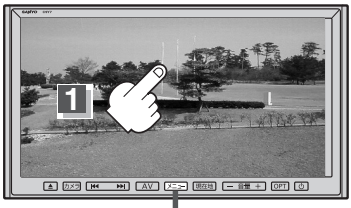
DVDプレーヤーを使う(9)

好きな所から再生する(サーチ選択)

タイトル、チャプターおよび経過時間を入力すると、そこから再生を始めます。

1 画面をタッチするか、[メニュー]ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 次へ ボタンをタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 サーチ ボタンをタッチする。

：サーチ選択画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面

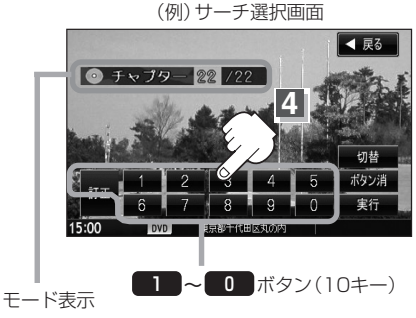


4 サーチ選択画面で画面の 1 ～ 0 ボタン(10キー)をタッチして、再生したいタイトル／チャプター／タイム(経過時間)を入力する。

- タイトルとチャプターとタイム(経過時間)は 切替 ボタンをタッチし切り替えて入力します。

チャプター → タイトル
↑ ↓
タイム ← ┘

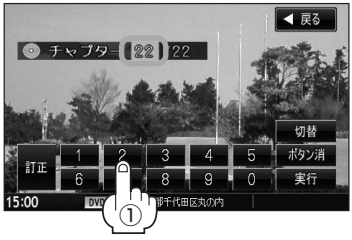
(例) サーチ選択画面



例 チャプター番号“22”を入力する場合

①10キーを 2 、 2 とタッチする。
：表示が“22”となります。

（例）

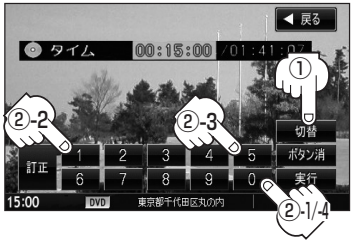


例 タイム（経過時間）入力で“15分目”を再生する場合

①手順 4 でサーチ選択画面を表示させたとき 切替 ボタンをタッチする。
：タイム（経過時間）入力画面になります。

②10キーを 0 、 0 、 1 、 5 、 0 、 0 とタッチする。

（例）



5 実行 ボタンをタッチする。
：入力したチャプター番号／タイトル番号／タイム（経過時間）から再生を始めます。

チャプター番号22を入力した場合（例）



6 画面の操作ボタンの表示をやめるには… 　ボタン消 ボタンをタッチする。

アドバイス

- 約10秒間、何も操作をしなかった場合、モード表示は消えて、この操作を終了してしまいます。その場合は、 切替 ボタンをタッチし、もう一度手順 4 （449ページ）からやり直してください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、サーチモードが解除されますので、 切替 ボタンをタッチし、もう一度手順 4 （449ページ）からやり直してください。
- ディスクに収録されていないタイトル／チャプター／タイム（経過時間）を入力すると、この操作は解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

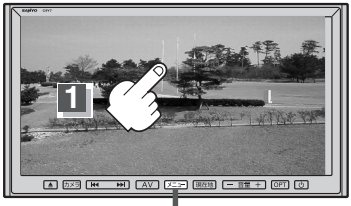
DVDプレーヤーを使う(10)

音声言語／字幕言語を切り替える

ディスクによっては複数の音声言語／字幕言語が収録されているものもあります。この場合は下記にしたがって言語を選ぶことができます。

1 **画面をタッチするか、[メニュー]ボタンを押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 [メニュー]ボタン

2 **音声**または**字幕**ボタンを**タッチする。**

：タッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語リストまたは字幕言語リストの中で、音声言語／字幕言語が切り替わります。

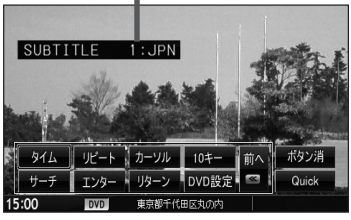
操作ボタン1表示画面



(例)音声言語リスト



(例)字幕言語リスト



3 **画面の操作ボタンの表示をやめるには…**

ボタン消ボタンをタッチする。

アドバイス

- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 音声言語／字幕言語は、DVDメニュー(☞445ページ)や言語設定(☞459、460ページ)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 1 、 2)の操作では、音声言語／字幕言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVDメニュー(☞445ページ)または言語設定(☞459、460ページ)で切り替えてください。

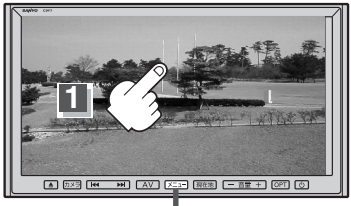
時間の表示を替える

画面に表示する時間の種類を選ぶことができます。

■T：XX／XX　C：XXX／XXX ……再生中のタイトルとチャプターを表示
※：Xには数字が表示されます。
■タイトル時間 ……タイトルの経過時間を表示
■タイトル残り時間 ……タイトルの残時間を表示
■チャプター時間 ……チャプターの経過時間を表示
■チャプター残り時間 ……チャプターの残時間を表示
■DISPLAY OFF ……表示なし

1 **画面をタッチするか、［メニュー］ボタンを押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 ［メニュー］ボタン

2 **［次へ］ボタンをタッチする。**

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 **［タイム］ボタンをタッチする。**

：タッチするごとに時間表示が切り替わります。

操作ボタン2表示画面 4



4 **画面の操作ボタンの表示をやめるには…**
［ボタン消］ボタンをタッチする。

■ 時間表示をやめる場合

手順 1 ～ 3 にしたがって操作し、“DISPLAY OFF”を選ぶ。

DVDプレーヤーを使う(11)

リピート(繰り返し)再生する

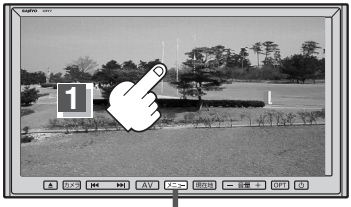
再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

- チャプターリピート　……再生中のチャプターを繰り返す
- タイトルリピート　……再生中のタイトルを繰り返す
- リピートOFF　……リピート再生しない

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1 **画面をタッチするか、[メニュー]ボタンを押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 [メニュー]ボタン

2 **次へボタンをタッチする。**

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 **リピートボタンをタッチする。**

：タッチするごとにモードが切り替わります。

操作ボタン2表示画面



4 **画面の操作ボタンの表示をやめるには…**
ボタン消ボタンをタッチする。

■ 通常の再生に戻す場合

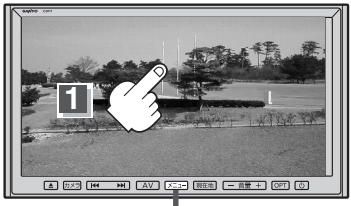
手順 1 ～ 3 にしたがって操作し、“リピートOFF”を選ぶ。

アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあります。この場合は、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

1 **画面をタッチするか、メニューボタンを押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

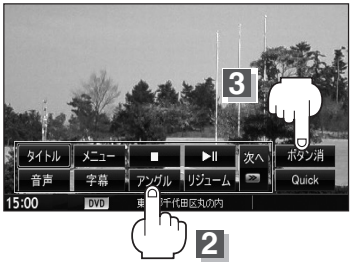


1 メニューボタン

2 **アングルボタンをタッチする。**

：タッチするごとにアングルが切り替わります。

操作ボタン1表示画面



3 **画面の操作ボタンの表示をやめるには…**

ボタン消ボタンをタッチする。

アドバイス

- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、“アングル”を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

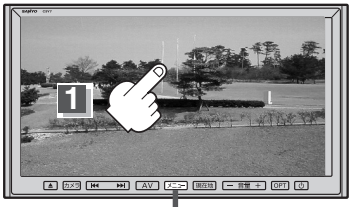
DVDプレーヤーを使う(12)

VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる

DVD-R/RW、DVR-R DL(DVDビデオレコーディングモード)に登録したタイトル名を各リストより選択し再生させることができます。

1 画面をタッチするか、メニューボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 メニューボタン

2 タイトルリストまたはプレイリストを表示させます。

操作ボタン1表示画面



■ タイトルリストより選択する場合

①タイトルボタンをタッチする。

：タイトルリストが表示されます。

■ プレイリストより選択する場合

①メニューボタンをタッチする。

：プレイリストが表示されます。

アドバイス

タイトルリストとは録画されたままの映像(情報)で編集されていないもの、プレイリストとは録画された映像(情報)をお好みの順やタイトル名に編集したものをあらわします。
※タイトルリスト／プレイリストの詳細につきましてはレコーダーの取扱説明書を参照ください。

3 タイトル名を選択し、再生させます。

①リストより再生させたいタイトル名をタッチする。

：選択した項目が選択されます。

手順 2 （455ページ）で **タイトル** ボタンをタッチした場合
（例）タイトルリスト画面

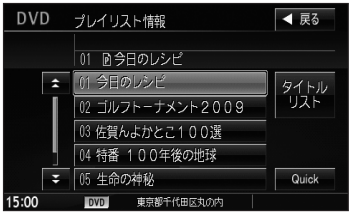


プレイリスト をタッチするとプレイリスト画面を表示します。
※プレイリスト画面のとき **タイトルリスト** をタッチするとタイトルリスト画面を表示します。

アドバイス

- VRモードディスクにプレイリストがない場合、 **メニュー** ボタンは操作できません。（本機能は使用できません。）
- 次ページがある場合、 ▲▲ ／ ▼▼ タッチでスクロールさせることができます。
- タイトルリストまたはプレイリストの操作を途中で終わる場合（リジューム再生する場合）は **戻る** ボタンをタッチしてください。
- タイトルリスト／プレイリストに表示できる文字は全角のみです。非対応の文字は“＿”で表示されます。

（例）プレイリスト表示



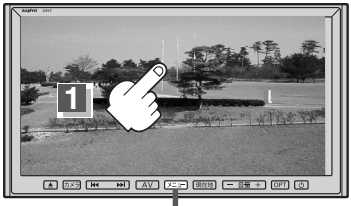
DVDの初期設定について(1)

初期設定を変更する

再生中または再生停止中にDVDの初期設定を変更することができます。

1 **画面をタッチするか、[メニュー]ボタンを押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **次へボタンをタッチする。**

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

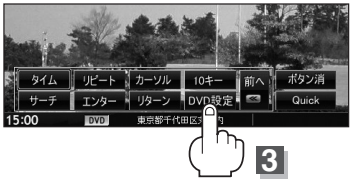
操作ボタン1表示画面



3 **DVD設定ボタンをタッチする。**

：DVD設定画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



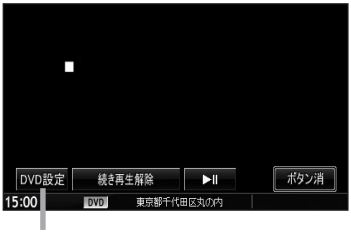
アドバイス

■ボタン(停止)をタッチして再生停止中にDVD設定ボタンをタッチしてDVDの初期設定を変更することもできます。

操作ボタン1表示画面



停止画面



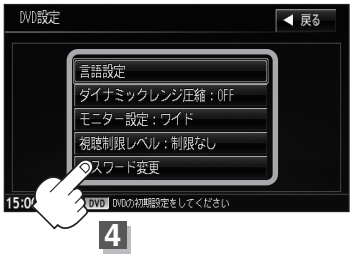
DVD設定ボタン

※DVD設定ボタンを選択した場合、続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。

4 設定したい項目（言語設定／ダイナミックレンジ圧縮／モニター設定／視聴制限レベル／パスワード変更ボタン）をタッチする。

：選択した項目の設定画面が表示されます。

DVD設定画面



選んだ項目	設定できる内容
言語設定	●音声言語：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え ●字幕言語：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え ●メニュー言語：DVDメニューの表示言語の切り替え
ダイナミックレンジ圧縮	●DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。（ドルビーデジタルの音声のみ）
モニター設定	●TVアスペクト：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え
視聴制限レベル	●レベル：視聴制限レベルの設定
パスワード変更	●パスワード：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更

“言　語　設　定”を選んだ場合 ➡ 459ページへ進む。
“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだ場合 ➡ 462ページへ進む。
“モニター設定”を選んだ場合 ➡ 462ページへ進む。
“視聴制限レベル”を選んだ場合 ➡ 463ページへ進む。
“パスワード変更”を選んだ場合 ➡ 464ページへ進む。

アドバイス

- 設定した内容は変更しない限り保持されます。（電源を切っても保持されます。）
- ディスクによっては初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。この場合はDVDメニュー（☞445、446ページ）で切り替えてください。

DVDの初期設定について(2)

■ 言語設定／視聴制限レベル／パスワード変更時に、1つ前の選択画面に戻る場合

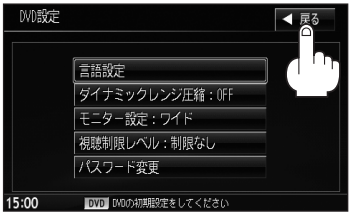
言語設定画面



戻る ボタンをタッチする。

■ DVD設定画面を終わる／途中で止める場合

DVD設定画面



戻る ボタンをタッチする。

：停止画面に戻ります。

□ 再び再生させるには…

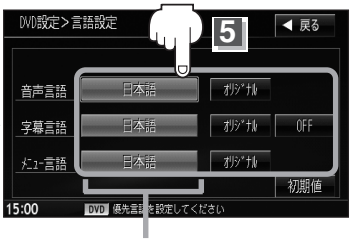
▶II ボタン(再生／一時停止)をタッチする。



：ディスクの先頭から再生します。

■ 手順 4 (458ページ)で“言語設定”を選んだ場合

5 音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更したい項目をタッチする。



設定されている言語を表示
(ここをタッチすると言語コード入力画面(右記)を表示)
ただし、言語が **オリジナル** または **OFF** に設定されている場合は **言語を選択** と表示されます。

“音声言語”…
DVDビデオ再生時に優先したい音声言語を切り替えることができます。

“字幕言語”…
DVDビデオ再生時に優先したい字幕言語の切り替えができます。

“メニュー言語”…
DVDビデオ再生時に優先したいメニュー言語を切り替えることができます。

□ 言語を変更するには…

：選択した言語の言語コード入力画面が表示されます。

①言語コード表(461ページ)を参照し、言語コードの数字を 0 ～ 9 ボタン(10キー)をタッチして入力する。

②入力が終わったら 決定 ボタンをタッチする。

言語コード入力画面



■言語設定を初期値に戻す場合

①言語設定画面で 初期値 ボタンをタッチする。



：変更した言語設定が初期値に戻ります。

アドバイス

- DVD設定をすると続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違った言語コードを入力すると“入力された言語コードが間違っています”と表示されます。再度正しいコードを入力しなおしてください。
- 入力した数字を訂正するときは クリア ボタンをタッチして数字を再入力してください。
- 工場出荷時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- オリジナル を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- “字幕言語”のとき、優先する字幕言語を OFF にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、 戻る ボタンをタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

DVDの初期設定について(3)

言語コード表

コード		言　語	コード		言　語	コード		言　語
1027	AA	アファル語	1239	IE	国際語	1482	RN	キルンディ語
1028	AB	アブバジア語	1245	IK	Inupiak語	1483	RO	ルーマニア語
1032	AF	アフリカーンス語	1248	IN	インドネシア語	1489	RU	ロシア語
1039	AM	アムハラ語	1253	IS	アイスランド語	1491	RW	キニヤルワンダ語
1044	AR	アラビア語	1254	IT	イタリア語	1495	SA	サンスクリット語
1045	AS	アッサム語	1257	IW	ヘブライ語	1498	SD	シンド語
1051	AY	アイマラ語	1261	JA	日本語	1501	SG	サンゴ語
1052	AZ	アゼルバイジャン語	1269	JI	イディッシュ語	1502	SH	セルビアクロアチア語
1053	BA	バシキール語	1283	JW	ジャワ語	1503	SI	シンハラ語
1057	BE	ベラルーシ語	1287	KA	グルジア語	1505	SK	スロバキア語
1059	BG	ブルガリア語	1297	KK	カザフ語	1506	SL	スロベニア語
1060	BH	ビハーリー語	1298	KL	グリーンランド語	1507	SM	サモア語
1061	BI	ビスラマ語	1299	KM	カンボジア語	1508	SN	ショナ語
1066	BN	ベンガル、バングラ語	1300	KN	カンナダ語	1509	SO	ソマリ語
1067	BO	チベット語	1301	KO	韓国語	1511	SQ	アルバニア語
1070	BR	ブルトン語	1305	KS	カシミール語	1512	SR	セルビア語
1079	CA	カタロニア語	1307	KU	クルド語	1513	SS	シスワティ語
1093	CO	コルシカ語	1311	KY	キルギス語	1514	ST	セストゥ語
1097	CS	チェコ語	1313	LA	ラテン語	1515	SU	スンダ語
1103	CY	ウェールズ語	1326	LN	リンガラ語	1516	SV	スウェーデン語
1105	DA	デンマーク語	1327	LO	ラオス語	1517	SW	スワヒリ語
1109	DE	ドイツ語	1332	LT	リトアニア語	1521	TA	タミール語
1130	DZ	ブータン語	1334	LV	ラトビア、レット語	1525	TE	テルグ語
1142	EL	ギリシャ語	1345	MG	マダガスカル語	1527	TG	タジク語
1144	EN	英語	1347	MI	マオリ語	1528	TH	タイ語
1145	EO	エスペラント語	1349	MK	マケドニア語	1529	TI	ティグリニャ語
1149	ES	スペイン語	1350	ML	マラヤーラム語	1531	TK	トゥルクメン語
1150	ET	エストニア語	1352	MN	モンゴル語	1532	TL	タガログ語
1151	EU	バスク語	1353	MO	モルダビア語	1534	TN	セツワナ語
1157	FA	ペルシャ語	1356	MR	マラータ語	1535	TO	トンガ語
1165	FI	フィンランド語	1357	MS	マレー語	1538	TR	トルコ語
1166	FJ	フィジー語	1358	MT	マルタ語	1539	TS	ツォンガ語
1171	FO	フェロー語	1363	MY	ミャンマ語	1540	TT	タタール語
1174	FR	フランス語	1365	NA	ナウル語	1543	TW	トウィ語
1181	FY	フリジア語	1369	NE	ネパール語	1557	UK	ウクライナ語
1183	GA	アイルランド語	1376	NL	オランダ語	1564	UR	ウルドゥー語
1186	GD	スコットランドゲール語	1379	NO	ノルウェー語	1572	UZ	ウズベク語
1194	GL	ガルシア語	1393	OC	プロバンス語	1581	VI	ベトナム語
1196	GN	グアラニ語	1403	OM	(アファン) オロモ語	1587	VO	ボラピュク語
1203	GU	グジャラート語	1408	OR	オリヤー語	1613	WO	ウォロフ語
1209	HA	ハウサ語	1417	PA	パンジャブ語	1632	XH	コーサ語
1217	HI	ヒンディー語	1428	PL	ポーランド語	1665	YO	ヨルバ語
1226	HR	クロアチア語	1435	PS	パシュトー語	1684	ZH	中国語
1229	HU	ハンガリー語	1436	PT	ポルトガル語	1697	ZU	ズール語
1233	HY	アルメニア語	1463	QU	ケチュア語			
1235	IA	国際語	1481	RM	ラエティ＝ロマン語			

■ 手順 4 (459ページ)で“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだ場合

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

5 ① ダイナミックレンジの圧縮をする／しないを選択します。

ON をタッチする。：圧縮します。

OFF をタッチする。：圧縮しません。

“ON”：小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに選んでください。
“OFF”：標準音域で聞くときに選んでください。

② **閉じる** ボタンをタッチする。



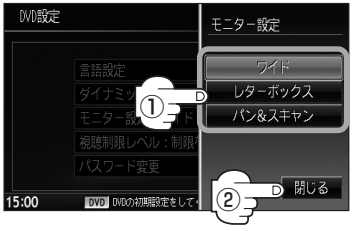
■ 手順 4 (459ページ)で“モニター設定”を選んだ場合

DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

5 ① 設定したいアスペクト比（**ワイド**／**レターボックス**／**パン&スキャン** ボタン）をタッチする。

※16:9ワイドスクリーン／4:3レターボックス／4:3パン&スキャン

② **閉じる** ボタンをタッチする。



アドバイス

- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にノーマルモニターを接続してご使用のときに、“ワイド”に設定すると、画像が不自然になることがあります。ノーマルモニターをご使用の場合は、“レターボックス”または“パン&スキャン”に設定してください。(※この場合は、本機のディスプレイ選択を“ノーマル”(☞537ページ)に設定しないと不自然な画像となります。)
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、“フル”またはこれに相当するモードにして、本機を“レターボックス”または“パン&スキャン”に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、“レターボックス”や“パン&スキャン”の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4：3になるモード(メーカーによって名称が異なりますが、例えば、“Normal mode”等。)に設定してください。

⚠注意

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行なうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

DVDの初期設定について(4)

■ 手順 4 (459ページ)で“視聴制限レベル”を選んだ場合

視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

5 下記の視聴制限レベルを参照して設定したいレベルをタッチする。



▲／▼ボタンタッチで
ページ戻し／送り表示

※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、“制限なし”を選択してください。

視聴制限レベル	
“8”	“制限なし”視聴制限を無効 “8”–すべてのDVDビデオの再生可
“7” “6” “5” “4” “3” “2”	子供向／一般向のみ再生可
“1”	–子供向のみ再生可(一般向／成人向再生は禁止)

下にいくほど制限が厳しくなります。

レベルを変更すると…

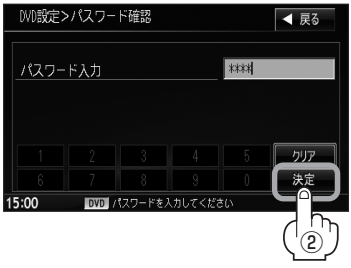
レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。

①現在のパスワードを 0 ～ 9 ボタン(10キー)をタッチして入力する。

②入力が終わったら 決定 ボタンをタッチする。



0 ～ 9 ボタン(10キー)



アドバイス

- 間違ったパスワードを入力すると“入力されたパスワードが間違っています”と表示されます。再度正しいパスワードを入力し直してください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。

※工場出荷時の(現在の)パスワードは“0000”となっています。(現在のパスワードは変更することができます。(次ページ参照))

- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。
- 工場出荷時の(現在の)視聴制限レベルは“制限なし”となっています。

■手順 4 (459ページ)で“パスワード変更”を選んだ場合

5 ①現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を画面の 0 ～ 9 ボタン(10キー)をタッチして入力する。

②決定 ボタンをタッチする。

：DVD設定画面に戻ります。

パスワード変更画面



アドバイス

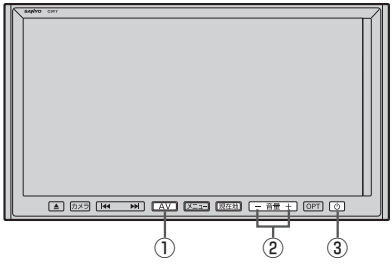
- 入力した数字を訂正するときは クリア ボタンをタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。
  変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前ページへ戻る場合は、 戻る ボタンをタッチしてください。
- **パスワードを忘れてしまったら…**
  現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- 工場出荷時のパスワードは“0000”に設定されています。

VTR

VTR機能を使う ……467〜469
各部の名称とはたらき ……467
VTR機能を使う ……468

VTR機能を使う(1)

各部の名称とはたらき



（例）VTRモード画面



① AV ボタン

- AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション画面／CD／DVD／MP3／WMA／Radio／SD／USB／MUSIC STOCKER／ワンセグ／Photo／iPodモードからVTRモードに切り替えるときに使用します。

② ー音量＋ ボタン

音量の増減を調整します。
－：音量を下げます。　＋：音量を上げます。

③ ⏻ ボタン(AV電源)

- AV電源をON／OFFします。
- 2秒以上の長押しで画面を消します。(53ページ)

④ ボタン消 ボタン

表示しているボタンを消し、映像を全画面表示します。
(VTRモードのみ)

⑤ Quick ボタン

Quick MENUを使用することができます。
(544ページ)

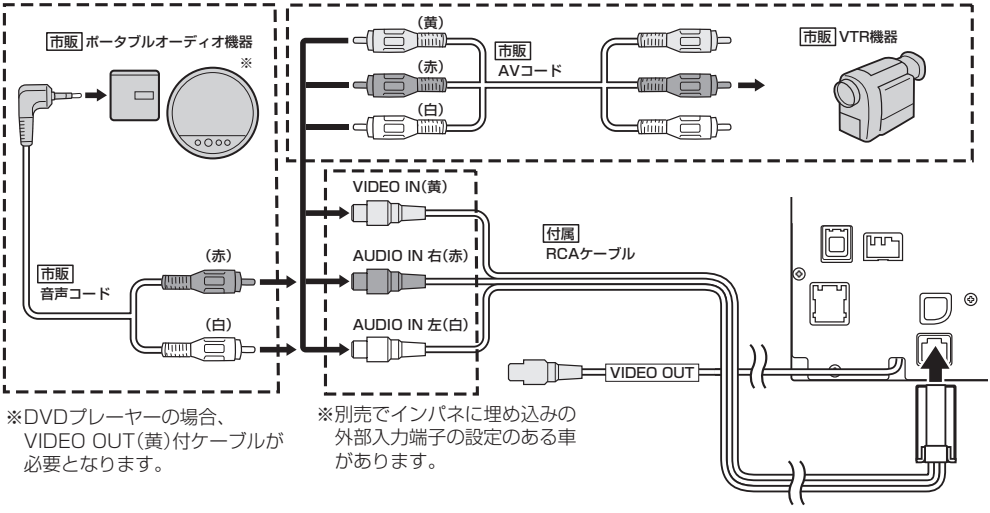
VTR機能を使う

本機に付属のRCAケーブルを接続し市販の音声／AVコードを使用して市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部入力装置を利用した映像や音声を本機に出力することができます。

⚠ VTR機器などの映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。（走行中は音声のみになります。）

※接続の前に接続する機器の電源を切ってください。

1 付属のRCAケーブルに市販の音声／AVコードなどを使用して本機に市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続する。



※DVDプレーヤーの場合、VIDEO OUT(黄)付ケーブルが必要となります。

※別売でインパネに埋め込みの外部入力端子の設定のある車があります。

2 本機と使用する機器の電源を入れる。（車のキースイッチON状態）

■ 他のモードになった場合

①[AV]ボタンを押す。

：AVソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

＊：前回最後に選択していた画面（OFF含む）

②[VTR]ボタンをタッチする。

：VTRモード画面を表示します。

AV SOURCE画面



VTR機能を使う(2)

3 VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

注意 本機の電源をOFF（キースイッチOFF）する場合は、接続される機器の電源も一緒にOFFしてください。

アドバイス

- VTRケーブルから入力された映像や音声はVTRモードにすることにより見たり、聞くことができます。
- ボタン消 ボタンをタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
- Quick ボタンをタッチするとQuick MENU画面が表示され、モードまたは機能選択をすることができます。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。（調整してください。）
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

AV入力端子（RCA×1系統）	
映像入力レベル	1Vpp（入力インピーダンス75Ω）
音声最大入力レベル	2.0V（入力インピーダンス47KΩ）
ビデオ出力*	
映像出力レベル	1Vpp（出力インピーダンス75Ω）

- *印：ビデオ出力はリアシートモニター接続時

ワンセグ

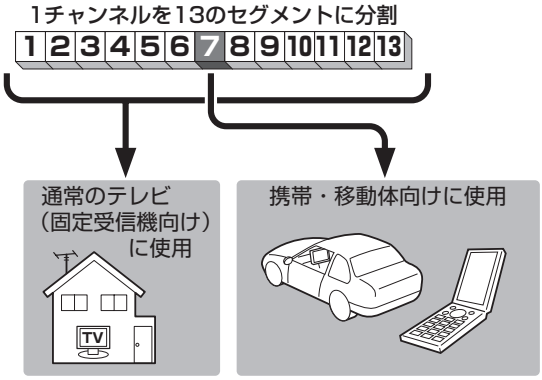
ワンセグについて……471
「ワンセグ」の番組受信について……472
「ワンセグ」の画像について……472
各部の名称とはたらき……473
バナー表示について……473
タッチパネル部のボタンについて……474
ワンセグメニューについて……475
TV(ワンセグ)を見る……476
ワンセグモードにすると……476
番組表を見る……477
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする…479
中継局を探す……481
スキャンする……482
初期スキャン／再スキャン／
エリアスキャンをする……482
選局する……484
手動選局で放送局を選ぶ……484
自動選局で放送局を選ぶ……484
プリセットで放送局を選ぶ……485
リストで放送局を選ぶ……486
プリセットボタンにメモリーする……488
エリア呼出／プリセット呼出について……489
**チャンネルリスト／プリセットリストを
初期化する……490**
設定をする……492
時計表示設定……492
中継局と系列局サーチの自動／手動の
設定をする……493
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、
受信する……495
アンテナ電源の設定をする……497
設定を初期化する……498
音声と字幕の設定をする……500

ワンセグについて

地上デジタルテレビ放送は、現行の地上アナログ放送がデジタル化された放送で、2003年12月から東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の一部で開始された放送です(その他の地域では2006年末までに放送が開始されました)。データ放送を利用することもできます。また、地上デジタルテレビ放送の電波の一部を使用して携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送を見ることができる地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」があります。地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」とは地上デジタルテレビ放送の電波の約6MHzの帯域を13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。
本機では地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。なお、地上デジタルテレビ放送や地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログ放送のUHF帯の電波を使用して放送されています。
※本機はデータ放送および緊急警報放送の受信には、対応しておりません。

アドバイス

地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、2006年4月1日に東名阪およびその他一部地域より順次開始されている放送サービスです。「ワンセグ」サービスの詳細につきましては、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会 http://www.dpa.or.jp/



ワンセグは13個のセグメントのうちの1つを使って、携帯電話などの小型機器に向けた地上デジタルテレビ放送です。ワンセグの番組は基本的に、12セグメントを使っている通常のテレビ(固定受信機向け)の番組と同じ内容です。

「ワンセグ」の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」では、受信状態が悪くなると映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタル放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズがでたり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

以下の点にご注意ください。

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行なったり、それに関与してはいけません。

「ワンセグ」の画像について

地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」は、各放送局から送られてくるデータをそのまま表示しています。データによって画像の大きさ(比率)が異なります。チャンネルを変えたり、CMや次の番組に変わったときなど、下記のように画像の周りや上下、左右が黒く表示されるなど、不自然な画像になる場合があります。

周りが黒く表示される(例)



左右が黒く表示される(例)



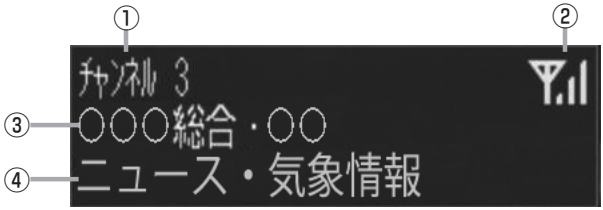
上下が黒く表示される(例)



各部の名称とはたらき(1)

バナー表示について

地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)を選局したときや受信中に画面をタッチすると、画面に下のような表示が現われます。これをバナー表示と呼びます。バナー表示には、番組に関するさまざまな情報が盛り込まれています。



①チャンネル番号
チャンネル番号を表示します。

②電波状態表示
受信状態を表示します。
アンテナの本数が多いほど受信状態は良好です。

③放送局名
放送局の名称を表示します。

④番組名
番組の名称を表示します。

タッチパネル部のボタンについて

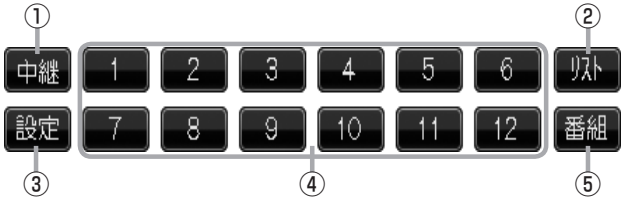
画面をタッチすると操作ボタン(タッチパネルボタン)が約10秒間表示されます。
操作ボタンの表示を止めるには、もう一度画面をタッチするか表示が消えるまで待ちます。

アドバイス

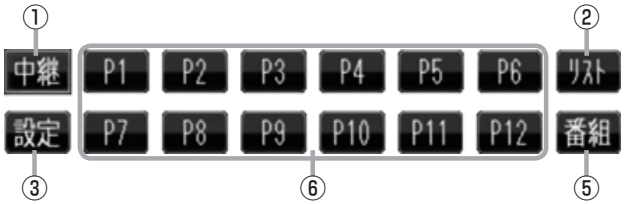
操作ボタン1は、デジタルメニュー画面で選択する項目 **エリア呼出** ／ **プリセット呼出** によって表示内容(機能)が異なります。
ワンセグメニュー画面 475ページ参照

操作ボタン1

エリア呼出 をタッチした場合



プリセット呼出 をタッチした場合



① **中継** ボタン
中継局(系列局)をサーチします。481ページ

② **リスト** ボタン
チャンネルリスト／プリセットリスト画面を表示します。487ページ

③ **設定** ボタン
ワンセグメニュー画面を表示します。
475ページ

④ **1** ～ **12** ボタン(エリア)
あらかじめメモリーされている放送局を呼び出すことができます。485ページ

⑤ **番組** ボタン
番組表を表示します。477ページ

⑥ **P1** ～ **P12** ボタン(プリセット)
1秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。
488ページ
メモリーしたボタンはP1～P12の表示から物理チャンネル(13～62ch)表示となります。
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1秒未満)タッチします。485ページ

各部の名称とはたらき(2)

ワンセグメニューについて

画面をタッチして操作ボタン1を表示させているとき、 設定 をタッチするとワンセグメニュー画面を表示させることができます。地上デジタルテレビ放送の各機能や設定はこのワンセグメニューを使って行ないます。



① **エリア変更 ボタン**
視聴エリアを変更します。479ページ

② **チャンネルリスト ボタン**
チャンネルリスト／プリセットリストを表示します。
486ページ

③ **スキャン ボタン**
初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンをすることができます。482ページ

④ **番組表 ボタン**
番組表を表示します。477ページ

⑤ **戻る ボタン**
受信画面に戻ります。

⑥ **システム設定 ボタン**
時計表示やサーチの設定、受信レベルやバージョン情報の確認、初期化などすることができます。
各種設定
- 時計表示492ページ
- 中継・系列局サーチ481ページ

受信レベル確認495ページ
アンテナ電源497ページ
システム情報
- メモリ初期化498ページ

⑦ **エリア呼出 ボタン**
操作ボタン1を表示します。表示された 1 ～ 12 (エリア)をタッチしてプリセット(メモリー)されている放送局を呼び出すことができます。なお、プリセットされる放送局は視聴エリアの変更やスキャンなどによって変更されます。
485ページ

⑧ **プリセット呼出 ボタン**
操作ボタン1を表示します。表示された P1 ～ P12 (プリセット)をタッチして手動でプリセット(メモリー)した放送局を呼び出すことができます。
485、488ページ

⑨ **音声字幕 ボタン**
音声や字幕を切り替えます。500ページ

※地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)が受信できない場所にいる場合、項目が選択できない場合があります。

TV(ワンセグ)を見る(1)

ワンセグモードにすると

GPSから得たお車の位置に自動でワンセグの視聴エリアの変更を行ない、また中継・系列局サーチ機能により放送が受信できるまでサーチ(探索)を行ないます。



中継・系列局サーチの設定で“自動”を選択している場合
(☞493ページ参照(初期は自動に設定))

※受信できない場合や、視聴エリアを手動で変更する場合は、右記手順にしたがって視聴エリアの変更を行なって地方と県域を設定してください。

TV(ワンセグ)を見る(2)

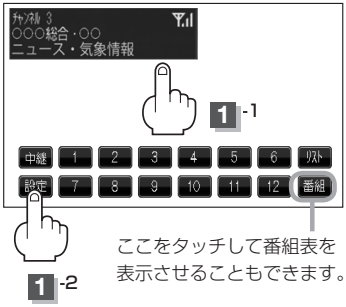
番組表を見る

受信中のチャンネルの番組表(電子番組ガイド＝EPG)を表示し、現在放送中の番組や今後放送予定の番組を確認したり番組の詳細情報を見ることができます。

1 **画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、設定 をタッチする。**

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2 **番組表 をタッチする。**

：番組表が表示されます。

ワンセグメニュー画面



番組表(例)



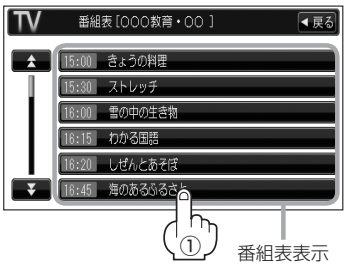
さらに番組の詳細情報を見ることができます。

■ 番組の詳細情報を見る場合

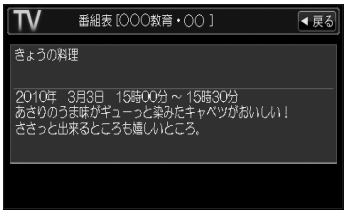
① 番組表(リスト)より見たい番組をタッチする。

：番組詳細画面が表示されます。

番組表(例)



番組詳細画面(例)



2 番組表を見たら、戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 番組表(または番組の詳細情報)を表示するまでに時間がかかる場合があります。
- 番組表を表示中に番組表の更新があった場合は、すぐに表示が更新されます。
- 放送時間が未定の番組があるチャンネルなどは正しく表示できない場合があります。
- 番組表は操作ボタン１の 番組 からも表示させることができます。
- 他の放送局の番組表を表示したい場合は、受信画面で表示したい放送局を選局しなおす必要があります。

視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする(1)

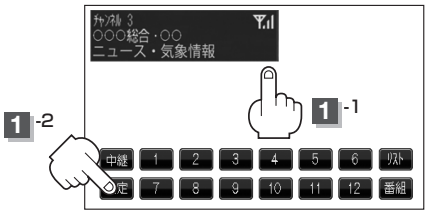
アドバイス

お車の走行地域が変わっても、本機は自動で視聴エリアの変更を行います。GPSで現在位置が受信できない場合や、手動で地域と県域を設定する場合は下記にしたがって操作してください。
現在地によって受信できる放送局 1 ～ 12 (エリア)に割り当てられる放送局)が異なります。地上デジタルテレビ放送は、東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の3大広域圏やその他の都道府県庁所在地でも放送が開始されており、今後も受信可能エリアは順次拡大されます。(地上デジタルテレビの電波が受信できない状態では放送を受信することはできません。)
※初期状態(お買い上げ時)は東京のチャンネルが設定されています。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、設定をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2 エリア変更をタッチする。

：視聴エリア変更画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 手動をタッチし、現在地の地方と県域をタッチする。

3-1

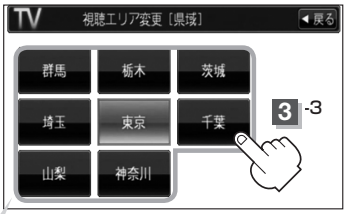
初期状態は“自動”に設定されています。エリアを手動で変更する場合に“手動”を選択してください。

視聴エリア変更画面(地方選択時)



※すでに“手動”に設定されている場合は 3-1 の手順は省略することができます。

視聴エリア変更画面(県域選択時)

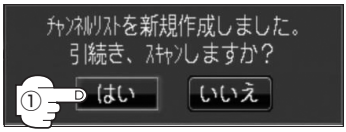


：スキャンを行なうかどうかのメッセージが表示されます。

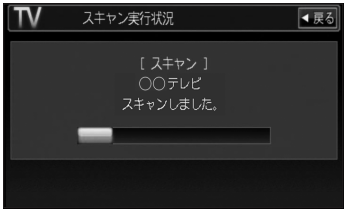
選択した地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局がすべて 1 ～ 12 (エリア)にプリセット(メモリー)されます。
※選択している地域のいずれかで受信可能な放送局がプリセット(メモリー)されるので、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

■ スキャンを行なう場合

① **はい** をタッチする。



：スキャンを開始します。

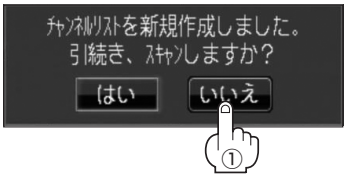


：スキャンが終了すると受信画面を表示します。

■ スキャンを行なわない場合

① **いいえ** をタッチする。

：スキャンをしないで受信画面を表示します。



アドバイス

- 視聴エリアを変更した場合は **はい** をタッチしスキャンすることをおすすめします。
- スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、 **1** ～ **12** (エリア)にプリセット(メモリー)された局の中継局をスキャン(探索)します。

※現在地付近に新しく開局された放送局や現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときは再スキャンを行ってください。483ページ

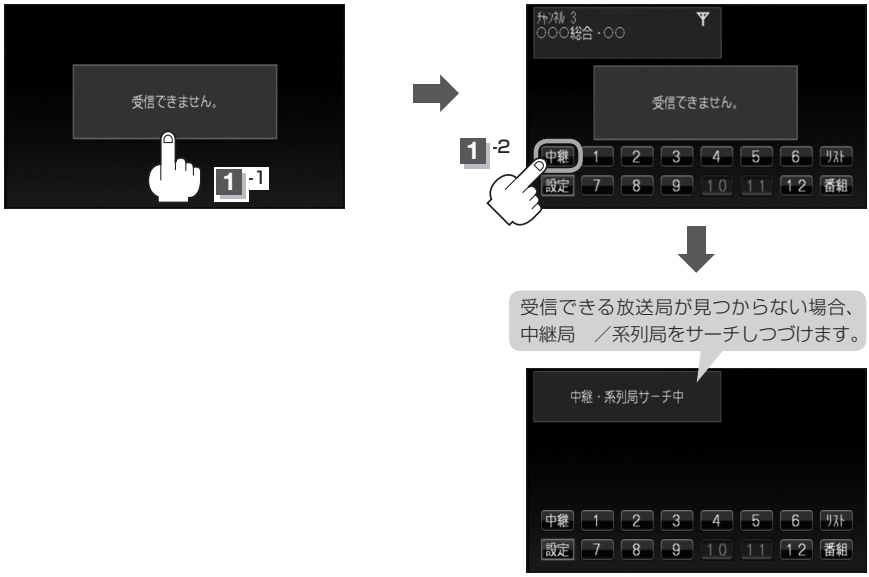
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする(2)

中継局を探す

本機は、お車の走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、自動でサーチを開始します(☞「ワンセグモードにすると」476ページ)が、中継局・系列局サーチの設定で“手動”を選択している場合(☞493ページ)は下記方法で中継局をサーチしなおすことができます。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**中継**をタッチする。

(例)



：受信できる放送局を探します。放送局を受信すると自動的に止まります。

アドバイス

- 放送波送信にはMFN方式とSFN方式があり、MFN方式は複数の周波数を用いて放送を中継しているため今まで受信していた周波数が受信しなくなった場合でも中継局サーチをしなおすことで適切な他の周波数で受信しなおすことが可能です。SFN方式では同一の周波数を使用するので中継局サーチは有効に働きません。どちらの方式(MFN／SFN)を採用しているかはエリアによって異なります。また、状況によっては、元の放送局といわゆる同じ「ネットワーク系列」に属する別の放送局の方が受信可能となる場合があります。これを「系列局」と呼んでいます。「系列局」では必ずしも同じ放送内容とは限りませんが、現在地の視聴エリアに「系列局」が存在する場合には、これもサーチの対象とします。なお、「ネットワーク系列」として次のものを定義しています。NHK総合系列、NHK教育系列、TBS系列、NTV(日本テレビ)系列、CX(フジ)系列、テレビ朝日系列、テレビ東京系列、独立UHF局系列(2009年3月現在)
- サーチ中に ⏮ ⏭ (選局)を押す、または **1** ～ **12** (エリア)／**P1** ～ **P12** (プリセット)をタッチするとサーチは止まり、要求された選局をします。

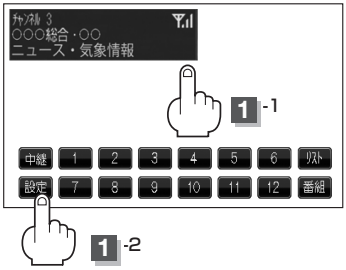
スキャンする(1)

初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンをする

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**設定** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2 **スキャン** をタッチする。

：スキャン画面が表示されます。

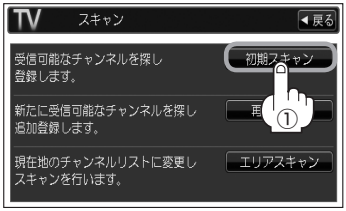
ワンセグメニュー画面



3 初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンを選択する。

■ 初期スキャンをする場合

① **初期スキャン** をタッチする。





：受信可能なチャンネルを探し、受信可能なチャンネルをプリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

アドバイス

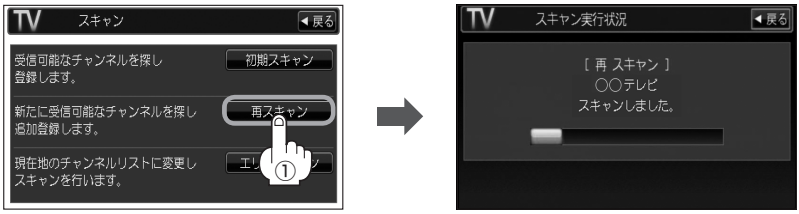
初期スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、 1 ～ 12 (エリア)にメモリーされるエリア)が最新の状態となります。

スキャンする(2)

■ 再スキャンをする場合

現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときに行ないます。

① **再スキャン** をタッチする。

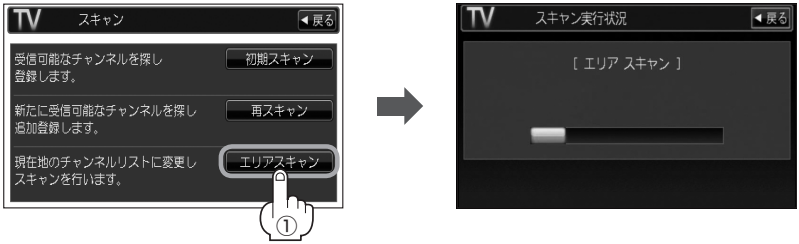


：新たに受信可能なチャンネルを探し、追加でプリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

■ エリアスキャンをする場合

現在の車の位置を視聴エリアとするチャンネルリストに変更します。変更した放送局の中継局をスキャンします。

① **エリアスキャン** をタッチする。



：現在の車の位置において準備されているチャンネルリスト／ **1** ～ **12** (エリア)を変更し、変更した放送局の中継局をスキャンし、チャンネルリスト／ **1** ～ **12** (エリア)にプリセット(メモリー)します。

※視聴エリアの変更で自動に設定されている場合は、エリアスキャンをしなくてもチャンネルリスト／ **1** ～ **12** (エリア)は変更されます。(中継局のスキャンは開始されません。)

アドバイス

- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かかります。
- 走行地域によって複数の地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重複する場合があります。チャンネル番号が重複して枝番号が追加された場合など **1** ～ **12** (エリア)にプリセット登録されない番組もあります。
- スキャンをしてチャンネル設定した場合に、再度同じ県域(都道府県)をプリセット(メモリー)しても前回設定されたチャンネルのままとなります。プリセット(メモリー)前の状態に戻すにはメモリ初期化を行なってください。「**設定を初期化する**」498ページ

選局する(1)

チャンネルを選びます。(手動選局／自動選局／プリセット選局／リスト選局)

手動選局で放送局を選ぶ

1 ⏮ ⏭ (選局)を押す。

：ボタンを押すたびに、次のプリセットチャンネルに変わります。



1 ⏮ ⏭ ボタン(選局)

自動選局で放送局を選ぶ

1 ⏮ ⏭ (選局)を押し続ける。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に ⏮ ⏭ (選局)を押すと、自動選局は止まり、自動選局をする前のチャンネルに戻ります。

アドバイス

- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

選局する(2)

プリセットで放送局を選ぶ

プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって 1 ～ 12 (エリア)にメモリーされた放送局を呼び出す“エリア呼び出し”と、お好きな放送局をお客様ご自身が P1 ～ P12 (プリセット)にメモリーし呼び出す“プリセット呼び出し”があります。

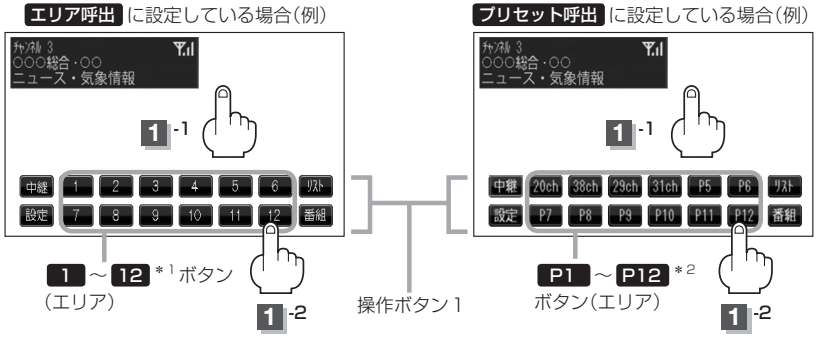
※あらかじめ 1 ～ 12 (エリア)／ P1 ～ P12 (プリセット)に放送局をメモリーしておく必要があります。

「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」479ページ
「スキャンする」482ページ
「プリセットボタンにメモリーする」488ページ

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、 1 ～ 12 (エリア)または P1 ～ P12 (プリセット)の中で呼び出したい数字をタッチする。

：選択したボタンにメモリーされている放送局を受信します。

※ 1 ～ 12 (エリア)または P1 ～ P12 (プリセット)に放送局が割り当てられていない場合、設定されていないことを知らせるメッセージが表示されます。



アドバイス

- 1 ～ 12 (エリア)に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その 1 ～ 12 (エリア)をタッチするごとに設定されたチャンネルを順に選局します。
- 1 ～ 12 (エリア)／ P1 ～ P12 (プリセット)に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト／プリセットリスト画面(487ページ)より確認できます。また、エリア番号と放送局の組み合わせは「放送局一覧」591、592ページより確認できます。

＊1印：放送局が割り当てられていないボタンは選択できません。

＊2印： P1 ～ P12 は放送局をメモリーすると、メモリーした放送局の物理チャンネル表示(13ch ～ 62ch)となります。

リストで放送局を選ぶ

リスト選局にはチャンネルリスト選局とプリセットリスト選局があります。リストに表示された放送局を呼び出すことができます。

チャンネルリスト…視聴エリアの変更やスキャンによって自動でプリセット(メモリー)された放送局の一覧
プリセットリスト…お客様ご自身がお好きな放送局を手動でプリセット(メモリー)した放送局の一覧
※あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」479ページ
「スキャンする」482ページ
「プリセットボタンにメモリーする」488ページ

1 **画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、設定をタッチする。**

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

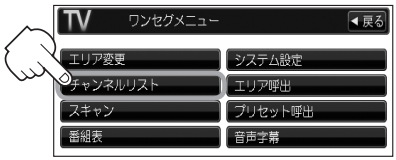
操作ボタン1表示画面(例)



2 **チャンネルリストをタッチする。**

：チャンネルリスト画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 **チャンネルリストまたはプリセットリストより放送局を呼び出す。**

■ チャンネルリストより放送局を呼び出す場合

① リストより呼び出したい放送局をタッチする。

：選択した放送局を受信します。

チャンネルリスト画面(例)



現在の設定内容(エリア番号と放送局名の組み合わせ)を確認できます。

アドバイス

- プリセットリスト(487ページ)が表示された場合は **チャンネルリスト** をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。
- 視聴エリアの変更で自動に設定されている場合は、エリアスキャンをしなくてもチャンネルリスト／**1** ～ **12** (エリア)は変更されます。(中継局のスキャンは開始されません。)
- チャンネルリストに表示されるエリア番号と放送局の組み合わせは「放送局一覧」591、592ページより確認できます。

選局する(3)

■ プリセットリストより放送局を呼び出す場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

：プリセットリスト画面が表示されます。

チャンネルリスト画面(例)



② リストより呼び出したい放送局をタッチする。

：選択した放送局を受信します。

プリセットリストリスト画面(例)



1～12表示(P1～P12)　放送局名と物理チャンネル

現在の設定内容(プリセット番号と放送局名と物理チャンネルの組み合わせ)を確認できます。

アドバイス

すでにプリセットリストを表示している場合は手順①を省略することができます。

アドバイス

- リスト画面は操作ボタン1の **リスト** からも表示させることができます。☞474ページ
- 次ページがある場合は、 ▲ ／ ▼ をタッチして設定内容(リスト)をスクロールすることができます。
- チャンネルリストは操作ボタン1の **1** ～ **12** (エリア)にメモリーされているエリア番号と放送局名を表示します。
  ※地域によっては同じ番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。

チャンネルリスト画面(例)



エリア番号　放送局名

操作ボタン1



(例) **1** ～ **12** (エリア)

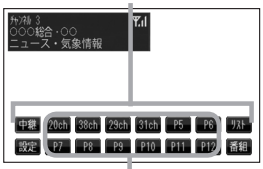
- プリセットリストは操作ボタン1の **P1** ～ **P12** (プリセット)にメモリーされているプリセット番号と放送局名／物理チャンネルを表示します。

プリセットリスト画面(例)



プリセット番号　放送局名／物理チャンネル(13ch～62ch)
※メモリーされていない場合、リストに表示されません。

操作ボタン1



(例) **P1** ～ **P12** (プリセット)

- 表示されるリストは、前回 **エリア呼出** または **プリセット呼出** のどちらを選択したかによるため、☞488ページ手順 **2** の **チャンネルリスト** ／操作ボタン1表示時の **リスト** をタッチしたときにどちらが表示されるのかは状態によって異なります。

プリセットボタンにメモリーする(1)

プリセット選局(☞485ページ)やリスト選局(☞486ページ)をするために、あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

1 ⏮ ⏭ (選局)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞「手動選局で放送局を選ぶ」／「自動選局で放送局を選ぶ」484ページ

2 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**設定** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



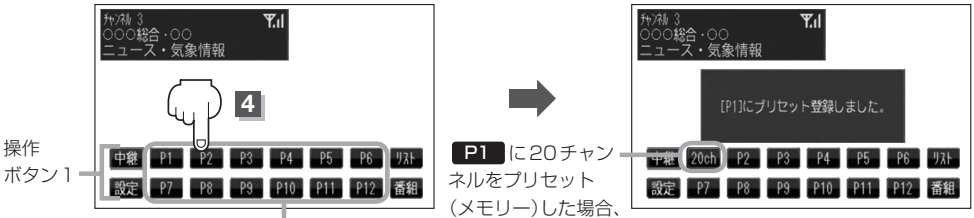
3 **プリセット呼出** をタッチする。

：操作ボタン1を表示します。

ワンセグメニュー画面



4 メモリーしたい **P1** ～ **P12** (プリセット)を1秒以上タッチする。



：選択したボタンに放送局がメモリーされます。

※表示はP1～P12から13ch～62ch(物理チャンネル)表示へ変わります。

※選局中や放送局を受信できない状態では、放送局をメモリーすることはできません。

アドバイス

- メモリーした放送局を呼び出すには **P1** ～ **P12** (プリセット)を軽く(1秒未満)タッチします。☞487ページ
- すでにメモリーされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- 画面をタッチしたときに **P1** ～ **P12** (プリセット)が表示された場合は、上記手順 **2** 、 **3** を省略することができます。

プリセットボタンにメモリーする(2)

エリア呼出／プリセット呼出について

画面をタッチしたときに表示される操作ボタンは設定により異なります。

ワンセグメニュー画面



初期状態は **エリア呼出** が設定されています。

エリア呼出 設定中に



画面をタッチすると

操作ボタン1



1 ～ **12**（エリア）が表示される

ワンセグメニュー画面



488ページ手順 **3** で **プリセット呼出** が選択されている場合



画面をタッチすると

操作ボタン1



P1 ～ **P12**（プリセット）が表示される

※ **1** ～ **12**（エリア）には、視聴エリアの変更やスキャンによって自動でメモリーされた放送局が割り当てられています。
P1 ～ **P12**（プリセット）は、お客様ご自身がお好きな放送局をメモリーします。
メモリーしたボタンは物理チャンネル（13～62ch）表示に変わります。たとえば **P1** に36チャンネルをプリセットすると **P1** は **36ch** 表示になります。

※操作ボタン1の表示は最終選択時の状態を保持するため、前回 **エリア呼出** または **プリセット呼出** のどちらを選択したかによって表示が異なります。

チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する(1)

1 **画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、設定をタッチする。**

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2 **チャンネルリスト をタッチする。**

：チャンネルリスト画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 **チャンネルリストまたはプリセットリストを初期化します。**

■ チャンネルリストを初期化する場合

① **初期化** をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)



：チャンネルリストを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチするとチャンネルリストが初期化されます。(現在地の視聴エリアのチャンネルリストをセットします。)

アドバイス

プリセットリスト(☞ 487ページ)が表示された場合は **チャンネルリスト** をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。

チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する(2)

■ プリセットリストを初期化する場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)



：プリセットリスト画面が表示されます。

アドバイス

すでにプリセットリストを表示している場合は手順①を省略することができます。

② **初期化** をタッチする。

プリセットリスト画面



：プリセットリストを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、プリセットリストが初期化されます。(すべての登録内容がから(空白)になります。)

4 設定を終わるには…

戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

表示されるリストは最終選択時の状態を保持するため、490ページ手順 **2** の **チャンネルリスト** ／操作ボタン1表示時の **リスト** をタッチしたときにどちらが表示されるかは状態によって異なります。

設定をする(1)

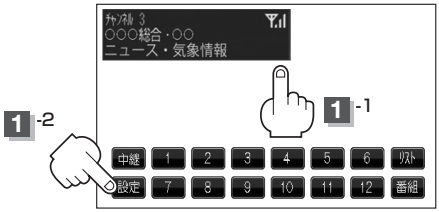
時計表示設定

画面上に常に時計を表示させるかどうかの設定をすることができます。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**設定** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2 **システム設定** をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 **各種設定** をタッチする。

：表示設定画面が表示されます。

システム設定画面



4 時計表示をするかどうかの設定をします。

■ 時計を表示させる場合

① **する** をタッチする。

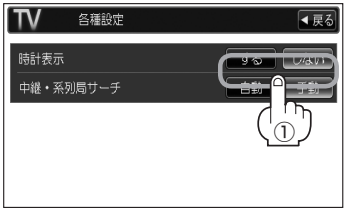
：常に時計を表示します。

■ 時計を表示させない場合

① **しない** をタッチする。

：時計は表示されません。

各種設定画面



5 設定を終わるには…

戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

工場出荷時は **しない** に設定されています。

設定をする(2)

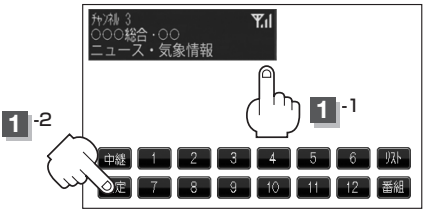
中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする

受信状態が悪くなった場合に自動で他の中継局／系列局を探すか、手動で探すかを設定することができます。

1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**設定** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)



2 **システム設定** をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 **各種設定** をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

システム設定画面



4 自動／手動の設定をします。

各種設定画面



■ **自動** をタッチした場合

：自動で中継局と系列局を探します。

※受信していた放送局に受信可能な中継局、または現在地の視聴エリアに同じ系列に属する系列局がある場合、受信可能となるまでサーチし続けます。

■ **手動** をタッチした場合

：放送局が受信できなくなった場合は、“受信できません”とメッセージが表示されます。

※手動で中継・系列局サーチをするには **中継** をタッチします。

「中継局を探す」481ページ

5 設定を終わるには…

戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

設定をする(3)

受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する

1 **画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、設定をタッチする。**

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)



2 **システム設定をタッチする。**

：システム設定画面が表示されます。

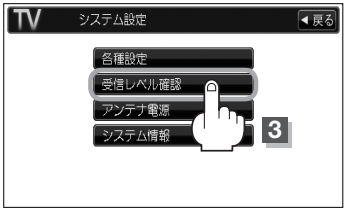
ワンセグメニュー画面



3 **受信レベル確認をタッチする。**

：受信レベル確認画面が表示されます。

システム設定画面

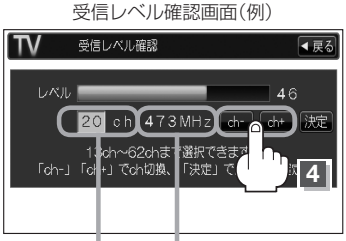


4 **ch－／ch+をタッチする。**

：タッチするたびに１チャンネルずつ変わります。
13～62chの中から確認したいチャンネルを選択してください。

※チャンネルを変更するとチャンネルにあった周波数が表示されます。

受信レベル確認画面(例)



周波数表示

チャンネル表示
(物理チャンネル 13～62ch)

5 決定 をタッチする。

：チャンネル(周波数)を確定し、レベルを確認することができます。また、確定したチャンネル(周波数)の放送局が存在すれば、その放送局を受信することができます。(放送局が存在しない場合は受信できなくなります。)



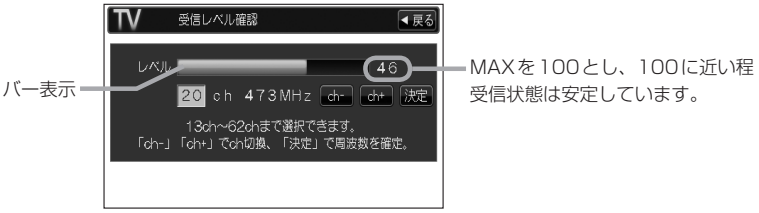
6 設定を終わるには…

戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

受信レベル確認画面のとき本機の受信状態を(バーの長さと数値にて)確認することができます。

受信レベル確認画面(例)



設定をする(4)

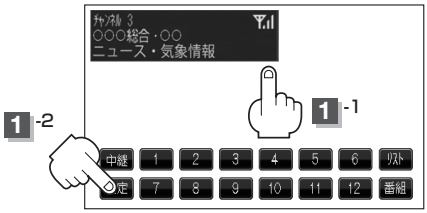
アンテナ電源の設定をする

アンテナの電源設定を変更することができますが通常は 電源 入 に設定してください。
電源 切 に設定すると正常に受信できません。

1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、
設定 をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)



2 システム設定 をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

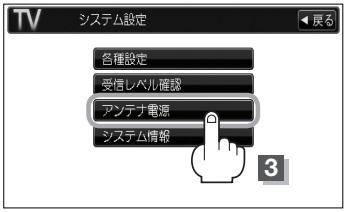
ワンセグメニュー画面



3 アンテナ電源 をタッチする。

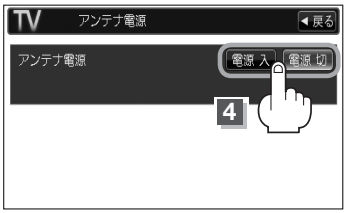
：アンテナ電源設定画面が表示されます。

システム設定画面



4 電源 入 をタッチする。

アンテナ電源設定画面



アドバイス

※ 電源 入 に設定できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

5 設定を終わるには…
戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

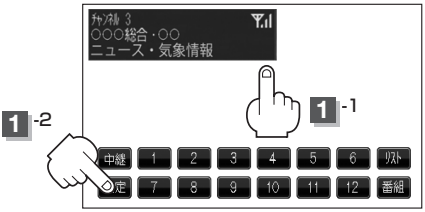
設定を初期化する

ワンセグメニューで変更した各種設定内容を初期化することができます。

1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**設定** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)



2 **システム設定** をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

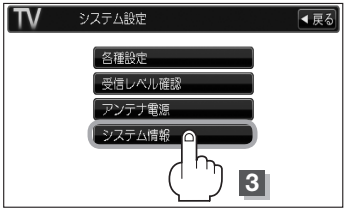
ワンセグメニュー画面



3 **システム情報** をタッチする。

：システム情報画面が表示されます。

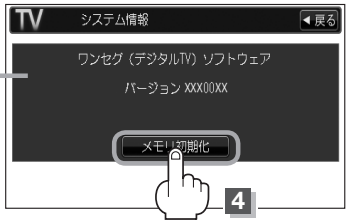
システム設定画面



4 **メモリ初期化** をタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると設定内容を初期化します。

システム情報画面(例)



現在のバージョンが表示されます。

5 初期化が終わったら、初期化完了のメッセージが表示されるので **OK** をタッチする。

設定をする(5)

アドバイス

他人に譲渡または処分などされる際は、 **メモリ初期化** を行ない、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。

注意

- **初期化中は車のキースイッチを変更しないでください。**
  故障の原因となります。
- 初期化を行なうと設定やデータは消去されます。

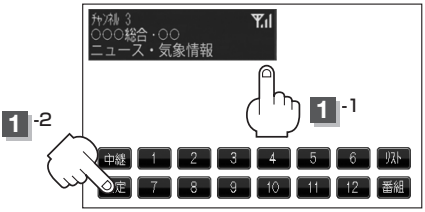
音声と字幕の設定をする

数種類の音声が同時に放送されている番組では、本機で音声を切り換えることができます。また映画やドラマなど字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**設定** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)



2 **音声字幕** をタッチする。

：音声／字幕設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 音声または字幕の設定をします。

■ 音声の設定をする場合

① **音声１** ／ **音声２** および **主** ／ **副** ／ **主+副** をタッチする。

：タッチした時点でその設定(選択した音声)が確定(決定)されます。

※二重音声放送と複数音声放送の場合に有効となります。

音声／字幕設定画面



■ 字幕の設定をする場合

① **字幕１** ／ **字幕２** をタッチする。

：選択した字幕にて設定されます。

※字幕がある番組の場合に有効となり、設定画面を抜けた時点で設定の変更が確定(決定)されます。

音声／字幕設定画面



アドバイス

字幕の表示を止めるときは **字幕なし** をタッチしてください。

設定をする(6)

4 設定を終わるには…

戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

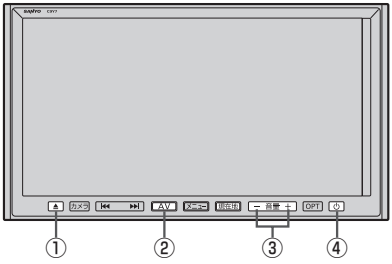
※音声または字幕を設定(変更)した時点で、その設定が確定(決定)されます。

Photo

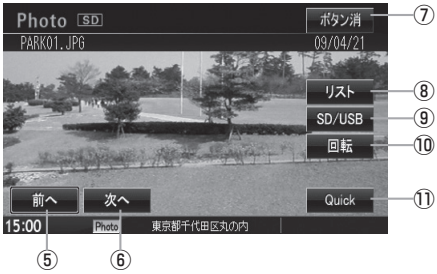
Photo機能を使う ……503～510
各部の名称とはたらき ……503
表示部について ……504
画像を表示させる……505、506
Photoモードを終了する ……506
メディア(SD/USB)を選択する ……507
フォルダを選択し画像を表示させる ……508
操作パネル上のボタンにて画像を戻す／進める ……509
タッチパネル上のボタンにて画像を戻す／進める …509
画像を回転させる ……510

Photo機能を使う(1)

各部の名称とはたらき



PhotoモードTOP画面((詳細表示時(例))



① ▲ ボタン(OPEN)

パネルをオープンさせて、SDカードを入れる／取り出すときに使用します。

② ⏮ ⏭ ボタン(スキップ)

好きな画像を選びます。(509ページ)

③ AV ボタン

AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション画面／CD／DVD／MP3／WMA／Radio／SD／USB／VTR／MUSIC STOCKER／ワンセグ／iPodモードからPhotoモードに切り替えるときに使用します。

④ ⏻ ボタン(AV電源)

- AV電源をON／OFFします。(506ページ)
- 2秒以上の長押しで画面を消します。(53ページ)

⑤ 前へ ボタン

1つ前の画像を表示します。(509ページ)

⑥ 次へ ボタン

次の画像を表示します。(509ページ)

⑦ ボタン消 ボタン

表示されている操作ボタンを消します。
※約10秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑧ リスト ボタン

画像リストを表示します。(508ページ)

⑨ SD／USB ボタン

表示させるメディアを選択します。(507ページ)

⑩ 回転 ボタン

表示させている画像を回転することができます。(510ページ)

⑪ Quick ボタン

Quick MENU機能を使用することができます。(544ページ)

表示部について



アドバイス

- ファイルフォーマット：Baseline JPEG方式
  ※Progressive JPEGカラーフォーマットがGray scale、CMYKのJPEGファイルは対応しません。
- 480×240ドットの画像がちょうど本機の画面の大きさです。
- JPEG画像を表示する場合、画面（480×240ドット）より大きい画像は画面にあわせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違うため、画像は縦伸びに表示されます。
- 表示できるのは、拡張子がJPGのみですが、拡張子がJPGでも表示できない場合もあります。
- 最大ディレクトリ階層　：8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数　：全角32文字・半角64文字
- ファイルサイズ　：10MB以下
- 画像サイズ　：16×16ピクセル ～ 4032×3024ピクセル
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字　：A～Z、0～9、_（アンダースコア）
- 1フォルダ中の最大ファイル数　：255（ファイル数＋フォルダ数）
- 最大フォルダ数　：50
- 最大ファイル数　：1000
- 画像名（ファイル名）が表示しきれない場合、画像名（ファイル名）をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
  ※画像名（ファイル名）が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

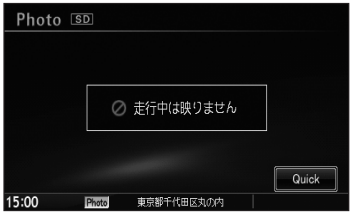
Photo機能を使う(2)

画像を表示させる

SDカードまたはUSBメモリデバイスに記録されているJPEG画像を本機に表示させることができます。

⚠ 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。

(例) Photoモード画面(走行中)



■ SDカード未挿入の場合

①[▲]ボタン(OPEN)を押してディスプレイを開き、SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

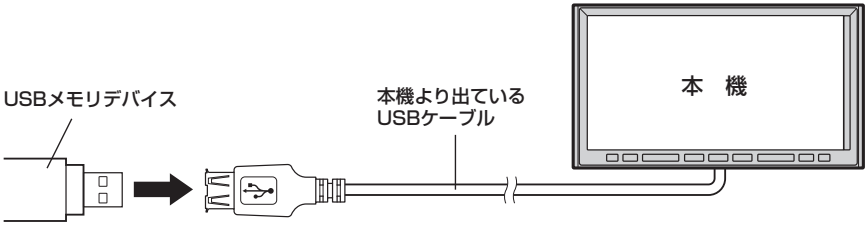
：自動でディスプレイが閉じ画像が表示されます。

アドバイス

- SDカード挿入口につきまして詳しくは☞「SDカードを入れる／取り出すには」(51ページ)を参照ください。
- USBのメディアが選択されている場合はSDを選択しなおす必要があります。
  ☞「メディア(SD／USB)を選択する」507ページ

■ USB未接続の場合

①本機より出ている付属のUSBケーブルにUSBメモリデバイスを接続する。



：画像が表示されます。

アドバイス

初期状態ではSDのメディアが選択されているため、画面にメッセージが表示された場合はメディアをUSBに変更する必要があります。
☞「メディア(SD／USB)を選択する」507ページ

■ 他のモード画面を表示している場合

□ Photoモード画面でAV電源OFFにしていた場合

①[⏻]ボタン(AV電源)を押す。

：画像が表示されます。



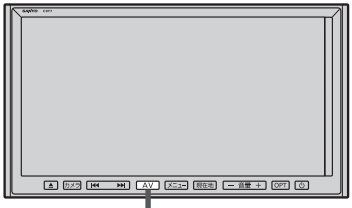
① [⏻] ボタン(AV電源)

□ ナビゲーション画面またはPhotoモード以外のモード画面の場合(OFF含む)

①[AV]ボタンを押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

＊：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)



① [AV] ボタン

AV SOURCE画面



②[Photo]ボタンをタッチする。

：画像が表示されます。

■ 映像の調整をする場合

「映像の調整のしかた」535～538ページ

Photoモードを終了する

1 [⏻] ボタン(AV電源)を押す。

：画面に“OFF”と表示され画像の表示を止めます。



1 [⏻] ボタン(AV電源)



Photo機能を使う(3)

メディア(SD／USB)を選択する

表示させたい画像のメディア(SD／USB)を選択します。

1 **画面をタッチし操作ボタンを表示させ、SD／USB ボタンをタッチする。**

：SD／USB選択画面が表示されます。

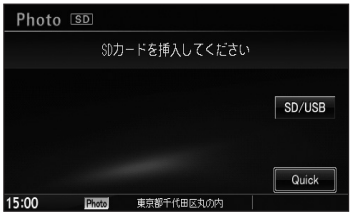
(例) Photoモード TOP画面



アドバイス

選択したメディアが未挿入／未接続の場合は画面にメッセージが表示されるので挿入／接続後 SD／USB ボタンをタッチしてください。

(例) SDカード未挿入の場合



2 **表示させたいメディア(SD ／ USB ボタン)をタッチする。**

：メディアが選択されPhotoモード TOP画面に戻ります。

SD／USB選択画面



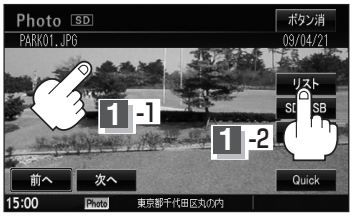
フォルダを選択し画像を表示させる

1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**リスト** ボタンをタッチする。

：フォルダリストが表示されます。

※フォルダリストはフォルダの更新日が古い順に表示されます。（ROOTフォルダは除きます。）

Photoモード TOP画面



2 表示させたいファイルのフォルダをタッチする。

：選択したフォルダの画像（ファイル）リストが表示されます。

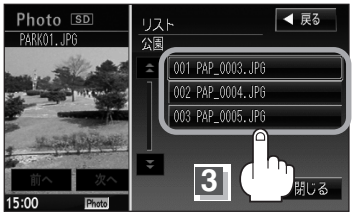
※リストは画像の更新日が古い順に表示されます。

（例）フォルダリスト画面



フォルダリスト

3 表示させたい画像（ファイル）をタッチする。





：選択した画像（ファイル）が表示されます。

アドバイス

- 次ページがある場合 ▲▲ ／ ▼▼ ボタンタッチしてリストをスクロールさせることができます。
- 選択中フォルダの画像を1つずつ表示させることもできます。

「操作パネル上のボタンにて画像を戻す／進める」509ページ
「タッチパネル上のボタンにて画像を戻す／進める」509ページ

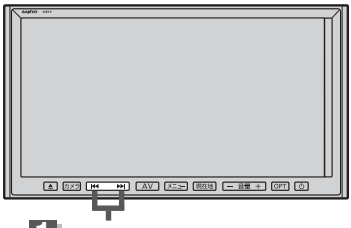
Photo機能を使う(4)

操作パネル上のボタンにて画像を戻す／進める

選択中フォルダの画像を1枚ずつ表示させることができます。

1 ⏮ ⏭ボタン(スキップ)を押す。

：前の画像に戻る、または次の画像に進みます。



1 ⏮ ⏭ボタン(スキップ)

■ 前の画像に戻る場合

⏮ボタンを押す。

■ 次の画像に進む場合

⏭ボタンを押す。

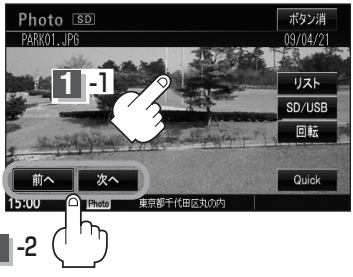
アドバイス

- 画面をタッチして選択することもできます。
  「タッチパネル上のボタンにて画像を戻す／進める」下記
- フォルダを選択して画像を表示させることもできます。
  「フォルダを選択し画像を表示させる」508ページ

タッチパネル上のボタンにて画像を戻す／進める

選択中フォルダの画像を1枚ずつ表示させることができます。

1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、前へ／次へボタンをタッチする。



■ 前の画像に戻る場合

前へボタンをタッチする。

※1つ前の画像を表示します。

■ 次の画像に進む場合

次へボタンをタッチする。

※次の画像を表示します。

アドバイス

- ⏮ ⏭ボタン(スキップ)を押して画像を選択することもできます。
  「操作パネル上のボタンにて画像を戻す／進める」上記
- フォルダを選択して画像を表示させることもできます。
  「フォルダを選択し画像を表示させる」508ページ

画像を回転させる

表示させている画像の向きを変えることができます。

1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
回転 ボタンをタッチする。

：タッチするたびに右方向に90度ずつ回転します。



アドバイス

- 480×240ドットの画像がちょうど本機の画面の大きさです。
- 表示できるのは、拡張子がJPGのみですが、拡張子がJPGでも表示できない場合もあります。
- Progressive JPEGカラーフォーマットがGray scale、CMYKのJPEG画像は対応しません。

iPod

iPodについて ……513〜515
iPodとは……513
使用上のご注意 ……513
対応可能なiPod……514
iPodを本機に接続するには……515
iPodを本機に接続すると……515
iPodを使う ……516〜533
各部の名称とはたらき ……516
表示部（再生画面）について ……517
iPodを聞く ……518、519
iPodモードを終了する……519
再生を止める（一時停止）……519
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する
（トラックを戻す／進める）……520
トラックリストより好きなトラックを選び
再生させる ……521
早戻し／早送りをする ……522
選曲モードより選択し再生させる……523〜528
リピート（繰り返し）再生をする ……529
シャッフル再生をする ……530
iPodビデオモードで映像を再生させる ……531〜533

iPodについて(1)

iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォト、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。
「iPod」、「iPhone」は、Apple Inc.の登録商標です。

アドバイス

*印：インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPodの故障の原因となります。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定がかわってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- iPodは別売のiPod接続アダプターを使用してiPodモードで再生させる方法と、本機から出ているUSBケーブルを使用してUSBモードで再生させる方法があります。

対応可能なiPod

2010年2月現在

モデル名	ソフトウェアバージョン	iPodモードにて再生（iPod ボタン選択時）		USBモードにて再生（USB ボタン選択時）	
		音楽再生	ビデオ再生	音楽再生	ビデオ再生
iPhone 3GS	3.0以上	○	○	○	×
iPhone	2.0以上	○	○	○	×
iPod touch 第3世代	3.1.1以上	○	○	○	×
iPod touch 第2世代	2.1.1以上	○	○	○	×
iPod touch 第1世代	2.0以上	○	○	○	×
iPod classic	1.0.3以上	○	○	○	×
iPod Video (iPod 第5世代)	1.2.3以上	○	○	○	×
iPod nano 第5世代	1.0.1以上	○	○	○	×
iPod nano 第4世代	1.0以上	○	○	○	×
iPod nano 第3世代	1.0.3以上	○	○	○	×
iPod nano 第2世代	1.1.3以上	○	×	○	×
iPod nano 第1世代	1.3.1以上	○	×	○	×
iPod photo	1.0以上	○	×	×	×
iPod mini	1.2以上	○	×	×	×
iPod 第4世代 (クイックホイール)	3.0.2以上	○	×	×	×

○：対応可能　×：対応不可

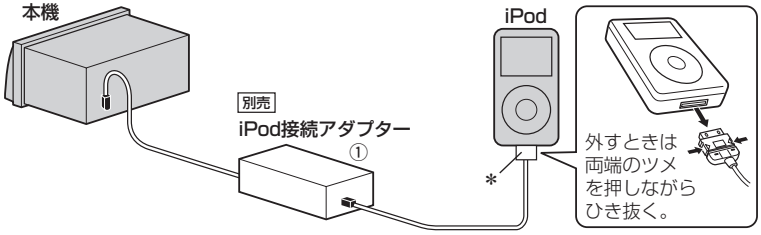
アドバイス

- iPodは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
  ※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- USB接続では動画（VIDEO）再生はできません。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- iPod touchはソフトウェアのバージョンによっては映像は表示しないで音楽再生のみとなったり、映像は表示しているが音楽再生はしないなど、ビデオモードにしたときの動きは異なります。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

iPodについて(2)

iPodを本機に接続するには

iPodを聞くには別売のiPod接続アダプター(①)が必要です。



＊：ケーブルの先端にはキャップが付いています。
接続時以外はキャップをはめてください。

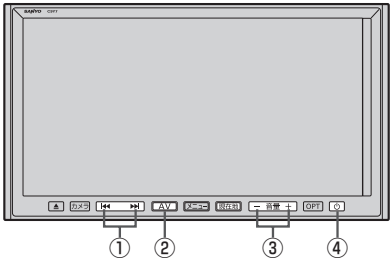
- 本機にiPodを接続するときはヘッドフォンなどの機器は外してiPod単体としてください。
- iPodは本機の状態や車のキースイッチのON／OFFにかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- 接続した状態で車のキースイッチをOFFにすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。
- USBモードで再生する場合は☞「USBメモリデバイスを使う」415～429ページをご覧ください。

iPodを本機に接続すると…

- iPodに収録されたデータが本機に表示されます。使い慣れたiPodの感覚そのままにタッチパネルを使用して操作することができます。
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は充電ができるのでバッテリー消費の心配は不要です。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。
- iPodが正しく動作しないときは、iPodを外してiPodをリセットしてから再度接続してください。

iPodを使う(1)

各部の名称とはたらき



iPodモードTOP画面(例)詳細表示



① ⏮ ⏭ ボタン(トラック)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(⏮)／早送り(⏭)します。
(520、522ページ)

② AV ボタン

AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション画面／CD／DVD／MP3／WMA／Radio／SD／USB／VTR／MUSIC STOCKER／ワンセグ／PhotoモードからiPodモードに切り替えるときに使用します。

③ −音量＋ ボタン

音量の増減を調整します。
−：音量を下げます。　＋：音量を上げます。

④ ⏻ ボタン(AV電源)

- AV電源をON／OFFします。
- 2秒以上の長押しで画面を消します。(53ページ)

⑤ 詳細 ボタン

トラックの詳細情報を表示します。(517ページ)

⑥ トラック ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。(521ページ)

⑦ 選曲モード ボタン

iPodのミュージックリストから再生したい曲を絞り込んで再生することができます。(523ページ)

⑧ ▶II ボタン(再生／一時停止)

再生中にタッチすると音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。
(519ページ)

⑨ 再生モード ボタン

音楽再生(ミュージックモード)の場合、リピート再生やシャッフル再生をすることができます。
(529、530ページ)
ビデオモードの場合、再生中のビデオをくり返し表示させることができます。(532ページ)

⑩ モード切替 ボタン

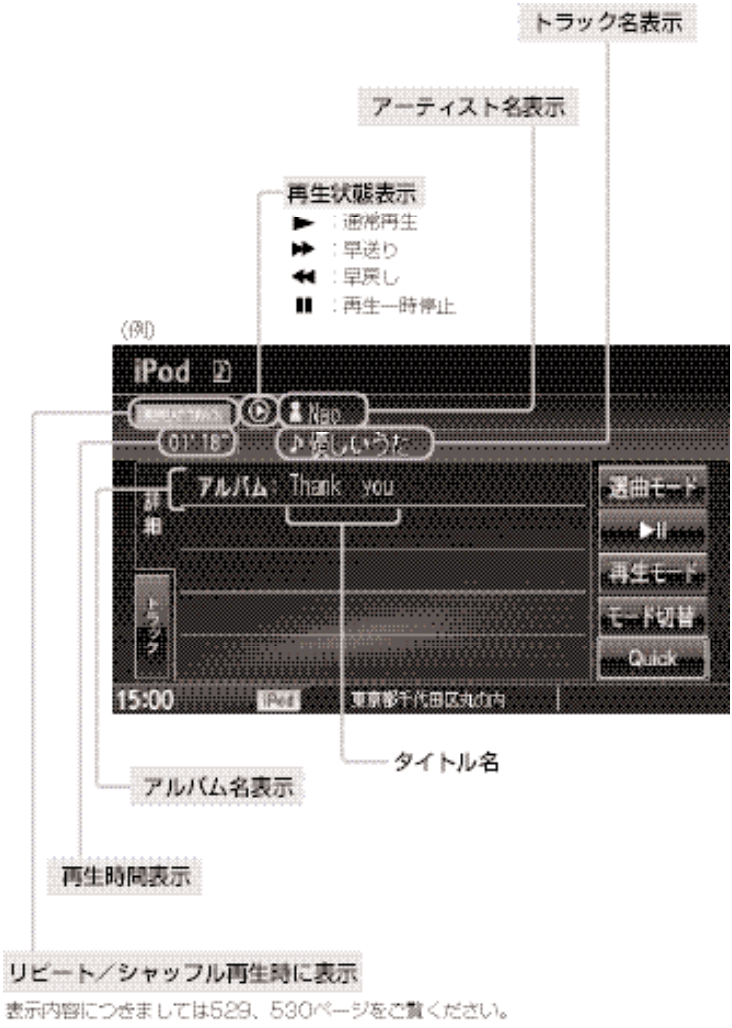
ミュージックモード／ビデオモードを切り替えることができます。(531、532ページ)

⑪ Quick ボタン

Quick MENUを使用することができます。
(544ページ)

iPodを使う(2)

表示部(再生画面)について



表示内容につきましては529、530ページをご覧ください。

アドバイス

- 表示内容はiPod本体で表示されるトラック名／アーティスト名／アルバム名となります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では- (ハイフン表示)となります。
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名／アーティスト名／アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

iPodを聞く

※iPodを本機に接続していない／iPodになにも収録されていない場合、iPodの曲を聞くことはできません。

■ 他のモード画面を表示している場合



□ iPodモード画面でAV電源OFFしていた場合

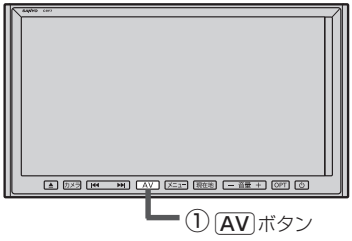
①⏻ボタン(AV電源)を押す。

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。

□ ナビゲーション画面またはiPodモード以外のモード画面の場合(OFF含む)

①AVボタンを押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。



■ AV SOURCE画面のときは…
下記手順②へ進んでください。

■ ラストモード*画面のときは…
もう一度AVボタンを押す。

：AV SOURCE画面が表示されます。

＊：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

AV SOURCE画面



②iPodボタンをタッチする。

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。

アドバイス

別売のUSBケーブルを使用して再生させる場合は、AV SOURCE画面でUSBボタンをタッチします。(USBモードで再生となりますが、再生中の操作はiPodモード時と同等操作となりますので、「iPodを使う」513～533ページをご覧ください。

iPodを使う(3)

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」288ページ
「オーディオの調整をする」289、290ページ
「映像の調整のしかた」535～538ページ

アドバイス

iPodの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」542、543ページ

iPodモードを終了する

1 ⏻ ボタン(AV電源)を押す。

：画面に“OFF”と表示されiPodの再生を止めます。



1 ⏻ ボタン(AV電源)

アドバイス

- iPod本体を外すときはiPodモードを終了させてください。(OFF状態)
- iPod本体からケーブル(コード)を外すときは両端のツメを押しながらひき抜いてください。
515ページ

再生を止める(一時停止)

1 ⏯ ボタン(再生／一時停止)をタッチする。

：再生を止めます。

■ 再び、再生を始める場合

⏯ ボタン(再生／一時停止)をタッチする。

：再生を止めた続きから再生を始めます。



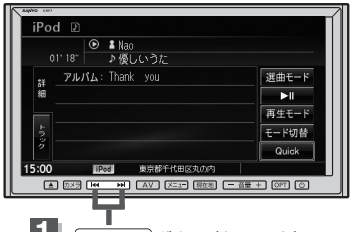
再生状態を表示します。
▶：通常再生
⏸：再生一時停止

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。



1 ⏮ ⏭ボタン(トラック)

■ 前のトラックに戻る場合

⏮側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭側を押す。

アドバイス

画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

「トラックリストより好きなトラックを選び再生させる」521ページ

iPodを使う(4)

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

選曲モード(☞523～528ページ)で選択したボタン(全曲／ジャンル／アルバム／プレイリスト／アーティスト／作曲者／ポッドキャスト)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1 **トラック**ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

iPodモード TOP画面((例)詳細表示時)



アドバイス

iPodモード TOP画面は選択するボタン(**詳細**／**トラック**)によって詳細表示／トラックリスト表示となります。



詳細表示

トラックボタンタッチ

詳細ボタンタッチ



トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

iPodモード TOP画面
((例)トラックリスト表示時)



▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示

アドバイス

TOP画面を詳細表示に戻したい場合は**詳細**ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

早戻し／早送りをする

1 ⏮ ⏭ボタン（トラック）を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。



■ 早戻しで戻る場合

⏮側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭側を押し続ける。

アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。

iPodを使う(5)

選曲モードより選択し再生させる

再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

1 選曲モードボタンをタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

iPodモード TOP画面
((例)詳細表示時)



2 選曲モードより選曲する方法(全曲／ジャンル／アルバム／プレイリスト／アーティスト／作曲者／ポッドキャストボタン)を選択します。



アドバイス

- 選曲モードより選択した各ボタンに収録されている内容は、iPod本体に収録されている内容となります。
- iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲モードを選択する前に閉じるボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。

■ 全曲ボタンをタッチした場合

：トラックリスト画面の表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



：選択した曲を再生します。

■ **ジャンル** ボタンをタッチした場合

：ジャンルリスト画面が表示されます。

①再生させたいジャンル（iPodに収録されているジャンル名の）ボタンをタッチする。

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

ジャンルリスト画面



すべて ボタンをタッチするとiPod内のアーティストが表示されます。－さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内のアルバムが表示されます。－さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面



すべて ボタンをタッチすると①で選択したジャンルに該当するアルバムが表示されます。－さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

③再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

アルバムリスト画面



すべて ボタンをタッチすると②で選択したアーティストのトラック表示とともに曲が再生されます。

④再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面



アドバイス

ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数（表示）はiPod本体に収録されている内容となります。（iPodの内容によってボタンが増えることも減ることもあります。）

iPodを使う(6)

■ アルバムボタンをタッチした場合

：アルバムリスト画面が表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



すべてボタンをタッチするとiPod内のアルバムのトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。



■ プレイリストボタンをタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

①再生させたいプレイリストをタッチする。



：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

■ **アーティスト**ボタンをタッチした場合

：アーティストリスト画面が表示されます。

①再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面



すべてボタンをタッチすると iPod内のアルバムが表示されます。

②再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

アルバムリスト画面



さらに **すべて**ボタンをタッチすると①で選択したアーティストに該当するトラックリストが表示されます。

③再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



：選択した曲を再生します。

iPodを使う(7)

■ **作曲者** ボタンをタッチした場合

：作曲者リスト画面が表示されます。

①再生させたい作曲者をタッチする。

：選択した作曲者のアルバムが表示されます。



すべて ボタンをタッチするとiPod内の全てのアルバムが表示されます。－さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内の全てのトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともにリストの一番上の曲が再生されます。



すべて ボタンをタッチすると①で選択した作曲者に該当するiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

③再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。



■ **ポッドキャスト** ボタンをタッチした場合

：ポッドキャストリスト画面が表示されます。

①再生させたいポッドキャストをタッチする。

：選択したポッドキャストに収録されているリストが表示されます。



②再生させたいリストをタッチする。

：選択したリストを再生します。



3 設定を終わるには…

戻る ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

：**戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**閉じる** ボタンをタッチするとiPodモード TOP画面に戻ります。

アドバイス

次ページがある場合 ▲ ／ ▼ ボタンタッチでページ戻し／送り表示をします。

iPodを使う(8)

リピート(繰り返し)再生をする

1 **再生モード** ボタンをタッチする。

：再生モード選択画面が表示されます。

2 **リピート** ボタンをタッチする。

：表示灯を点灯し、リピート機能が働きます。

- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯／TOP画面で REPEAT TRACK マーク表示有)

↓

通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

iPodモード TOP画面
((例)詳細表示時)

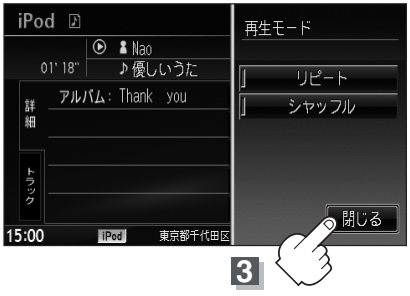




3 設定を終わるには…

閉じる ボタンをタッチする。

：iPodモード TOP画面に戻ります。



アドバイス

- **リピート** ボタンの表示灯を消灯(リピート解除)するまでリピート再生を繰り返します。
- リピート再生中はトラックのアップダウン（パネルの ⏮ ⏭ ボタン(トラック)を使用してトラックを選択）することはできません。

シャッフル再生をする

1 **再生モード** ボタンをタッチする。

：再生モード選択画面が表示されます。

2 トラックまたはアルバムをシャッフル再生します。

- **シャッフル** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのシャッフル再生

（表示灯点灯／TOP画面で SHUFFLE TRACK マーク表示有）

↓

今聞いているアルバムのシャッフル再生

（表示灯点灯／TOP画面で SHUFFLE ALBUM マーク表示有）

↓

通常再生（シャッフル解除）

（表示灯消灯／マーク表示無）

iPodモード TOP画面
（（例）詳細表示時）



シャッフル再生時に表示

機能選択画面



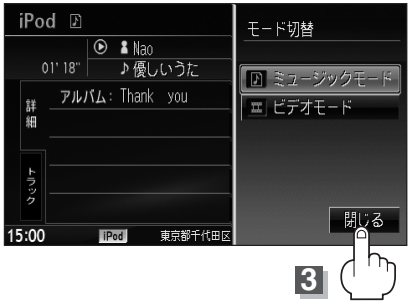
選択時点灯

選択中の状態を表示

3 設定を終わるには…

閉じる ボタンをタッチする。

：iPodモード TOP画面に戻ります。



iPodを使う(9)

iPodビデオモードで映像を再生させる

TV出力機能を備えたiPodの場合、iPodに収録されているビデオデータを本機に表示させることができます。

※USBモードで再生させている場合、iPodビデオモードでは使用できません。

1 **モード切替**ボタンをタッチする。

：モード切替画面が表示されます。

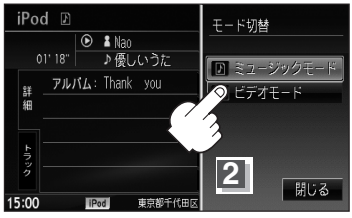
iPodモード TOP画面((例)詳細表示時)



2 **ビデオモード**ボタンをタッチする。

：iPod ビデオモードに切り替わります。

モード切替画面



アドバイス

- 走行中は音声のみになります。
- ビデオモードに対応していないiPodの場合、映像は表示されません。また、走行中の場合下記画面が表示されます。



モード切替ボタンをタッチしてミュージックモード(音楽再生のみ)に戻してください。

※操作ボタンが消えた場合は画面をタッチしてください。

⚠注意

安全上の配慮から車を安全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

(例)iPodビデオモード画面



画面に表示されている操作ボタンを消すには、切替ボタン(実行)をタッチしてください。

※再び操作ボタンを表示させるには、画面をタッチしてください。

アドバイス

- **ビデオモードを使うには…**
  iPod本体でTV出力の設定を“オン”にしてください。

リストボタン …… 動画リストより選択し、再生させることができます。☞532ページ

▶IIボタン …… 再生を一時停止します。もう一度タッチすると再び再生が始まります。

再生モードボタン …… 再生中のビデオを繰り返し表示させることができます。☞532ページ

モード切替ボタン …… ミュージックモード(音声再生のみ)と、ビデオモード(映像有り)の切り替えをすることができます。☞上記手順 1 および531ページ

Quickボタン ……Quick MENU機能を使用することができます。☞544ページ

■ 動画リストより選択し再生させる場合

①画面をタッチし、操作ボタンを表示させ **リスト** ボタンをタッチする。



②リストより再生させたい動画をタッチする。



：選択した動画が再生されます。

※さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。

■ 再生中の動画を繰り返し再生させる場合

①画面をタッチし、操作ボタンを表示させ **再生モード** ボタンをタッチする。



② **リピート** ボタンをタッチする。

リピート再生中は REPEAT TRACK マークが表示されます。



表示灯点灯しリピート機能が働きます。
※リピート再生をやめるにはもう一度タッチし表示灯を消灯させてください。

■ ビデオモードのときミュージックモード(音楽再生のみ)に戻す場合

①画面をタッチし、操作ボタンを表示させ **モード切替** ボタンをタッチする。



② **ミュージックモード** ボタンをタッチする。



：iPodモード TOP画面に戻ります。

3 設定を終わるには…

画面の 戻る ボタンまたは 閉じる ボタンをタッチする。

：戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 閉じる ボタンをタッチするとiPodモード TOP画面に戻ります。

アドバイス

- iPod本体から入力された映像や音声はiPodビデオモード(ビデオモード ボタンをタッチ)にすることにより見たり、聞くことができます。
- TV出力機能がない、映像データがないなどのとき、画面は黒表示となります。
- 走行中は安全のため、映像は出力されません。iPod本体の操作はできません。
- TV出力の有無はiPod本体の取扱説明書またはiPodをお取り扱いの販売店でご確認ください。
- iPodビデオモードのとき、モードを変更したときはビデオモード画面を保持しません。もう一度手順 1 (531ページ)より操作し直してください。
- ミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、リスト一番上の曲からの再生となります。
- iPodビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとに、リジューム情報(どこまで再生したか)をiPodがおぼえています。選択すると前回のつづき(再生位置)から再生が始まります。
- アーティスト/アルバムなどのタイトルを登録していないビデオは選択(再生)できません。
- USB接続でiPodを再生させている場合は映像データを再生できません。(531ページ手順 1 モード切替 ボタンは選択できません。)

その他

映像の調整のしかた……535～538
明るさ調整 ……536
コントラスト調整 ……537
色の濃さ調整 ……537
色合い調整 ……537
ディスプレイ選択 ……537
初期値に戻すには ……538
メニューの配色を変える ……539
初期値に戻すには ……539
音声はそのままで画面を消すには ……540
ボタンの照明について ……541
音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する……542、543
Quick MENU機能について ……544
Quick MENUの設定を変えるには ……545、546
リアシートモニターについて ……547
個人情報の取り扱いについて ……548
ルート案内時の注意点……549～552
出発地・経由地・目的地の設定について…553、554
経由地、目的地の登録のポイント……553、554
経由地を使って上手にルートを作る ……554
地図ソフトについて……555～558
市街地図（5m／12m／25mスケール）の収録エリア……559～562
細街路（主要市区町村道路）探索エリア ……562
*VICS*の概要 ……563、564
*VICS*情報有料放送サービス契約約款 …565、566
故障かな？と思ったら……567～581
こんなメッセージが出たときは……582～585
用語説明……586～590
放送局一覧……591、592
初期設定一覧……593、594
別売品（システムアップ）について ……595、596
主な仕様 ……597
取り付け角度について ……598
取り付け時の注意点 ……598
地図に表示される記号 ……599
ステアリングスイッチについて ……600
保証／アフターサービスについて ……601

映像の調整のしかた(1)

- ナビゲーション画面／CD／MP3／WMA／SD／iPod／Radio(AM／FM)／USB／MUSIC STOCKER／Photoモード画面のときは、明るさ／コントラスト調整ができます。
- DVD／VTR／iPodビデオ／ワンセグモード画面のときは、色の濃さ／色合い／明るさ／コントラスト調整／ディスプレイ選択*ができます。(ただし走行中は明るさ／コントラスト調整のみとなります。)
- 本機に別売のバックカメラ・サイドカメラ・フロントカメラを接続しているときは、色の濃さ／色合い／明るさ／コントラスト調整ができます。

アドバイス

- *印：ディスプレイ選択はノーマル／フル／ワイド／シネマの中から表示画面を選択できます。ただし、ワンセグモードの場合はフル固定となります。
- VTRモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ／コントラスト調整となります。
- 画質は、ナビゲーション画面／CD／MP3／WMA／SD／iPod／Radio／Photoの画面、DVD／VTR／iPodビデオの画面、バックカメラ・サイドカメラ・フロントカメラの画面で別々に調整することができます。

1 メニューボタンを2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面が表示されます。



1 メニューボタン

アドバイス

OPTボタン(オプション)に画質調整機能を設定している場合は、このボタンを押して画面調整画面を表示させることができます。「オプションボタンの設定をする」257、258ページ

2 画質調整 ボタンをタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

※ディスプレイ選択をする場合は537ページ「■ ディスプレイ選択の場合 」をご覧ください。

（例）画面調整画面



DVD／VTR／iPodビデオモード画面の場合に表示されます。（ディスプレイ選択*）

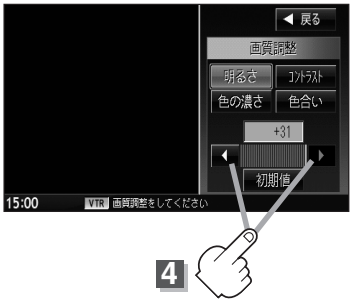
3 調整したい項目（明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い ボタン）をタッチする。

（例）画質調整画面



4 ◀／▶ ボタンをタッチして値を調整する。

（例）画質調整画面



アドバイス

調整はタッチパネルの◀ボタンまたは▶ボタンをタッチしつづけると素早く調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

■ 明るさ（1～31）調整の場合

◀ボタンをタッチすると暗くなり、▶ボタンをタッチすると明るくなる。

アドバイス

- 車のライトをつけているとき（ON時）とライトを消しているとき（OFF時）とで、それぞれ、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれ、お好みの明るさに調整してください。
- 明るさの初期値は、寒いところ（0℃以下）で使用する場合に内部照明装置が暗くなる特性を考慮し、最大値に設定しています。

映像の調整のしかた(2)

■ コントラスト(1～31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると黒さが増し、▶ボタンをタッチすると白さが増す。

アドバイス

直射日光の反射などで画面が見えにくい場合は(＋側へ)▶ボタンをタッチして白さを増してください。

■ 色の濃さ(1～31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると淡くなり、▶ボタンをタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1～31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると赤が強くなり、▶ボタンをタッチすると緑が強くなる。

アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

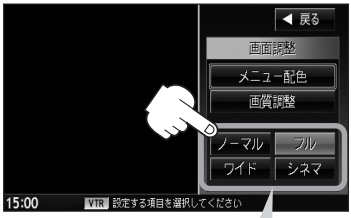
■ ディスプレイ選択の場合 (DVD／VTR／iPodビデオモード画面の場合)

手順 1 (535ページ)で画面調整画面を表示する。

ノーマル／フル／ワイド／シネマ の4つのタイプの中から、お好きな表示画面のボタンをタッチする。

※ディスプレイ選択の場合、ボタンをタッチした時点で確定(決定)となります。

(例)画面調整画面



ノーマル ：4：3の映像の画面
フ ル ：4：3の映像を左右に引き伸ばし、16：9にした画面
ワイド ：“フル”の違和感を少なくした画面
シネマ ：4：3の映像をそのまま拡大した画面

アドバイス

- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。
- VTRモードで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても設定は反映されません。
- ワンセグの場合はフル固定となります。

5 設定を終わるには…

現在地 ボタンを押すと、地図画面に戻る。

戻る ボタンをタッチすると、画面調整画面に戻る。

アドバイス

画面の 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

画質調整を初期値に戻すには

手順 3 、4 (536ページ)で調整した画質(明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い)を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

手順 1 、2 (535、536ページ)にしたがって操作し、手順 3 (画質調整画面)のとき 初期値 ボタンをタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

(例)画質調整画面

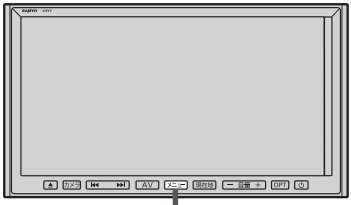


メニューの配色を変える

メニューボタンの色を変えることができます。

1 メニューボタンを2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面が表示されます。



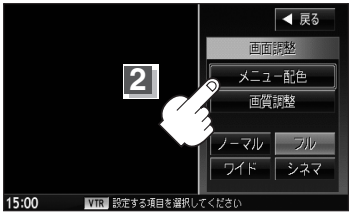
1 メニューボタン

2 メニュー配色ボタンをタッチする。

：配色設定画面が表示されます。

※画面調整画面は、画面に映像を表示するモードの場合、ディスプレイを選択するボタンが追加されます。
「■ ディスプレイ選択の場合」537ページ

（例）画面調整画面



3 お好みの配色（1／2／3）ボタンをタッチする。

：3種類の配色パターンが選択できます。

（例）配色設定画面



4 設定を終わるには…

現在地ボタンを押すと、地図画面に戻る。

戻るボタンをタッチすると、画面調整画面に戻る。

※すでに配色を設定した場合はその配色で確定（決定）されます。

メニュー配色を初期値に戻すには

上記手順 3 で変更したメニュー配色を変更する前の色（初期値）に戻すことができます。

上記手順 1 、2 と操作し、手順 3 （配色設定画面）で 初期値 ボタンをタッチする。

：メニュー配色が工場出荷時の配色に戻ります。

音声はそのままで画面を消すには

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1 **⏻ ボタン(AV電源)を2秒以上押す。**

：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

(例)CDモード画面

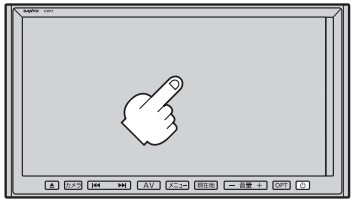


1 ⏻ ボタン(AV電源)

■ **再度、画面を表示する場合**

画面をタッチするか、再度
⏻ ボタン(AV電源)をタッチする。

：画面のバックライトが点灯し、
画面が表示されます。



アドバイス

- バックカメラ・フロントカメラ・サイドカメラが接続されている場合に車のシフトレバーをリバースに入れると、画面消モード中でも、モニター映像に自動的に切り替わります。

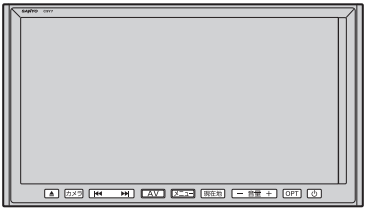
※シフトレバーをリバース以外に入れると、画面を消す前に表示していたモードの画面を5秒間表示してから画面消モードに戻ります。

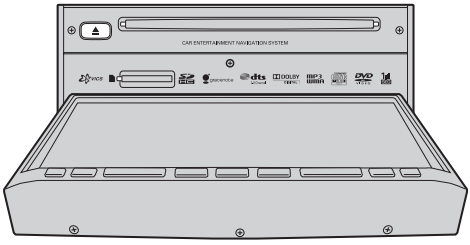
- バックカメラ・フロントカメラ・サイドカメラが接続されていて、モニター映像を表示している場合は、⏻ ボタン(AV電源)を押し続けても画面を消すことはできません。
- OPT ボタン(オプション)に画面消し機能を設定している場合は、このボタンを押して画面表示のON／OFFをすることができます。

「オプションボタンの設定をする」257、258ページ

ボタンの照明について

車のライトをONにすると、本機のボタンの文字(音量、メニュー、OPT)やボタン(AV、⏻、現在地、カメラ)、イラスト(⏏、⏮、⏭、−、+)、ディスプレイ部を開いたときのイラスト(⏏)やディスク挿入口、SDカード挿入口が点灯します。





音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する(1)

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。
※この操作はナビゲーション画面から操作することはできません。ナビゲーション画面を表示している場合は、284ページ手順 **2** にしたがって操作し、再生させたいモードに替えてください。

1 各モードの画面で、現在地ボタンを押す。

：音声はそのままで、画面がナビゲーション画面に変わります。

(例)CDモード画面

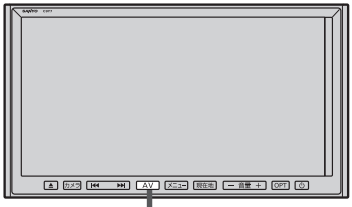


1 現在地ボタン

■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

①AVボタンを押す。

：今聞いているモードの画面に戻り、今聞いているモードの操作が可能になります。
再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、パネルの現在地ボタンを押してください。



① AVボタン

■ 音楽／音声の再生を止める場合

①⏻ボタン(AV電源)を押す。

：音楽／音声の再生を中止します。

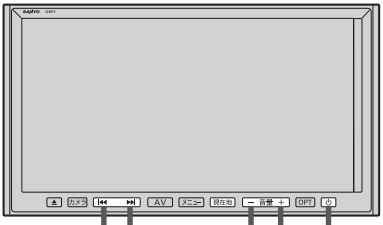


① ⏻ ボタン(AV電源)

音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する(2)

アドバイス

- 音量調整や⏮／⏭を使っての操作やAV OFF／ON(⏻(AV電源)ボタンを押す)は、ナビゲーション画面のままでもできます。



＊用途によって呼び名が変わります。
285ページアドバイスをご覧ください。

- 音声はそのままで画面を消したい場合は、「音声はそのままで画面を消すには」540ページをご覧ください。

Quick MENU機能について

オーディオとナビゲーションの各項目選択を1つの画面から操作することができます。

1 各モードのTOP画面で、Quick ボタンをタッチする。

：Quick MENU画面が表示されます。

オーディオ画面（(例)CDモード画面）



2 切り替えたい機能（メニュー）ボタンをタッチする。

：選択した機能画面が表示されます。

(例)Quick MENU画面



ナビゲーション画面で使用回数の多い機能を登録しておくことができます。

「Quick MENUの設定を変えるには」545、546ページ

アドバイス

- ナビゲーション画面でよく使用するメニューボタンをQuick MENUに設定することにより、より使いやすくすることができます。
- ワンセグモードの場合 Quick ボタンは選択できません。

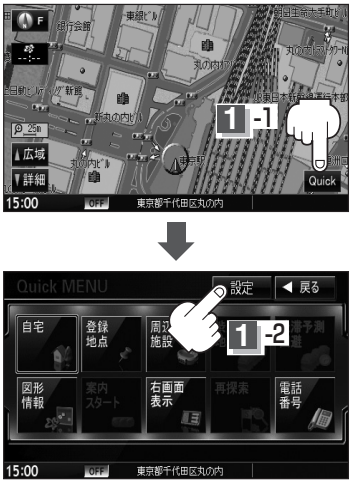
Quick MENUの設定を変えるには

よく使う機能を10個までQuick MENUに設定することができます。



1 現在地表示時に Quick ボタンをタッチして、設定 ボタンをタッチする。

：Quick MENU設定画面が表示されます。



2 表示したい項目を設定する。

例 自宅 ボタンを止めて 地点を登録 ボタンを設定したい場合

① 左側のメニュー候補より 自宅 ボタンをタッチする。



現在設定されているメニューの配置イメージが表示されています。

② 左側のメニュー候補より 地点を登録 ボタンをタッチする。



アドバイス

▲ / ▼ ボタンでページ戻し／ページ送り表示。

3 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ、または 現在地 ／ メニュー ボタンを押す。

：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

Quick ボタン(Quick MENU)をタッチすると…

設定した項目が表示されます。

※走行中操作できないボタンは暗くなります。





アドバイス

- 項目が10個ある場合は“登録可能件数を超えました。”と表示されます。
- 訂正 ボタンをタッチするごとに設定されているQuick MENUを解除します。
- 全解除 ボタンをタッチすると選択中のQuick MENUを全て解除します。
- Quick MENUの設定をお買いあげ時の状態に戻す場合は 初期化 → 戻る ボタンをタッチします。

■Quick MENUに追加できる機能

目的地	ルート	情報	NAVI設定	右画面設定
住所検索(住所) 電話番号検索(電話番号) ジャンル検索(ジャンル) 目的地履歴検索(目的地履歴) 郵便番号検索(郵便番号) SDから 地点を登録 自宅 周辺施設検索(周辺施設) 登録地点検索(登録地点)	ルート編集 全ルート表示 登録ルート 案内スタート/ストップ 渋滞予測回避 再探索	VICS表示設定 受信番組設定(受信番組) VICS文字情報(文字情報) VICS図形情報(図形情報) 渋滞地点 GPS情報 接続確認 ETC情報 エコドライブ情報	登録地点編集 地図表示設定 ルート案内設定 カーマーク設定 音声案内	右画面設定 (右画面表示)

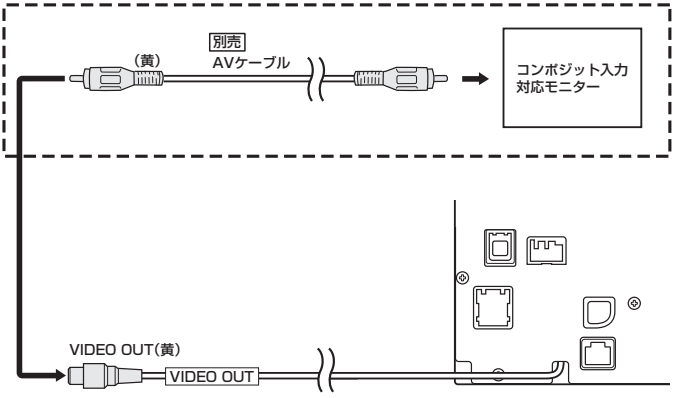
(　　)内：Quick MENU表示時のボタン名

リアシートモニターについて

コンポジット入力対応モニターを接続することにより“前席でナビ／後席でDVD”＊などの使い方ができます。

＊：DVDの音声が本機から出力され、合間にルートの音声案内が聞こえます。

※接続時、車のキースイッチは「OFF」にしてください。



※コピーガードがかかっている番組やDVDは録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

ナビゲーション画面とオーディオのモードを本機で同時起動した場合のモニターとの表示関係について

本機のモード		本機に表示される画面	モニターに表示される画面
ナビ	－	ナビ	表示されません
ナビ	DVD	ナビ	DVD
ナビ	ワンセグ（VTR／iPod ビデオ）	ナビ	ワンセグ（VTR／iPod ビデオ）
ワンセグ（VTR／iPod ビデオ）	－	ワンセグ（VTR／iPod ビデオ）	ワンセグ（VTR／iPod ビデオ）
DVD	－	DVD	DVD
ナビ	iPod／CD／MP3／WMA／FM／AM／SD／USB／Photo／MUSIC STOCKER	ナビ	表示されません
iPod／CD／MP3／WMA／FM／AM／SD／USB／Photo／MUSIC STOCKER	－	iPod／CD／MP3／WMA／FM／AM／SD／USB／Photo／MUSIC STOCKER	表示されません

※ワンセグを受信している場合、コンテンツによってはモニター出力できない場合もあります。

アドバイス

- AV電源OFFにするとリアシートモニター側の表示も消えます。
- リアシートモニターでは映像出力のみを行ないます。モード選択や画面の操作を行なうことはできません。操作は本機で行なってください。
- モニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。
- モニターは運転者が走行中に映像を見ることができない場所に取り付けてください。車種によっては取り付けできない場合があります。取り付けやコンポジット入力付対応モニター（リアシートモニター）の詳細に関しましては販売店にご相談ください。

個人情報の取り扱いについて 工場出荷状態に戻すには

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

■ 個人情報に関わる設定を初期化する場合

☞「データを初期化(消去)する」279、280ページ

■ それぞれの設定箇所で消去する場合

●本機にアップデートしたGracenote データベースのデータの削除

☞「 Gracenoteデータベースのデータを初期化をするには 」307ページ手順 3 で
初期化 を選択決定

●本機に録音した音楽データの削除

☞「 音楽データの初期化をするには 」309ページ手順 3 で
音楽データ初期化 を選択決定

●本機に設定した地上デジタルテレビ放送に関する情報の削除

・ワンセグ

☞「 設定を初期化する 」498ページ手順 4 で **メモリ初期化** を選択決定

●SDカードの初期化

☞「データを初期化(消去)する」279、280ページ手順 2 で **初期化** を選択決定

ルート案内時の注意点(1)

■表示されるルートは最短ルートをとらない場合があります。

■道路は日々変化しており、地図ソフト作成時期の関係から、形状、交通規制などが実際と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

■ルート探索中は、車両走行にともなう地図の移動が遅れることがあります。

■ルート探索終了後、探索されたルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。

■目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探索するか、ルート削除したときにルートは消えます。

■再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。

■ルート表示時に地図を移動させると、ルートの再表示に時間がかかることがあります。

■距離優先でルート探索をした場合、細い道路の通過や有料道路の乗り降りを繰り返すことがあります。

■距離優先でルート探索をした場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので、距離優先とならない場合があります。

■道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。

■経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下のようになることがあります。

- どれか1か所でもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
- 経由地付近でルートがつながらないことがあります。
- 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- 距離優先での探索でも、細街路(灰色(細線)の道路)は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
- 現在地および目的地(経由地)付近における細街路(灰色(細線)の道路)を使用したルートについては、音声での案内は行ないません。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制にしたがって走行してください。
- 細街路(灰色(細線)の道路)から、それ以外の道路に出るルートおよび細街路に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規制にしたがって走行してください。

■以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。

- 現在地と目的地が遠すぎる場合。
  この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
- 交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合。
- 極度に迂回したルートしかない場合。
- その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

■以下のようなルートが表示されることがあります。

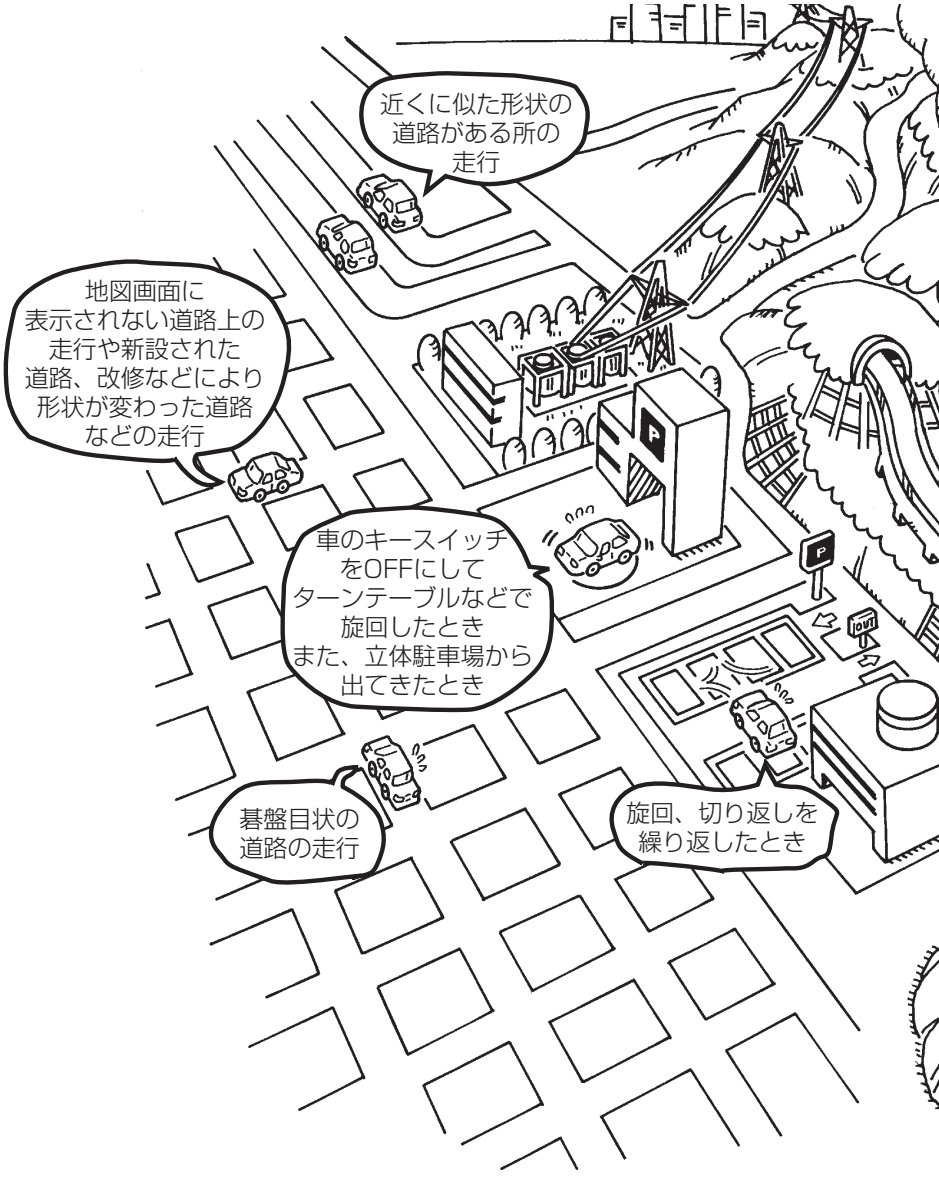
- ルート探索しても、自車マークの前または後からルートが表示されることがあります。
- 目的地を設定しても、目的地の前または後にルートが表示されることがあります。
- ルート探索しても、他の道路からのルートを表示することがあります。

  この場合は自車マークが現在地とずれている可能性がありますので、自車マークが正しい道路上に戻ってから、再度ルート探索を行なってください。
- 登録地点、案内情報から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示することがあります。修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジ(IC)やサービスエリア(SA)などのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
- 一般優先に表示をしてルート探索させても、有料道路を通るルートが設定される場合があります。
  ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行なってください。
- 陸路のみで目的地に到着できるときや探索条件の設定でフェリーを優先“する”に設定していなくても、フェリー航路でのルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行なってください。
- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。

ルート案内時の注意点(2)

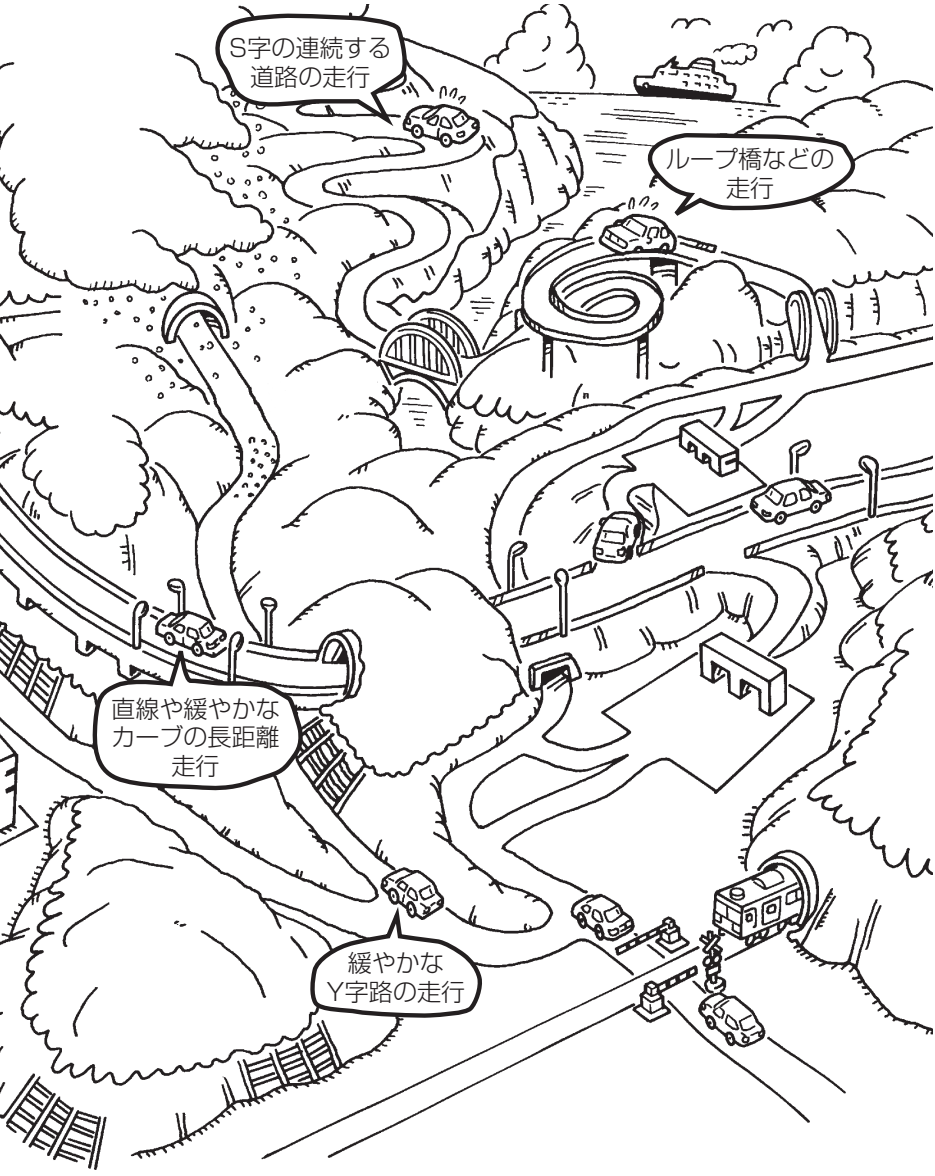
自車マークの表示誤差について

自車マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。
故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。



アドバイス

エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。

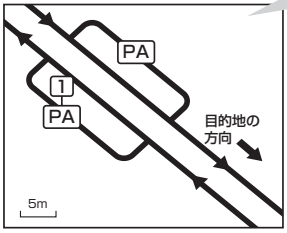


出発地・経由地・目的地の設定について

経由地、目的地の登録のポイント

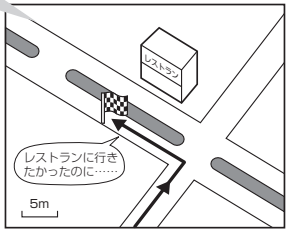
経由地、目的地は必ず最詳細地図で設定してください。
最詳細地図で設定しなかった場合、次のように設定したい場所とはちがう位置に設定してしまう場合があります。

例）高速道路のPAに経由地を設定した場合



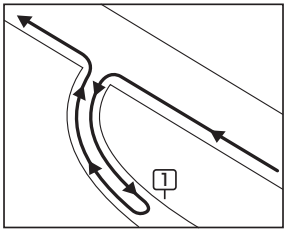
目的地方向と逆のPAに設定され、正しいルートが作れないことがあります。

例）中央分離帯のある一般道路に目的地を設定した場合



目的地と逆の車線に設定されたり、遠まわりルートを設定することがあります。

例）設定したい経由地付近に細街路がある場合

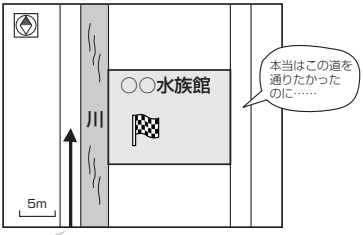


立ち寄りたい地点とは別の道路上に設定され、正しいルートが作れないことがあります。

経由地は最詳細地図で目的地方向上にあるPA、車線側に設定してください。
目的地は最詳細地図で、車線等を確認して設定してください。
経由地／目的地は、交差点には設定しないでください。

メニューの検索で施設の地図を探した場合

例）「施設の名前で地点を探す〔50音〕」で“○○水族館”の地図を表示し、目的地を登録した場合



目的地マークに一番近い道路であるため、川向こうのこの道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。

出発地／経由地／目的地のマークは施設上に登録されますが、ルート探索の実際の出発地／経由地／目的地は、登録した地点に一番近い探索データのある道路上の地点となります。このため、意図したルートとはちがうルートが設定される場合があります。
これをさけるには、最詳細地図で、探索データのある道路のうち、お好きな道路上（目的地方向の車線側）に登録してください。

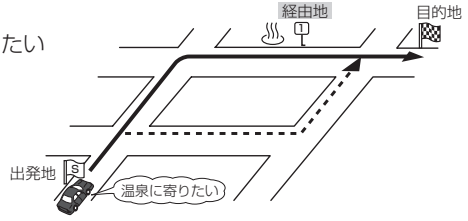
アドバイス

出発地／経由地／目的地を登録した地点から直線距離で一番近い道路がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。

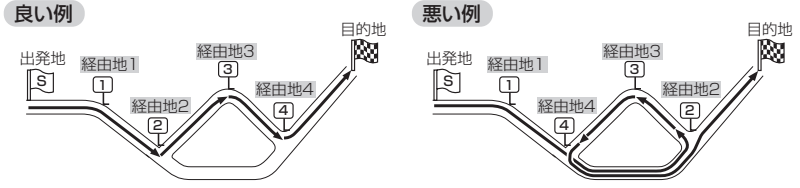
経由地を使って上手にルートを作る

例）ルートの途中に立ち寄りたい場所があるとき

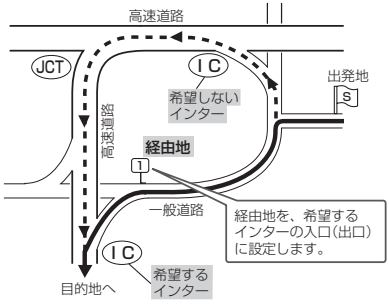
経由地を設定しない場合、立ち寄りたい場所を通らないルート(- - - - ►)を作ることがあります。



例）経由地は出発地(現在地)から近い順に、1、2、3…と、設定してください。



例）希望する高速道路インターから乗りたい(降りたい)場合



希望するICの入口(出口)に経由地を設定します。
経由地を設定しない場合は、希望しないインターを選ぶことがあり、遠回りのルート(- - - - ►)を選ぶことがあります。

地図ソフトについて(1)

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

「本機」に格納されている地図データおよび検索情報等のデータの製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の更新作業を行うため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

重 要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「弊社」)の間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使 用 規 定

1.弊社は、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、お客様が管理使用する機器1台に限り本商品を使用する権利を許諾します。

2.お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。

(1)必ず安全な場所に車を停車させてから本ソフトを使用すること。

(2)車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。

3.お客様は、以下の事項を了承するものとします。

(1)本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権にもとづく権利を許諾した第三者に帰属すること。

(2)本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、全て正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本ソフトの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。

(3)弊社は、本ソフトに関する損害賠償責任を、弊社の故意または重過失による場合を除き、一切負わないこと。なお、この規定は、本ソフトに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。

4.お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。

(1)本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を、複製、抽出、転記、送信することまたは2台以上の機器で使用すること。

(2)第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。

(3)本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。

(4)その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意（交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください）

運転者は、走行中に操作をしないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

運転中は、画面を注視しないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して歩行、走行してください。
本ソフトに使用している地図データ・交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して歩行、走行してください。
一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

本ソフトを救急施設などへの誘導用に使用しないでください。
本ソフトにはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【収録情報について】

- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。（承認番号平20業使、第204-327号）
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料Ｈ・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日）
- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。（測量法44条に基づく成果使用承認07-173）
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写･複製･加工･改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2009年11月のものを使用しています。
- VICS® は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。

地図ソフトについて(2)

■道路データは、高速、有料道路においてはおおむね2009年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2009年9月までに収集した情報をもとに製作しておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

◆リアル3D交差点 …ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。(約1730交差点、約5530画像)
※すべての交差点において収録しているわけではありません。

◆JCTビュー ……ルート案内時、自動的に高速・首都高速・都市高速のJCTをリアルデザインで案内します。(約3830ヶ所、約7670方面)

◆方面看板 ……ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。(全国の主要交差点)
※すべての交差点において収録しているわけではありません。

■細街路規制データは、おおむね2009年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。

■経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。

■交通規制は、普通自動車に適応されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

■「市街地図」データは(株)ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」収録エリアにおいては、データの整備状況により一部収録していない地域があります。

■電話番号検索データはタウンページ(2009年11月発行)をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。

■個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。

■本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。
(予測データ提供元:NTTデータ　予測の元となる情報:JARTIC／VICSセンター)なお、ご使用のカーナビゲーションによっては、渋滞統計情報が表示されない場合があります。

■VICSリンクデータベースの著作権は、(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。
VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印等)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

※収録エリアには2010年5月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。
VICSサービスの開始時期については(財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICSに関するお問い合わせ

(財)道路交通情報通信システムセンター　サービスサポートセンター
電話番号:0570-00-8831
電話受付時間:9:30～17:45(土曜、日曜、祝日を除く)
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX:03-3592-5494

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報をもとに作成しております。

■道路：2009年12月（高速・有料道路）／2009年9月（国道・都道府県道）
■交通規制※1：2009年11月　■住所検索　：2009年11月　■電話番号検索　：2009年11月
■郵便番号検索：2009年11月　■ジャンル検索：2009年10月　■高速・有料道路料金※2：2009年12月
■市街地図　：2009年7月　■個人宅電話番号検索：2009年10月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。
※2：料金表示はETCを利用した各種割引などは考慮していません。

【VICSレベル3対応データ収録エリア】全国47都道府県

※ただし、収録エリアには2010年5月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については（財）道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

本ソフトについてのお問い合わせ先
株式会社 ゼンリン カスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-210-616
受付時間 10:00～17:00　月～金（祝日・弊社指定休日は除く）

2010年5月発行　製作／株式会社ゼンリン
© 2007 財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2009 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
© 2009 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© 2010 AREX CO.,LTD.
© ジオ技術研究所
© 2010 ZENRIN　CO., LTD. All rights reserved.

市街地図(⊕5m/⊕12m/⊕25mスケール)の収録エリア(1)

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域 → □ 、50%未満収録地域 →

北海道	札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町、岩見沢市、網走市、留萌市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、江差町、斜里町、伊達市、白老町、音更町、北斗市、池田町、洞爺湖町、新ひだか町、清水町、芽室町、幕別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、奈井江町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町
青森県	三沢市、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、藤崎町、大鰐町、東北町、つがる市、平川市、野辺地町、田舎館村
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、陸前高田市、釜石市、二戸市、雫石町、岩手町、滝沢村、一関市、紫波町、矢巾町、大槌町、山田町、岩泉町、八幡平市、奥州市、金ヶ崎町、平泉町
宮城県	多賀城市、仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、角田市、名取市、岩沼市、大河原町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、富谷町、色麻町、加美町、登米市、栗原市、東松島市、美里町、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、亘理町、大和町、大衡村、涌谷町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、五城目町、井川町、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、八郎潟町
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、高畠町、川西町、庄内町
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、桑折町、国見町、本宮市、鏡石町、西郷村、矢吹町、小野町、田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、会津美里町、石川町、玉川村、三春町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町
茨城県	水戸市、日立市、土浦市、取手市、ひたちなか市、五霞町、境町、守谷市、利根町、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、茨城町、大洗町、東海村、鉾田市、神栖市、阿見町、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、常総市、つくばみらい市、小美玉市、河内町、城里町、大子町、美浦村、八千代町
栃木県	宇都宮市、小山市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、上三川町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、大平町、都賀町、那須町、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、西方町、茂木町、藤岡町、岩舟町
群馬県	前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、桐生市、榛東村、吉岡町、甘楽町、中之条町、東吾妻町、嬬恋村、草津町、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、下仁田町、昭和村
埼玉県	川越市、熊谷市、川口市、さいたま市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、春日部市、狭山市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ケ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、鶴ケ島市、吉川市、三芳町、毛呂山町、鳩宮町、松伏町、行田市、秩父市、東松山市、羽生市、鴻巣市、坂戸市、幸手市、日高市、伊奈町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、騎西町、北川辺町、大利根町、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、杉戸町、ふじみ野市、ときがわ町

千葉県	千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ケ谷市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、印旛村、本埜村、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市
東京都	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市、檜原村、奥多摩町
神奈川県	横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ケ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村
新潟県	新潟市、三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、燕市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、聖籠町、見附市、村上市、田上町、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市、弥彦村
富山県	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町
石川県	野々市町、内灘町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、津幡町、かほく市、白山市、能美市、志賀町、川北町、宝達志水町、中能登町、能登町
福井県	福井市、鯖江市、坂井市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、永平寺町、越前町、おおい町
山梨県	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、増穂町、昭和町、富士河口湖町、上野原市、甲州市、市川三郷町、中央市、鰍沢町、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村
長野県	松本市、長野市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、坂城町、小布施町、山ノ内町、筑北村、安曇野市、原村、飯島町、中川村、宮田村、喬木村、豊岡村、波多町、山形村、池田町、松川村、高山村
岐阜県	岐阜市、多治見市、岐南町、関ヶ原町、神戸町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、下呂市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、飛騨市、本巣市、郡上市、海津市、北方町、輪之内町、安八町、養老町、垂井町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町
静岡県	浜松市、沼津市、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、芝川町、御前崎市、吉田町、菊川市、森町、新居町、伊豆の国市、牧之原市

市街地図(5m/12m/25mスケール)の収録エリア(2)

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域 → □ 、50%未満収録地域 →

愛知県	名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、長久手町、豊山町、清須市、大口町、扶桑町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、飛島村、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、武豊町、一色町、幸田町、三好町、豊橋市、半田市、豊川市、常滑市、新城市、美浜町、吉良町、幡豆町、小坂井町、愛西市、北名古屋市
三重県	津市、松阪市、いなべ市、東員町、菰野町、四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、木曽岬町、朝日町、川越町、多気町、明和町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
滋賀県	近江八幡市、草津市、大津市、彦根市、長浜市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市、安土町、日野町、竜王町、米原市、高島市、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町、虎姫町、湖北町、高月町、木之本町
京都府	城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、長岡京市、宇治田原町、笠置町、和束町、南山城村、京丹後市、南丹市、大山崎町、伊根町、与謝野町
大阪府	大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村

兵庫県	尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、福崎町、太子町、上郡町、神戸市、姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、養父市、丹波市、宍粟市、朝来市、たつの市、多可町、香美町、新温泉町、加東市、市川町、神河町
奈良県	奈良市、橿原市、桜井市、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、安堵町、川西町、宇陀市、三宅町、高取町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村
和歌山県	和歌山市、海南市、岩出市、かつらぎ町、湯浅町、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、白浜町、那智勝浦町、紀の川市、有田川町、高野町、紀美野町、九度山町、広川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、上富田町、太地町、串本町
鳥取県	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、三朝町、日吉津村、八頭町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、伯耆町
島根県	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、奥川町、東出雲町
岡山県	岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、津山市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西粟倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美咲町、浅口市
広島県	呉市、尾道市、福山市、府中市、府中町、坂町、江田島市、広島市、竹原市、三原市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、海田町、熊野町、安芸高田市
山口県	下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、山陽小野田市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、和木町、平生町、周防大島町、田布施町
徳島県	徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町

香川県	高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、綾川町、宇多津町、まんのう町、琴平町、多度津町、三豊市、小豆島町、三木町
愛媛県	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、松前町、砥部町、伊方町、久万高原町、西予市、東温市、内子町
高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、佐川町、梼原町、四万十市、香南市、香美市、四万十町、黒潮町、いの町、越知町
福岡県	北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、中間市、小郡市、春日市、宗像市、志免町、粕屋町、水巻町、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、前原市、古賀市、那珂川町、宇美町、篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、岡垣町、遠賀町、二丈町、志摩町、うきは市、大刀洗町、苅田町、吉富町、福津市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、鞍手町、大木町、築上町、みやま市、小竹町、桂川町、筑前町、広川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福地町、みやこ町
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、白石町、嬉野市、神崎市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町
長崎県	佐世保市、時津町、長崎市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、波佐見町、対馬市、壱岐市、西海市、雲仙市、長与町、南島原市、東彼杵町、川棚町、佐々町
熊本県	熊本市、玉名市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、植木町、大津町、菊陽町、合志市、益城町、阿蘇市、南小国町、小国町、上天草市、宇城市、高森町、天草市、城南町、玉東町、長洲町、御船町、嘉島町、甲在町、永川町、芦北町、津奈木町
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、九重町、玖珠町、国東市、日出町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、清武町、三股町、高原町、国富町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、いちき串木野市、阿久根市、出水市、伊佐市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、さつま町、加治木町
沖縄県	那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、本部町、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、豊見城市、与那原町、南風原町、石垣市、うるま市、宮古島市、南城市、八重瀬町

アドバイス

- 地図ソフトの更新により収録エリアは変わります。
- 収録されている市街地図データの調査終了時期は一部を除き、2009年7月です。

細街路(主要市区町村道路)探索エリア

細街路(主要市区町村道路)を含めたルートの探索を行なうことができます。
探索されたルートは細街路中では黄色で表示されます。

⚠注意 狭すぎて、自動車が通行できない細街路を案内することがあります。運転の際は現地の状況に従ってください。

VICSの概要

VICSはVehicle Information and Communication System（道路交通情報通信システム）の略です。「**VICS**」および「VICS®」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

〈概念〉

道路交通にかかわる様々な情報を、直接車載機にリアルタイムに提供することにより、ドライバーが適切なルートを選ぶことができ、その結果として、車の流れの分散、渋滞の緩和が促され、道路交通の安全性、円滑性が向上することを目的としています。

〈システム概要〉

このシステムは、（財）道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）*1から、3種類のメディア（電波ビーコン、光ビーコン、FM多重放送）*2を使ってリアルタイム*3に送られてくる道路交通情報（渋滞、事故、工事、所要時間、駐車場など）を、車載機で受信、表示するというものです。表示形態は文字情報表示（レベル1）、簡易図形表示（レベル2）、地図表示（レベル3）の3段階あります。

本機では、FM多重放送の*VICS*情報を受信し、レベル1～3を表示します。電波ビーコンや光ビーコンからの*VICS*情報を受信するには、別売のVICSビーコンユニットが必要です。
※本書および画面表示では、***VICS***情報を“交通情報”とも呼んでいます。

*1 （財）道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）は、警察庁、総務省、国土交通省を主務官庁とする公益の財団法人です。

*2 FM多重放送では広域情報を提供します。主として、電波ビーコンは高速道路に、光ビーコンは一般道路に設置されており、走行している場所に即した情報を提供します。

*3 通信処理のため、5分程度の遅れはあります。

〈サービスエリア〉

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、愛知県、京都府、兵庫県、長野県、広島県、福岡県、宮城県、北海道（札幌地区、旭川地区、函館地区、釧路地区、北見地区）、静岡県、群馬県、岡山県、福島県、沖縄県、宮崎県、岐阜県、三重県、山口県、茨城県、和歌山県、滋賀県、奈良県、栃木県、山梨県、新潟県、石川県、熊本県、大分県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、福井県、富山県、山形県、秋田県、青森県、島根県、鳥取県、岩手県、全国の高速道路（電波ビーコン）で展開されています。（平成22年4月1日現在）

〈情報提供時間〉

ビーコン……24時間
FM多重放送……24時間（ただし、第1、第3日曜日の翌日の月曜日、
午前1時～午前5時までは放送を休止する場合があります。）

〈情報の更新について〉

おおむね、5分間隔で更新されます。

〈FM文字多重放送の一般情報（番組）の道路交通情報とのちがいについて〉

一般情報の道路交通情報が30分ごとに手入力されるのに対して、***VICS***ではリアルタイムに情報を提供しています。

〈***VICS***リンクデータベースの著作権について〉

VICSリンクデータベースの著作権は（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。

＊***VICS***リンク：各メディアを介して車両へ道路交通情報を提供する際、道路の統一的な表現手段として「***VICS***リンク」を定義しています。リンクは道路ネットワークを交差点、インターチェンジ、ジャンクション、分岐点、合流点等の適切な分割点（ノード）で分割し、その分割単位に付番したものであり、道路ネットワーク上の道路交通情報の表現が的確かつ効率的に行えます。

＊***VICS***リンクデータベース：***VICS***リンクと（財）日本デジタル道路地図協会が製作しているデジタル地図との対応テーブル。

〈***VICS***に関する問い合わせ先について〉

問い合わせの内容によって、下記のように問い合わせ先が異なります。

問い合わせ先 / 問い合わせ項目	お買い上げの販売会社	VICSセンター*（東京センター）
VICSの概念、計画		○
レベル1の表示内容		○
レベル2の表示内容		○
レベル3の表示内容	○	
サービスエリア	○	
受信可否	○	
車載機の調子、機能、使い方	○	

＊***VICS***関連商品、***VICS***情報の受信エリアや内容の概略、レベル3（地図）表示の内容に関することはお買い上げの販売会社へお問い合わせください。

＊***VICS***の概念、計画、または表示された情報内容に関することは（財）VICSセンターへお問い合わせください。（ただし、レベル3（地図）表示の表示内容は除く。）

（財）VICSセンター

電話受付時間　9：30～17：45（土曜、日曜、祝祭日を除く）

電話番号　【東京センター（お客様問い合わせ窓口）ユーザー問い合わせ番号】
0570-00-8831
※PHSからはご利用できません。
全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
【PHS専用問い合わせ番号】
（03）3592-2033または（06）6209-2033

FAX受付時間　24時間

FAX番号　（03）3592－5494

〈使用上のご注意〉

- 提供された情報と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報はあくまでも参考情報です。
- 提供されるデータ等は最新情報でない場合があります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総　　則

（約款の適用）

第１条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第２条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第３条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者

（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）

第４条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第５条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契　　約

（契約の単位）

第６条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第７条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の受信によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第８条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）

第９条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料　　金

（料金の支払い義務）

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保　　守

（当センターの保守管理責任）

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑　　則

（利用に係る加入者の義務）

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

〔別表〕視聴料金　315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

故障かな？と思ったら(1)

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

共　　通

症　状	原　因	処　置	参考ページ
低温時(0℃以下)に車のキースイッチをONにすると、しばらく画面が暗い。	液晶(内部照明装置(バックライト))の特性によるものです。	故障ではありません。しばらくそのままでお待ちください。本体の温度が上がると元に戻ります。	－
キースイッチをONにした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。	－
電源が入らない。(動作しない。)	各リード線や各コネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。	－
オーディオの音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	−音量+ボタンで調整してください。	288
	フェード・バランスが片方に寄っている。	フェード・バランスを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合は“0”に合わせます。	289、290
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	－
音や映像がとぶ。	ナビゲーション本体がしっかり固定されていない。	ナビゲーション本体をしっかり固定してください。	－
本機に登録されていた情報が消失している。	●本機の使用をあやまった ●ノイズの影響を受けた ●修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	－
ディスプレイが閉じない。	ディスク排出処理中。	排出が終わったらディスクを取り出してください。取り出さないとディスプレイ部は閉じません。	－
	SDカードが奥まで挿入されていない。	奥まで挿入してください。奥まで挿入しないとディスプレイ部は閉じません。	51
ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、キズ、指紋がついている。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、イジェクトしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	41

モニター

症　状	原　因	処　置	参考ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	–
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	535～538
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	540
	VTRモードになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のモードに切り替えてください。（VTR未入力時は黒い画面になります。）	–
表示が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。	画面の明るさはイルミに連動します。（トンネル内など画面が急に暗くなります。）オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていないと画面は明るくなります。	–
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話等の妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。	–
画質調整ができない。	パーキングブレーキ接続ケーブルを接続していない。	パーキングブレーキ接続ケーブルを接続し、パーキングブレーキをかけてください。また、パーキングブレーキが“ON”になっているかどうか確認してください。	163
DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	535～538
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	–
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	–

故障かな？と思ったら(2)

ナビゲーション

自車マーク関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
平面地図画面と3Dビューで地名表示が異なる。	画面が煩雑にならないよう、文字情報の間引き処理を行なっています。また道路や地名などを複数表示することもあります。	故障ではありません。	–
現在地が正しく表示されない。	走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。	GPS衛星電波を受信してください。	47
自車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地表示になっていない。	現在地ボタンを押してください。	–
自車マークが表示されない。	現在地表示になっていない。	現在地ボタンを押してください。	–
走行すると道路が消える。	走行中は細街路を表示しません。	故障ではありません。	25
地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のまま。	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS衛星からの電波が受信できない。	アンテナ取付位置上部に物を置いたり、GPSアンテナにペンキやワックス等を塗ったりしないでください。また、積もった雪は、取り除いてください。	26
	GPS衛星の受信感度が悪い。	GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。	47
自車位置精度が悪い。	タイヤチェーンの装着、本システムの他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ(進みや遅れ)が発生した。	しばらく(およそ30km/hの速度で30分程度)走行すると自動的に調整されます。	63
	GPS内蔵レーダー探知機を設置している。	本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。	–

ナビゲーション

目的地/経由地/メニュー項目などが選択または設定できない

症　状	原　因	処　置	参考ページ
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再び経由したい場合は、再度ルート設定を行なってください。	−
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行なっていない。	目的地を設定し、ルート探索を行なってください。	123、124
	“ルート案内”が停止になっている。	“ルート案内”を開始してください。	139
ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない。	自車マークが探索されたルートを走行していない。（案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示）	探索されたルート上を走行してください。	−
自動再探索ができない。	道幅が3m以下の細街路※（灰色（細線）の道路）を走行している。 または自動ルートがない。	探索対象道路を走行してください。 または手動で再度探索をやり直してください。ただし、このときは全ルート探索を行ないます。	123～125、155、209
経由地が設定できない。	すでに経由地を5か所設定している。	経由地は5か所以上設定することはできません。数回に分けて探索を行なってください。	−

音声案内関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
音声案内しない。	探索されたルートを外れている。	探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行なってください。	123~125、155
	“ルート案内”が停止になっている。	“ルート案内”を開始してください。	139
	消音ボタンをタッチして音声を出なくしている。	音量ボタンをタッチするか消音ボタンをタッチして解除してください。	225
実際の道路と案内が異なる。	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。	実際の交通ルールにしたがって走行してください。	−

故障かな？と思ったら(3)

ナビゲーション

ルート探索関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
探索されたルートが表示されない。	目的地の近くに道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。	−
	出発地と目的地が近い。	距離を離してください。	−
探索されたルートが途切れて表示される。	探索では、細街路※(灰色(細線)の道路)を使用しないエリアがあるため*、現在地または経由地が途中から表示されたり、または途切れたりすることがあります。	故障ではありません。	−
大回りな自動ルートを探索する。	探索では、細街路※(灰色(細線)の道路)を使用しないエリアがあるため*、大回りなルートになることがあります。	基本道路(灰色(細線)以外の道路)に近づけて設定してください。	−
	出発地、目的地付近の道路に規制がある(一方通行など)ときに遠回りのルートを出すことがあります。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。 または、通りたいルートに経由地を設定してください。	−
	細街路※(灰色(細線)の道路)を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地(経由地)付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。	故障ではありません。	−
	車の方向(矢印の向き)が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。	故障ではありません。	−
ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがあります。	地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。	−
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路※(灰色(細線)の道路)の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。	−

ナビゲーション

症　状	原　因	処　置	参考ページ
意図したルートとは違うルートが引かれる。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地と逆の車線に設定されたりし、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線等を確認して設定してください。	549～552
	目的地を建物の中心に設定している。		
	中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。	一方通行を考慮してルート探索するので大回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	549～552

＊：政令指定都市、および県庁所在地以外（地図ソフトの更新により変わることがあります。）
※：細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

VICS 関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
VICS 情報（レベル1とレベル2）が表示されない。	***VICS*** 情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。情報を受信できるまでお待ちください。	–
	交通情報番組を選択していない。	交通情報番組（VICS）を受信します ボタンを選択してください。	174、175
VICS 情報（レベル3）が表示されない。	***VICS*** 情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。情報を受信できるまでお待ちください。	–
	交通情報番組（VICS）を受信します ボタンを選択していない。	交通情報番組（VICS）を受信します ボタンを選択してください。	174、175
一般情報が表示されない。	パーキングブレーキ信号入力リード線を配線していない。	パーキングブレーキ信号入力リード線を配線していない場合は、配線してください。安全な場所に車を止め、パーキングブレーキをかけてください。	–
	パーキングブレーキ信号入力リード線は配線しているが、パーキングブレーキをかけていない。		
	一般情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。情報を受信できるまでお待ちください。	–
	一般情報番組を受信します ボタンを選択していない。	一般情報番組を受信します ボタンを選択してください。	174、175

故障かな？と思ったら(4)

CD、MP3／WMA

症　状	原　因	処　置	参考ページ
CD、MP3／WMAモードに切り替わらない。	CD、MP3／WMAが挿入されていない。	CD、MP3／WMAを挿入してください。	－
●再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ●音がとんだり音質が悪い。	CD、MP3／WMAの不良。	他のCD、MP3／WMAを聞いてみてください。よくなればCD、MP3／WMAの不良の可能性があります。	－
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとるなど)をしてみてください。 また、キズのあるディスクは使用しないでください。	41
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまう恐れがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	－
	CD-Rの場合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)等の規格が合わないと音切れや音とびをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	－
CD、MP3／WMAが入らない。	結露している。	CD、MP3／WMAを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	－
	すでにCD、MP3／WMAが入っていて2枚目をいれようとしている。	入っているCD、MP3／WMAを取り出してから、次のCD、MP3／WMAを入れてください。	－
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	－
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	●本体を長時間使用していた。 ●ディスクを長時間再生していた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	－

CD、MP3／WMA

症　状	原　因	処　置	参考ページ
MP3／WMAファイルを再生できない。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合、MP3ファイルは再生できません。	–
	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	–
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。	–
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたMP3／WMAファイルにしてください。	329、330
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3／WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	–
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。（MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。）	–
聞きたいMP3／WMAファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	–
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。	–
ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3／WMAファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの取扱説明書でご確認ください。	–
CDのアーティスト名（タイトル名）などが異なって表示される。	Gracenoteデータベースは全てのタイトル名の取得、正確性を保証するものではありません。（同じ条件のCDが存在する場合、誤って表示されることがあります。	カスタムアップデート（個別更新）をしてタイトル情報を更新してください。	300～302

故障かな？と思ったら(5)

MUSIC STOCKER

録音(REC)

症　状	原　因	処　置	参考ページ
CDを再生しても、自動で録音されない。	録音設定が“手動録音”に設定されている。	録音設定を“自動録音”に設定してください。	293、294
	MP3／WMAを再生している。	MP3／WMAは録音できません。CDディスクが挿入されているかをご確認ください。	−
録音できない。	録音中に車のキースイッチを変更してエンジンを始動した。	音楽データ修復ボタンをタッチしてデータベースの修復を行なってください。	308
	フラッシュメモリーデバイスの容量が不足している。	使用状況を確認してください。録音済の曲（アルバム）を削除すると新たに録音できます。	310、372、378、380
録音したはずの曲（アルバム）が再生されない。または止まる。	再生選択画面で再生させない設定にしている。（チェックマーク(✔)を消している。）	チェックマーク(✔)を付けてください。	371
	再生管理データが読み取れていません。	録音中のエンジン始動等でデータに異常が発生した可能性がありますので音楽データ修復ボタンをタッチしてデータベースの修復を行なってください。	308
	録音曲数が多い。	曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくおまちください。	−
現在地を押しても現在地が表示されない。	Gracenoteデータベース更新中、または音楽データ初期化中。	更新後または初期化後に押してください。	−

SD／USB

症　状	原　因	処　置	参考ページ
USBメモリデバイスを認識していない。	対応しないUSBメモリデバイスの可能性があります。	別のUSBメモリデバイスで試してください。	413、414
	USBケーブルが正しく接続されていない。	USBケーブルが正しくUSBメモリデバイスに接続されているか確認してください。	418
SDカードの再生が始まらない。	本機で再生できないSDカードを挿入している。	再生可能なSDカードを挿入してください。	395、396
	結露している。	SDカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。	–
	SDカードを本機で初期化（フォーマット）していない。	SDカードを本機で初期化フォーマットしてから音楽ファイルを入れてください。	
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	–
Photoモードが再生できない。	Photoモードになっていない。	AV SOURCE画面から「Photoモード」に切り替えてください。	503
	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。	504
SD、USBの再生画面を表示しない。	SDカード未挿入／USBメモリデバイス未接続。	SDカードを挿入またはUSBメモリデバイスを接続してください。	–
MP3／WMAファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMAファイルにしてください。	395、396、413、414
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSBメモリデバイスに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	–
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたファイルは再生しないでください。	–
ファイルを認識しない。	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。	フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。	–

故障かな？と思ったら(6)

iPod

症　状	原　因	処　置	参考ページ
正常に動作しない。	接続不良。	別売のiPod接続アダプターを確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合は接続前にiPodをリセットしてください。	–
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	–
ビデオ再生ができない。	iPodがビデオ再生に対応していない。	ビデオ再生機能のあるiPodをご使用ください。	–
	iPod touchのソフトウェアバージョンが古い。	iPod touchソフトウェアバージョンを2.0以上にしてください。	–
ビデオが途中から再生する。	各動画コンテンツごとにリジューム情報をiPod本体がおぼえている。	リジューム情報をおぼえないようにするには、iPodに付属のiTunes*（アイチューンズ）で“再生位置を記憶”のチェックをOFFにしてください。	–
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPodビデオ認証中に車のキースイッチを変更した。	iPodを接続し直してください。	–
選択できないビデオがある。	アーティスト、アルバムなどのタイトルを登録していない。	本機でビデオを再生させるにはタイトルを登録してください。	–

＊：アップル社が開発および配布している動画および音楽の再生・管理ソフト

ワンセグ

症　状	原　因	処　置	参考ページ
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。	500
受信できない。	エリアを変更していない。	視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をしてください。	479、480
	放送エリア内にいない。	地上デジタルテレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために、当初は受信エリアが限られていますが、順次拡大される予定です。お車の走行地域で放送が開始されているか確認してください。また放送エリア内に移動してください。	−
	アンテナ電源の設定が正しく設定されていない。	本機に付属の地上デジタルテレビ放送用アンテナ以外を接続されている場合、お持ちの取扱説明書にしたがって正しく設定してください。	497、498
番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。	−
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	●初期化を行なった ●本機の使用を誤った ●ノイズの影響を受けた ●修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	−

故障かな？と思ったら(7)

ラジオ

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ラジオの自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	388
ラジオで“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	–
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音が少なくなります。 受信状態が良い所に移動してください。	–
ラジオまたはTVの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めてください。	–
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	–

DVD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
字幕がでない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。字幕が収録されているか確認してください。	–
	字幕がオフになっている。	DVDメニューで設定を変えてください。	451、452
音声が出ない。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送り中。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送りを止めて通常再生してください。	–
再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。	印刷面を上にして、正しくセットしてください。	–
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	41
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまう恐れがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	–
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	–
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	37～39
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	40
	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	459～464
“⃠”(禁止マーク)を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。 ディスクの構成上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。) 再生しているディスクを確認してください。	–
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れをふきとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	41
	振動の激しいところで使用している。	本機に振動が加わると、音とびをしたり、映像が乱れることがりあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	–
VRディスクを再生できない。	ファイナライズしていない。	ディスクをファイナライズ処理してください。	–

故障かな？と思ったら(8)

DVD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
音声言語／字幕言語が切り替わらない。	再生しているDVDビデオには、1つの言語しか収録されていない。	故障ではありません。 複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。	－
	再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。	故障ではありません。 言語を切り替えることはできません。	－
各種設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生してください。	－
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。	故障ではありません。 字幕を消すことはできません。	－
各種設定で選んだアスペクト比にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。	ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生してください。	－
アングルを切り替えることができない。	再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。	複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。 アングルが収録されているところを切り替えてください。	－
	再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。	故障ではありません。 アングルを切り替えることはできません。	－
タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	457～464
視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。	故障ではありません。 視聴制限をすることはできません。	－
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。	－
	暗証番号を忘れてしまった。	「0000」と入力してください。	464
DVDメニューが外国語で表示される。	“メニュー言語”が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。	“メニュー言語”を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。“メニュー言語”を確認してください。	457～464
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	●本体を長時間使用していた。 ●ディスクを長時間再生していた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	－

こんなメッセージが出たときは(1)

■下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

ナビゲーション

メッセージ表示	原　因	本機の動作および処置	参考ページ
“受信局が変化しました。情報を受信中です。”(FM多重)	FM多重のVICS情報(レベル1／レベル2)表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではないとき。	表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にある、または、エリア内にあるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。 放送エリア内、または電波の良いところへ移動してください。	–
“情報の受信中です。”(FM多重)	FM多重の表示しようとしている情報が受信できていないとき。(受信感度は良い)	受信できるまでしばらくお待ちください。	–
“ビーコンの接続が確認できません。”(ビーコン)	別売のVICSビーコンユニットが正しく接続されていないとき。	接続を確認してください。	–
“サーチ中は登録できません。”(FM多重)	放送局のサーチ中に、未設定ボタンを押し続けたとき。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。	187～189
“放送局は登録されていません。”(FM多重)	放送局を1つもプリセットしていないときに、未設定ボタンをタッチしたとき。	あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は働きません。放送局をプリセットしてください。	187～189
“情報を受信していません。”(FM多重)	受信エリア外に居るとき。	受信エリア外では、受信できません。受信エリア内に移動してください。	169
	受信エリア内に居るが、電波状況が悪く、受信できないとき。	場所を移動してみてください。	166、169
	放送局のサーチ中に文字情報／図形情報ボタンをタッチしたとき。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。	–
	VICS放送局を受信しているが、一般情報を受信する設定になっているとき。	交通情報を受信する場合は、交通情報を受信する設定にし、***VICS***放送局を受信してください。また、一般情報を受信する場合は、一般情報を受信する設定にし、一般情報放送局を受信してください。	166
	一般情報放送局を受信しているが、交通情報を受信する設定になっているとき。		
	VICS放送局でも、一般情報放送局でもない放送局(周波数)を受信しているとき。	すべてのFM放送局が交通情報／一般情報を放送しているわけではありません。交通情報／一般情報を放送している放送局を受信してください。	169、171
“この情報は表示できません。”	走行中に文字情報または図形情報を表示しようとしたとき。	パーキングブレーキ信号入力リード線を配線していない場合は、配線してください。安全な場所に車を止めてください。	–

こんなメッセージが出たときは(2)

ナビゲーション

メッセージ表示	原　因	本機の動作および処置	参考ページ
“SDカードがありません。”	SDカードが挿入されていないとき。	指定のWebサイトから地点／ルート探索したデータが書き込まれているSDカードを挿入してください。	–
	SDカードは挿入されているが、認識できていないとき。	SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込んでください。	–
“SDカード内に位置情報ファイルが見つかりません。”	SDカード内に該当するデータがないとき。	指定のWebサイトからデータを書き込みしてください。	–

オーディオ

メッセージ表示	原　因	本機の動作および処置	参考ページ
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読込中です。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。	–
● “録音に失敗しました。” ● “CDを読めませんでした。録音を中止します。”	CDに汚れ、傷があるとき。	CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。	41
“信号が受信できません。”	放送エリア外にいるとき。	放送エリア外では受信できません。 放送エリア内に移動してください。	–
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪いとき。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。 受信できる場所に移動してください。	–
	アンテナの故障が考えられるとき。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。正しく取り付けられているか確認してください。	497、498
	車の走行速度が速いとき。	法定速度内でも受信できない場合があります。スピードを落としてください。	–
	パソコンや携帯電話などを使用しているとき。	車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。 また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	–
	放送エリア内にいるが、受信できないとき。	社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。 受信できる場所に移動してください。	–

オーディオ

メッセージ表示	原　因	本機の動作および処置	参考ページ
“このキーにはプリセットの設定がされていません。”	プリセット設定がされていない 1 ～ 12 ボタン（プリセット呼出ボタン）をタッチしたとき。	チャンネルリスト画面または放送局一覧でチャンネルを確認してください。	486、487、591、592
“SDカードが挿入されていません。”	●SDカードが挿入されていないとき。 ●SDカードは挿入されているが認識できないとき。	再生可能なファイルが入ったSDカードを挿入してください。	–
“再生可能なファイルがありません。”	●SDカード／USBメモリデバイスに再生可能なMP3／WMAファイルがないとき。	再生可能なファイルが入ったSDカード／USBメモリデバイスを挿入してください。	–
“準備中です。しばらくお待ちください。”	ファイル数が多いSDカードの場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	–
	メッセージが表示されたままで再生できない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。	AV電源をOFFにし、SDカード／USBメモリデバイスを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。	51
“再生ファイルがありません。SDカードを確認してください。”	SDカードにJPEGファイルがない。	拡張子がJPGであるJPEGファイルをSDカードに入れてください。	–
“SDカードが挿入されていません。”	SDカードが差し込まれていない。	JPEGファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	–
	SDカードは差し込まれているが、認識できない。	AV電源をOFFにし、SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。	51
“使用できないSDカードが挿入されています。SDカードを確認してください。”	使用できないSDカードが差し込まれている。	対応可能なSDカードを使用し、本機で初期化したSDカードを使用してください。	395
“ディスクを入れてください”	ディスクが入っていないとき。	正しいディスクを挿入してください。	–
“リージョンが違います”	リージョン番号が「2」（2を含むもの）または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとしたとき。	リージョン番号が「2」または「ALL」のディスクを使用してください。	40
“視聴制限により再生できません ディスクを取り出してください”	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止しているとき。	再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルに合わせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。 視聴レベルを合わせてください。	459～464
“入力されたパスワードが違います”	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違うとき。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	459～464
“走行中は映りません。”	走行中にDVDを再生またはワンセグ“VTR（映像がある場合）”を見ようとしたとき。	安全のため、車を完全に停止しないと、映像（動画）を見ることはできません。安全な場所に車を停車させてから、操作してください。	–

こんなメッセージが出たときは(3)

オーディオ

メッセージ表示	原　因	本機の動作および処置	参考ページ
● “登録最大件数をオーバーしています。” ● “録音可能曲数を超えました。これ以上録音できません。” ● “録音可能容量を超えました。これ以上録音できません。”	本体の容量が一杯になったため。	本体内のデータを削除してから、再度、各操作をしなおしてください。	—
“再生可能なディスクを入れてください。”	●本機で再生できないディスクをいれているとき。 ●CDが逆にセットされているとき。 ●ディスクに汚れ／異常があるとき。 ●音楽用ディスク以外のディスクがセットされているとき。 ●VRモードディスクでファイナライズ処理をしていないとき。	●本機で再生できるディスクを入れてください。 ●ディスクを正しくセットしてください。 ●ディスクの汚れを拭きとってください。 ●別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、前のディスクに異常がある可能性があります。 ●正しいディスクをセットしてください。 ●書き込みしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。	—
iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。	iPodと通信できない、またはiPodと認証できないとき。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	—
“録音中に電源が落ちたため音楽データベースの修復を行なっています。時間がかかる場合がありますが、絶対に電源（キースイッチ）を切らないでください。”	音楽CD録音中に車のキースイッチを変更した可能性があります。	自動でデータベースの修復を行ないますので、メッセージ表示が消えるまでそのままでお待ちください。	—
“再生管理データが読み取れません。一旦電源（キースイッチ）を切ってください。復帰しない場合は初期化を行ってください。”	オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできない。	車のキースイッチを一旦OFFにしてください。 30秒以上待ってからキースイッチをONしてください。 ※復帰しない場合に、初期化（出荷状態に戻す）をすると本機に録音した全てのデータが消えます。	—

用語説明(1)

DTS：Digital Theater System

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサラウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTS2.0 Channel

DTS用外部サウンドデコーダを使用せずにDTSのマルチチャンネル音声をステレオ環境で聞くことができます。

タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。
また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4：3(普通のテレビ)と16：9(ワイドテレビ)の2種類あります。

LB(レターボックス)

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4：3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

パン&スキャン(P&S)

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4：3のテレビで表示します。

視聴制限

DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。

※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

用語説明(2)

VTRモード

市販のビデオデッキやポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。
VTR端子から入力された映像や音は、VTRモードに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

MP3

MP3はMPEG Audio Layer3の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10のサイズにすることができます。

ID3タグ／WMAタグ

MP3ファイル、WMAファイルには、ID3タグ、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3タグ、WMAタグに対応したプレイヤーでID3タグ、WMAタグ情報の表示・編集が可能です。

エンコーダ

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行なうソフトウェアをエンコーダと呼びます。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)
セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行なうかを表わす数値のことです。

ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層にあるディレクトリのことをさします。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps（bit per second）です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式（ATRAC3など）での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。（MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。）

VBR

「Variable Bit Rate（可変ビットレート）」の略です。一般的にはCBR（固定ビットレート）が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

WMA

「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DRM（デジタル著作権管理）

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術で不正利用を防ぎます。本機はWMAのDRMに対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“保護された音楽を録音する（Ver.によって表現が異なる場合もあります。）”の項目にチェックを付けないでください。

Joliet（ジュリエット）

Microsoft社が開発したCD上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Jolietではスペースを含む最大64文字までのファイル名に対応したユニコード（文字コード）で記録します。

SDカード

小型、軽量のIC記録メディアです。“SDカード”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“SDカード”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

SDHC（エスディーエイチシー）

アソシエーションによって規格化されたSDメモリーカードの上位規格で4GB以上の記録が可能。転送速度も高速化され「class2（2MB/s）」「class4（4MB/s）」「class6（6MB/s）」をそれぞれ最低の保証速度としています。

用語説明(3)

ディエンファシス

録音時にあらかじめ決められた特性で高域部のレベルを上げて処理することをプリエンファシスと言い、プリエンファシスは再生時に録音時とは逆の特性で高域部のレベルを下げる処理を行ないます。この再生時の処理のことをディエンファシスと呼びます。

Gracenoteデータベース

Gracenote®は、グレースノート社の登録商標です。Gracenoteロゴおよびロゴ標記および“Powered by Gracenote”ロゴはグレースノート社の商標です。
音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧下さい。

音楽配信サイト

音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

転送

パソコンからメディアまたはメディアからパソコンに曲を移すことです。

著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

コピーコントロールCD／レーベルゲートCD

PC(パソコン)などで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。
ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。





受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。
受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。
本機では、字幕をOFFにしたり、字幕の言語を切り替えたりできます。

地上デジタルテレビ放送／ワンセグ

・地上デジタルテレビ放送

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタルテレビ放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。

デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送があります。

※本機はハイビジョン放送には対応していません。

・ワンセグ

地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

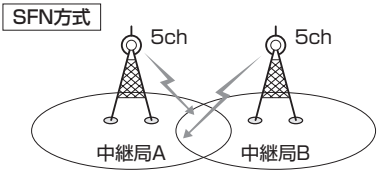
データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

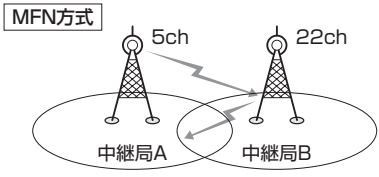
MFN方式

MFNとはMultiple Frequency Networkの略です。

放送中継を用いない(各中継局と周波数を同じにする)SFN方式に対し、MFN方式では放送区域内で中継局の送信チャンネルを複数用いる方法です。



放送波中継を用いないため中継局AとBの周波数を正確にそろえる(伝える)必要があります。



中継局Bでは中継局Aの放送波を受信して別のチャンネルで送信します。

※今までの放送局が受信できなくなった場合でも他のチャンネルにすることにより、その放送局を受信しなおすことが可能です。

518ページ

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。

例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行なわれます。

カスタマイズ

お客様の好み使い方にあわせて機能を設定しなおすことです。

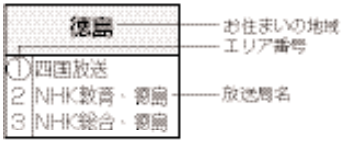
ポッドキャスト

インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

放送局一覧

地上デジタルテレビ放送の、放送局とプリセット登録されるチャンネルの組み合わせは、以下のようになります。
※他地域（旅行などのおでかけ先）の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。
割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログテレビ放送との混信を避けるために、非常に小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。　※放送局名は放送局側の都合により変更になる場合があります。

■ 表のみかた



（2010年2月現在）

お住まいの地域	北海道（函館）	北海道（札幌）	北海道（室蘭）	北海道（旭川）	北海道（帯広）	北海道（北見）
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・函館 3 NHK総合・函館 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・札幌 3 NHK総合・札幌 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・室蘭 3 NHK総合・室蘭 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・旭川 3 NHK総合・旭川 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・帯広 3 NHK総合・帯広 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・北見 3 NHK総合・北見 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB

お住まいの地域	北海道（釧路）	青森	秋田	山形	岩手	宮城
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・釧路 3 NHK総合・釧路 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 RAB青森放送 2 NHK教育・青森 3 NHK総合・青森 5 青森朝日放送 6 ATV青森テレビ 6 HTB北海道テレビ 8 UHB	1 NHK総合・秋田 2 NHK教育・秋田 4 ABS秋田放送 5 AAB秋田朝日放送 8 AKT秋田テレビ	1 NHK総合・山形 2 NHK教育・山形 4 YBC山形放送 5 YTS山形テレビ 6 テレビユー山形 8 さくらんぼテレビ	1 NHK総合・盛岡 1 TBCテレビ 2 NHK教育・盛岡 4 テレビ岩手 4 ミヤギテレビ 5 岩手朝日テレビ 5 KHB東日本放送 6 IBCテレビ 8 めんこいテレビ 8 仙台放送	1 TBCテレビ 2 NHK教育・仙台 3 NHK総合・仙台 4 ミヤギテレビ 5 KHB東日本放送 8 仙台放送

お住まいの地域	福島	群馬	埼玉	山梨	栃木	東京
放送局名	1 NHK総合・福島 1 TBCテレビ 2 NHK教育・福島 4 福島中央テレビ 4 ミヤギテレビ 5 KFB福島放送 5 KHB東日本放送 6 テレビユー福島 8 福島テレビ 8 仙台放送	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 群馬テレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 テレ玉 3 群馬テレビ 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・甲府 2 NHK教育・甲府 4 YBS山梨放送 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 UTY 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 とちぎテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 tvk 3 チバテレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	茨城	千葉	福井	石川	富山
放送局名	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 tvk 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・水戸 2 NHK教育・東京 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 チバテレビ 3 tvk 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・福井 2 NHK教育・福井 5 MRO 7 FBCテレビ 8 福井テレビ	1 NHK総合・金沢 1 KNB北日本放送 2 NHK教育・金沢 4 テレビ金沢 5 北陸朝日放送 6 MRO 8 石川テレビ 9 BBT富山テレビ	1 KNB北日本放送 2 NHK教育・富山 3 NHK総合・富山 6 チューリップテレビ 6 MRO 9 BBT富山テレビ 8 石川テレビ

お住まいの地域	新潟	長野	岐阜	三重	愛知	静岡
放送局名	1 NHK総合・新潟 2 NHK教育・新潟 4 TeNYテレビ新潟 5 新潟テレビ21 6 BSN 8 NST	1 NHK総合・長野 2 NHK教育・長野 4 テレビ信州 5 abn長野朝日放送 6 SBC信越放送 8 NBS長野放送	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・岐阜 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ～テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・津 4 中京テレビ 4 MBS毎日放送 5 CBC 6 メ～テレ 6 ABCテレビ 7 三重テレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・名古屋 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ～テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 NHK総合・静岡 2 NHK教育・静岡 4 だいいちテレビ 5 静岡朝日テレビ 6 SBS 8 テレビ静岡

お住まいの地域	兵庫	京都	大阪	和歌山	滋賀	奈良
放送局名	1 NHK総合・神戸 2 NHK教育・大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・京都 2 NHK教育・大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・大阪 2 NHK教育・大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・和歌山 2 NHK教育・大阪 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・大津 2 NHK教育・大阪 3 BBCびわ湖放送 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・奈良 2 NHK教育・大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 9 奈良テレビ 10 読売テレビ

お住まいの地域	愛媛	高知	香川	徳島	島根	山口
放送局名	1 NHK総合・松山 2 NHK教育・松山 4 南海放送 4 RNC西日本テレビ 4 広島テレビ 5 愛媛朝日 5 広島ホームテレビ 6 あいテレビ 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 テレビ愛媛 8 TSS	1 NHK総合・高知 2 NHK教育・高知 4 高知放送 6 テレビ高知 8 さんさんテレビ	1 NHK総合・高松 2 NHK教育・高松 4 RNC西日本テレビ 4 MBS毎日放送 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 6 ABCテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 四国放送 2 NHK教育・徳島 3 NHK総合・徳島 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 日本海テレビ 2 NHK教育・松江 3 NHK総合・松江 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合・山口 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・山口 3 tysテレビ山口 3 OBS大分放送 4 KRY山口放送 4 RKB毎日放送 5 ysb山口朝日 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本

お住まいの地域	広島	鳥取	岡山	長崎	佐賀	熊本
放送局名	1 NHK総合・広島 2 NHK教育・広島 3 RCCテレビ 4 広島テレビ 5 広島ホームテレビ 8 TSS	1 日本海テレビ 2 NHK教育・鳥取 3 NHK総合・鳥取 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合・岡山 2 NHK教育・岡山 4 RNC西日本テレビ 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ	1 NHK総合・長崎 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・長崎 3 NBC長崎放送 3 RKK熊本放送 4 NIB長崎国際テレビ 4 RKB毎日放送 4 KKTくまもと県民 5 NCC長崎文化放送 8 KTNテレビ長崎 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合・佐賀 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・佐賀 3 STSサガテレビ 3 RKK熊本放送 3 NBC長崎放送 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎	1 NHK総合・熊本 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・熊本 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 KKTくまもと県民 4 RKB毎日放送 5 KAB熊本朝日放送 7 TVQ九州放送 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎

お住まいの地域	福岡	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
放送局名	1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・福岡 2 NHK教育・北九州 3 NHK総合・福岡 3 NHK総合・北九州 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合・大分 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・大分 3 OBS大分放送 4 TOSテレビ大分 4 南海放送 4 RKB毎日放送 5 OAB大分朝日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合・宮崎 1 MBC南日本放送 2 NHK教育・宮崎 3 UMKテレビ宮崎 5 KKB鹿児島放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ	1 MBC南日本放送 2 NHK教育・鹿児島 3 NHK総合・鹿児島 3 UMKテレビ宮崎 4 KYT鹿児島読売TV 4 KKTくまもと県民 5 KKB鹿児島放送 5 KAB熊本朝日放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合・那覇 2 NHK教育・那覇 3 RBCテレビ 5 QAB琉球朝日放送 8 沖縄テレビ〈OTV〉

初期設定一覧

各種設定初期状態は下記のとおりです。

ナビゲーション

画面表示	メイン画面	進行方向を上 スケール＝25m
	右画面	3D スケール＝100m
探索条件	探索条件＝自動 料金表示＝普通車 自動再探索＝する フェリーを優先＝しない 季節規制考慮＝する 時間規制道路を考慮＝する スマートICを利用＝しない ルート学習結果を利用＝する VICS自動再探索＝する VICS情報を考慮＝する 統計交通情報を考慮＝する	
FM多重	受信番組設定	交通情報番組（VICS）を受信します
	周波数設定	自動選局＝ON プリセット選局＝未設定
エコドライブ設定	急加減速のお知らせ＝する エコ速度超過のお知らせ＝する アイドリングのお知らせ＝する 評価履歴＝残す 評価レベル＝初級 エコドライブ表示＝しない	
基本機能	到着予想	自動＝ON 一般道路＝35km/h 国道＝45km/h 有料道路＝80km/h
表示	表示設定	メイン画面用地図設定 住所の色分けを表示＝する 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝進行方向 3D視覚調整＝10目盛中左から1目盛目
		右画面用地図設定 右画面に地図表示＝しない 住所の色分けを表示＝する 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝3D 3D視覚調整＝10目盛中左から1目盛目
		地図色設定 昼夜切り替え＝スモール連動 標高地図色＝季節連動

表示	地図表示	情報バー表示設定 MAPCODEを表示＝する 地図情報を表示＝住所名 AUDIO情報を表示＝しない
		その他設定 緯度・経度を表示＝しない 登録地点を表示＝する
	ルート案内設定	全ルート表示＝する 交差点情報表示＝する ルート色＝ピンク 目的地方位＝直線 ルート情報＝しない ハイウェイモード＝する JCTビュー＝する 交差点拡大図＝する リアル3D＝する 方面看板＝する AV画面中の案内割込み＝する ETCレーンの表示＝する
	ランドマーク設定	カーディーラー＝ マツダ マツダアンフィニ マツダオートザム
	カーマーク	矢印（赤）
QUICKMENU	標準	自宅 / 図形情報 登録地点 / 案内スタート 周辺施設 / 右画面表示 渋滞地点 / 再探索 渋滞予測回避 / 電話番号
軌跡／地点	軌跡記録スタート／ストップ＝ストップ 軌跡保存データ＝なし 登録地点＝未登録	
音声案内	15段階中7段階目 案内設定 合流案内＝案内中 踏み切り案内＝案内中 専用レーン案内＝ON 高速走行時の音声切替＝ON VICS案内＝ON	
VICS	VICS表示設定	一般道＝ON、 有料道＝ON 規制＝ON、 点滅＝ON 駐車場＝ON、 渋滞無し＝OFF、渋滞混雑＝ON
	ビーコン車種設定	普通車両 （別売のVICSビーコンユニット接続時）
	ビーコン割込み設定	ビーコン受信音＝する ビーコン割込み＝する （別売のVICSビーコンユニット接続時）

ETC設定	カード挿入表示＝する ブザー＝しない ETC音声ガイド＝する カード未挿入警告＝する
メンテナンス	オイル交換＝しない クリーンフィルター交換＝しない バッテリー交換＝しない タイヤローテーション＝しない 結婚記念日＝しない 誕生日1＝しない 誕生日2＝しない お好み＝しない
セキュリティ	盗難多発地点＝する
オプションボタン	MUTE
カメラ	バンパーライン表示＝ON
その他	キー操作音＝する
	アンテナ設定 | パワーアンテナ＝OFF
イルミ	オレンジ

画質調整

明るさ	31 ┐
明るさ(イルミ※1 ON時)	12 ├ ナビ、カメラ映像※2
コントラスト	16 ┘ 共通 (DVDは22)
色の濃さ	16（カメラ映像※2）
色合い	16（カメラ映像※2）
ディスプレイ	フル

メニュー配色

配色	1

オーディオ設定

フェード・バランス設定
各項目の調整値＝0

録音設定
手動録音
高音質モード

音量調整

音量＝4（DVD／VTR=6）

DVD

ダイナミックレンジ圧縮＝OFF
モニター設定＝ワイド
視聴制限レベル＝制限なし

ワンセグ

エリア変更＝自動
視聴エリア＝東京
プリセット登録(1～12ボタン(エリア))＝登録済(東京)
チャンネルリスト＝登録済(東京)
プリセットリスト＝未登録

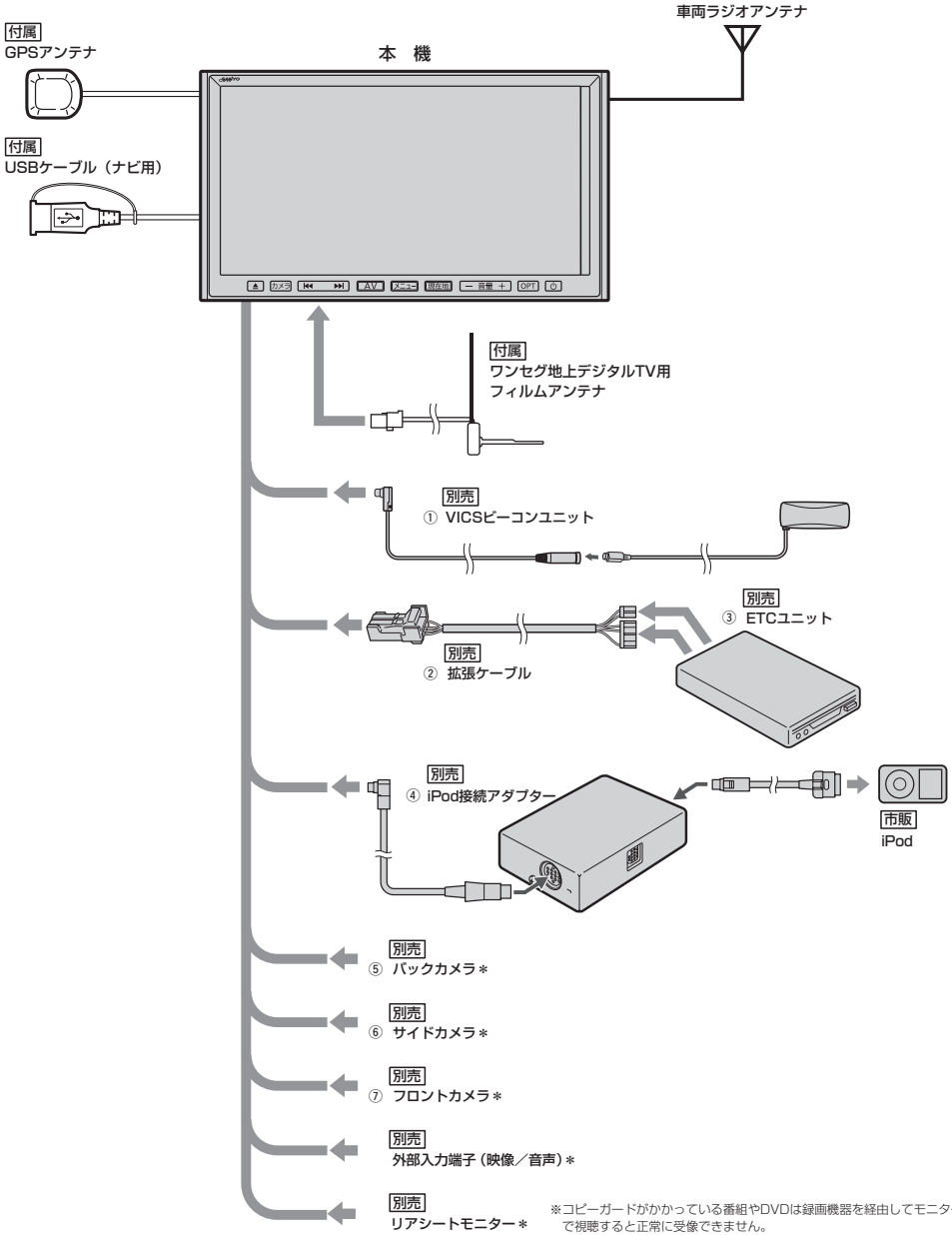
字幕設定＝字幕なし

システム設定
時計表示＝しない
中継・系列局サーチ＝自動

※ナビゲーション画面時は、色の濃さ／色合い／ディスプレイ選択は表示されません。
※1 イルミ＝イルミネーション
※2 カメラ映像＝バックカメラ・サイドカメラ・フロントカメラ

別売品(システムアップ)について

※配線についての詳しい説明はお買い上げの販売店におたずねください。



＊印：車種によっては設定されていない場合がございます。詳しくは、お買い上げの販売店におたずねください。

① VICSビーコンユニット(C9Y3 V6 620 三洋品番NVP-V11M)
光／電波ビーコンを媒体として送られてくる***VICS***情報(レベル1～3)を本機で見ることができます。

② 拡張ケーブル(C9YA V6 381 三洋品番NVP-EC30M)
市販の三菱電機製ETCユニット(EP-407B)を接続する場合に必要です。

③ ETCユニット
ETCユニットの出力データをナビゲーション画面に表示することができます。

④ iPod接続アダプター(C9Y4 V6 572 三洋品番 CDY-7900M)
iPodを本機に接続する場合に必要です。

⑤ バックカメラ

⑥ サイドカメラ

⑦ フロントカメラ

⑧ 外部入力端子(映像／音声)

⑨ リアシートモニター

※本機で使用できる別売品については、お買い上げの販売店におたずねください。

主な仕様

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面サイズ	7V型
使用光源	冷陰極管

地上デジタルテレビ部

受信チャンネル	000～999 UHF：13～62チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) ワンセグ
アンテナ入力端子	専用端子

ナビゲーション部

GPSアンテナ	マイクロストリップ 平面アンテナ
受信周波数	1575.42MHz（C/Aコード）
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	−142dBm
位置更新時間	約0.25秒
フォーマット	オリジナルメモリーフォーマット

CD部

S／N	75dB以上
周波数特性	20～20,000Hz
高調波ひずみ率	0.1%以下(1kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM／FM／MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0～90.0MHz AM 522～1629kHz
実用感度	FM 15dBμ AM 32dBμ
S／N比	FM 55dB AM 50dB
ステレオセパレーション	FM 20dB
歪率	FM 0.3% AM 0.5%

DVD部

周波数特性	20Hz～20,000Hz
S／N比	80dB以上
高調波ひずみ率	0.1%以下（1kHz）
ダイナミックレンジ	80dB以上

入出力端子

電源入力端子	TH18専用コネクター
外部入力端子	TH8専用コネクター
外部出力端子	RCA(映像)
ビーコン入力端子	ミニDIN8ピン
GPSアンテナ入力端子	GPSコネクター
ラジオ入力端子	GT13専用コネクター
(VICS入力端子	ラジオ入力端子と共用)
iPodアダプター用端子	13ピン専用コネクター
ETC端子	5ピン専用コネクター
拡張ケーブル接続端子	16ピン専用コネクター +8ピン専用コネクター
USB端子	4ピン専用コネクター
マイク入力端子	ミニジャック

その他

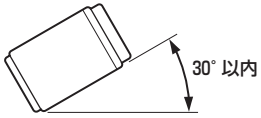
電源	DC12V
最大出力	43W×4（14.4V）
外形寸法	約178×100×160mm （幅×高さ×奥行き） ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	約2450g

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

※モニター部の画面サイズのV型(7V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

取り付け角度について

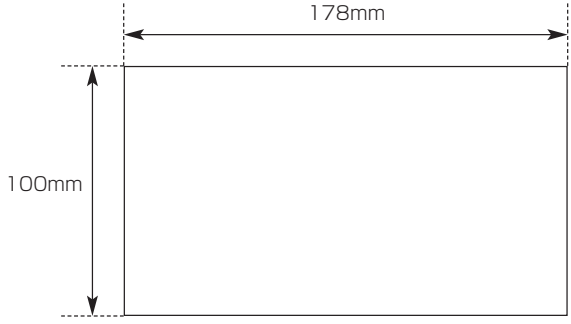
路面の凸凹によって生じる振動を防止するため、なるべく水平になるよう取り付けてください。
傾ける場合は角度が30°以内になるようにしてください。



取り付け時の注意点

本機を取り付ける場合、ダッシュボードの開口部の寸法が178×100mm以上（幅×高さ）空いていることを確認してください。
開口部が小さいと、ディスプレイ部の開閉動作に支障をきたします。
※一部の車種によっては開口部（パネル部）を削らないと取り付かない場合があります。

取り付けに必要な開口部の寸法



地図に表示される記号

地図表示記号(例)


都道府県庁舎・北海道支庁庁舎(灰色)


市役所・特別区庁舎(灰色)


町村役場・政令指定都市区役所庁舎


官公署・市町村役場支所(出張所)


消防署(含む：分署・支署・出張所)


自衛隊


学校


病院


警察署・交番・駐在所


図書館


海水浴場・(湖水、池)水泳場


ホテル・旅館・宿泊施設


史跡・旧跡、観光名所


神社


教会


城跡


郵便局


銀行


飛行場・空港


港


フェリーターミナル


ファミリーレストラン


山頂


工場


一方通行記号


交差点


サービスエリア


パーキングエリア


インターチェンジ


ジャンクション


料金所


ランプ(出入口)


ランプ(出口専用)


駐車場


運動施設


サッカースタジアム


墓地


冬季通行止め


その他目標施設


JRA競馬場・ウィンズ

ガソリンスタンド

展望タワー

動物園

植物園

水族館

ゴルフ場

スキー場

遊園地・テーマパーク

テーマパークゲート

キャンプ場

スタジアム

公園

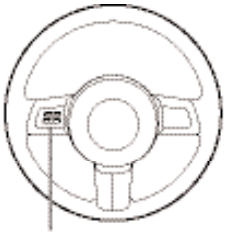
マリーナ

道路の表示色

青色：高速道路、有料道路
赤色：国道
緑色：主要地方道、県道
灰色：一般道、細街路(経路案内対象外)
青色(破線)：フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。
※市街地図の場合、上記と異なる色で表示されます。
※計画道路
建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として道路種別を表す色の破線として表示されます。

ステアリングスイッチについて



オーディオモードのとき、ステアリングスイッチを使用してミュート(消音)／モード切替／音量増減／選曲(選局)などオーディオに関する操作をすることができます。

ステアリングスイッチ　※ハンドルの形状は車種によって異なります。

ボタン
音を消します。もう一度押すと音が出ます。

MODE ボタン
押すたびにモードを
→MUSIC STOCKER →CD/DVD →FM →AM → ワンセグ→Photo
iPod←USB←SD← VTR ←
と切り替えます。

▲/▼ ボタン
- MUSIC STOKER／CD／DVD／MP3／WMA／SD／USB／iPodの場合
  1曲ずつ選曲またはチャプター画像を戻す(▼側)／進める(▲側)ときに使用します。押し続けると曲や映像を早戻し(▼側)／早送り(▲側)します。
- FM／AM／ワンセグの場合
  プリセットされている放送局を呼び出します。押し続けると自動選局を始め受信可能な放送局を受信すると自動的に止まります。
- Photoの場合
  1つ前の画像に戻す(▼側)／次の画面に進める(▲側)ときに使用します。

VOL(ボリューム) +/− ボタン
＋側に押すと音を大きくし、
－側に押すと音を小さくします。

アドバイス

- オーディオモード⇔ナビゲーションモード(地図画面)の切り替えはステアリングスイッチ(の MODE ボタン)ではできません。本機操作パネル上の 現在地 ボタン⇔ AV ボタンを押して切り替えてください。
- ステアリングスイッチはオーディオモード終了(OFF)またはパネル全開状態のときは操作できません。
  ※オーディオモード終了(OFF)のときに MODE ボタンを押すとMUSIC STOCKERモードを表示します。
- 以下の場合はそのモードをスキップします。(飛ばします。)
  ・CD／MP3／WMA／DVDディスク未挿入(CDモード／DVDモード)

保証／アフターサービスについて

1．保証書（マツダ様よりマツダ純正用品保証書が発行されます。）

保証書及びマツダ純正用品ご購入証明書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より3年または60,000kmです。（消耗品は対象外です。）

2．修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
  商品に保証書とマツダ純正用品ご購入証明書（本機のご購入を証明する証明書）を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。
  保証書の記載内容により修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
  お買い上げの販売店にご相談ください。
  修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 修理内容によっては、登録地点など、登録している内容が消去される場合があります。このときは、お客様ご自身で再登録してください。

3．補修用性能部品の保有期間

当社は、本機の機能を維持するために必要な補修性能部品を、製造打ち切り後8年間保有しています。

4．ご使用中にふだんと変わった状態になりましたら

ただちに使用を中止しお買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- お客様ご自身での分解修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

5．アフターサービスについてご不明の場合

修理サービスや製品についてのご相談やご転居、ご贈答品でお困りの場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

お知らせとお願い

本機を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、及び第三者からのいかなる請求につきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。
※地図のバージョンアップディスクの年度更新は毎年夏頃の予定です。現在お取り扱いの品番等は下記アドレスのホームページでご確認ください。
http://www.sanyo-car.co.jp

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

愛情点検



★長年ご使用のナビゲーションの点検をぜひ！★

（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより商品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

こんな症状はありませんか	●電源スイッチを入れても音や映像が出ない。●電源スイッチを切っても音や映像が消えない。●変なにおいがしたり、煙が出たりする。●内部に水や異物が入った。●その他の異常や故障がある。

➡

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、必ず販売店にご相談ください。

索　引

索引……603〜607

索引(1)

数字・アルファベット

1ルート・複数ルート探索をする……126～130
3Dの角度を調整する ……202、203
3Dビュー ……64、65
AV SOURCE画面のモードボタンについて …286
AV MENU画面について ……287

CD
CDモードを終了する ……317
CDを聞く ……315、316
CDを取り出す ……317
MUSIC STOCKERへ録音する ……316
各部の名称とはたらき ……313
再生モードを選択する ……319、321
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ
選曲する(トラックを戻す／進める) ……318
トラックリストより好きなトラックを選び
再生させる ……322
早戻し／早送りをする ……319
表示部(再生画面)について ……314

ワンセグ
「ワンセグ」の画像について ……472
「ワンセグ」の番組受信について ……472
TV(ワンセグ)を見る……476
アンテナ電源の設定をする ……497
エリア呼出／プリセット呼出について ……489
スキャンする ……482
タッチパネル部のボタンについて ……474
チャンネルリスト／プリセットリストを
初期化する ……490
バナー表示について ……473
プリセットで放送局を選ぶ ……485
プリセットボタンにメモリーする ……488
リストで放送局を選ぶ ……486
ワンセグについて ……471
ワンセグメニューについて ……475
ワンセグモードにすると ……476
音声と字幕の設定をする ……500
各部の名称とはたらき ……473
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする …479
時計表示設定 ……492
自動選局で放送局を選ぶ ……484
手動選局で放送局を選ぶ ……484
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、
受信する ……495
初期スキャン／再スキャン／
エリアスキャンをする ……482
設定をする ……492
設定を初期化する ……498
選局する ……484
中継局と系列局サーチの自動／手動の
設定をする ……493
中継局を探す ……481
番組表を見る ……477

DVD
DVDディスクを取り出す ……438
DVDの初期設定について ……457～464
DVDプレーヤーについて ……431、432
DVDメニューを使う ……445、446
DVDモードを終了する……438
VRモードディスク内の映像を
リストより再生 ……455、456
アングル(角度)を切り替える ……454
音声言語／字幕言語を切り替える ……451
各部の名称とはたらき ……433～435
コマ戻し／コマ送りをする ……443
再生中にキャプチャーを戻す／進める ……441
再生を一時停止(静止)する ……440
再生を停止する ……439
再生を始める ……436～438
時間の表示を替える ……452
好きなところから再生する
(サーチ選択) ……449、450
スロー戻し／スロー送りをする ……444
タイトルメニューを使う ……447、448
早戻し／早送りをする ……442
リピート(繰り返し)再生する ……453

ETC
ETCカードを取り出す ……271
ETCについて ……270
ETCを起動する ……271
各機能を設定するには ……268、269
管理情報を見る ……165
料金所通過表示 ……272
履歴を見る ……164

GPS
GPS衛星の電波受信と測位 ……47
GPS情報を見る……162

iPod
iPodについて……513～515
iPod ビデオモードで映像を再生させる…531～533
iPodとは ……513
iPodモードを終了する ……519
iPodを聞く……518、519
iPodを本機に接続すると ……515
iPodを本機に接続するには ……515
各部の名称とはたらき ……516
再生を止める(一時停止) ……519
シャッフル再生をする ……530

使用上のご注意 ……513
選曲モードより選択し再生させる ……523～528
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ
選曲する(トラックを戻す／進める) ……520
対応可能なiPod ……514
トラックリストより好きなトラックを選び
再生させる ……521
早戻し／早送りをする ……522
表示部(再生画面)について ……517
リピート(繰り返し)再生をする ……529

MP3／WMA

1ファイルずつ選曲する ……336
MP3／WMAディスクを取り出す ……334
MP3／WMAについて ……325～330
MP3／WMAモードを終了する ……334
MP3／WMAを聞く ……333、334
各部の名称とはたらき ……331
再生モードを選択する ……338～340
好きなフォルダを選ぶ ……335
トラックリストより好きなトラックを選び
再生させる ……341
早戻し／早送りをする ……337
表示部(再生画面)について ……332

MUSIC STOCKERを使う

MUSIC STOCKERモードを終了する ……348
MUSIC STOCKERを使う ……343～380
お気に入りを管理する ……379、380
各部の名称とはたらき ……343、344
曲管理(アルバムリストの編集) ……366～372
曲管理(トラックリストの編集) ……373～378
再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを
設定する ……363、364
再生中の曲をお気に入り登録する ……361、362
再生モードを選択する
(リピート/ランダム/スキャン) ……359、360
好きなアルバムを選ぶ ……365
選局モードより選択し、再生させる ……351～358
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選局する
(トラックを戻す/進める) ……348
トラックリストより好きなトラックを選び
再生させる ……350
早戻し/早送りをする ……349
表示部(再生画面)について ……345、346

Photo

Photoモードを終了する ……506
各部の名称とはたらき ……503
画像を回転させる ……510
画像を表示させる ……505、506
操作パネル上のボタンにて
画像を戻す／進める ……509
タッチパネル上のボタンにて
画像を戻す／進める ……509
表示部について ……504
フォルダを選択し、画像を表示させる ……508
メディア(SD／USB)を選択する ……507

Quick機能

現在地表示時に Quick ボタンを
タッチした場合 ……71
地図スクロール時に 設定 ボタンを
タッチした場合 ……72

Quick MENU機能について ……544

SD

SDカードで地点を探す ……112～114
SDカードから地点を登録する ……244～246
SDカードからルート探索をする ……151～153
SDカード／USBメモリデバイス
について ……42、43
SDカードの音楽再生について ……395、396
SDカードの取り扱いかた ……44
SDカードを入れる／取り出すには ……49、50
SDモードを終了する ……402
SDを聞く ……400、401
各部の名称とはたらき ……397、398
再生モードを選択する ……409～411
選曲モードより選択し再生させる ……407、408
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する
(トラックを戻す／進める) ……403
トラックリストより好きなトラックを選び
再生させる ……405、406
早戻し／早送りをする ……404
表示部(再生画面)について ……399

USB

USBフラッシュメモリのリスト表示より
再生 ……423、424
USBメモリデバイスの音楽再生に
ついて ……413、414
USBメモリデバイス／iPodコード(USB接続用)の
接続をやめるには ……420
USBメモリデバイスを聞く ……419
USBメモリデバイスを使う ……415～429
USBメモリデバイス／iPodコード(USB接続用)を
本機に接続するには ……418
各部の名称とはたらき ……415、416
再生モードを選択する ……427～429
好きなトラックを選び再生させる ……423、424
選曲モードより選択し再生させる ……425、426
操作パネル上のボタンにて選曲 ……421
早戻し／早送り ……422
表示部について ……417

索引(2)

VICS
FM多重の項目一覧 ……172
VICS放送局……169
VICS情報有料放送サービス契約約款 …565、566
VICSの概要 ……563、564
一般情報とは ……170
一般情報の内容(番組)について ……170
一般情報放送局 ……171
エリア選局 ……185、186
緊急情報について ……180
緊急情報を見るには ……179、180
交通情報(VICS情報)とは ……167
交通情報(図形情報)を見るには ……178
交通情報(文字情報)／一般情報を
見るには ……176、177
交通情報／一般情報を表示するには ……173
自動選局 ……181、182
自動選局を止めるには ……182
受信する情報(交通情報／一般情報)
を選ぶには ……174、175
手動選局 ……183、184
情報の消去について ……173
操作画面について ……172
表示について ……168、170
プリセットした放送局に上書きするには ……189
プリセットした放送局を呼び出すには ……188
放送局をプリセット(保存)するには……187～189
マーク一覧表 ……169
ビーコン交通情報を見るには ……191
ビーコンの緊急情報／旅行時間情報を
見るには ……193、194
ビーコン情報を見るには ……190
ビーコンの文字情報／図形情報
(簡易図形を見るには) ……192
VTR
各部の名称とはたらき ……467

ア　行

一方通行表示 ……31
迂回探索 ……140
映像調整 ……535～538
エコドライブ情報 ……84、157～161
**オーディオ／テレビ／ラジオの
設定について ……36**
オプションボタンの設定について ……257、258
音声案内について ……85、86
**音声案内の音量を調整／
案内設定する ……225～227**
合流案内／踏み切り案内 ……226
専用レーン案内 ……226
VICSガイドを止める……227
音声はそのままで画面を消すには ……540
**音声はそのまま
ナビゲーション画面を表示 ……542、543**

カ　行

各部の名称とはたらき(表示部含む)
CD ……313
DVD ……433～435
iPod ……516
MUSIC STOCKER ……343、344
MP3／WMA ……331
SD再生 ……397、398
USB ……415、416
Photo ……503
VTR ……467
ナビゲーション ……53、54
ラジオ ……383、384
ワンセグ ……473～475
キー操作音を止めるには ……281
軌跡
記録する ……228
記録を止める ……229
削除する ……230
表示する ……229
表示を止める ……229
クイックルート ……79、80
経由地 ……134～137
現在地表示 ……63
高速道路情報 ……209、210
故障かな？と思ったら ……567～581
個人情報の取り扱いについて ……548
こんなメッセージが出たときは ……582～585

サ　行

再生できるディスクについて ……37～39
**市街地図(🔍5m／🔍12m／🔍25m)の
収録エリア ……559～562**
自車マーク ……57、59、60
自車マークと角度を調整 ……223、224
施設情報
施設の名前で地点を探す……97～100
施設のジャンルから地点を探す ……101～103
周辺にある施設から地点を探す ……109～111

表示できる施設 ……104～106
シミュレーション ……143
自律航法とマップマッチング ……48
縮尺スケール ……61、62
仕様 ……597
初期設定一覧 ……593、594
ステアリングスイッチについて ……600
セキュリティーを設定 ……273、274
盗難多発警告 ……273
接続確認 ……163
操作したいモードに替える ……283～285

タ　行

探索条件 ……247～250
自動再探索 ……247～250
地図
地図画面の見かた ……59、60
地図スクロール ……66、67
地図の縮尺レベル ……62
地図を動かす ……66、67
地図を拡大／縮小する ……61
地図画面を表示する ……57、58
地図表示（方位）を切り替える ……64、65
地図ソフトについて ……555～558
地点
削除する ……242、243
地図を呼び出す ……240、241
登録 ……74、75
編集／見る ……232～237
（カタカナ／漢字を入力／TEL／マーク／名称／フォルダ／メモ／アラーム音を変更／入力文字訂正）
マークの表示を止める ……206～208
地点を探す
SDカードで地点を探す ……112～114
緯度と経度で地点を探す ……115
削除する ……107、108
施設の名前で地点を探す ……97～100
施設のジャンルから地点を探す ……101～103
自宅周辺の地図を表示する ……89
周辺にある施設から地点を探す ……109～111
住所で地点を探す ……92～94
地図から地点を探す ……117
地名から地点を探す ……118、119
電話番号で地点を探す ……90、91
登録地点で探す ……95、96
マップコードで地点を探す ……120
目的地履歴の中から地点を探す ……107、108
郵便番号で地点を探す ……116
ディスクの取り扱いかた ……41
ディスクを入れる／取り出す ……49、50
ディスプレイの角度を調整する ……52
データの初期化 ……279、280
テレビ
データ管理
本体の情報を知る ……310
取り付け角度について ……598

ハ　行

場所を登録
地点を登録 ……74、75
目的地にする ……72、79
バージョン情報 ……276
パワーアンテナ ……277、278
バックカメラ映像 ……264～267
表示項目の設定 ……206～208
（緯度・経度を表示／登録地点マーク表示／情報バー表示を切り替える）
平面地図画面 ……64、65
フェード・バランス設定画面について ……289、290
別売品 ……595、596
放送局一覧 ……591、592
保証／アフターサービス ……601

マ　行

右画面表示を設定する ……81～84
右画面地図の内容を設定 ……200、201
メイン画面の設定を変える ……198、199
メッセージ表示 ……582～585
メニュー項目一覧 ……69、70
メニューの基本操作 ……73
メニューの配色を変える ……539
メンテナンス情報の設定 ……259～262
目的地までのルートを探索 ……79
目的地（経由地）を変更
経由地の変更／削除 ……137
目的地の変更 ……133

索引(3)

ヤ 行

用語説明 ……586～590

ラ 行

ラジオ ……383～390
ランドマークの設定 ……220、221
リージョン番号 ……39
リアシートモニターについて ……547
立体アイコン ……60
ルート案内ストップ／スタート ……139
ルートを編集
現在のルートを表示 ……141、142
ルート保存 ……148
登録ルートの呼び出し・削除 ……149
現在のルートを削除 ……150
ルートの設定
AV画面中案内設定……217
ETCレーン表示……218、219
JCTビュー ……29、213
案内標識(方面看板) ……30、216
音声案内 ……225～227
交差点拡大表示 ……214
自動再探索 ……155
渋滞予測ルート探索 ……144～146
複数ルート探索……30、130
目的地方位を直線で表示／丸印で表示……59、211
リアル3D交差点 ……30、215
ルートの色……59、210
レーンガイド……30、226

お客様メモ

● ご購入の際に記入しておいてください。修理などを依頼されるとき便利です。

品　　番	**C9Y7 V6 650（三洋品番 NVA-MS5210）**
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ販売店	
	電話　（　　）　　－

三洋電機株式会社

三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社
車載機器事業部

〒680-8634　鳥取県鳥取市立川町7丁目101
TEL（0088）22－3478

※住所、電話番号は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。
　お電話の際には電話番号をよくお確かめください。

Printed in Japan　　2RR6P10A94600